

187

13

014209-001-8

187-13

神職宝鑑

半井 真澄/編

1冊(上51丁)

M32

ABB-0529



平井真澄編輯

少

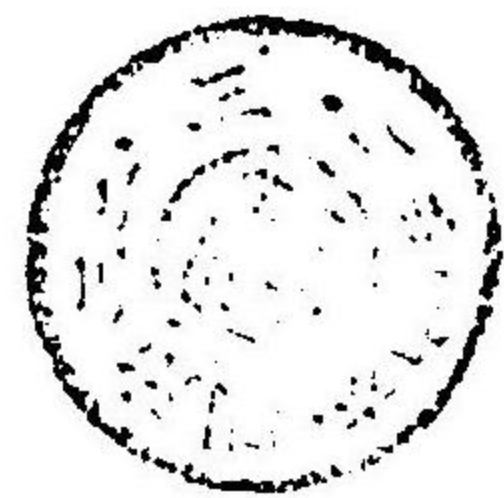
少

少

忠祭



孝祀



之本

邦憲王



能志氣
神宗

之

從一位建通二十四



神職寶鑑序



祭祀者國之大典也可以徵國運
泰否可以察民俗汚隆是以三
代聖王皆致素祭祀自郊社
禘嘗至簫鼗以盡盛瘳必有準
則况在朝以祭祀建邦耶然世

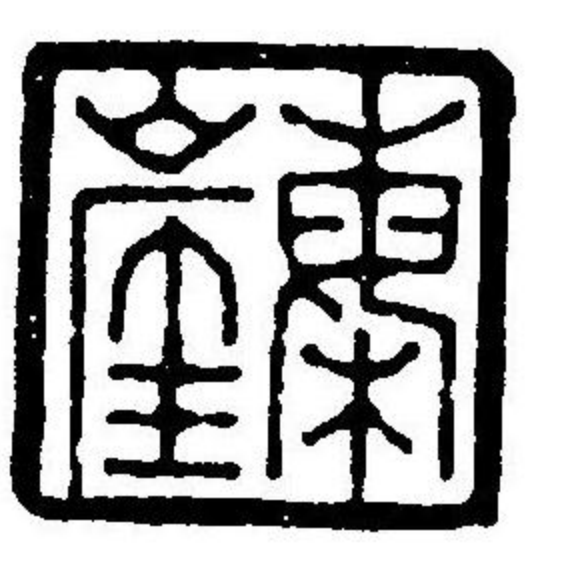
不取字金
已非古禮漸失在諸神祠所行
典章儀容區々各定令人不知
所適從此守井子真澄之所以
譏神職寶鑑也守井子予妻之
婦夫也出於和氣公之裔從得豫
來平安卜居公廟側仕京都府

職掌社寺事務精通神典祭祀
乃撰此書可謂遠乎徑矣書既成
神殿營造以至裝飾調度祭
器樂器神饌祝禱祭服儀容徽
引繁富解說詳密間挿畫圖
色彩鮮明易於觀覽真於是乎

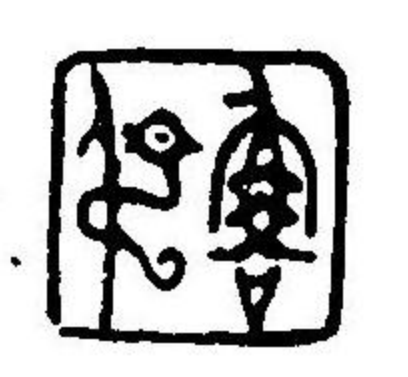
曩日區々定之者始得歸乎一
世々從事祭祀者即知所適從矣
少并子微予乃盡力以持其功

明治己亥孟春後一日

大阪 山本憲



京都 山田古香室



緒言

夫神職は國家の禮典を代表し祭典は國家彝倫の標
準なまば最齊肅恭敬を首とすべきは言を俟ざる所
なり式部寮曩に神社祭式の頒布ありと雖此只祭式
の順序を記するに止り之を執行する神職の進退作
法に至りては各社其趣を異にし各人其法を同トク
せず是を以て一市内若くは一郡内の神職相集りて
大祭を執行するに方り其所為區々に涉りて一定せ
ず儀容或は嚴肅を闕く憾なきこと能はず從來祭典
作法等の事を記載せる其書なきにあらずと雖各詳

略を異に―未だ完全なるものあるを聞かず京都府下の神職大に之を恨と―余に之が編纂の事を囑せらる因て八咫神社宮司從六位秋山光條平安神宮禰宜從八位水莖磐樟下御靈神社社司出雲路興通真幡寸神社社掌鳥羽重晴の諸氏に謀り各部類を分ちて之を調査―集めて一書を編―名づけて神職寶鑑と云ふ凡神殿建築の事より裝飾調度の法及び諸祭典の式起居進退の儀に至るまで神社神職に關するものは大抵網羅せざるな―我國祭典の事を知むと欲する者此書を翻閱せば一目にして瞭然たるを得む

且其祭式を練習するに今後此書に依らば其動作一定―て儀容亦整ひ以て國家の禮典を代表―以て國家彞倫の標準たるに背かざるべきか抑此書編纂に當り出雲路興通君の盡力最多に居る而―て建築の圖は安田時秀君の畫く所其他の圖画は渡邊虚舟君の筆に成る何れも其勞を愛まず此舉を贊助せられ―は編者の深く喜ぶ所なり今之を剞劂に附するに際―爰に其顛末を記―以て贊助諸君の勞を謝すと云ふ

明治三十二年一月

半井真澄誌す

凡例

一社殿其他建築の形は此書に舉るもの、外猶種々ありども多くは
 兩部習合の建方に屬し今後建築の模範となすべからざれば悉く
 は載せず

一建築の部に唯制限圖とあるは内務省に於て定められし官國幣社
 建築の制限なり

一祭器調度具の類は神社によりて其形を異にし或は甲の神社にあ
 りて乙の神社になきものあり悉く載せ難ければ今は普通各社に用
 り來れるものに就き其大概を載す

一祓の字は音拂なりども抜字に通けりてバツと讀み又ハラへをハ
 ラヒとも稱し又職の字は音織なるを職負なりと云ふ時はシキと讀
 む類皆古來有職家の讀方と知るべし

一祝詞例文は悉く完美なる者とは認めざれども妄りに添刪を加へ

ず是其大意を示すに止るを以てなり

一儀式作法は堂上タウジヤウの家により又は流儀によりて異なる者ありて一定し難ければ今普通行はるゝ式に據り其異なる者は〔又〕〔或〕として之を載す此等は何れによるも妨サマタカなりと雖同ト祭典執行中甲は右に従ひ乙は左に據るが如き事なき様豫め一定すべし
一本書に引用する所の書籍シヤクからずと雖今其繁を省くが為一々其書名を記せず

一作法の部は種目多くして一々目録モクラクに載せ難ければ欄外に之を標記して其見出しに便す

一以書閉版を急イッぎ草稿サウカウの成るや直に淨書ジヤウシヤウして剞劂キツクツに附し十分校訂カウテイの違イタちありしと編者の不文とにより字句の穩當ウマンならざる所又は魯魚ロキョの誤假字違カナチガひ等なきを保し難し見む人之を諒シヤウせよ

神職寶鑑上編目録

神體

総論 丁一

神鏡及附隨物圖

建築

総論 丁二

官國幣社制限総圖 丁三

同神殿又圖 丁四

大社本殿制限地圖 丁五

同側面圖 丁六

小社本殿制限地圖

同側面圖

祭神二座神殿總圖

春日造神殿圖

大社本殿建地割正面圖

中社本殿制限地圖

中社本殿建地割正面圖 丁七

神宮造神殿圖

石間造神殿圖_{丁八}

堂社造神殿圖

攝社制限圖_{丁九}

同敷圖

末社制限圖

同敷圖

末社又圖_{丁十}

同又圖

大社拜殿制限敷圖

中社拜殿制限敷圖

小社拜殿制限敷圖

大社拜殿建地割正面圖_{丁十一}

同側面圖

中社拜殿建地割正面圖

同側面圖

攝社拜殿制限圖_{丁十二}

同敷圖

拜所圖

中門幣殿正面圖_{丁十三}

同敷圖

官國幣社透塀中門祝詞屋圖

同敷圖

唐門正面圖_{丁十四}

同側面圖

中門正面圖

同側面圖_{丁十五}

神馬合圖

樓門正面圖_{丁十六}

同側面圖

同敷圖_{丁十七}

廻廊側面圖

廻廊腋門正面圖

正面透塀正面圖_{丁十八}

同側面圖

玉垣鳥居圖

同敷圖

荒垣及鳥居圖_{丁十九}

玉垣荒垣又圖

鳥居圖

三輪形鳥居圖

神宮鳥居圖_{丁二十}

同又圖

黒木鳥居圖

籬指鳥居圖

神饌所制限正面圖_{丁二十一}

同側面圖

同敷圖

御炊殿圖

御料屋正面圖_{丁二十二}

同側面圖

同敷圖

神庫制限正面圖

同敷圖

祭器庫制限正面圖 三丁

同側面圖

同敷圖

脚高藏正面圖

同側面圖

同敷圖

社務所制限正面圖 四丁

同側面圖

同敷圖

同又圖

同又敷圖 五丁

手水舎制限正面圖

同側面圖

同敷圖

井戸屋形制限圖

同又圖

同側面圖

被舎圖 六丁

繪馬舎圖

附記一條 七丁

裝飾及調度具

総論 八丁

内陣扉内の簾圖

外部の簾圖

幌圖 九丁

壁代圖

同又圖

帳臺圖 三丁

厚疊圖

濱床圖

同又圖

錦蓋圖 一丁

帷圖

帽額圖

衾圖

茵圖

八重疊圖

大床子圖

龍鬚圖 二丁

帳臺飭付圖

懸鏡圖 三丁

懸角圖

角鏡を懸けたる圖

褥茵圖 四丁

獅子狛犬圖

鏡及臺圖

鏡背面圖

鏡臺背面圖

羅紐圖

入帷圖

几帳圖 五丁

屏風圖

泔坏圖 六丁

打亂筥圖

櫛筥圖

同内圖

硯筥圖

同内圖

劍圖 七丁

平緒圖

劍又圖

玉纏太刀圖

檜扇圖

弓矢圖 三十丁

平胡籬圖

壺胡籬圖

内陣裝飾位置略圖 三十丁

門帳圖

真神圖

鏡玉劔圖

楯矛圖 四十丁

旗圖

齋竹圖

祭器及樂器

神籬圖 四十丁

大麻圖

小麻圖

玉串圖

幣絹圖

散米切麻切木綿圖

塩湯圖

八脚机圖 四十丁

高坏圖

折敷圖

折櫃圖

三方臺圖

懸盤圖

行器圖

瓶子圖

盃圖

箸圖

盃圖

土高坏圖

敷輪圖

楊笠圖

卒櫃圖

雲脚臺圖 四十丁

豎脚臺圖

二重練臺圖

燈臺圖

結燈臺圖

燈籠圖

陰燈籠圖

玉串筒圖

行障圖

絹垣圖

延道圖

布單圖

圓座圖

半疊圖

軾圖

薦圖

幔圖 四十丁

斑幔圖

白幔圖

幕圖

幄舍圖

又圖

手水具圖

水漉圖

羽車圖 四十丁

同又圖

羽車に錦蓋を覆ふたる圖

同又圖

鳳輦圖

紫翳圖 四十丁

菅翳圖

檣柳毛車圖 四十丁

網代車圖

車具諸圖

神輿圖 四十丁

同又圖

錦蓋圖

菅蓋圖

神馬圖 四十丁

倭鞍圖

唐鞍圖

神樂笛圖

笙圖

拍笛圖

鉦鼓圖一五
丁十

一鼓圖

和琴圖丁五十

笏拍子圖

笛圖

羯鼓圖

琵琶圖

荷太鼓圖

和琴を袋に納りたる圖

鈴圖

篳篥圖

太鼓

箏圖

荷鉦鼓圖

神職寶鑑下編目錄

祭典

修祓之部

祓所式丁一

祓所圖

臨時解除式丁三

形代圖

大祭之部

例祭丁四

祭場圖

祈年祭丁八

臨時勅使參向式

普通齋場圖

新嘗祭

靈代遷座式丁十

度竹及麻圖

壺を封じたる圖

恒例奉幣式丁九

公式

元始祭_{丁十四}

大祓

紀元節_{丁十五}

天長節_{丁十六}

神嘗祭

後月輪東山陵遙拜

前傍山東北山陵遙拜

後月輪東北陵遙拜

除夜祭

臨時祭式

地鎮祭_{丁十七}

新殿祭

玉を懸たる圖

新始祭_{丁十八}

立柱祭

上棟祭

井神祭

竈神祭

鎮火祭_{丁十九}

祈雨祭

祈霽祭

攘蝗祭

祈病癒祭

障神祭

祈釀祭

徵兵入營祭

軍神祭_{丁二十}

諸業祖神祭_{丁二十}

祖靈祭

鎮魂祭

菅を結びたる圖 祭場圖

結誓祭_{丁二十}

式場圖

神幸式_{丁二十}

行列圖

直會式_{丁二十}

直會圖

饗膳圖

神饗

臺敷及品目_{丁三十}

品目圖_{丁三十}

獻奠圖_{丁三十}

祝詞

總論 三十四

祝詞作例

祝詞

官國幣社祈年祭

官幣社例祭 三十五
官國幣社新嘗祭

國幣社例祭
元始祭 三十六

大祓祝詞

同祓詞

假殿遷座 二章 三十七

本殿遷座 二章

歲旦 三十八

風神祭

道饗祭

鎮火祭 三十九

鎮魂祭

地鎮祭 四十

新殿祭

門神祭

竈神祭 四十一

井神祭

攘蝗祭

祈雨祭 四十二

祈晴祭

霹靂祭

地震祭 四十三

疫神祭

山神祭

徵兵入營祭 四十四

軍神祭

祈漁祭 四十五

祈獵祭

醫神祭 四十六

發旅祭

祈釀祭

祈病癒祭 四十七

祈家內安全

祈平產

初宮參

新始祭 四十八

立柱祭

上棟祭

創業祭 四十九

奏功祭

祖靈祭

諸業祖神祭

結替祭 五十

同誓言

祭服

服制 五十二

冠圖

立烏帽子圖

風折烏帽子圖

袍前面圖 五十三

同背面圖

齋服

單前面圖

同背面圖

指貫圖 五十四

指袴

狩衣圖

雨衣前面圖

同背面圖

笏圖 五十五

檜扇圖

夏扇圖 末廣圖 襪圖

淺沓圖 烏皮烏圖 草履圖

同又圖 挿頭圖 木綿羅圖

木綿手繼圖 覆面圖 手袋圖

鍵袋圖 冠臺圖 同又圖

烏帽子棚圖 祝詞袋圖 笏袋圖

胡床圖 沓臺圖 笠圖

長柄傘及袋圖 先拂圖 神馬口付圖

駕輿丁圖 車副圖 牛童圖

有位神職口付圖 雜色圖 仕丁圖

装束着法

挂緒圖 單に襷をとりたる圖 押折圖

かいこみの圖 帖紙折方圖

作法

潔齋 解除 大麻を持つ圖

把笏圖 正笏圖 置笏圖

揖 坐揖圖 立揖圖

拜 坐拜圖 立拜圖

列拜位置圖 同又圖 拍手

坐起 居廻圖 坐圖

安坐圖 跪居圖 同側面圖

蹲踞圖 龜居圖 進退

昇降出入 昇降階圖 降神昇神

立禮の時琴を持つ圖 捲簾褰帳 降昇神圖

開扉閉扉

障子内の簾を掲げたる圖 一丁十

警蹕稱唯 裝飭舗設 二丁十

軾を帖みたる圖 燈火庭燎 五丁十

神饌調備 神饌獻撤 八丁十

左右列傳供圖 幣物捧奠 八丁十

祝詞文を笏に取副へ持つ圖 九丁十

神馬牽廻 樂舞奉奏 九丁十

典禮心得 神職心得 二丁十

野筋を結びたる圖

軾を敷きたる圖 三丁十

燈籠釣綱圖 四丁十

一列傳供圖 七丁十

祝詞奏上

玉串拜禮

神幸

附録

奉幣作法 九丁十

幣圖 六丁十

道路開通式及橋梁架設式

起業式及成功式

開闢式附勅語奉讀式 九丁十

勅語

目錄終

神職寶鑑上編

神體

半井真澄編輯

神體一に神寶とも稱し神靈の憑依する所の物を云ふ古來鏡劔玉の類
 を其重となす者多し其忠臣孝子又は國家に偉功ありし者を神とし之
 を祀るには其者の生前親く用ひし物品の内冠又は笏其他弓矢筆硯若
 くは衣類などを神體となすもあり又は其木像影像等もあり然れ共木
 像を以て神體となす者は佛法渡來後佛像に倣ひ設けし者なるべし凡
 佛像は開扉開帳なり親く衆庶に拜しめ之が信仰を益さしむと雖神
 社の神體は如何なる事あるも決して人に視すべき者に非るなり大神
 神社の如きは別に神體の設なく山を以て神體と為すと聞く又神體を
 設けず神籬を立て之を祀るもあり又只其座を設けて神寶を設けざる
 もあり其宜に従ふべし普通は鏡を以て神體となすもの最多し伯家部

類に八神殿御神體二重菅五色糸柳葉八枚内菅外大和錦包平緒にて十
文字に結ぶ内に水晶御玉御鏡御劍云々とあり橋家神體勸請傳に諸式
あり皆重菅に納め之を封するなり維新後朝廷より奉鎮し給ふ神體は
多くは鏡にして大略左の如しと云ふ

鏡 紅紐総付

袋 表金襴裏白平絹紅紐

菅 揚菅

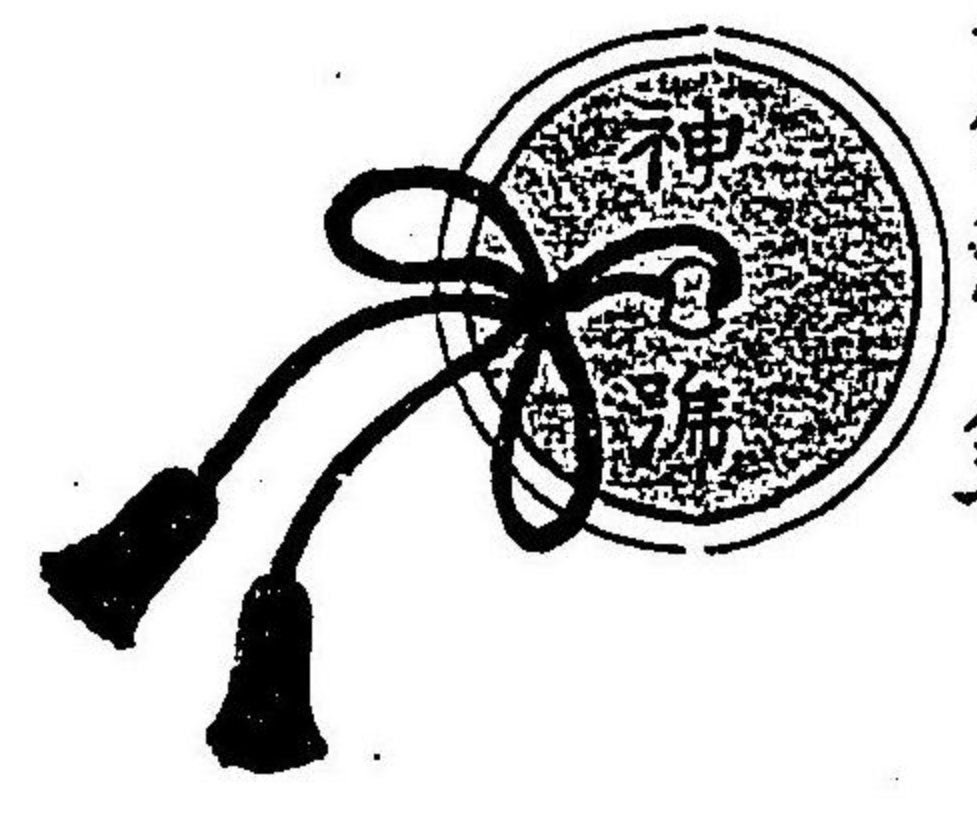
入帷 白平絹〔此は神重を被覆する物なり〕

辛櫃 檜白木造金具鍍金海老錠鍵紅紐総付

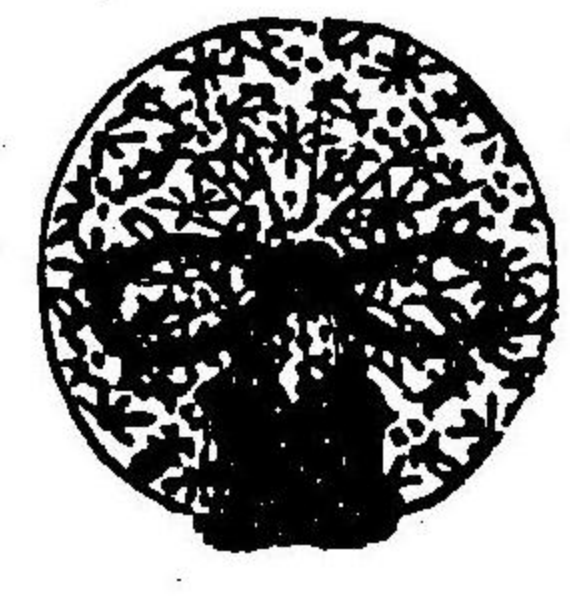
覆 表大和錦裏白平絹

神鏡及附隨物之圖

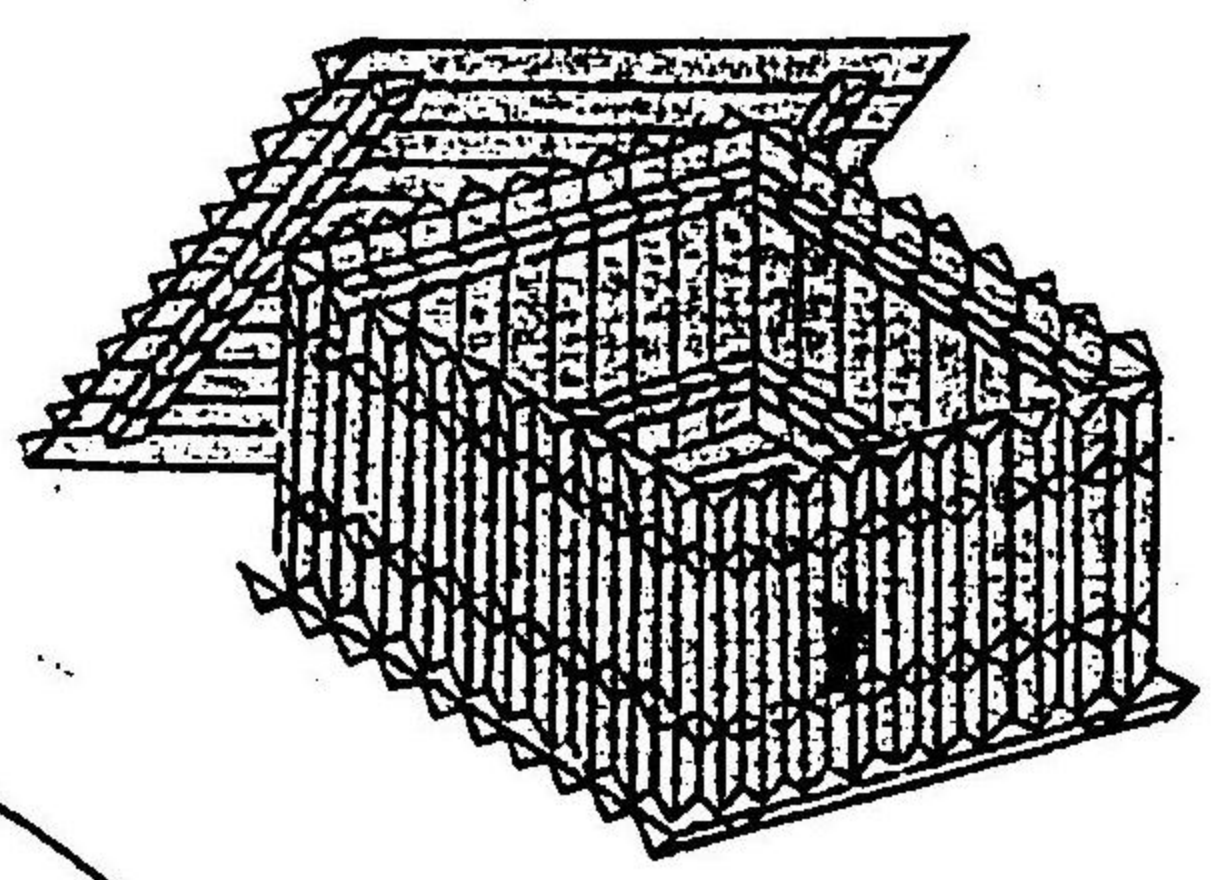
靈代神鏡



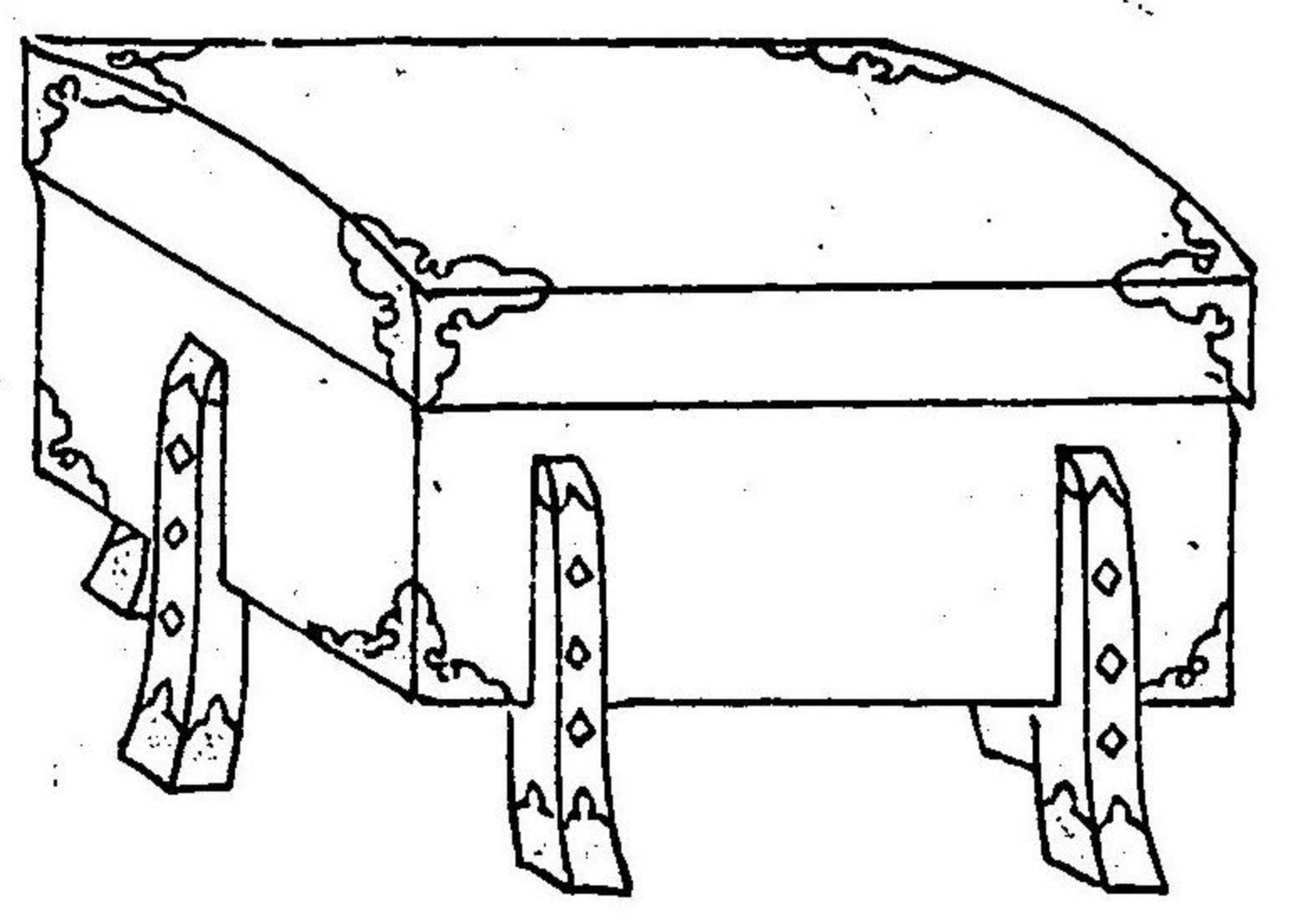
大和錦神鏡袋



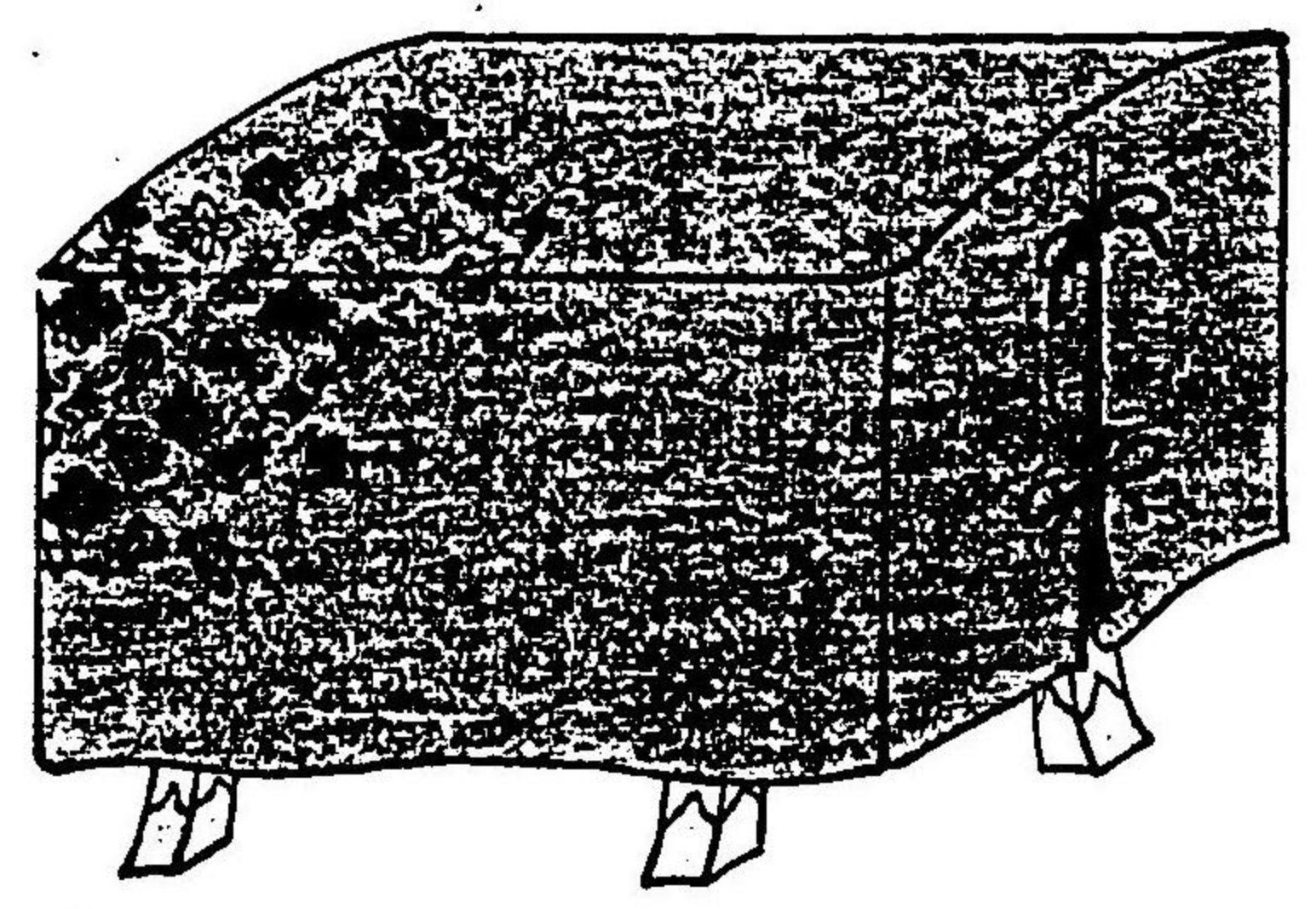
靈代納揚菅



辛櫃



小葵大和錦辛櫃覆

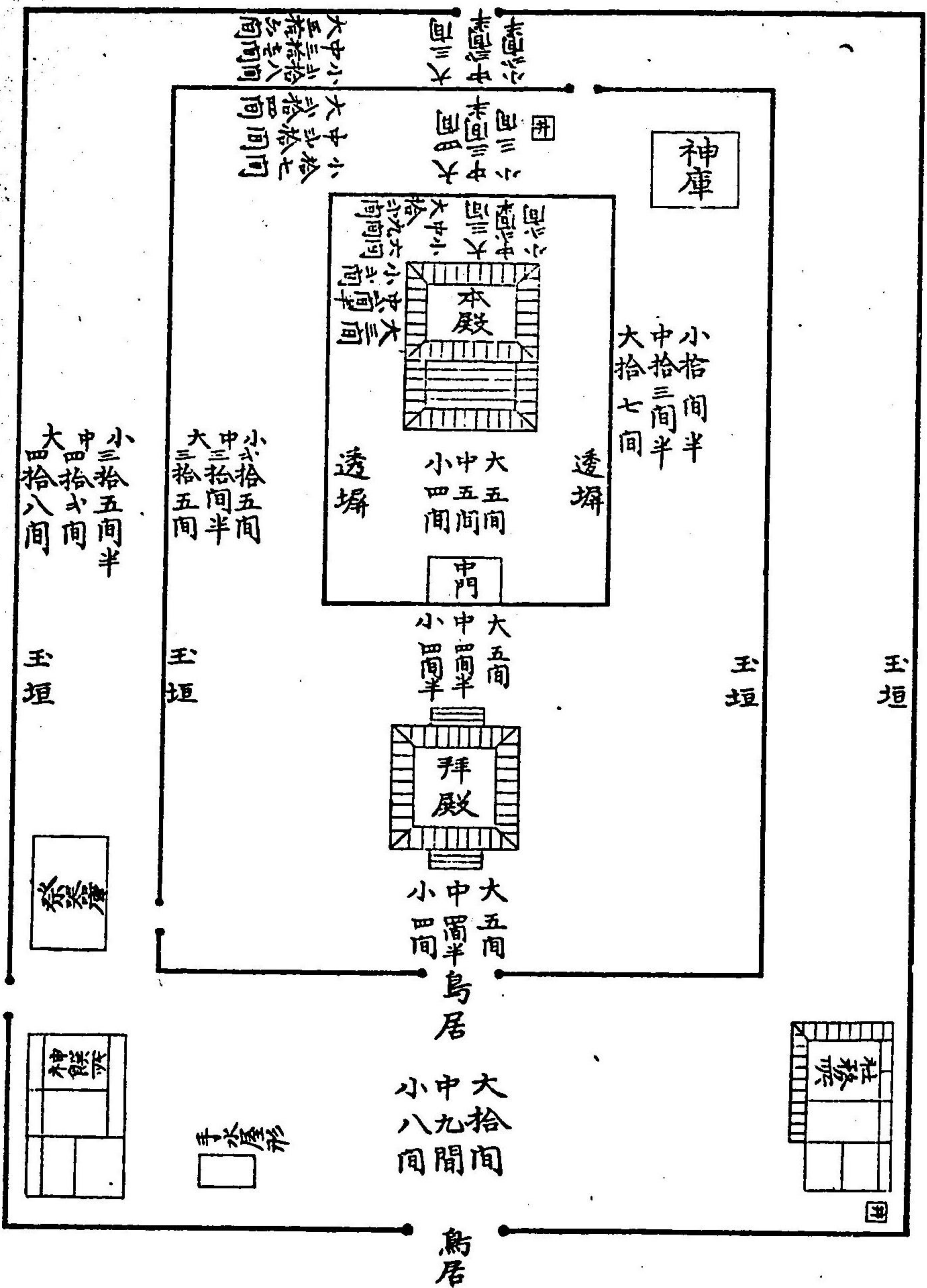


建築

元神社の建築方法は種々ありと雖成るべくは檜木材を用る質素にし
 て清浄ならむ事を要す或は櫺又樟等の材を用る或は極彩色を施し又
 は種々の彫刻をなするとは元佛堂に倣ひしものなるべし神社には宜
 からず今官國幣社制限圖及其他若干の圖を掲げて以て参考とす然れ
 共地形の如何により制限に従ふ能はざるもあり又彼を略し此を益す
 等の事もあるべし荒垣外と雖防火の為風致の為成るべく餘地を存し
 樹木を培養すべし中古神佛混淆して社僧の奉祀せし神社は往々佛堂
 に類する物あり此等は再建等の節純然たる神社の建築に改むべきな
 り

官國幣社制限總圖

大社地坪千七百拾八坪 中社同千三百貳坪 小社同九百拾四坪

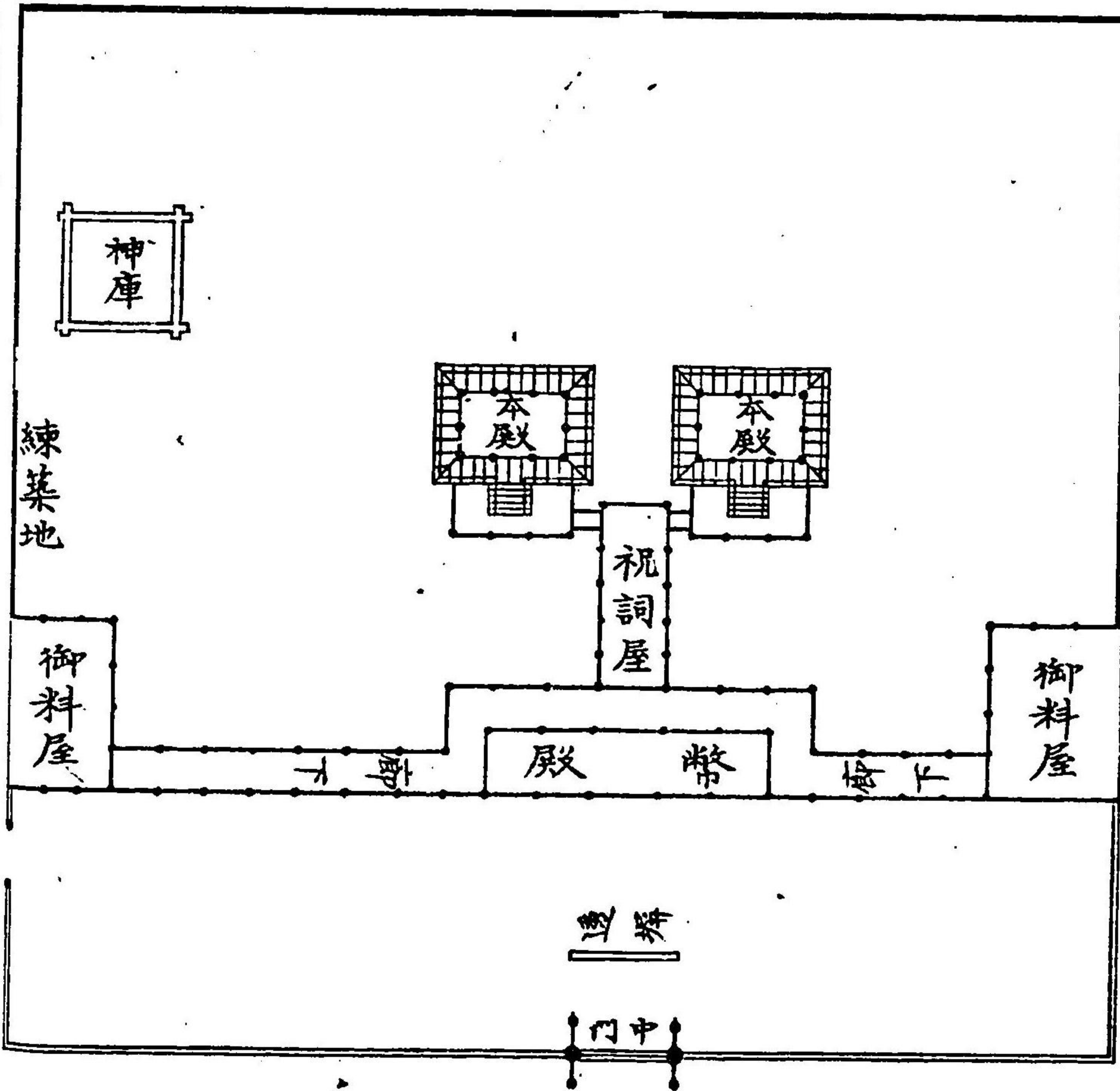
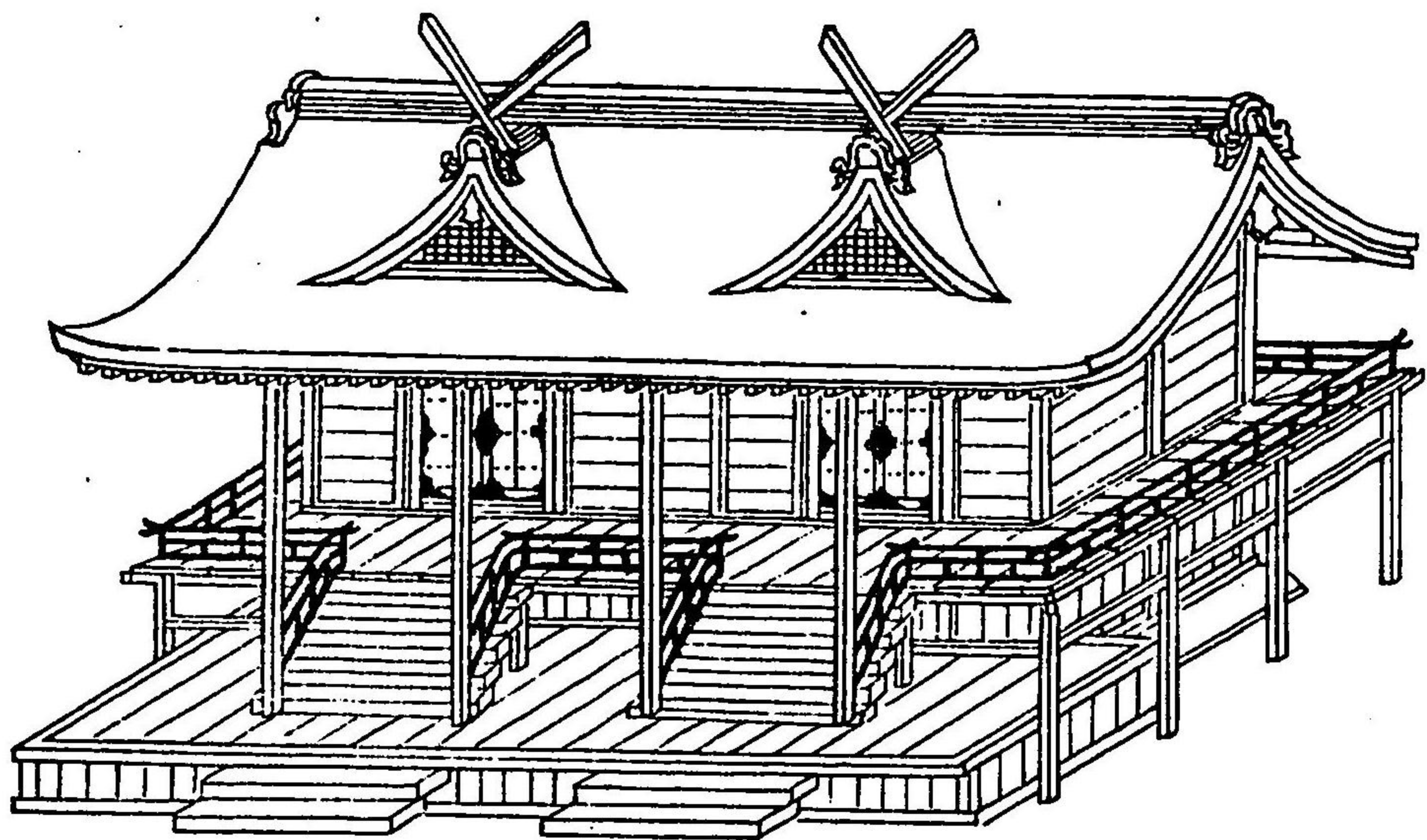


祭神二座神殿総圖

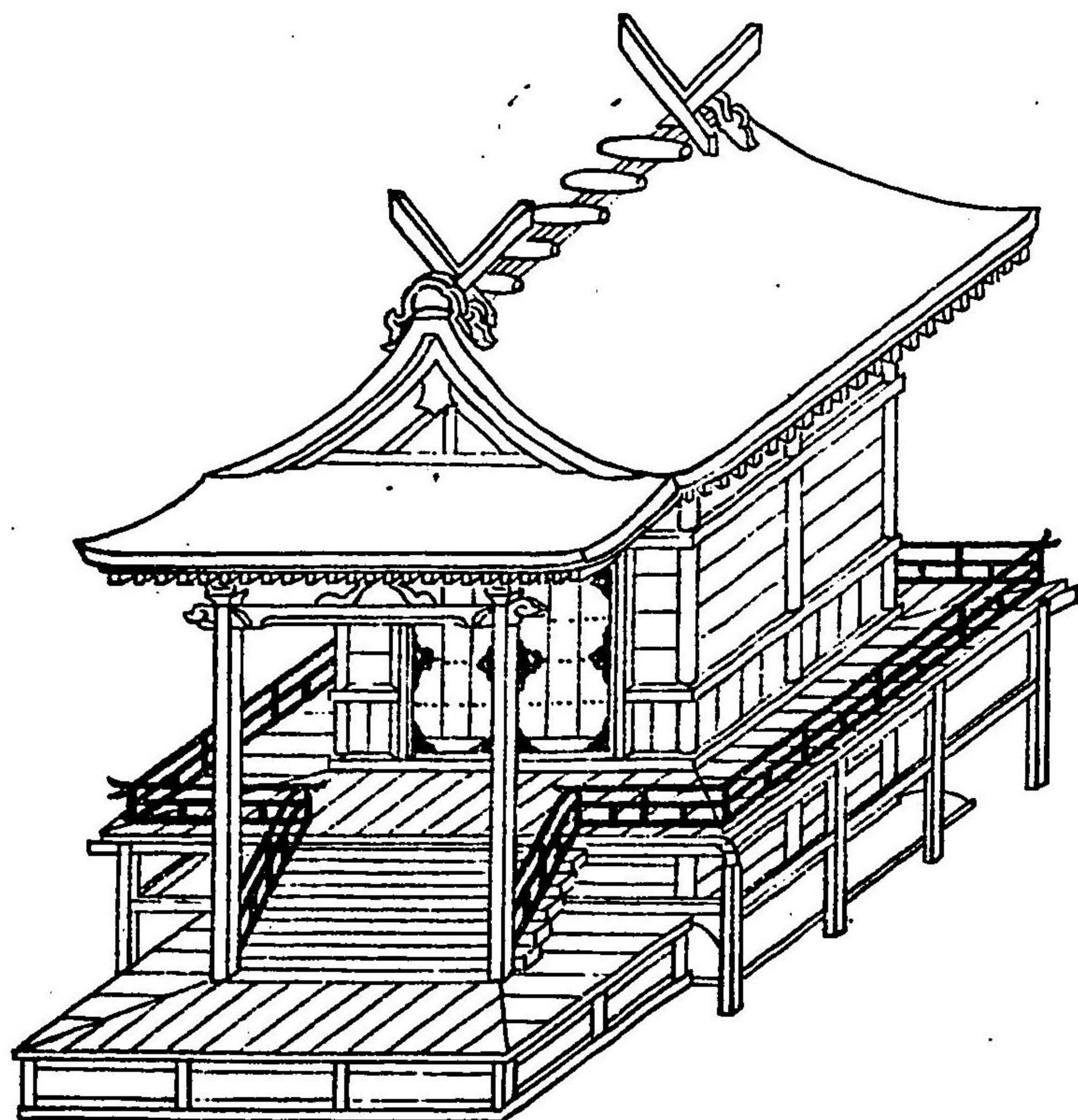
此は賀茂御祖神社の建築
圖なり祭神一柱にして如
此
同神殿を二個建設しは空
殿とて大修繕等の節假
遷座の権殿となし置く者
あり賀茂別當神社の如き
も是なり又神殿建設の位
置を二箇処に定め一方に
神殿を建築し一方は位置の
を存し置再建等の節は
其一方に建築して之を迂
し建築の都度左右本殿
の位置を替るもあり伊勢
神宮の如き是なり

同神殿又圖

此は平野神社の圖なり
但此と同様の者相並て
四座とせるなり

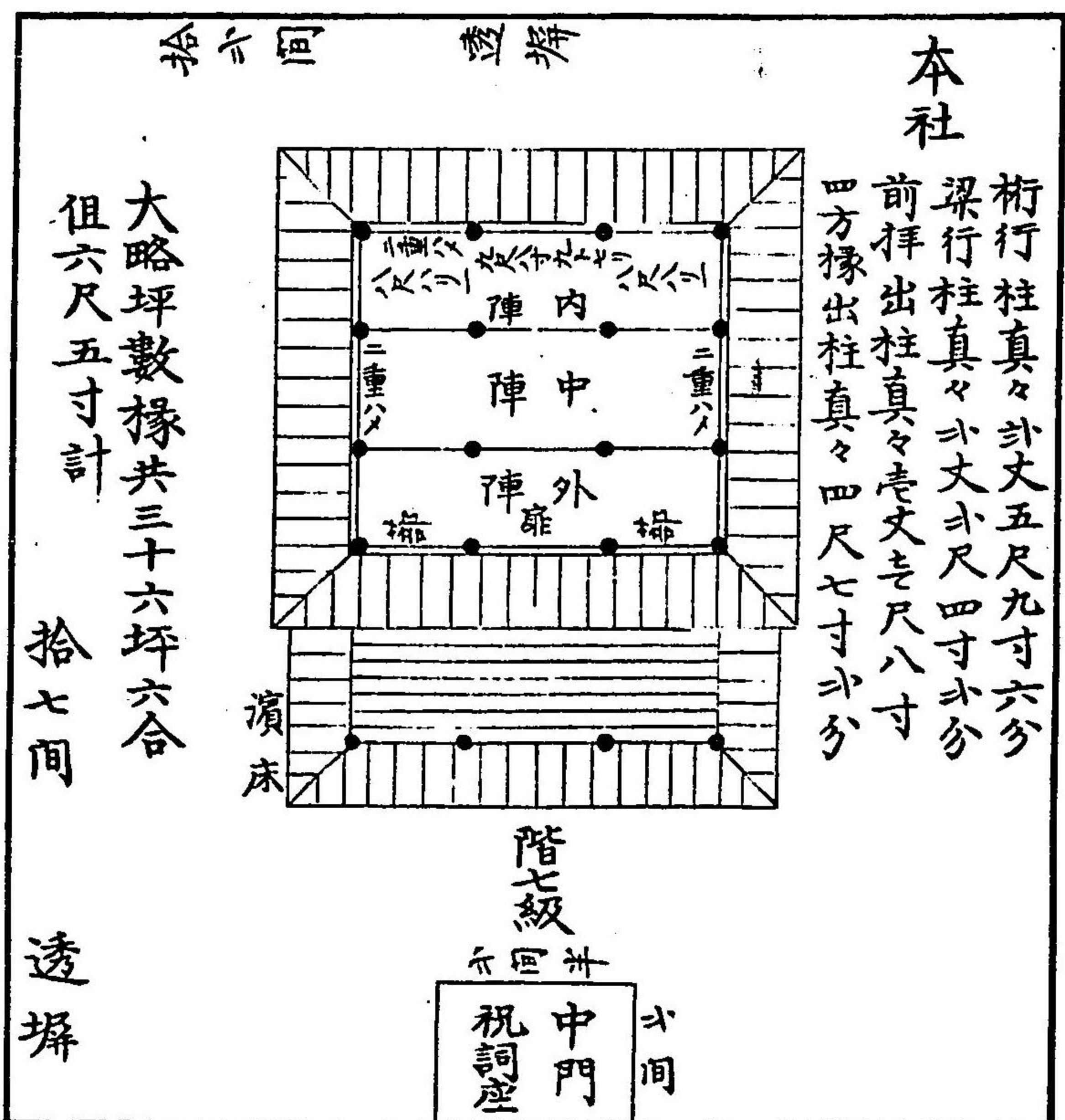


春日造神殿圖



大社本殿制限地圖

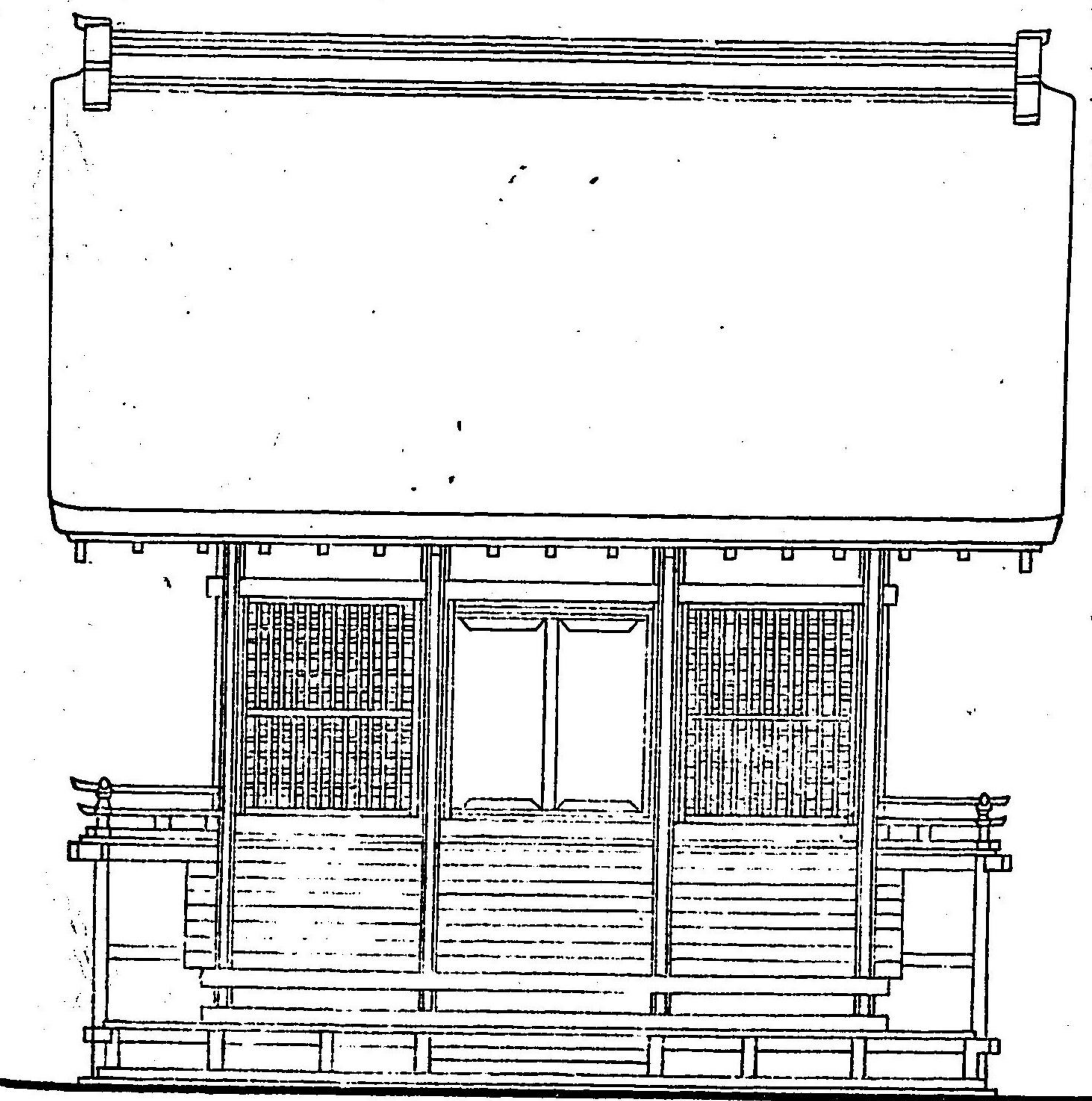
内陣 中陣 外陣... 允て内陣は殿上の母屋神座の間を云中陣は内陣の次の間外陣は又其次の間を云大抵神饌幣物を献奠する所とす但中小社には中陣なし椽を大床と云即葺子敷にて階下の板敷を濱床と稱す



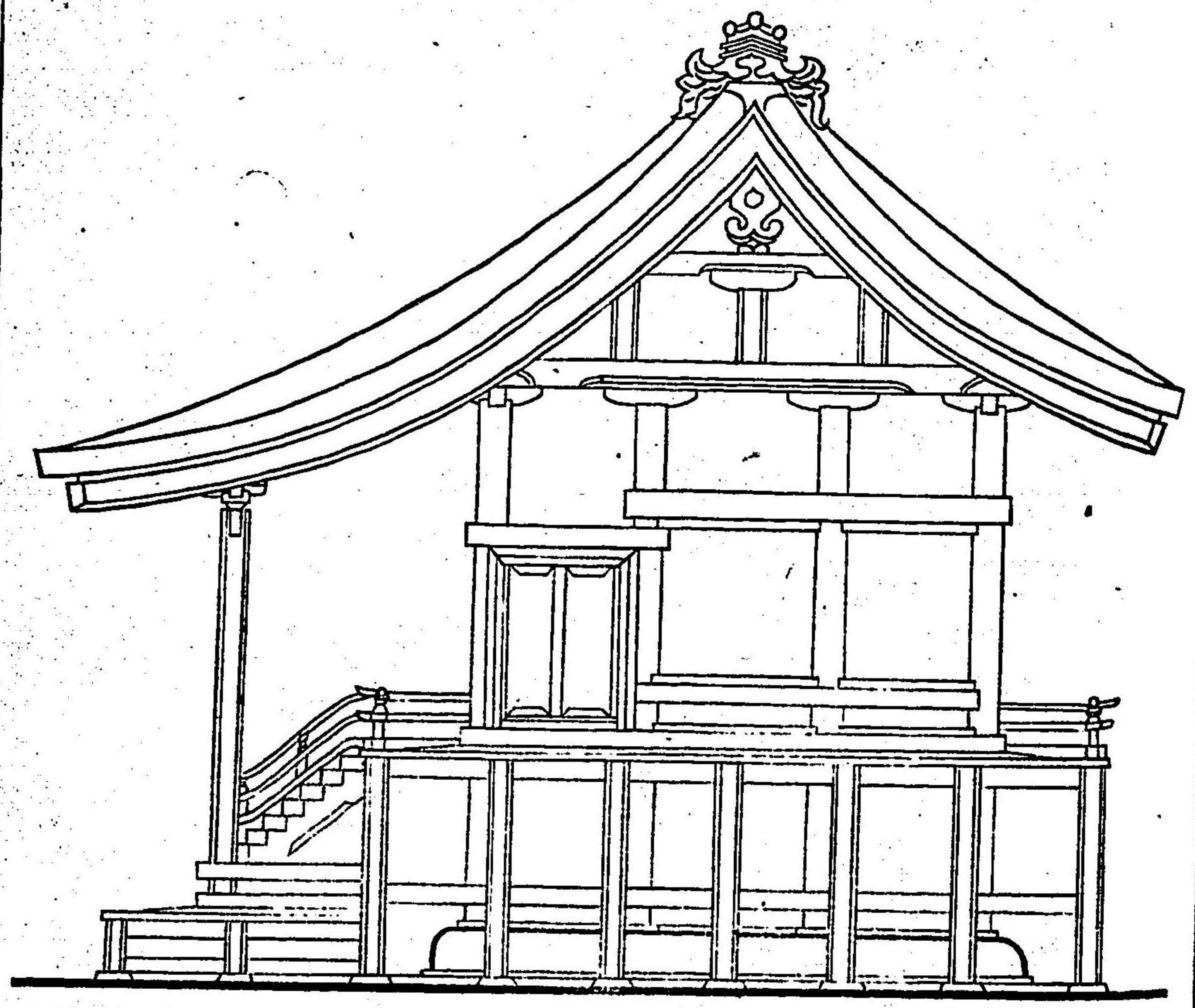
大略坪數椽共三十六坪六合 但六尺五寸計 拾七間 透塀

大社本殿建地割正面圖

不取實金一糸



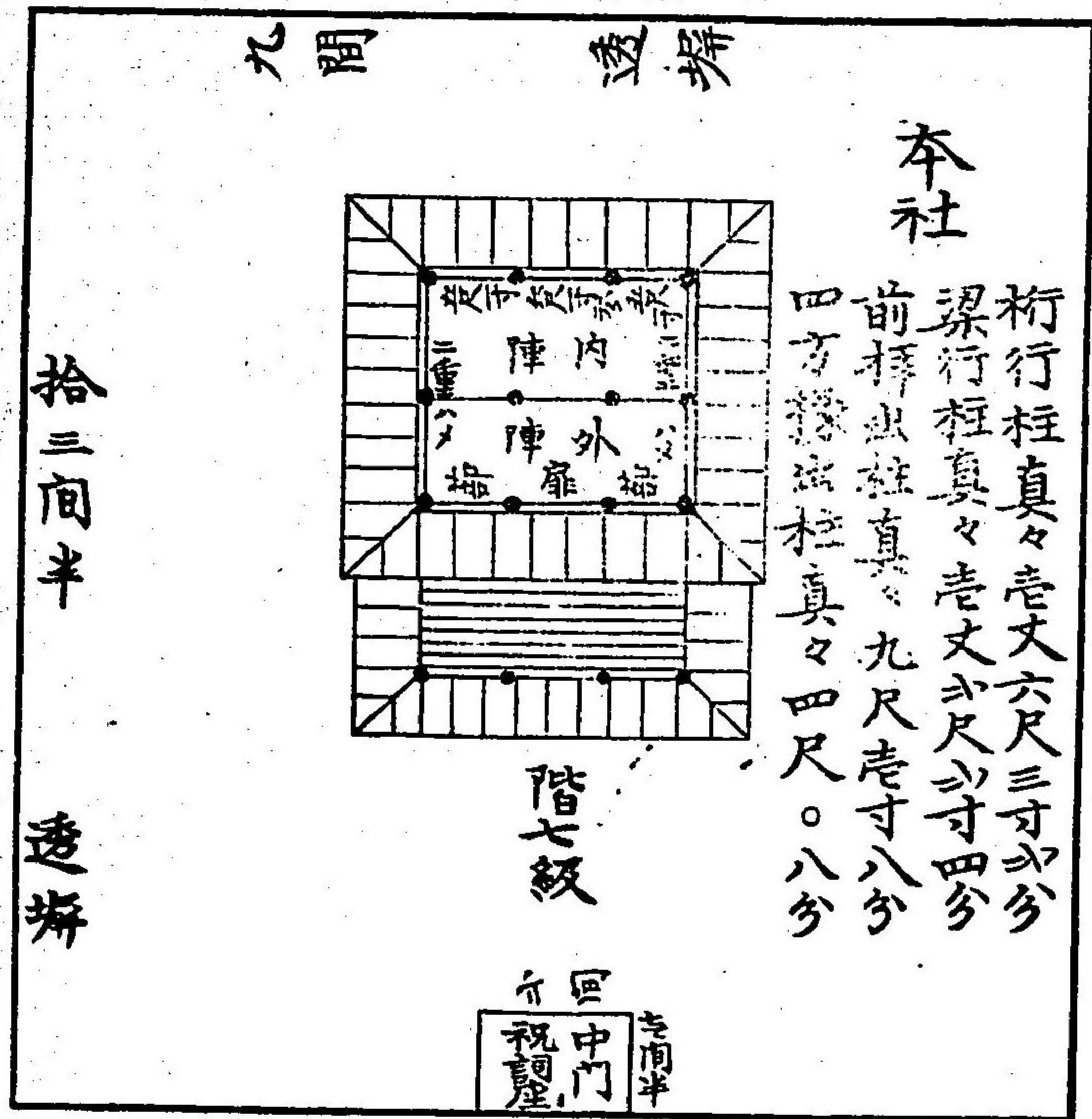
同側面圖



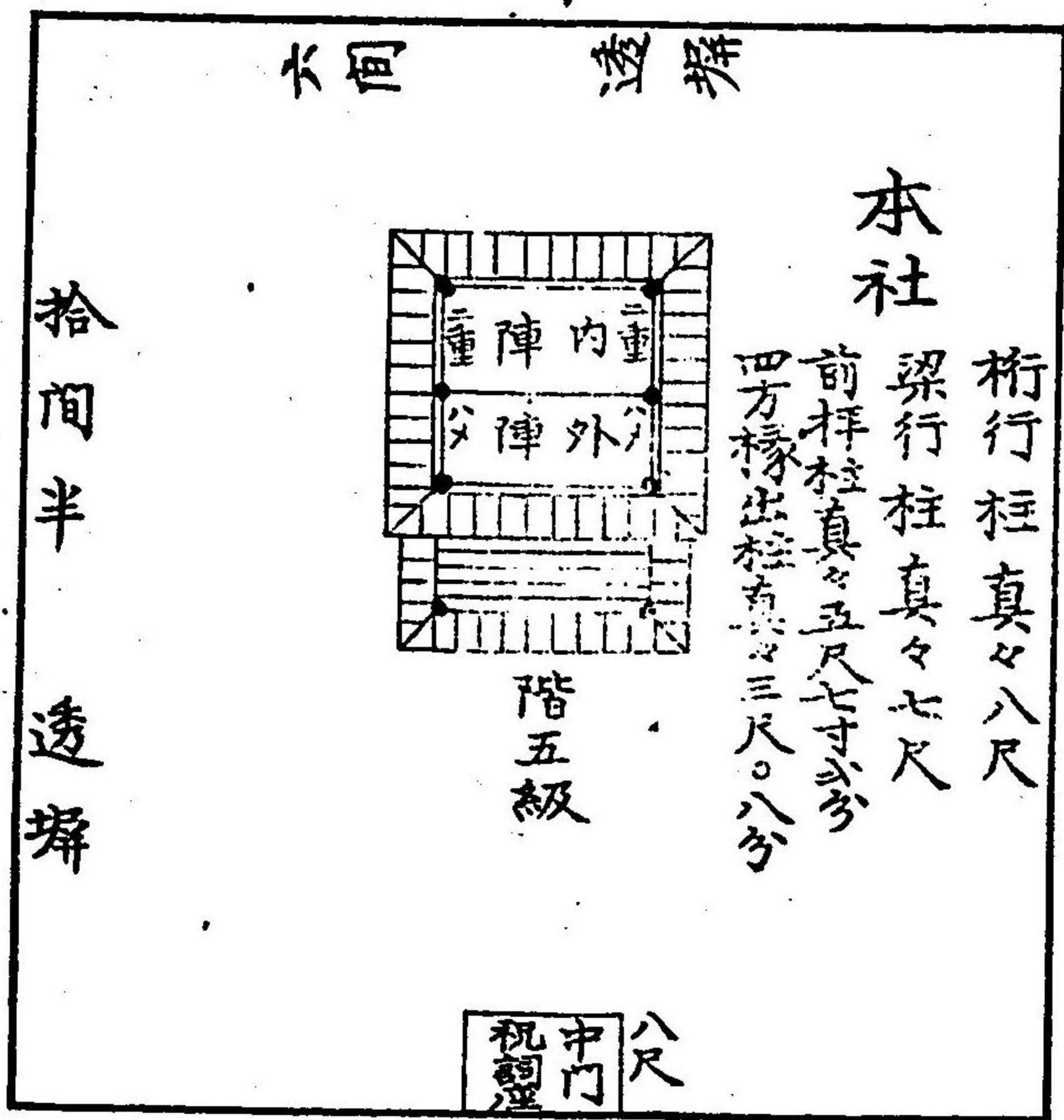
申殿建地割

六

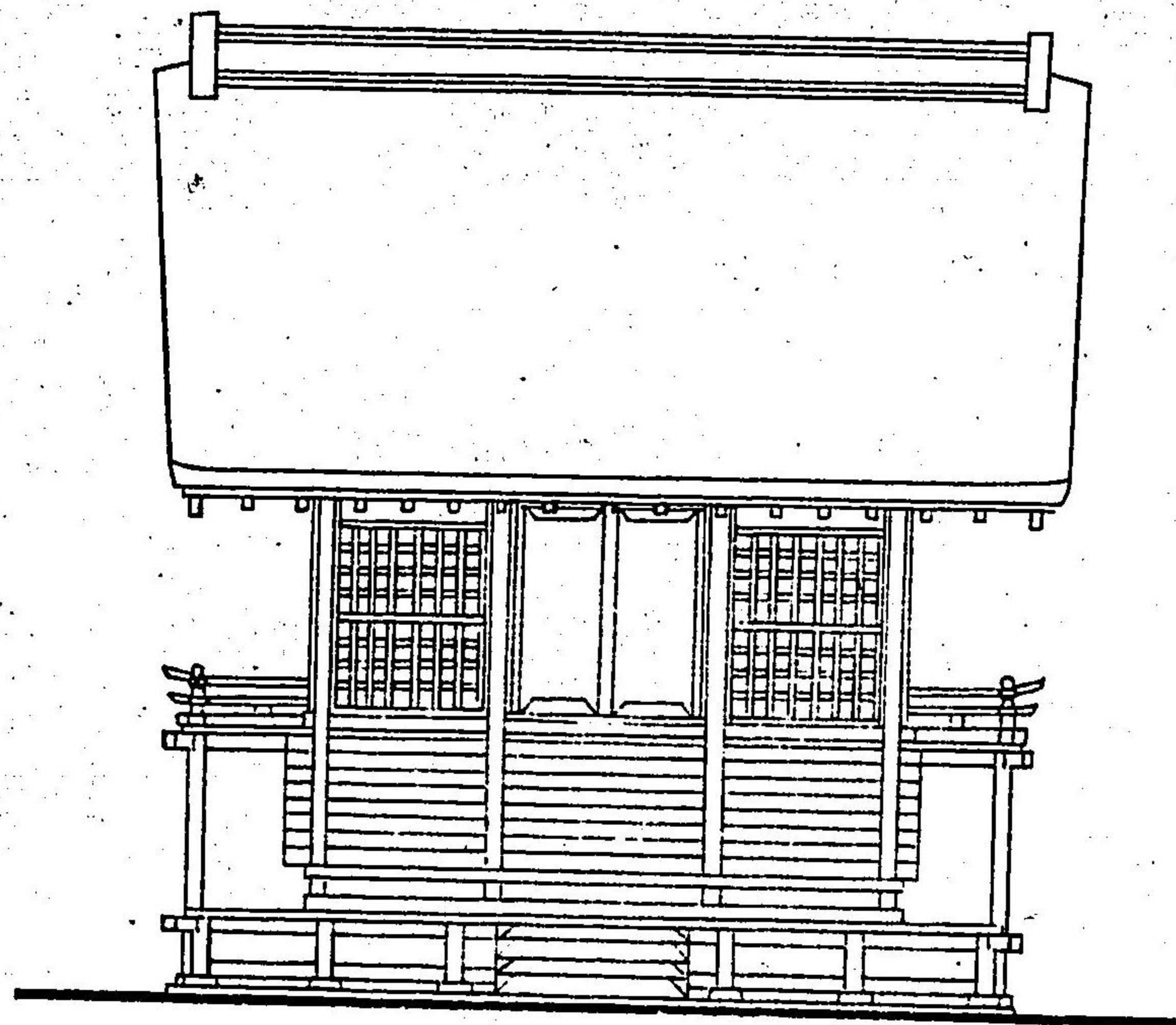
中社本殿制限地圖



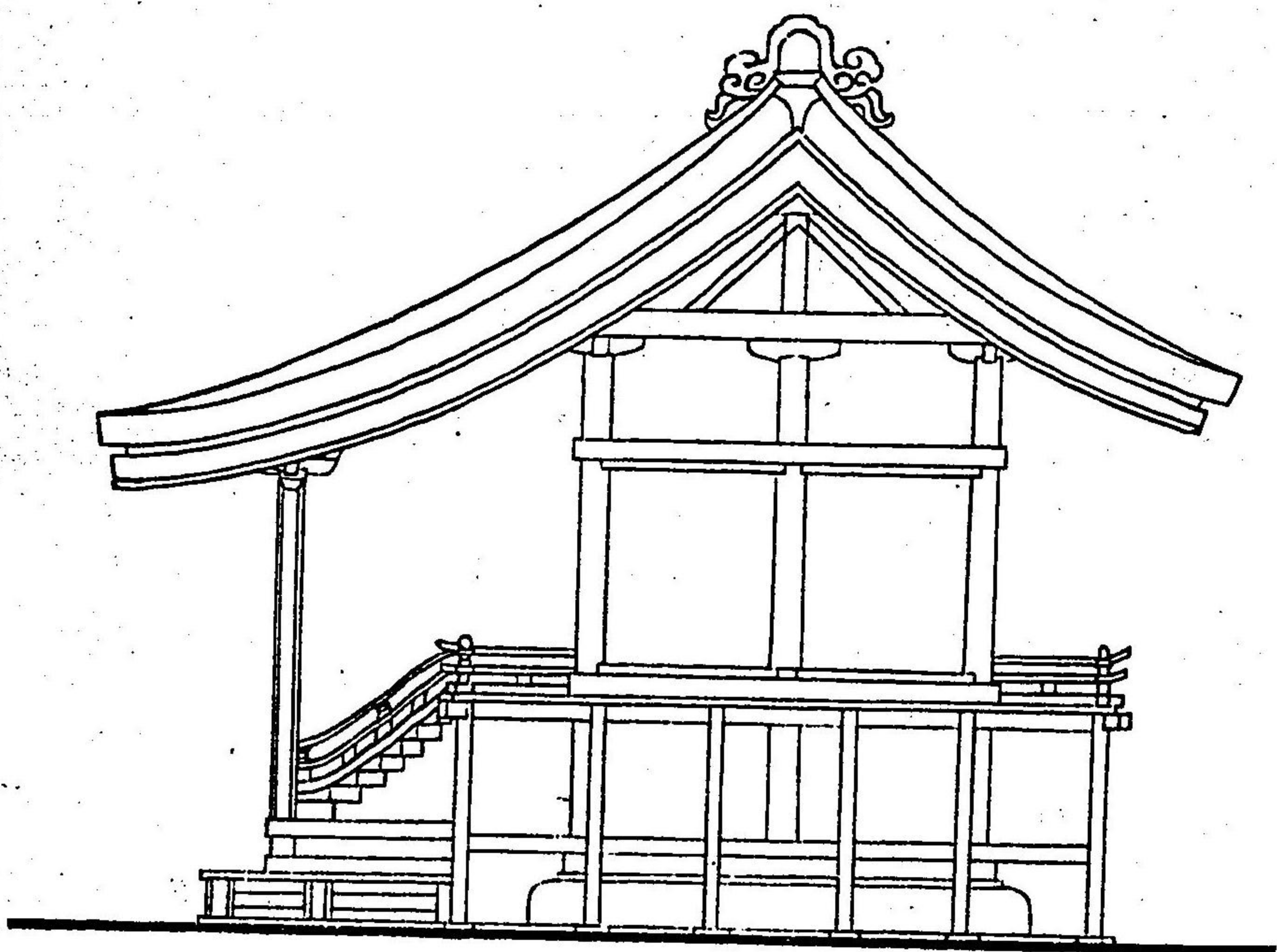
小社本殿制限地圖 建地割中社准す



中社本殿建地割正面圖 小社准之

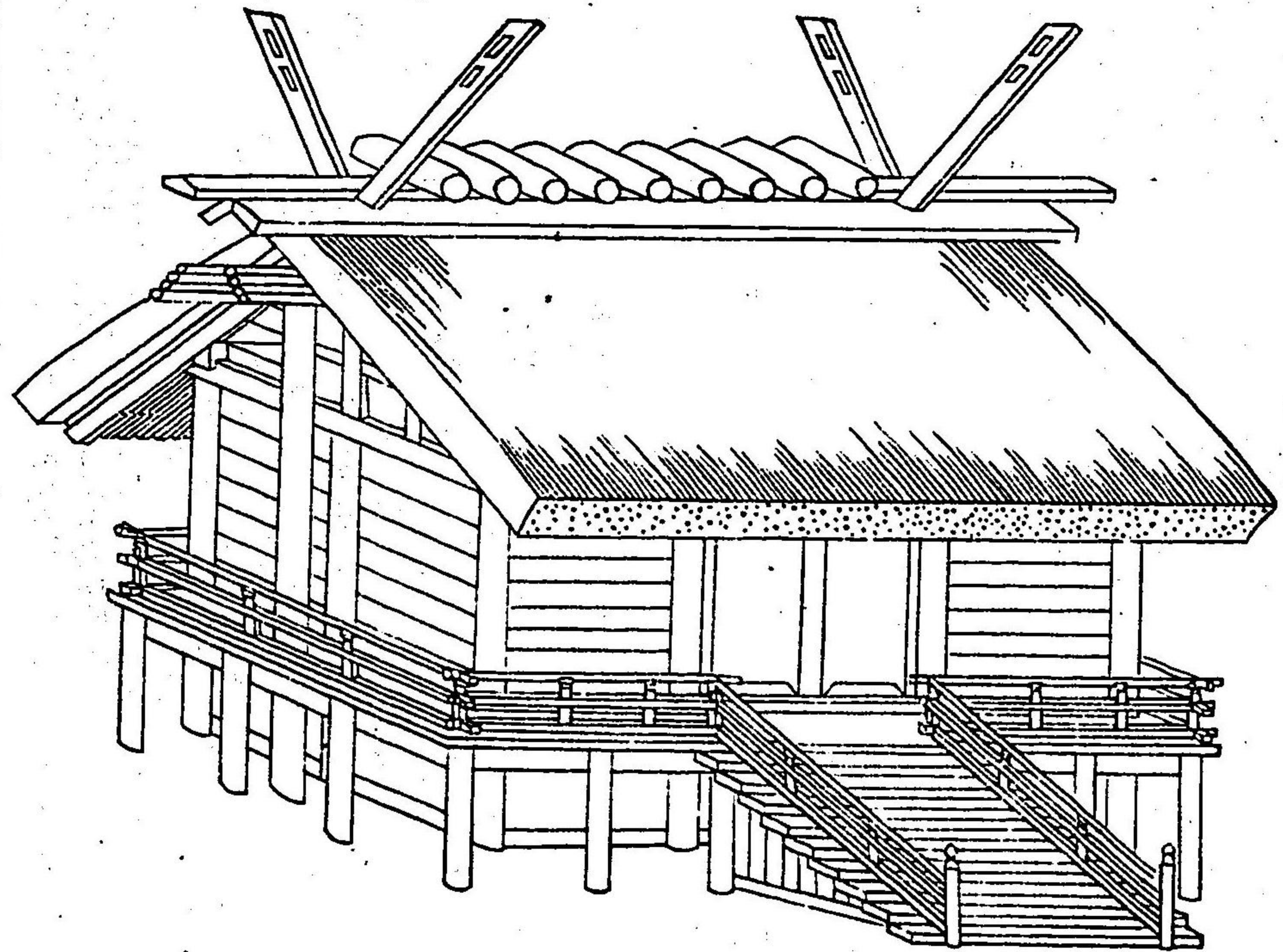


同側面圖

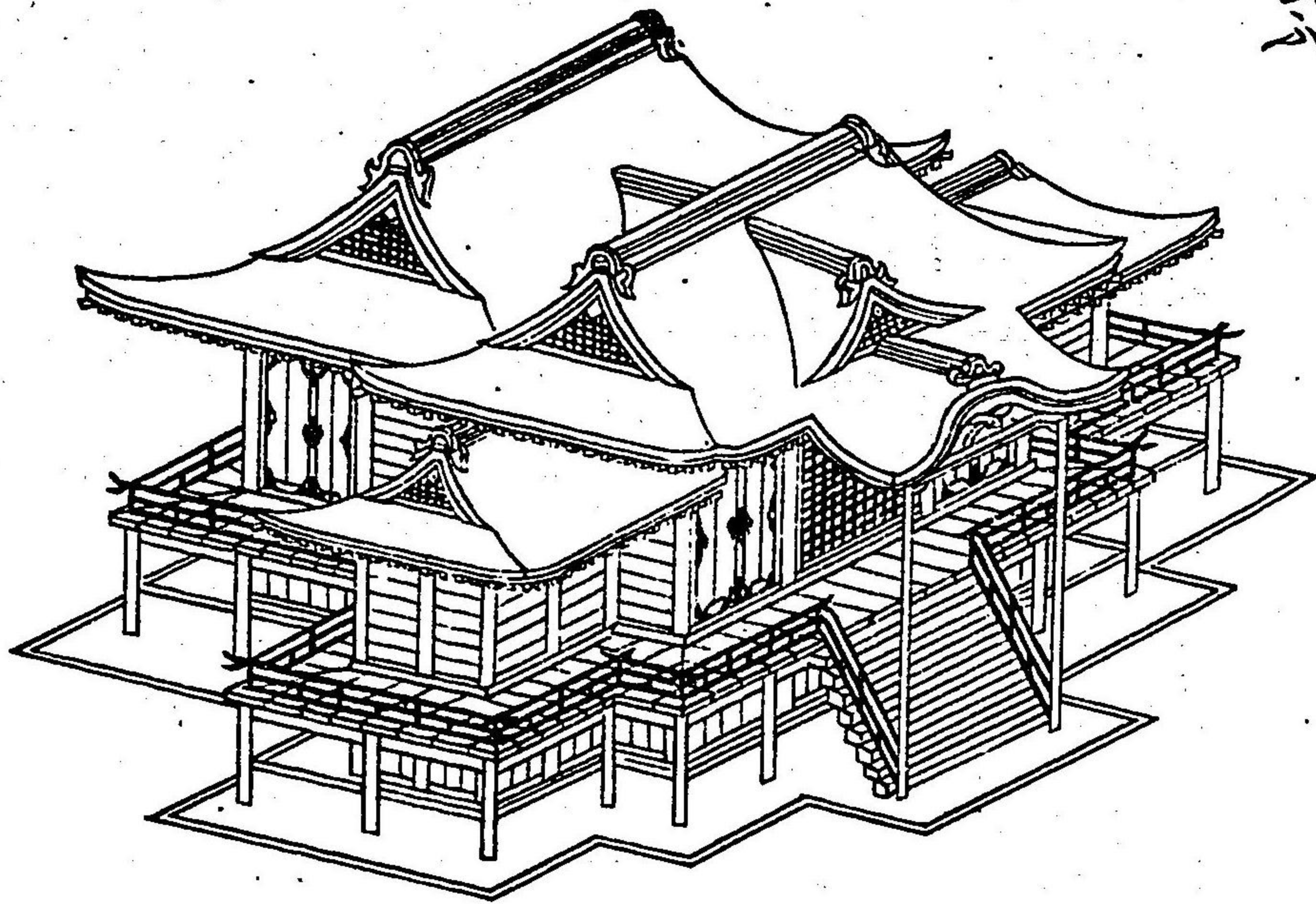


神宮造神殿圖

不取實金一糸



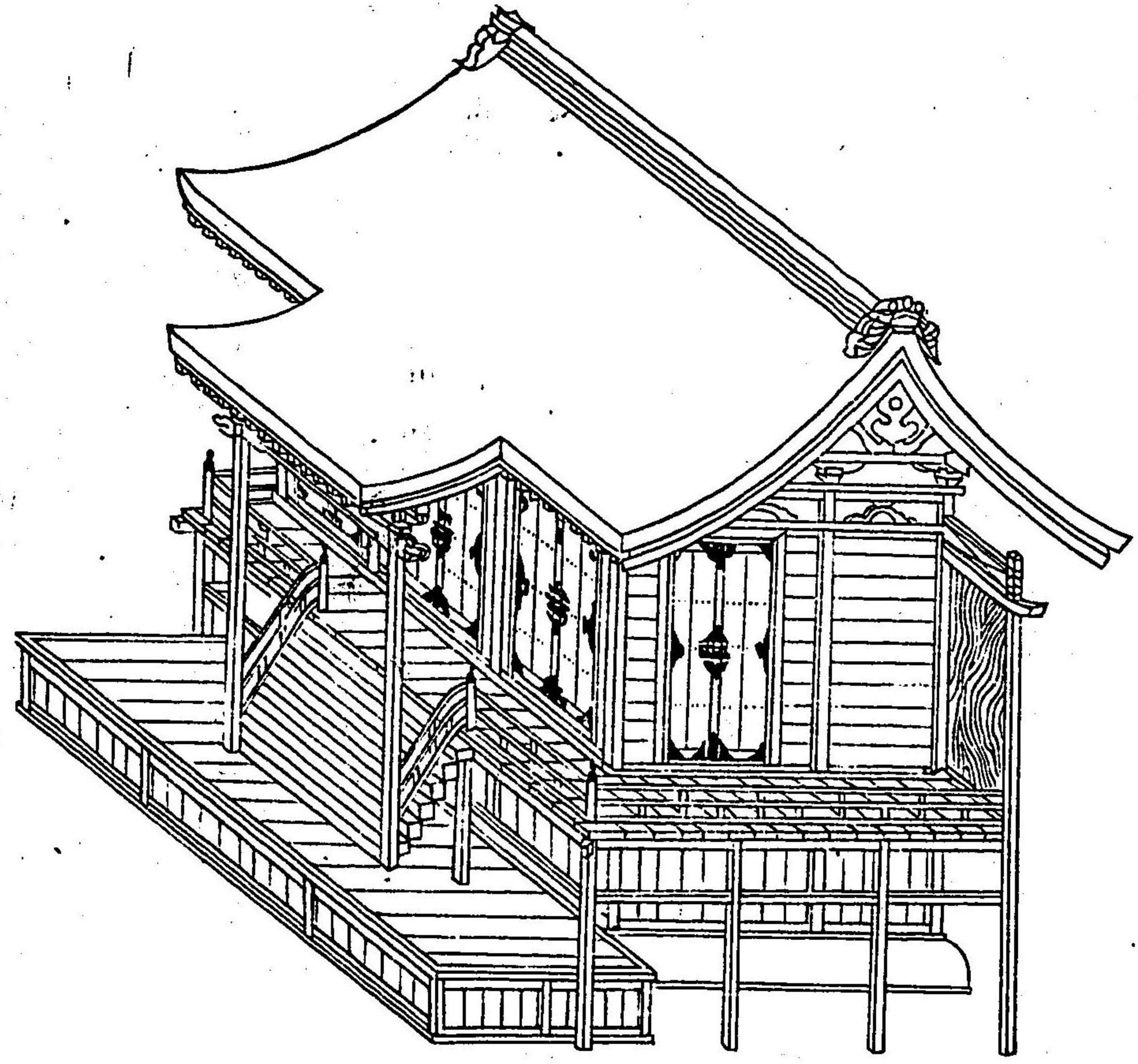
石間造神殿圖八棟造とも云ふ



申哉不盤二篇

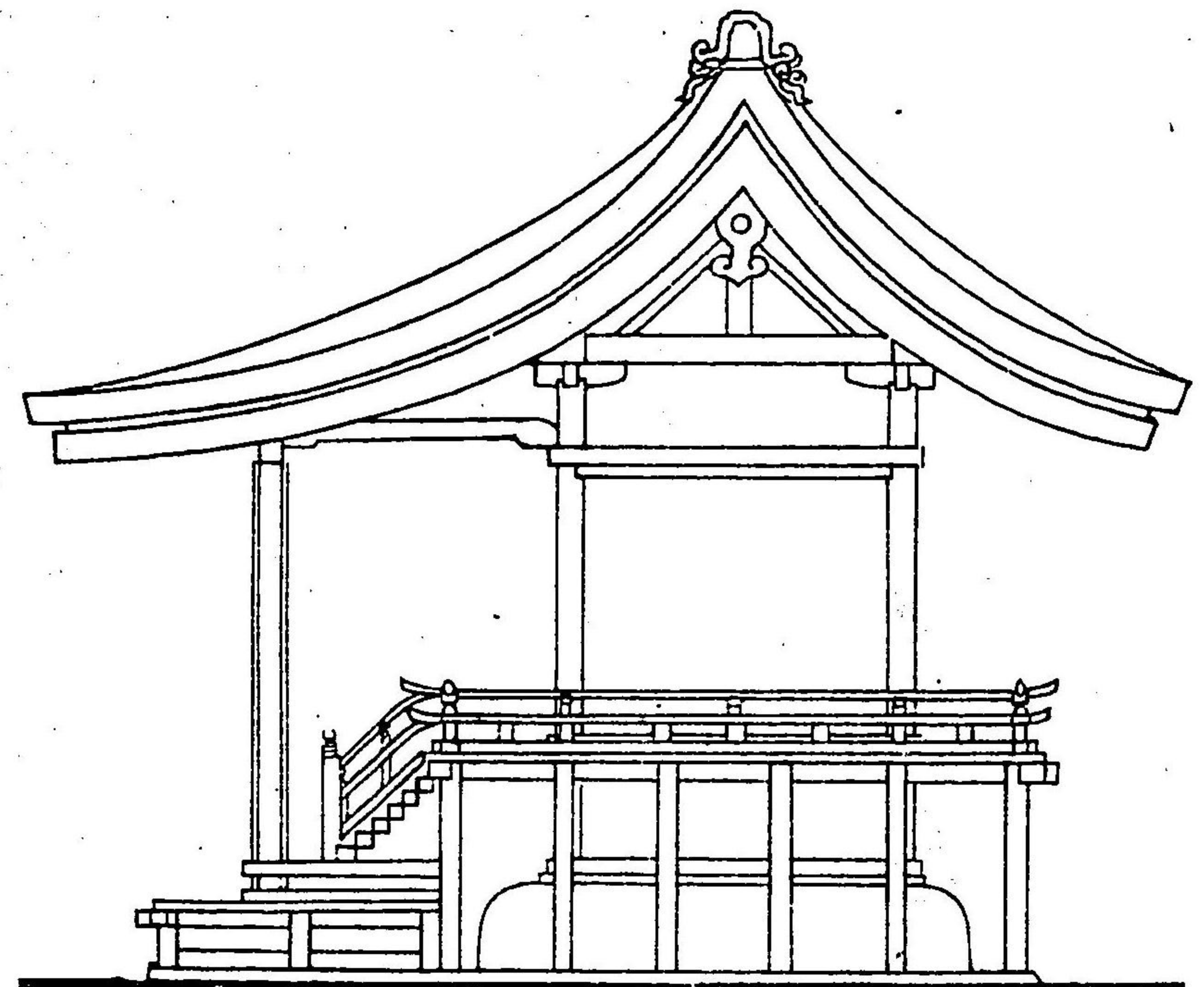
堂社造神殿圖

不取實金一糸



攝社制限圖

攝社本殿 大社



梁行一丈四分
桁行六尺五寸
椽幅二尺一寸
椽共坪数三坪六合

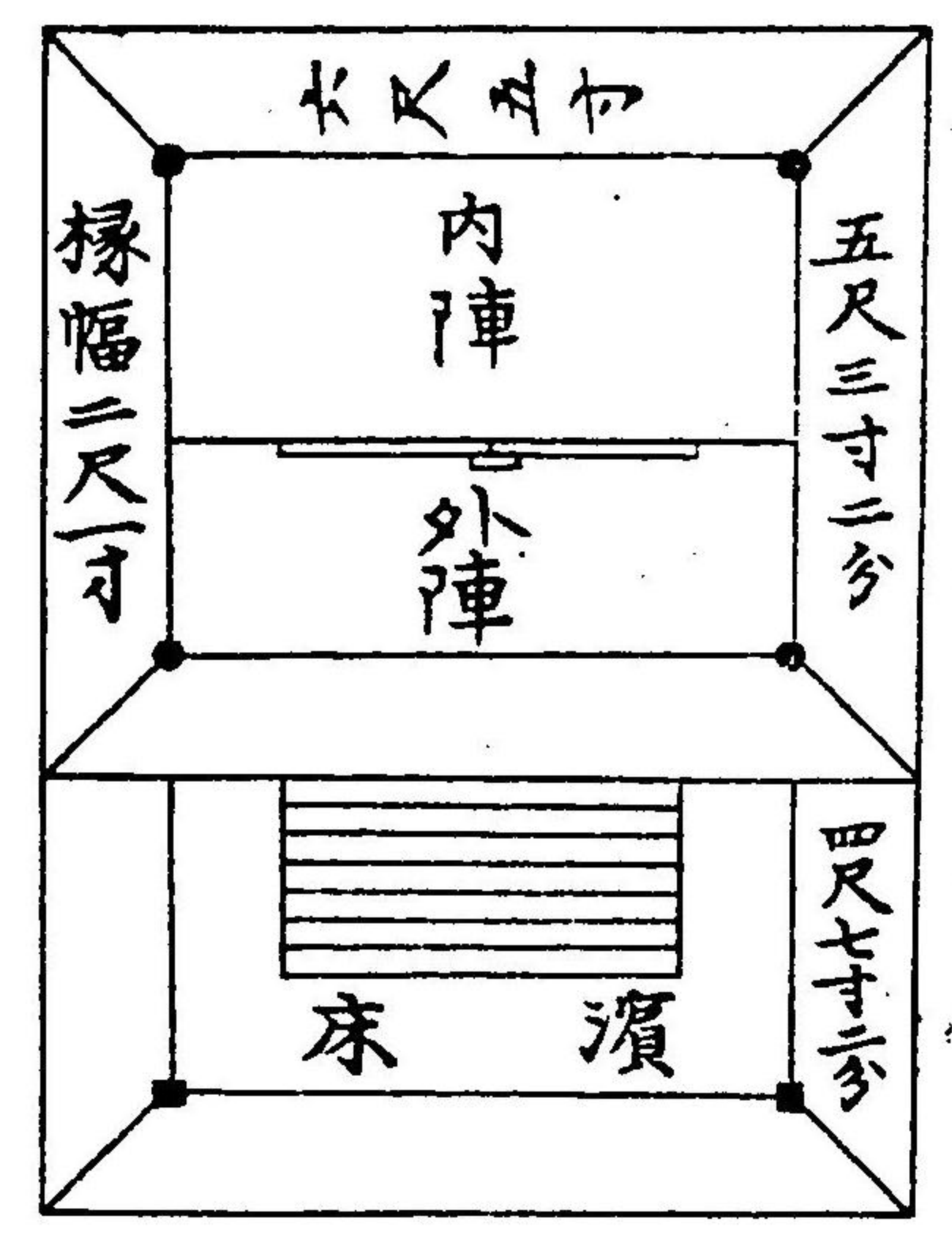
中社

梁行八尺八寸
桁行五尺五寸
椽幅一尺八寸
椽共坪数二坪六合七分

小社

梁行七尺二寸
桁行四尺五寸
椽幅一尺四寸五分
椽共坪数一坪七分

同社敷圖



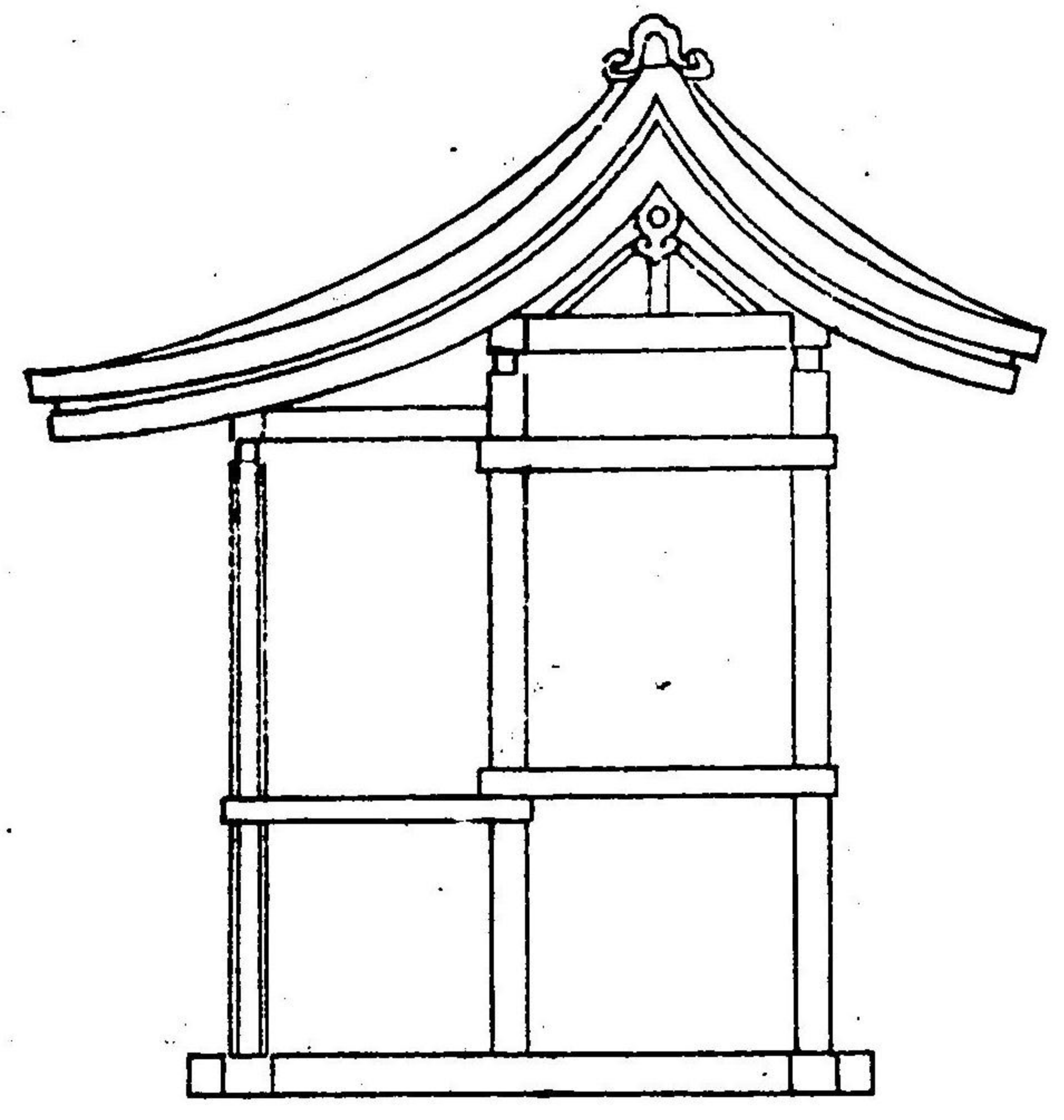
申哉子益二篇

末社制限圖

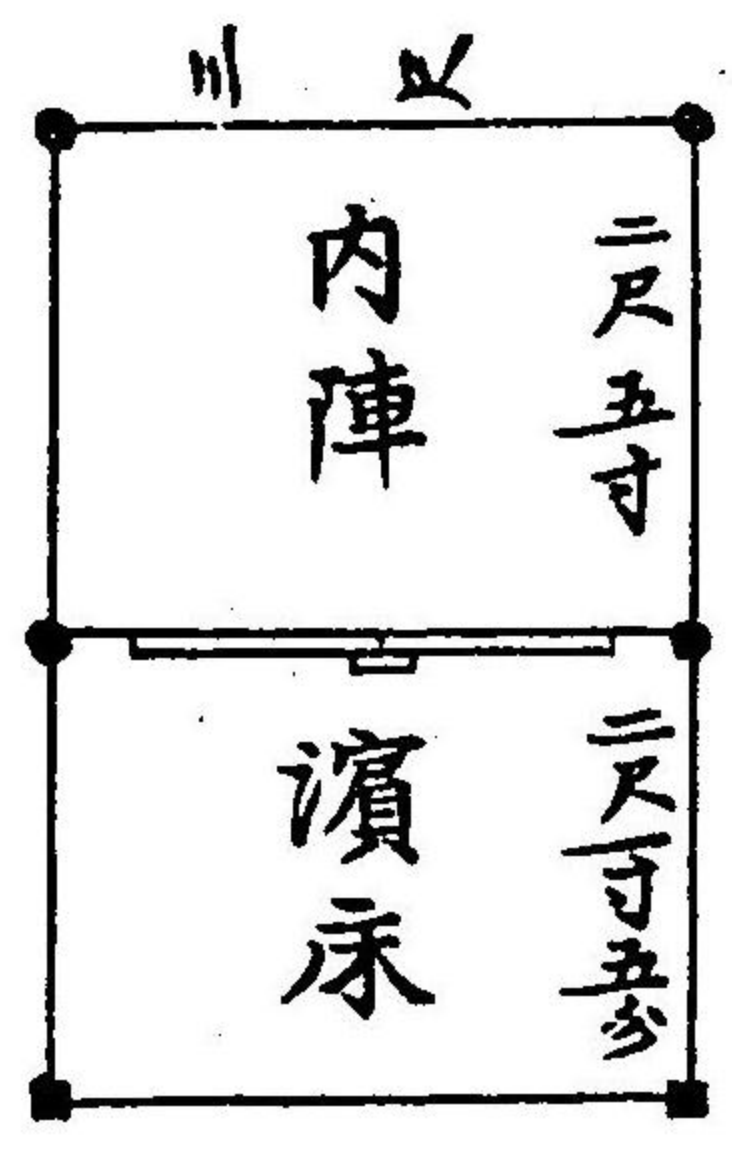
大社 梁行四尺寸五分
桁行三尺

中社 梁行三尺九寸
桁行六尺五寸

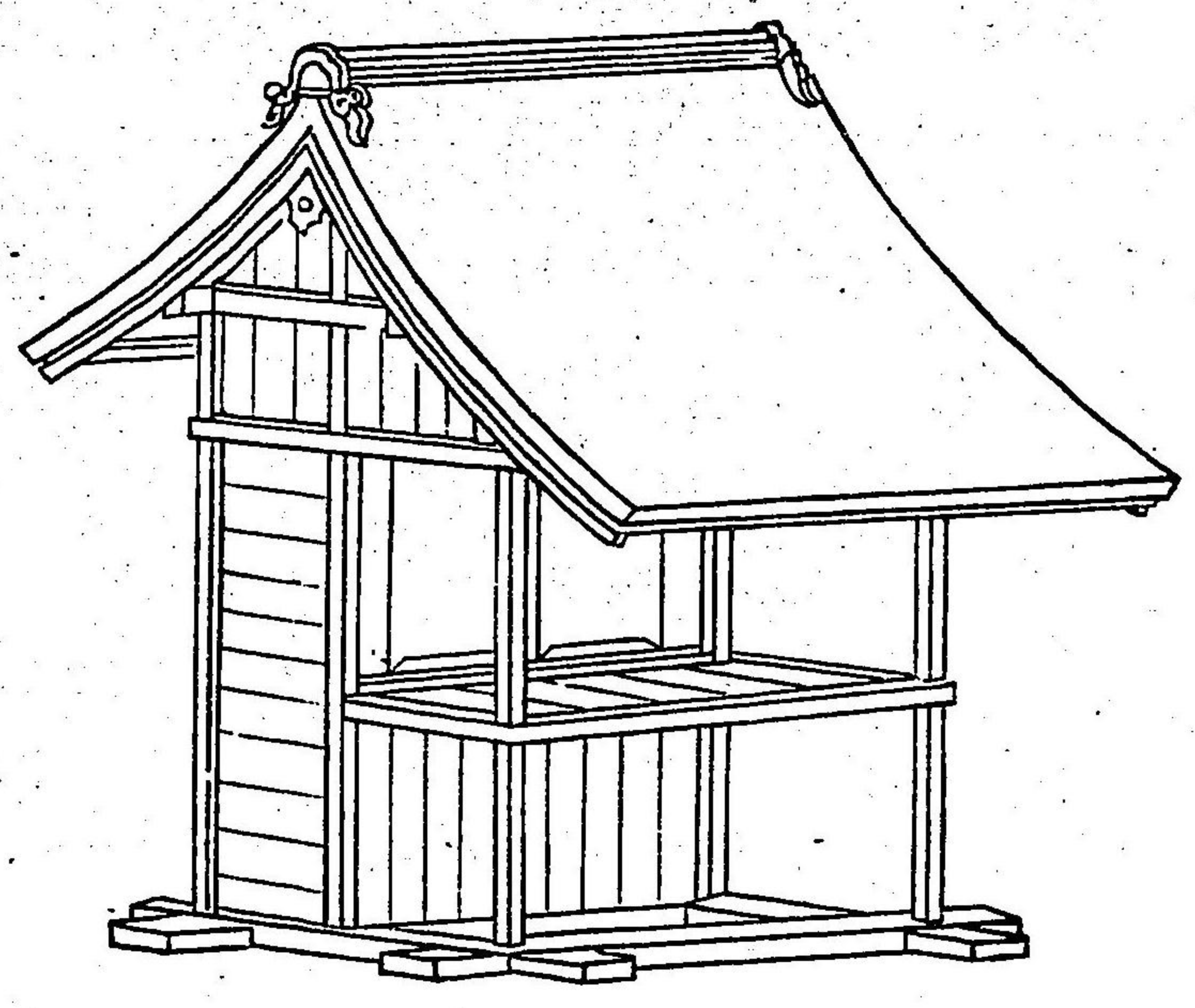
小社 梁行三尺五寸
桁行六尺



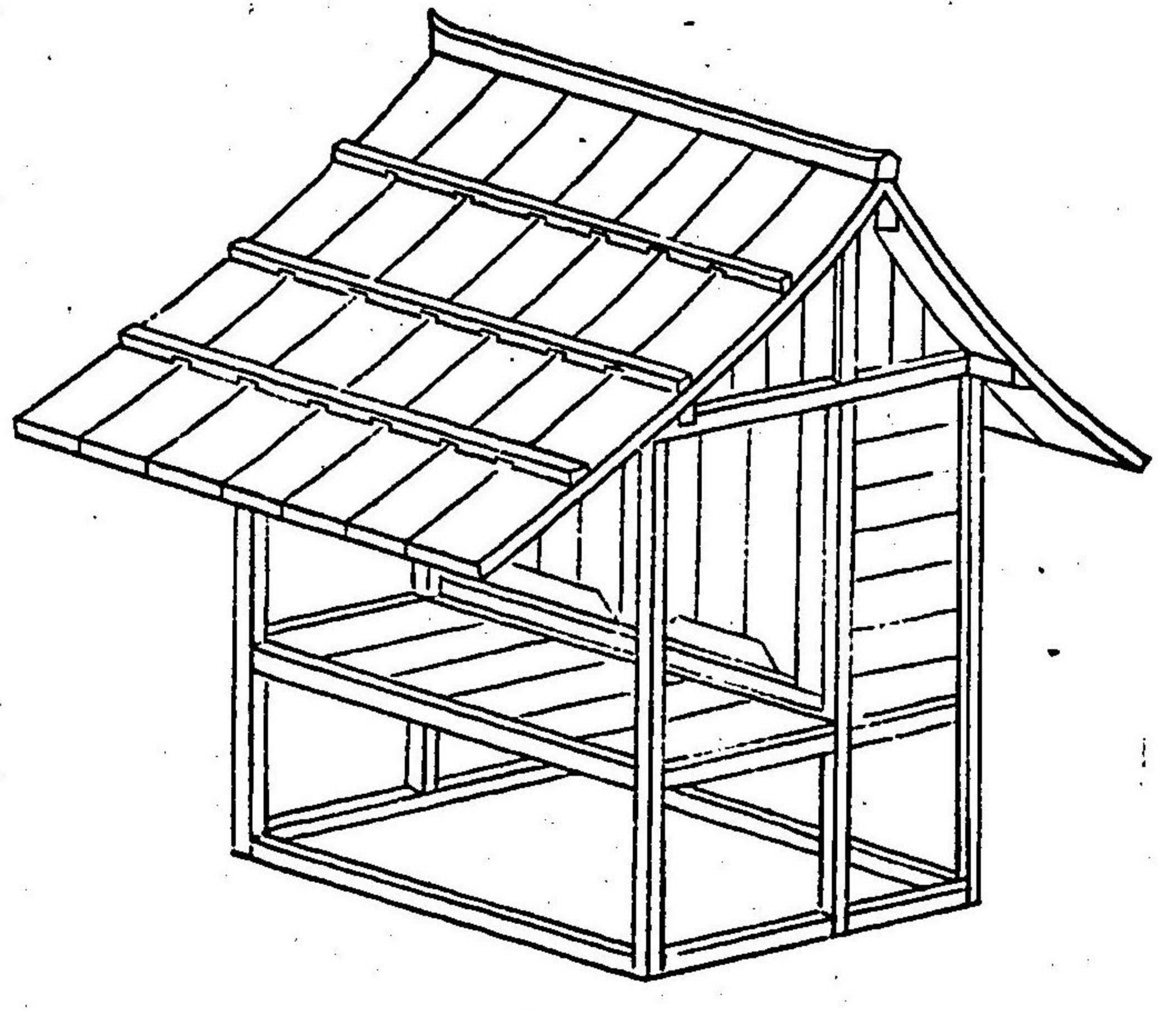
同敷図



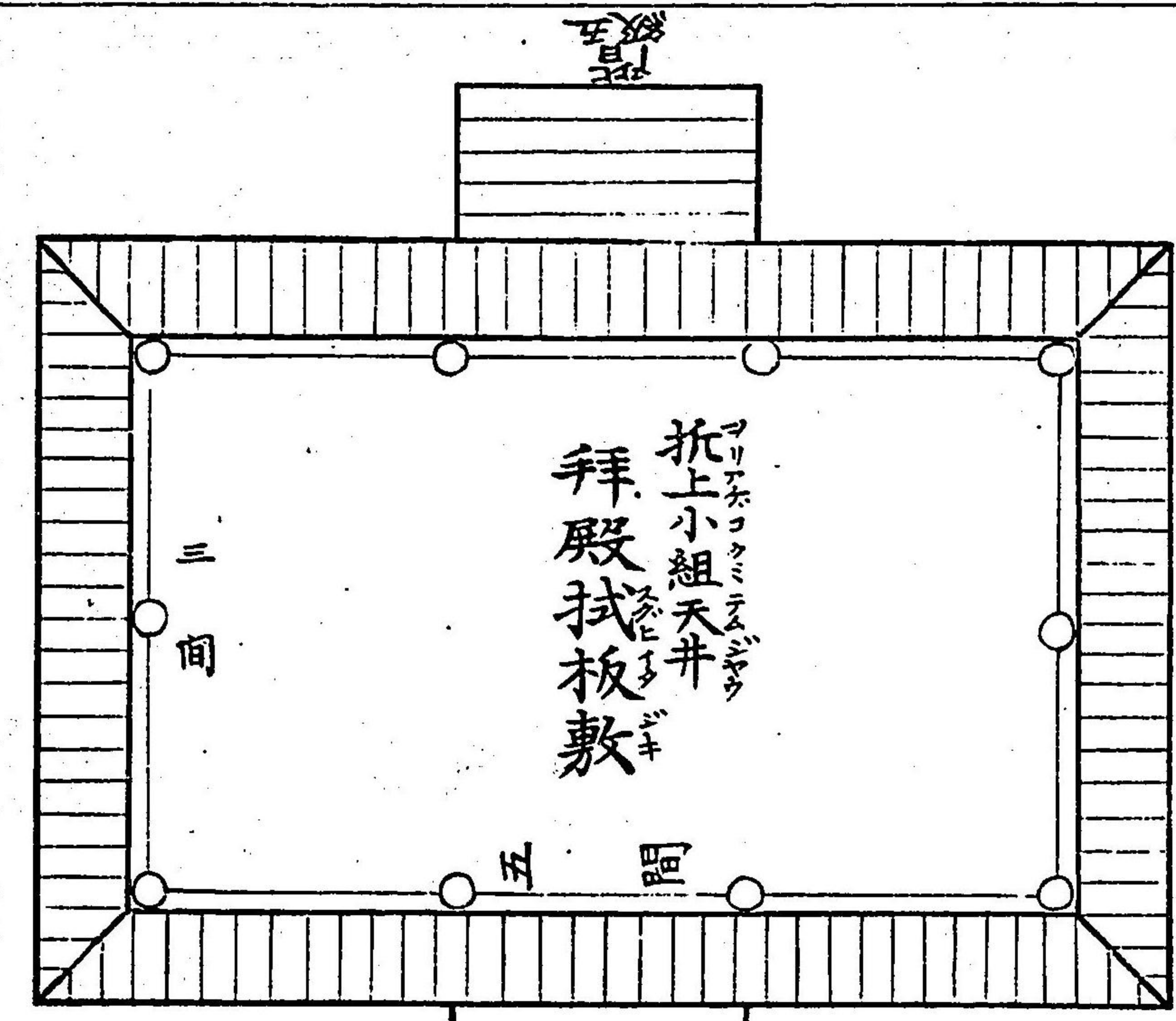
末社又圖



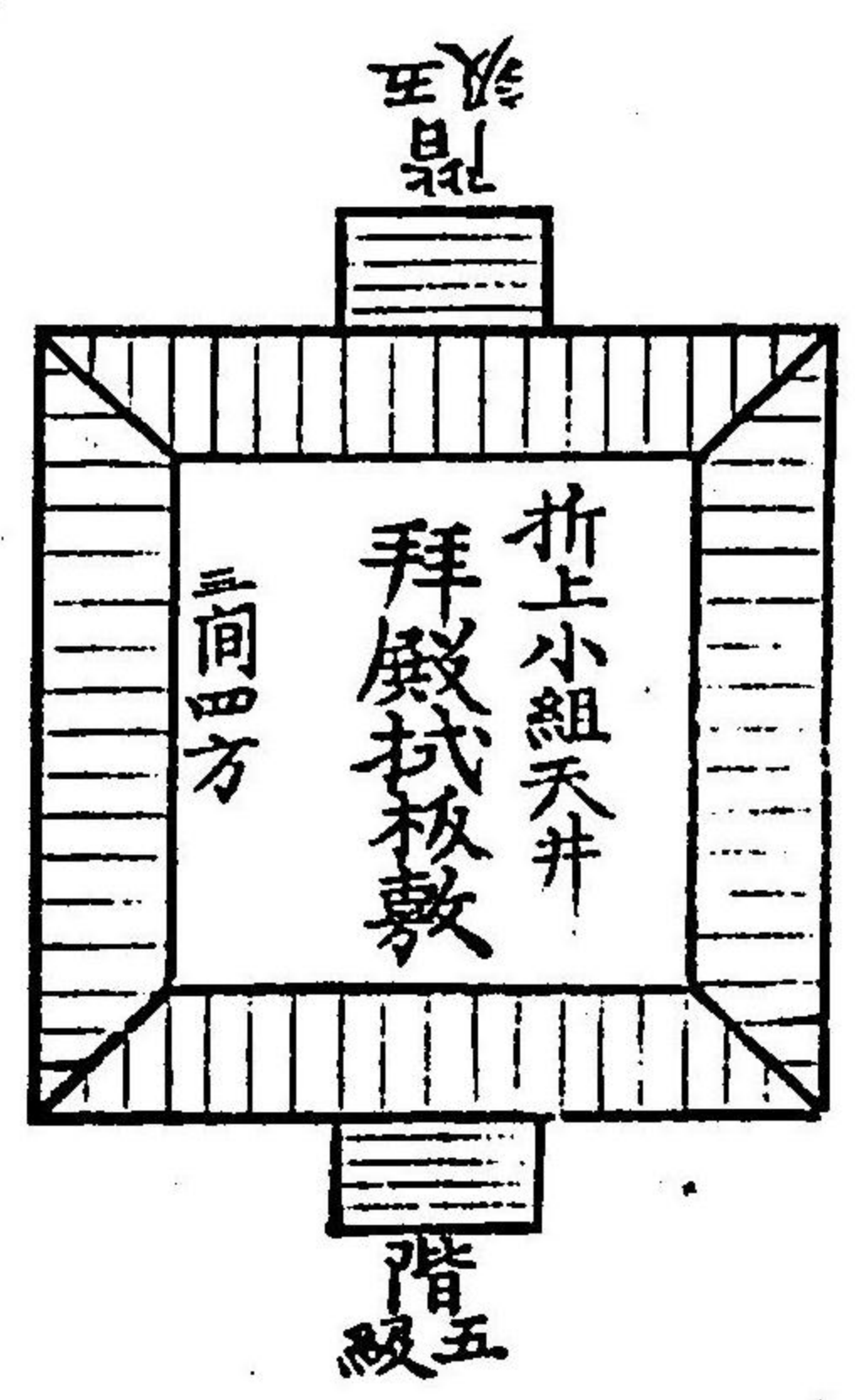
同



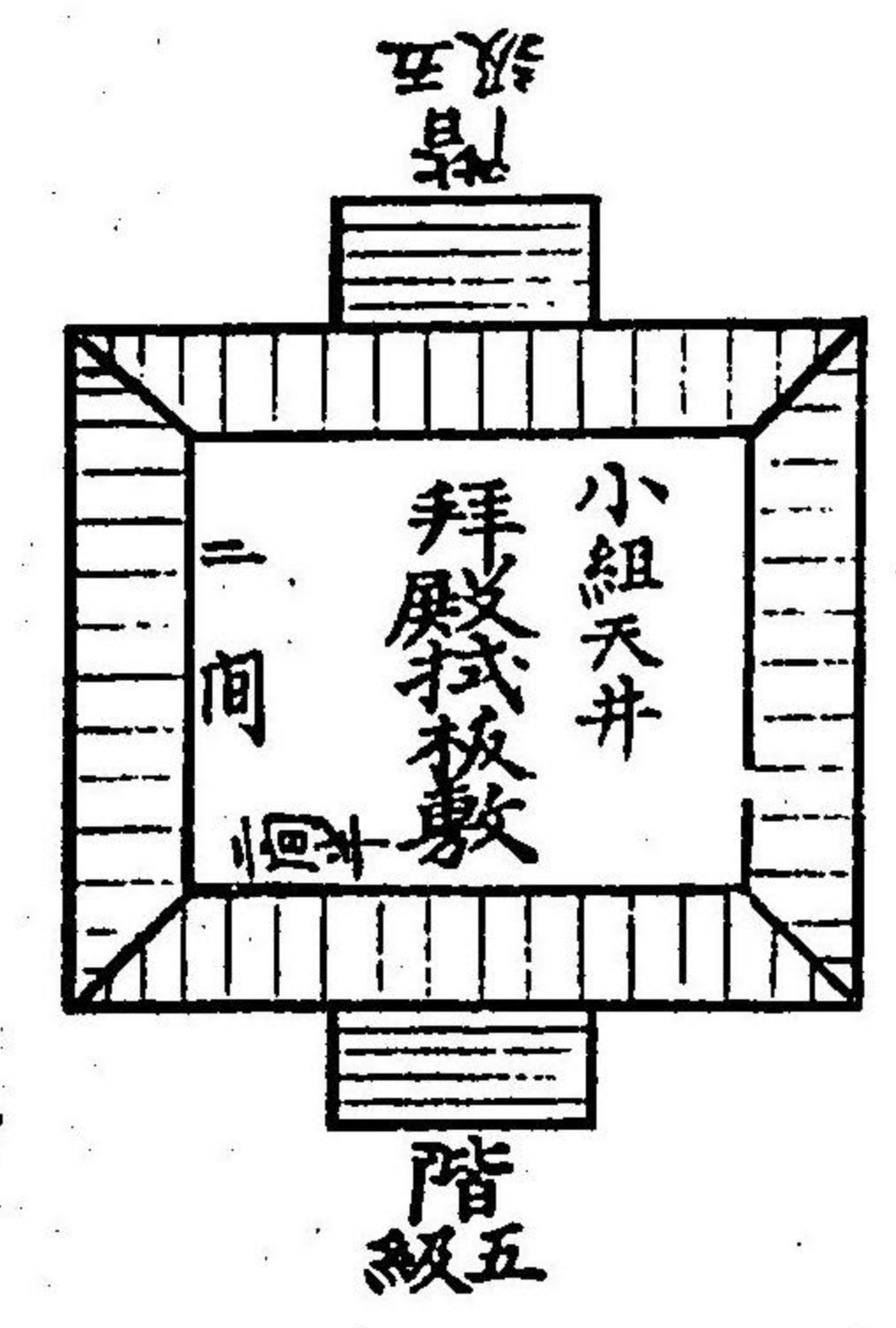
大社拜殿制限敷圖 舞殿とも云ふ



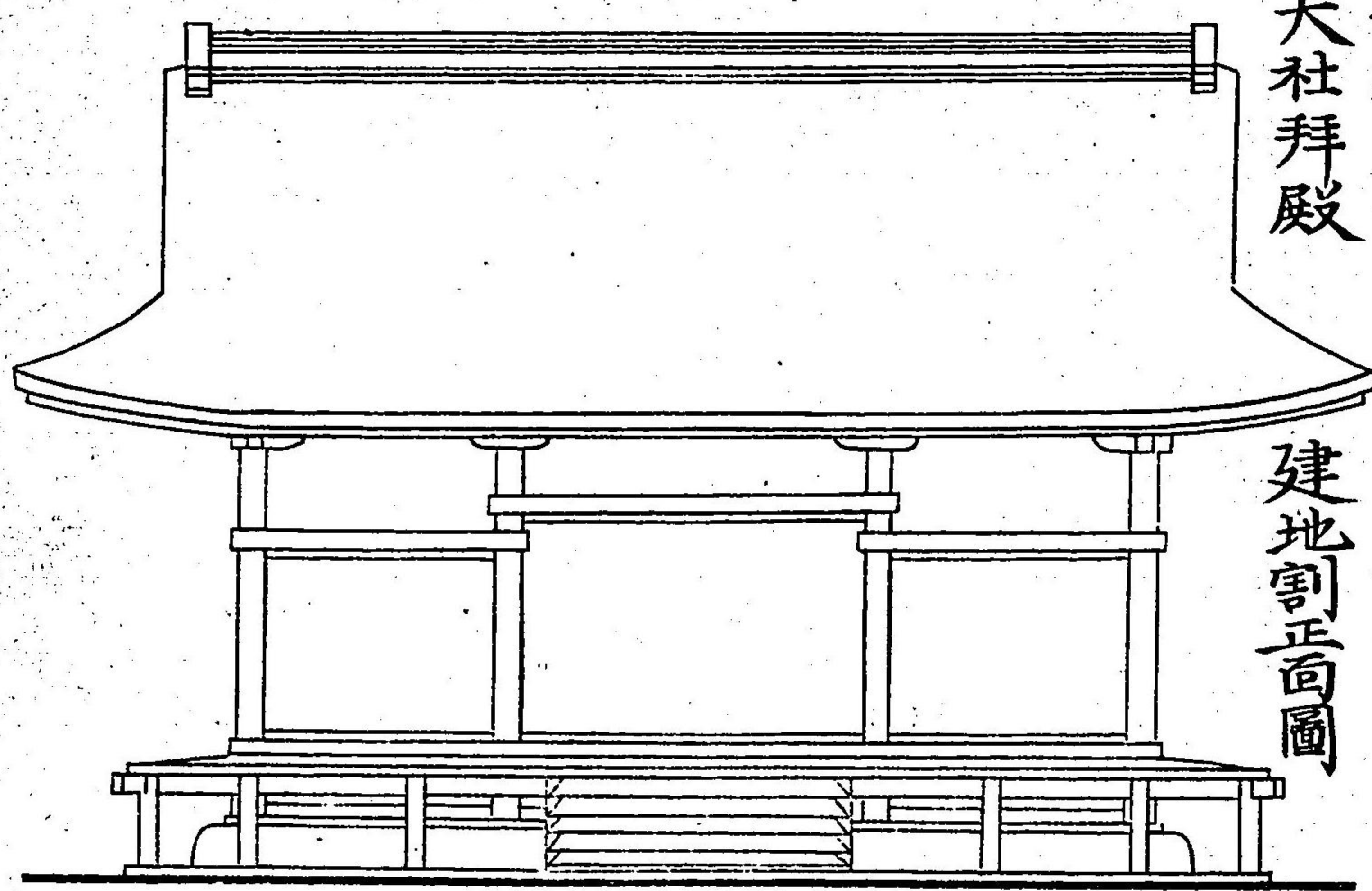
中社拜殿制限敷圖



小社拜殿制限敷圖

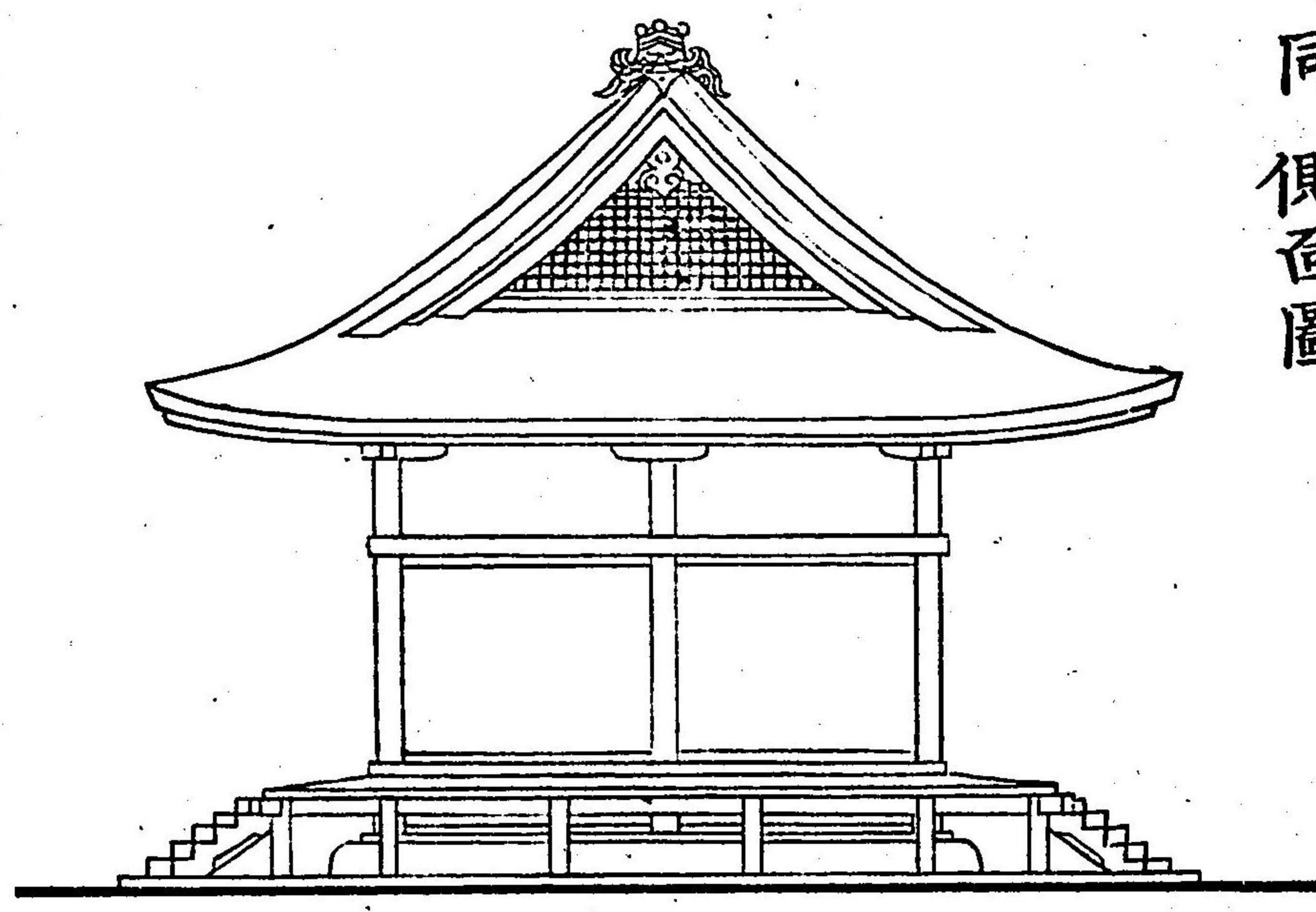


大社拜殿

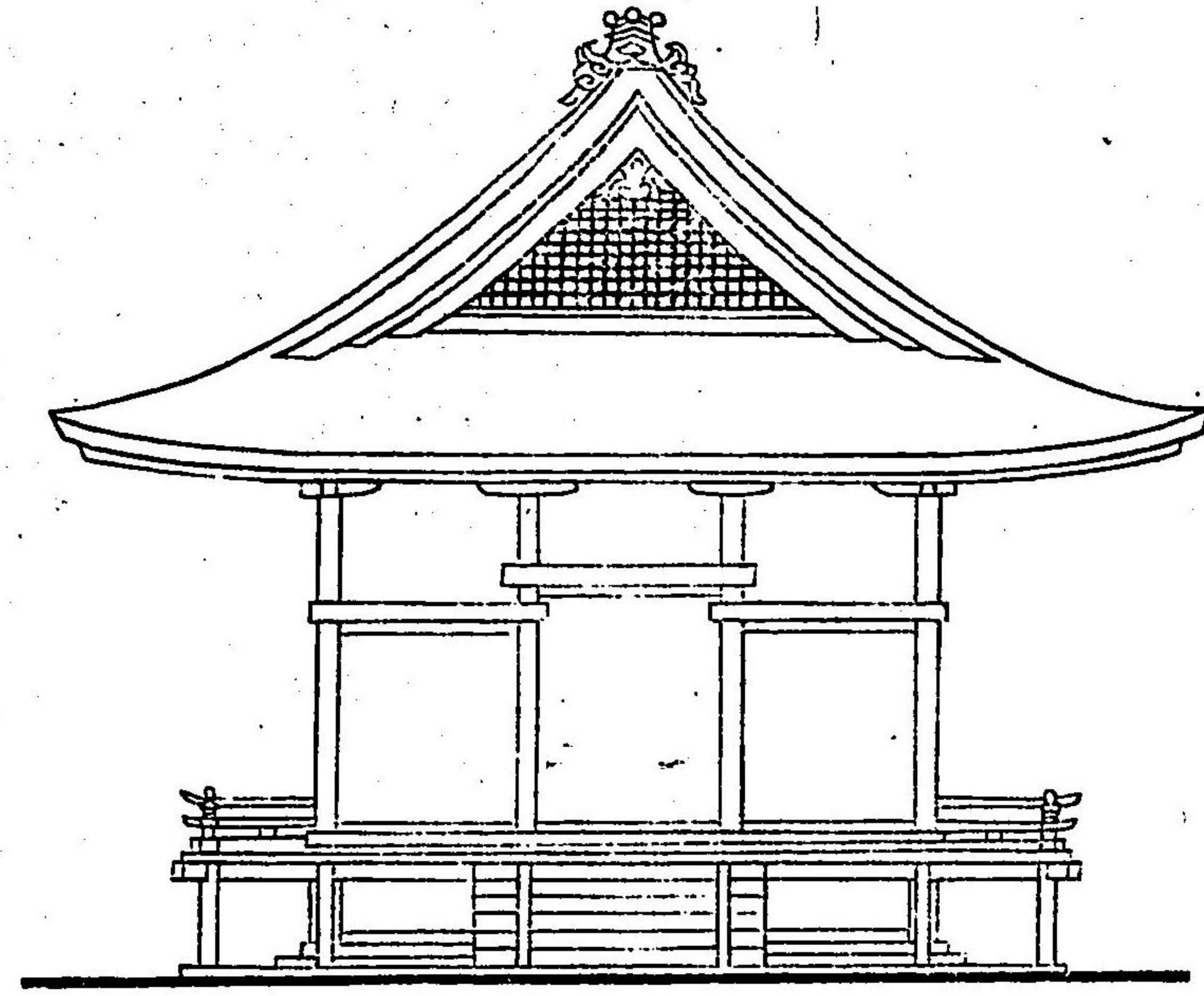


建地割正面圖

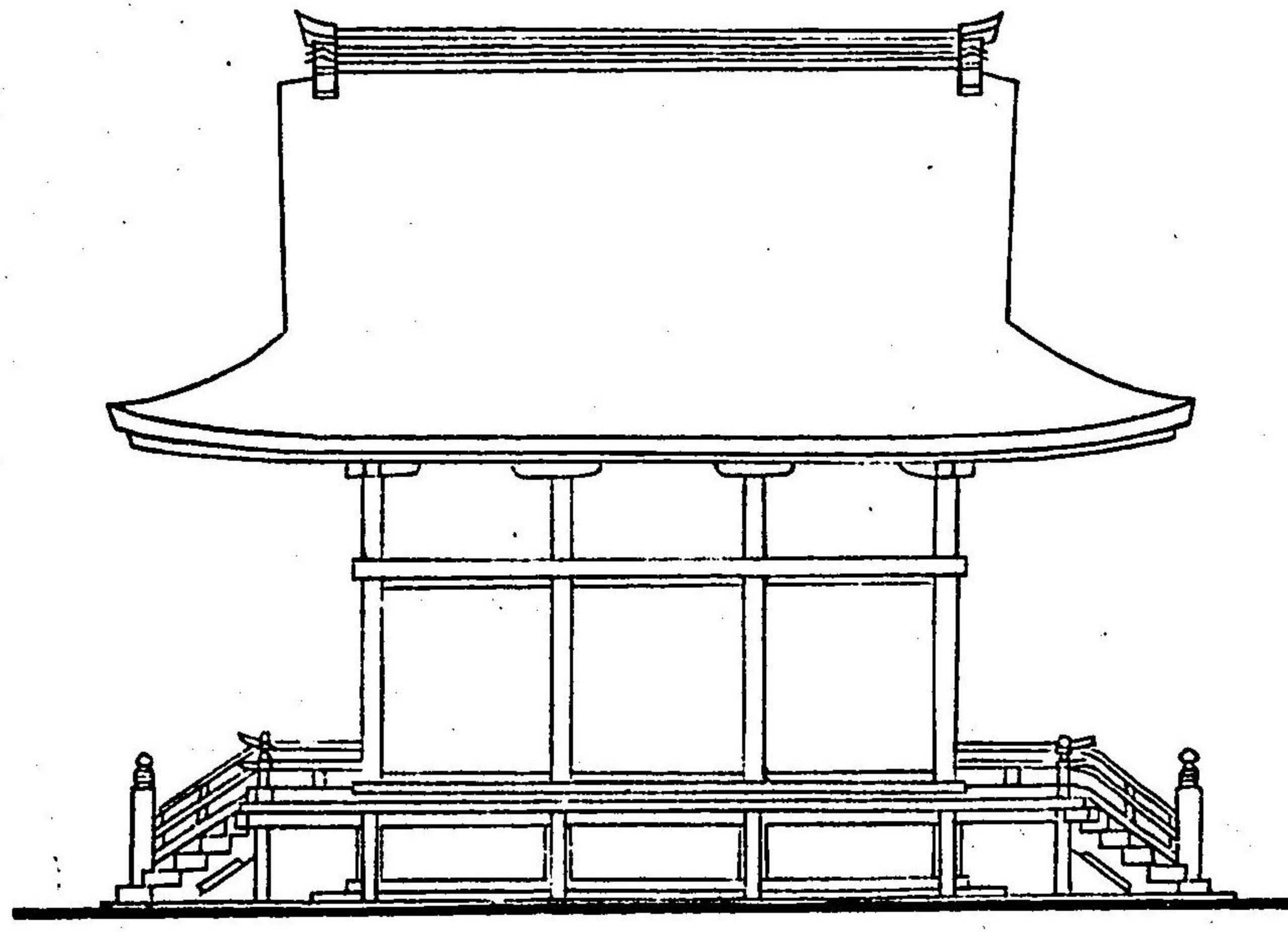
同側面圖



中社拜殿建地割正面圖

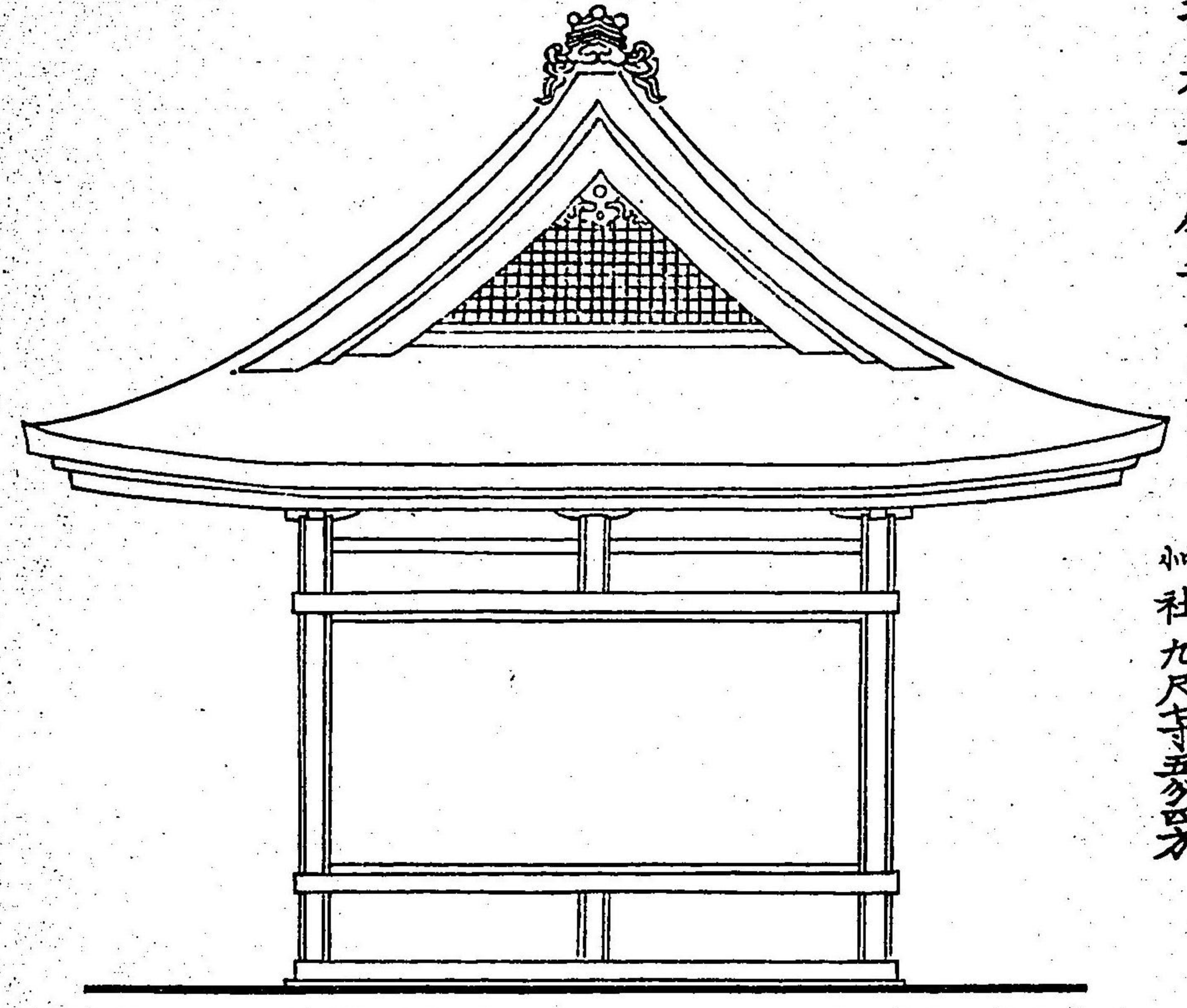


同側面圖



攝社拜殿制限圖

大社一丈三尺四方
神社九尺寺五尺

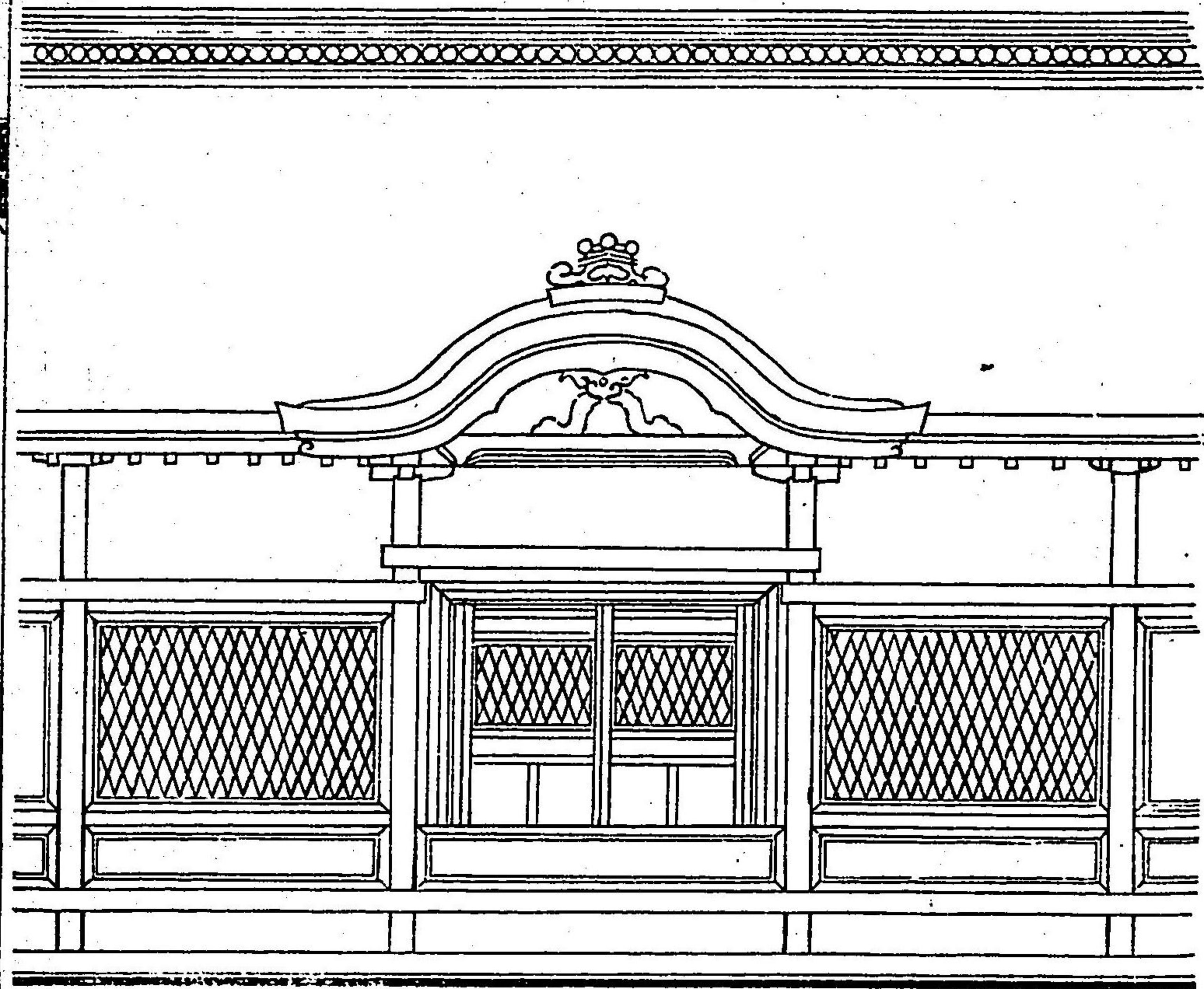


同敷圖

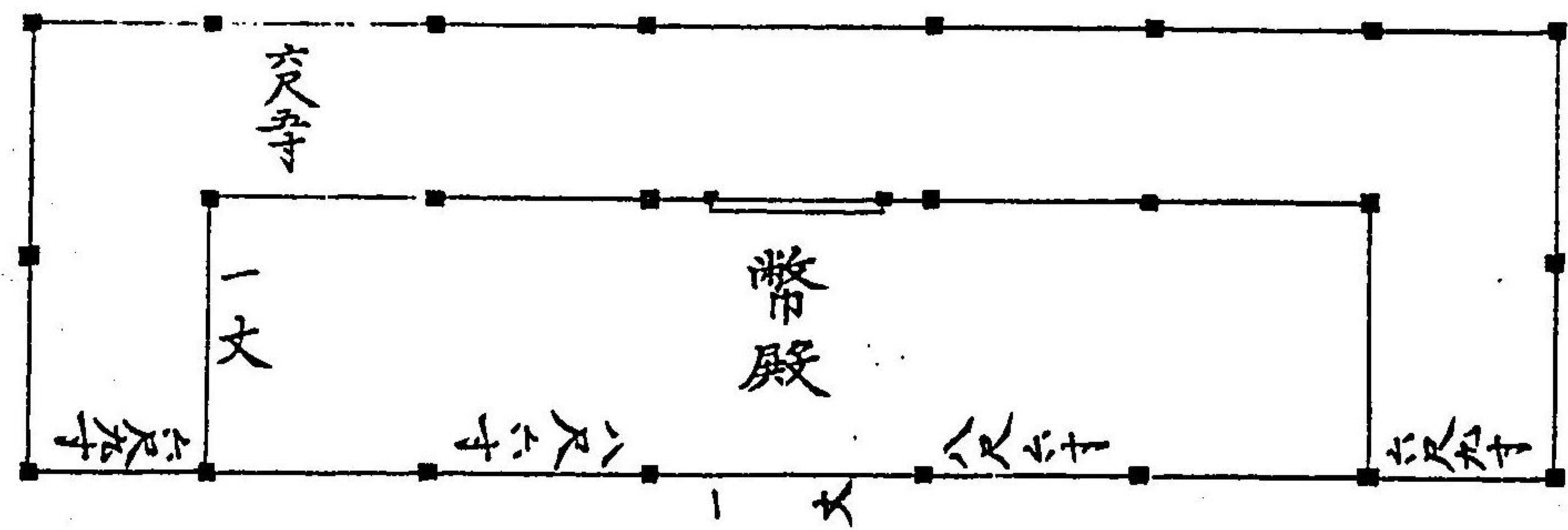


格^ゴ天^{テン}井^{キョウ}
拭^ヒ板^{イタ}敷^シ

中幣正殿
門面圖

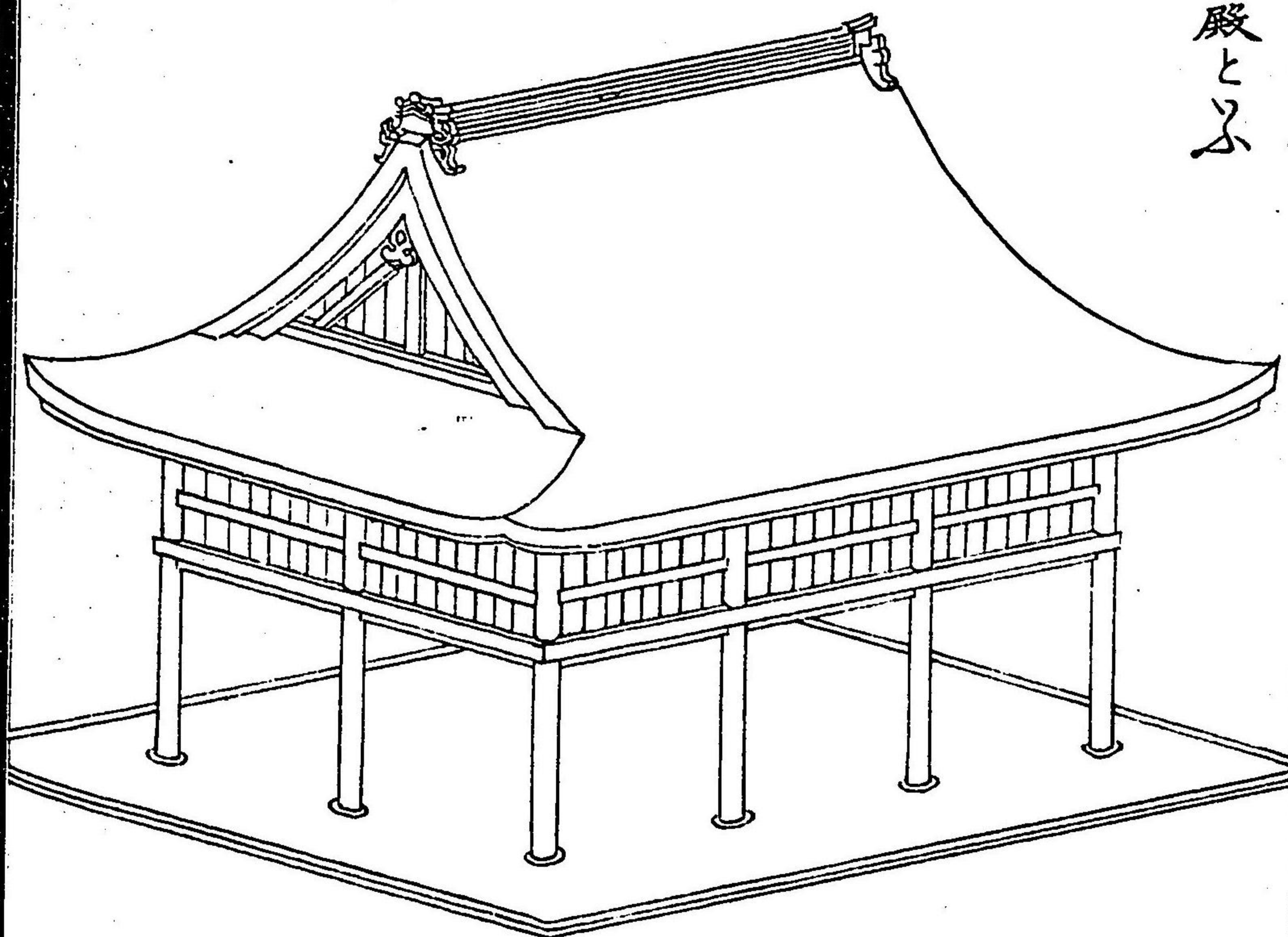


同敷圖



拜所圖

俗に土間拜殿と云ふ

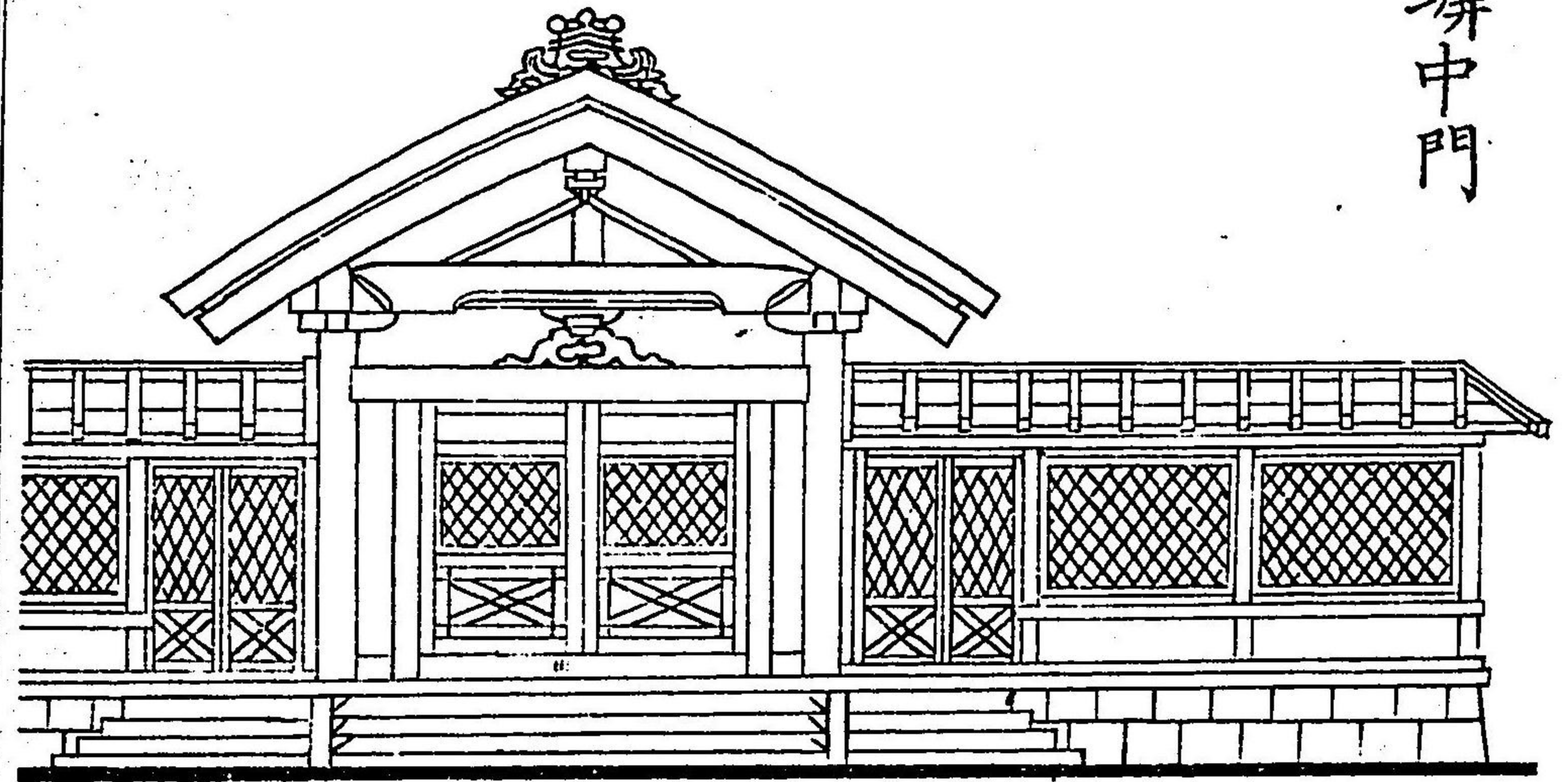


不取寶鏡上糸

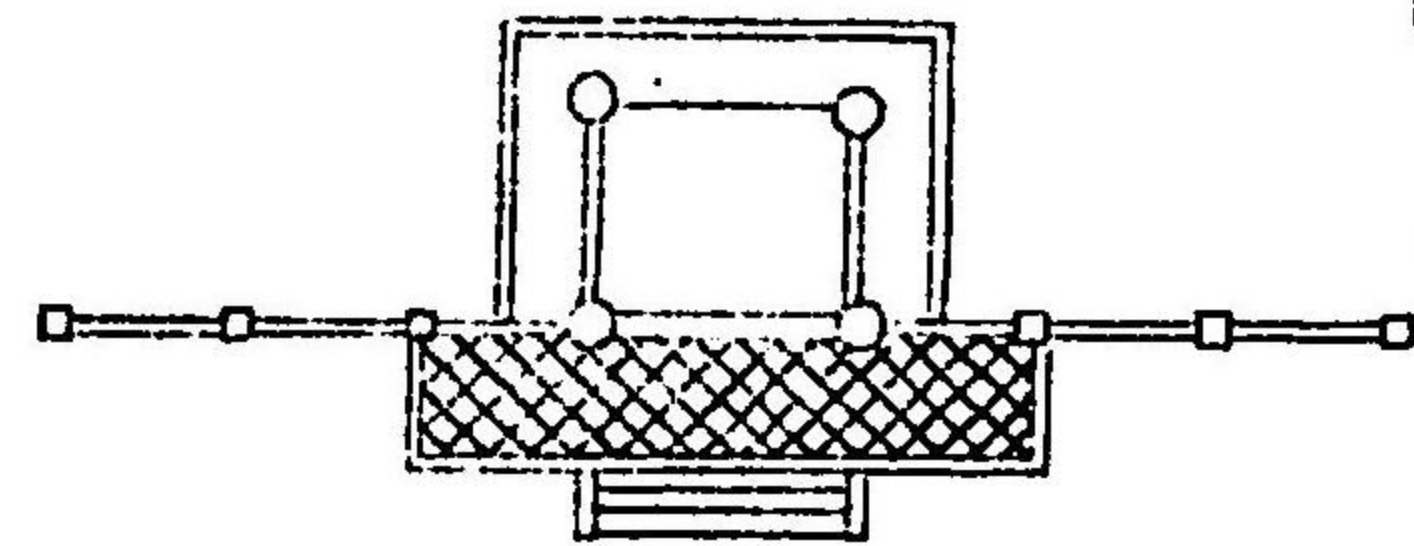
申儀字盤二番

十三

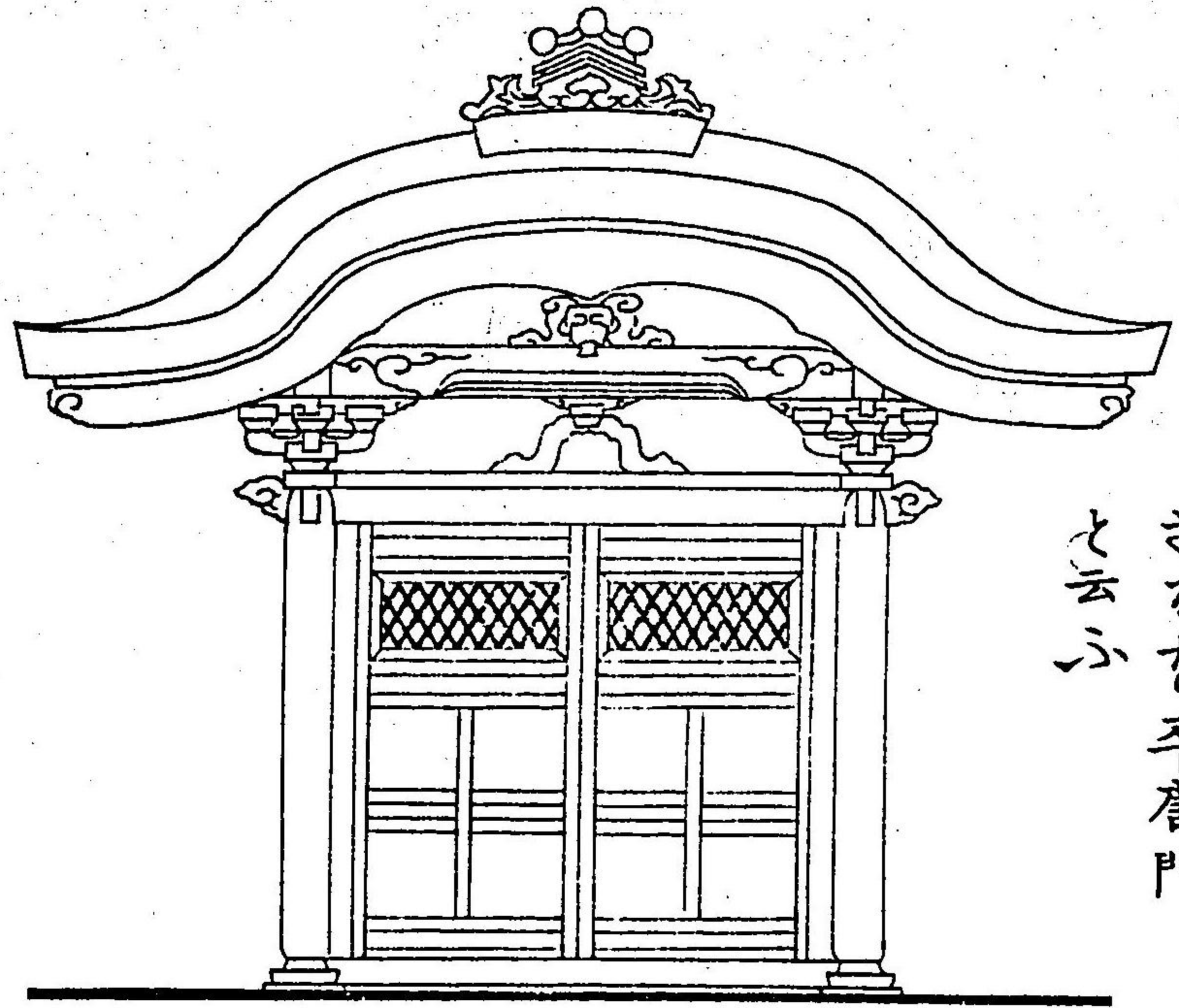
官國幣社透塀中門
祝詞屋圖



同敷圖

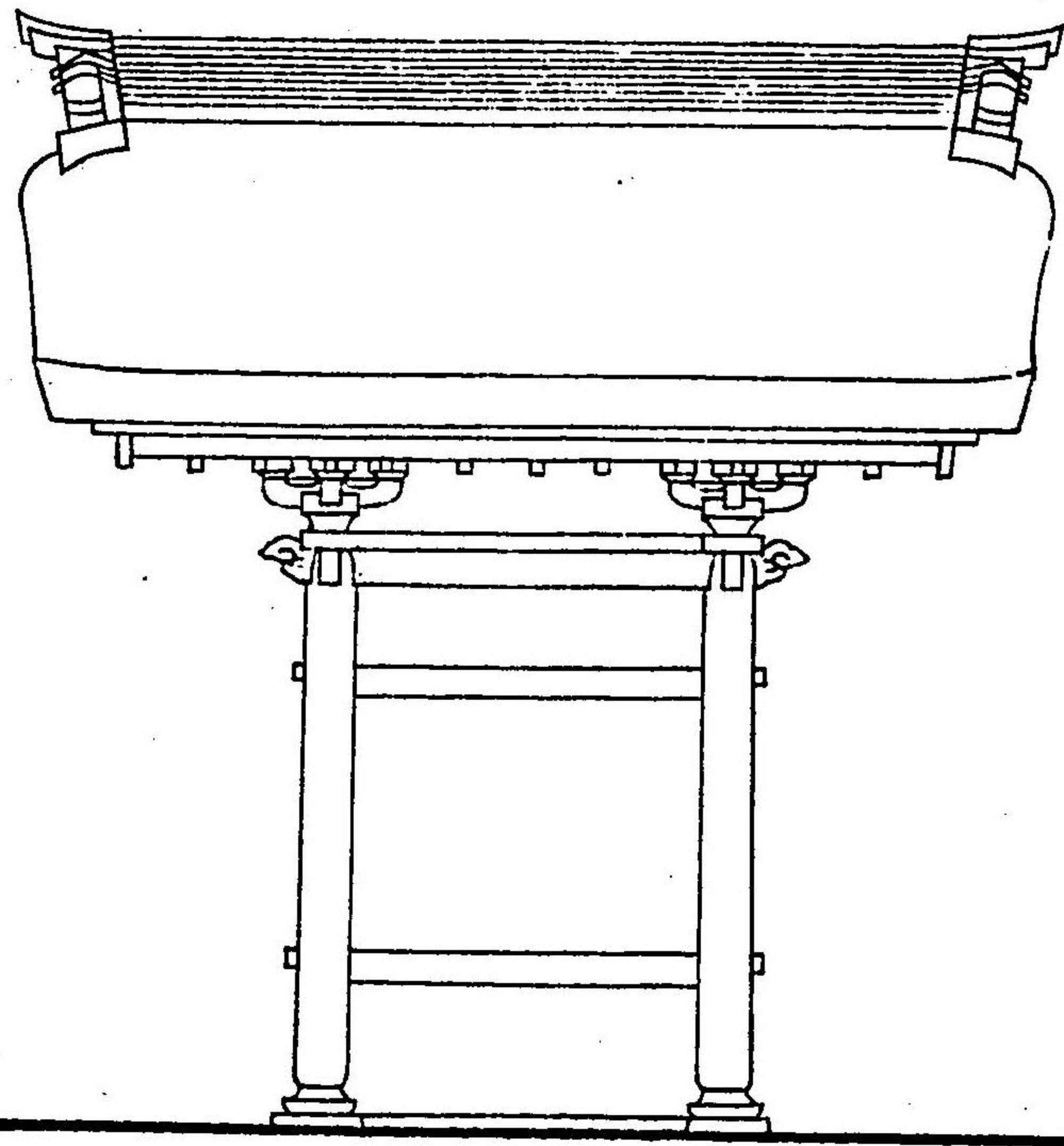


唐門正面圖

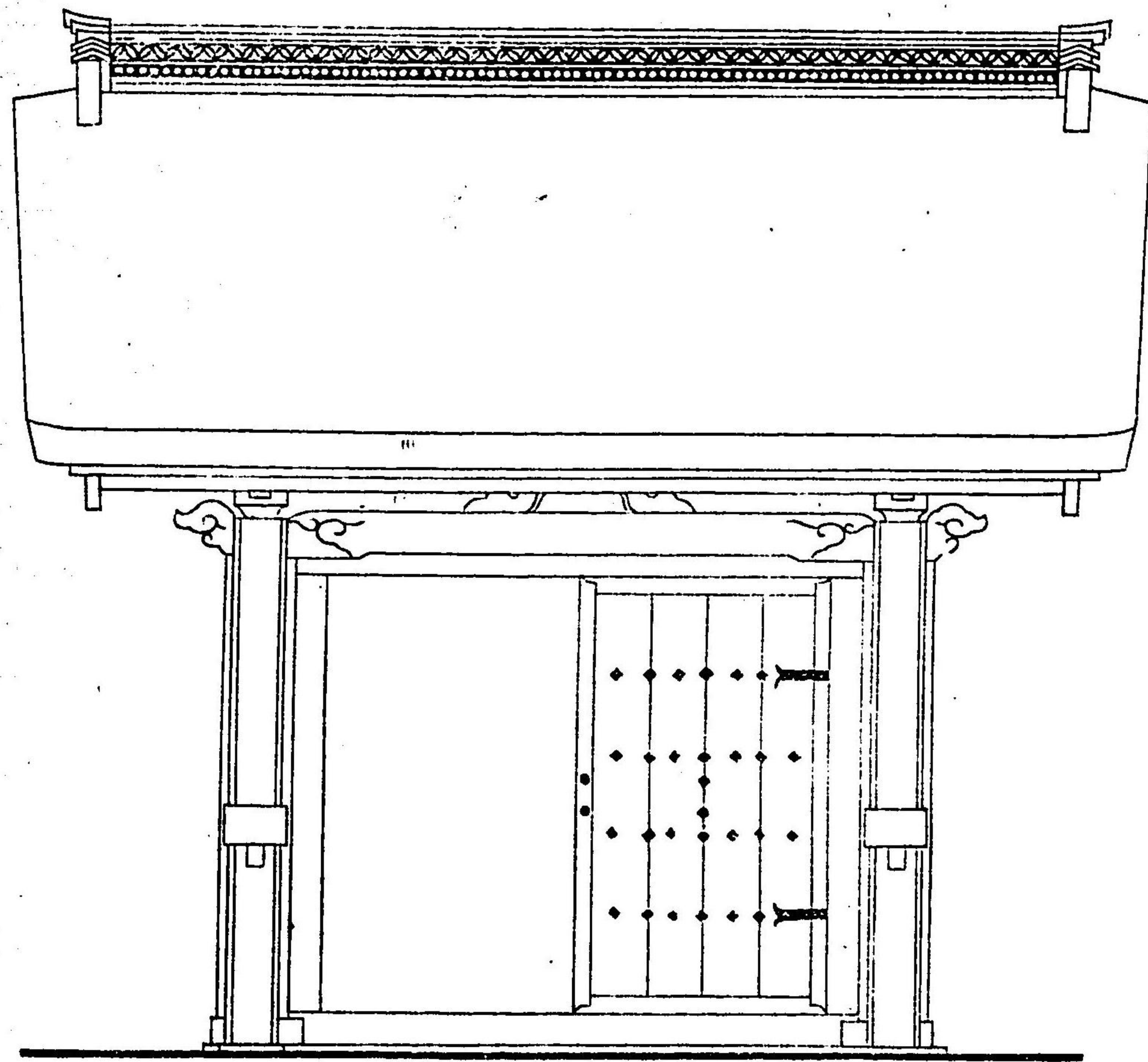


又破風を側面
に四脚なら
ざるを平唐門
と云ふ

同側面圖

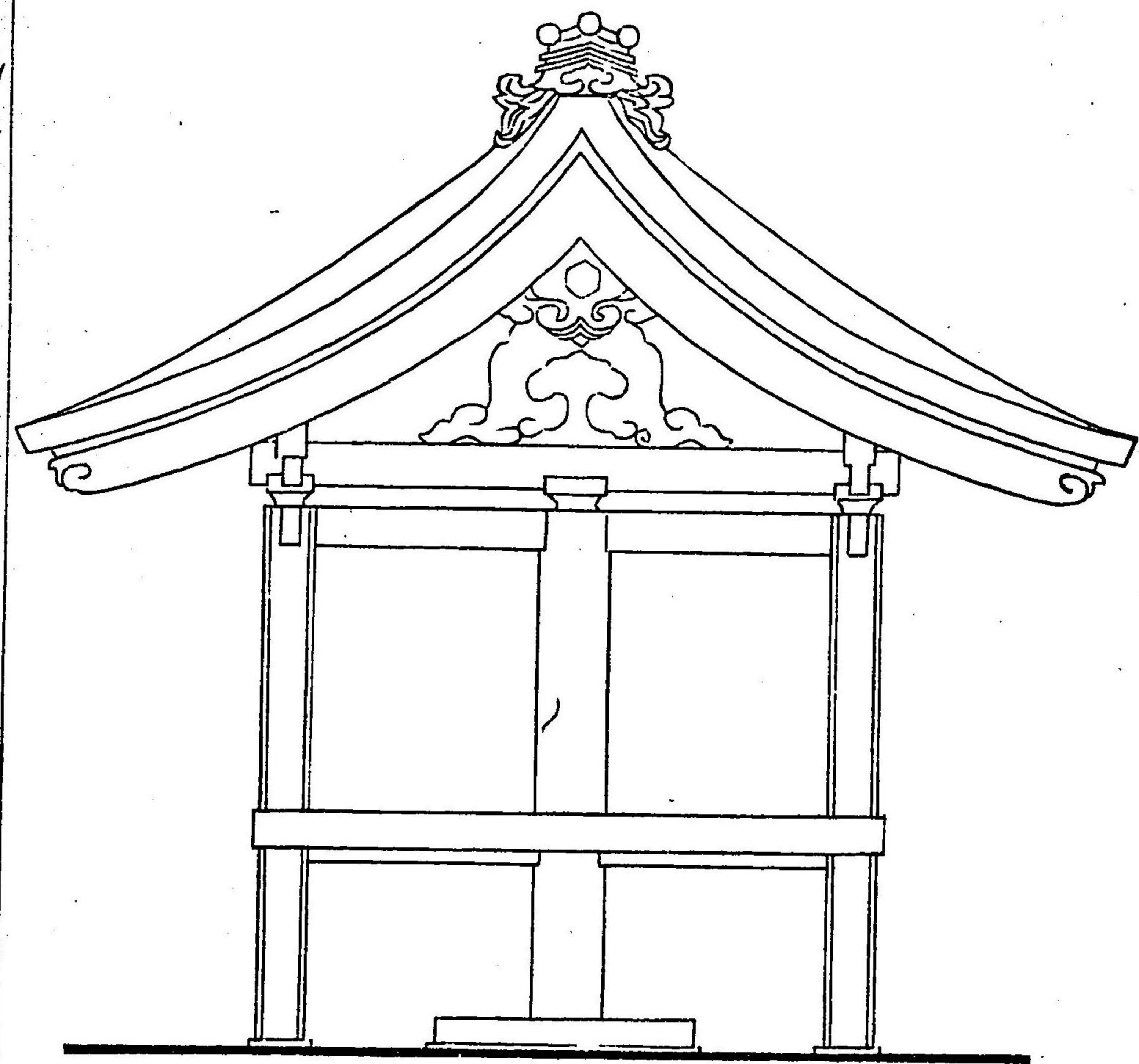


中門正面圖



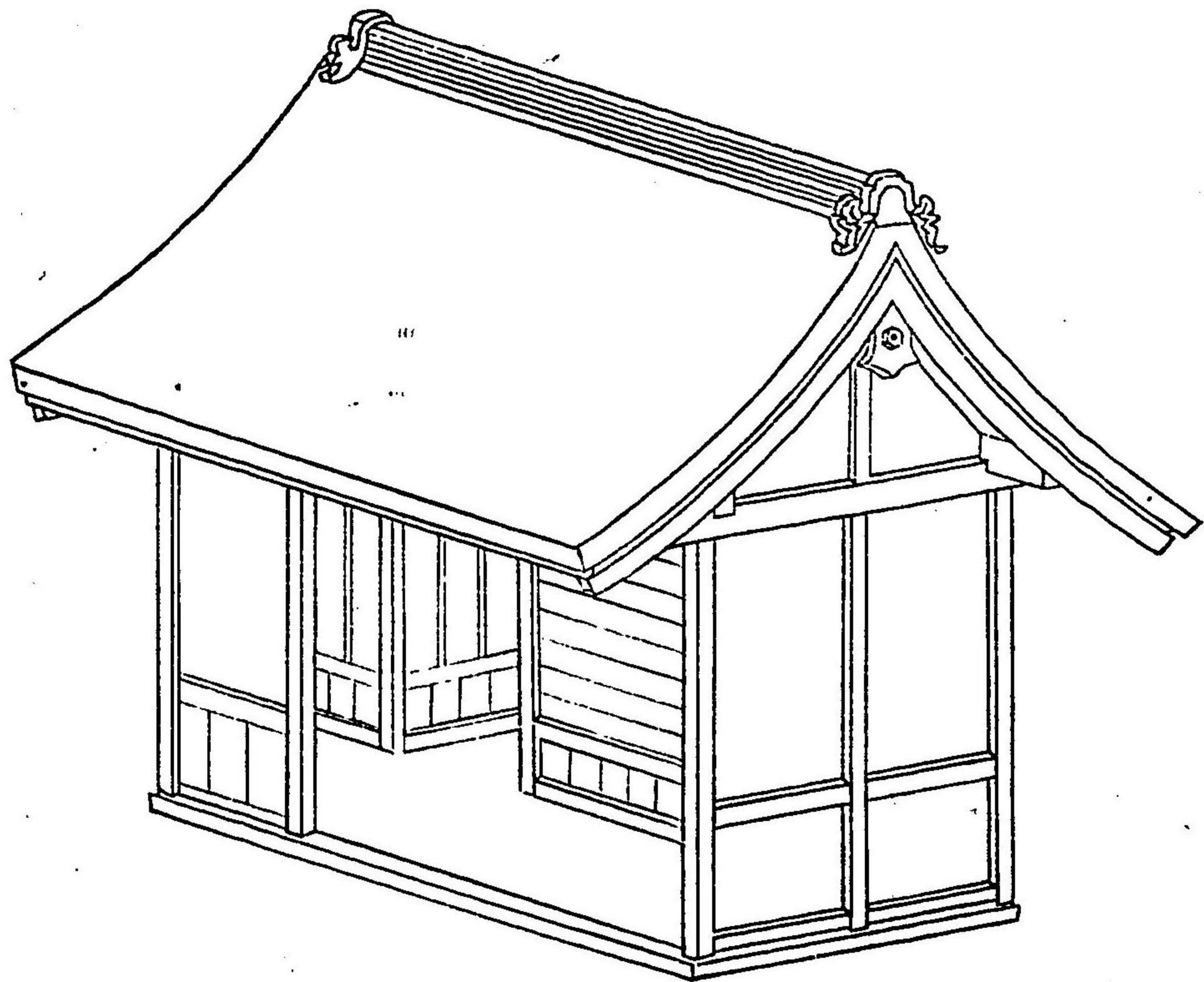
不耳室金一糸

同側面圖

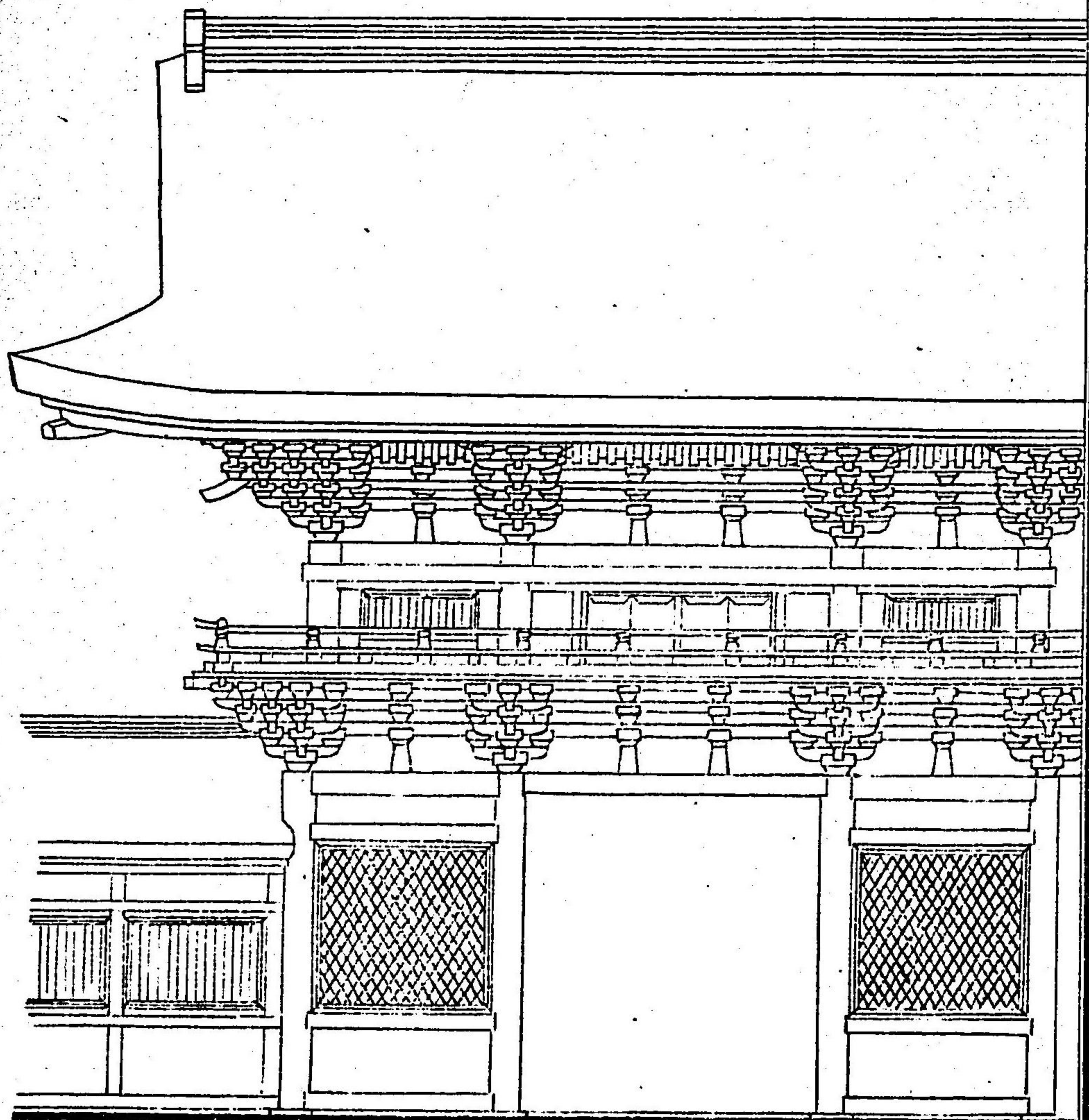


申哉行蓋下冊

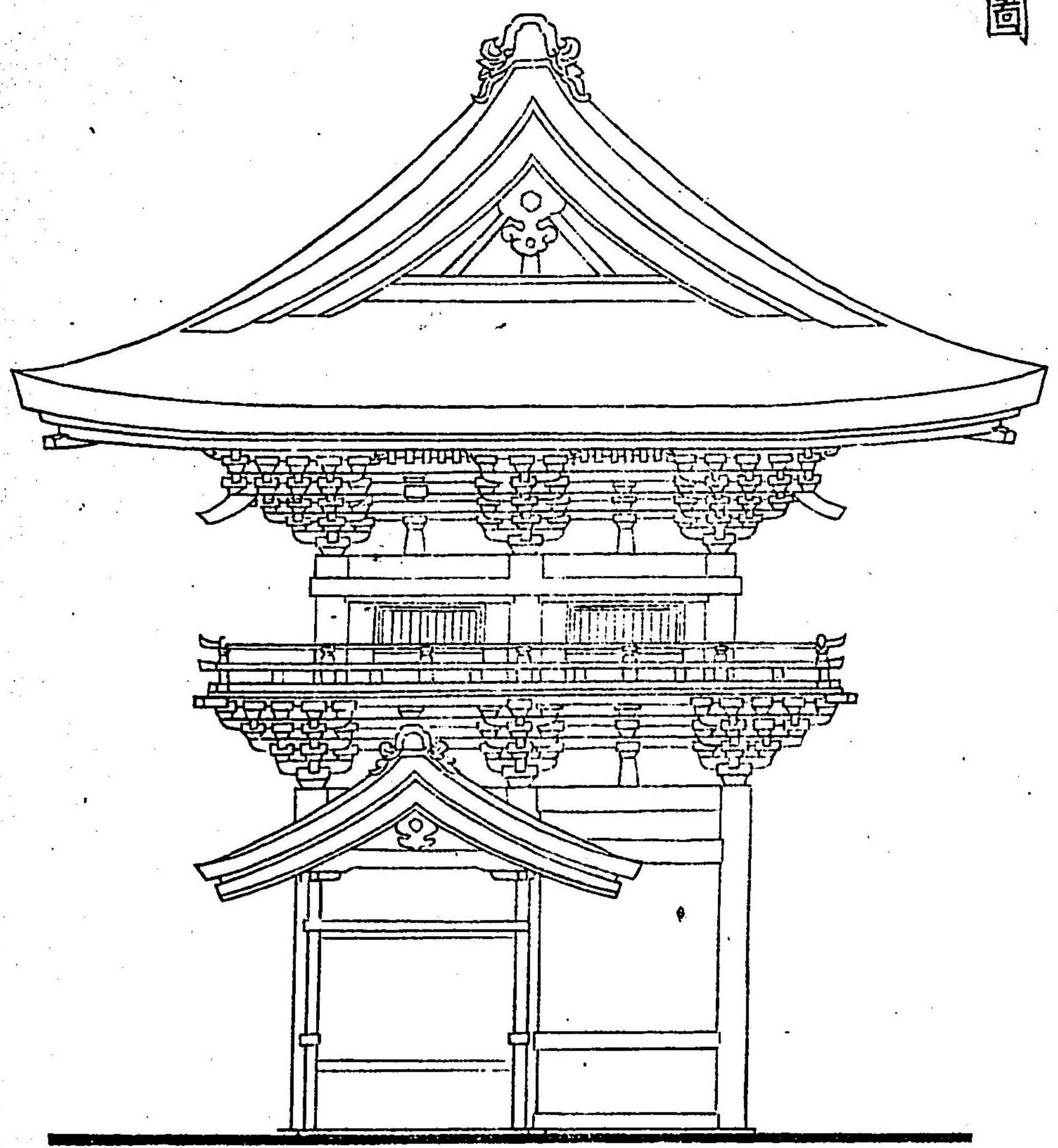
神馬舎圖



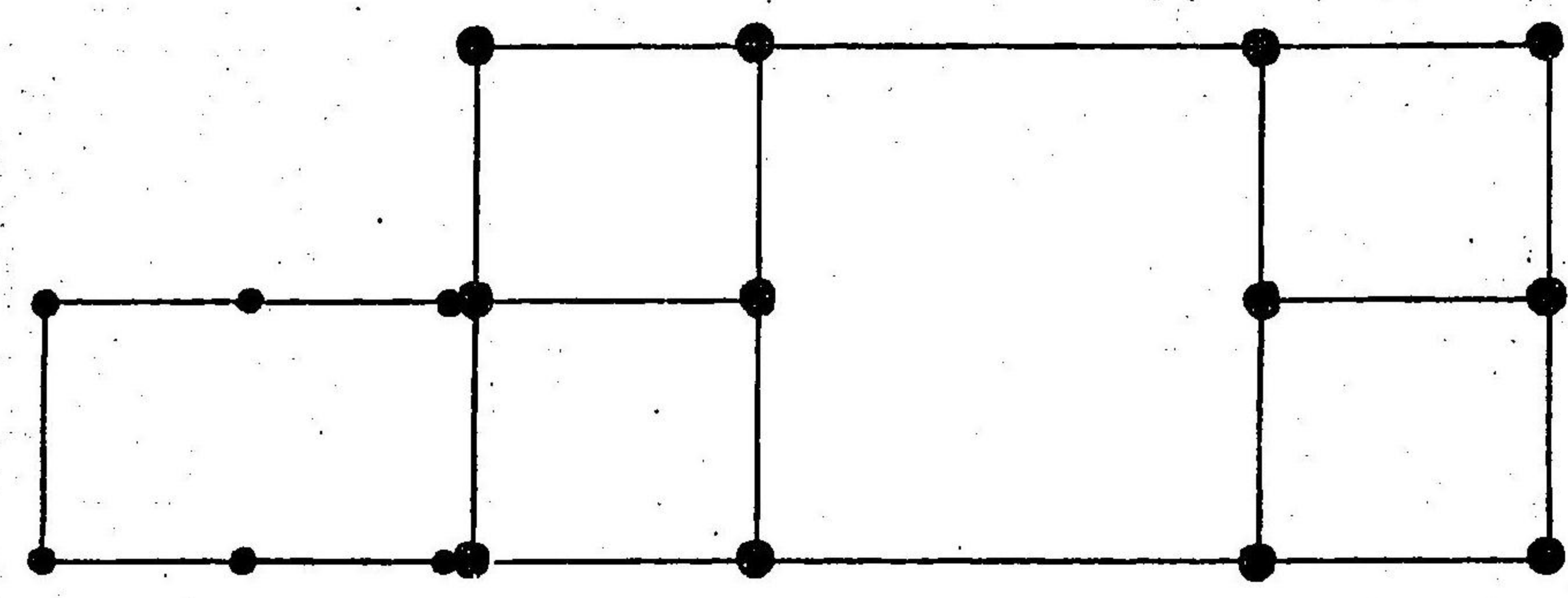
樓門正
面圖



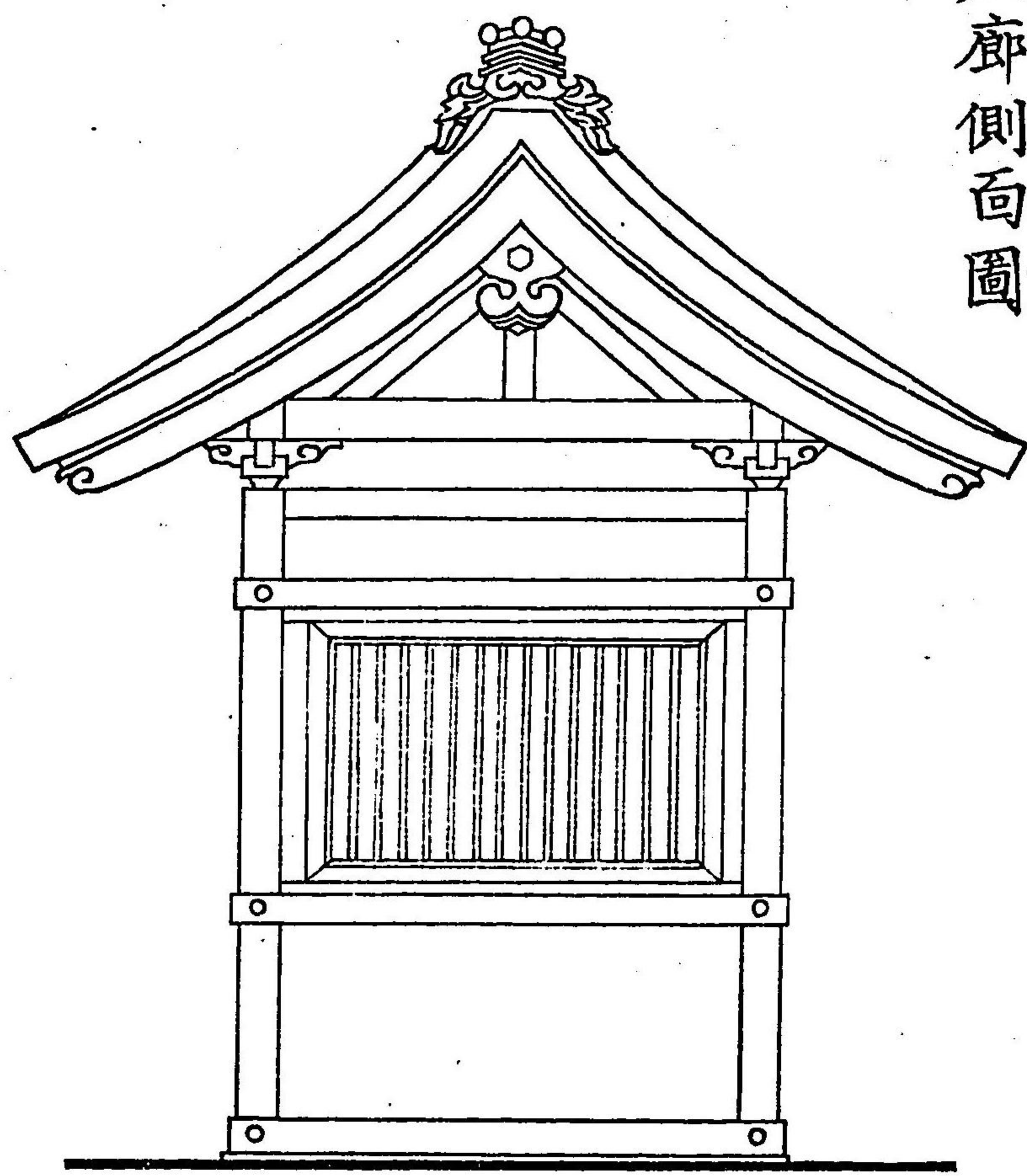
同側面圖



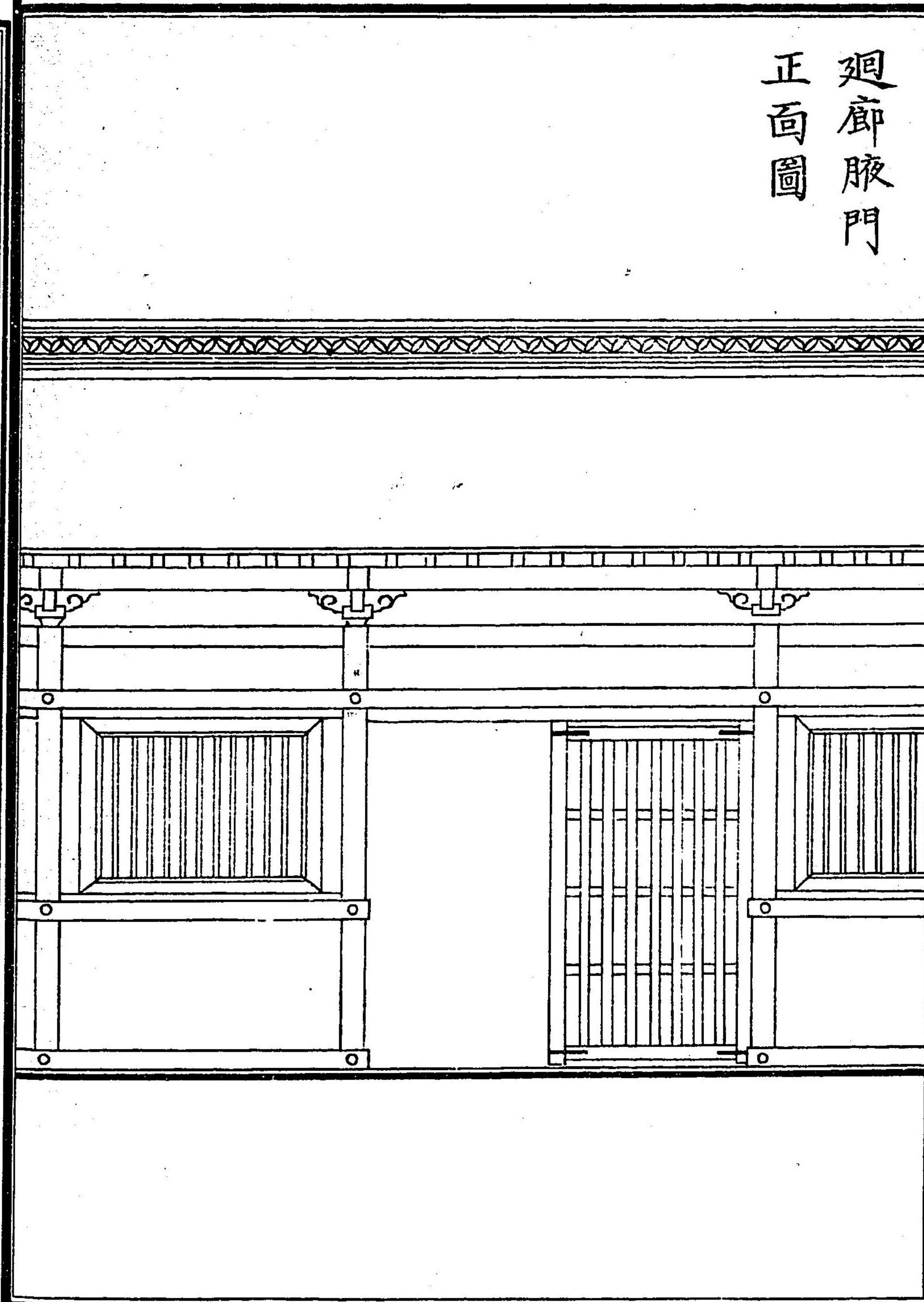
樓門敷圖



廻廊側面圖

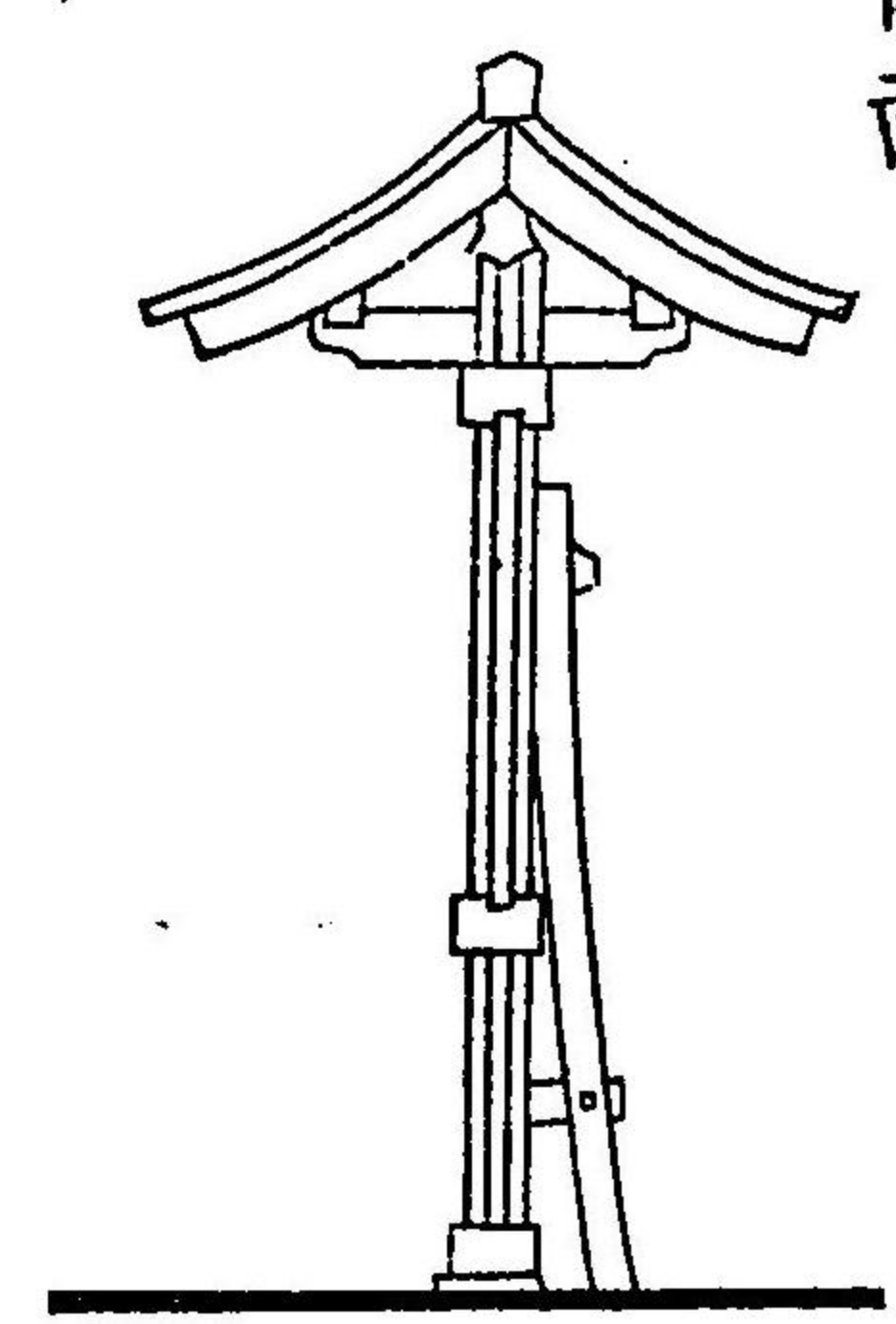


廻廊腋門
正面圖

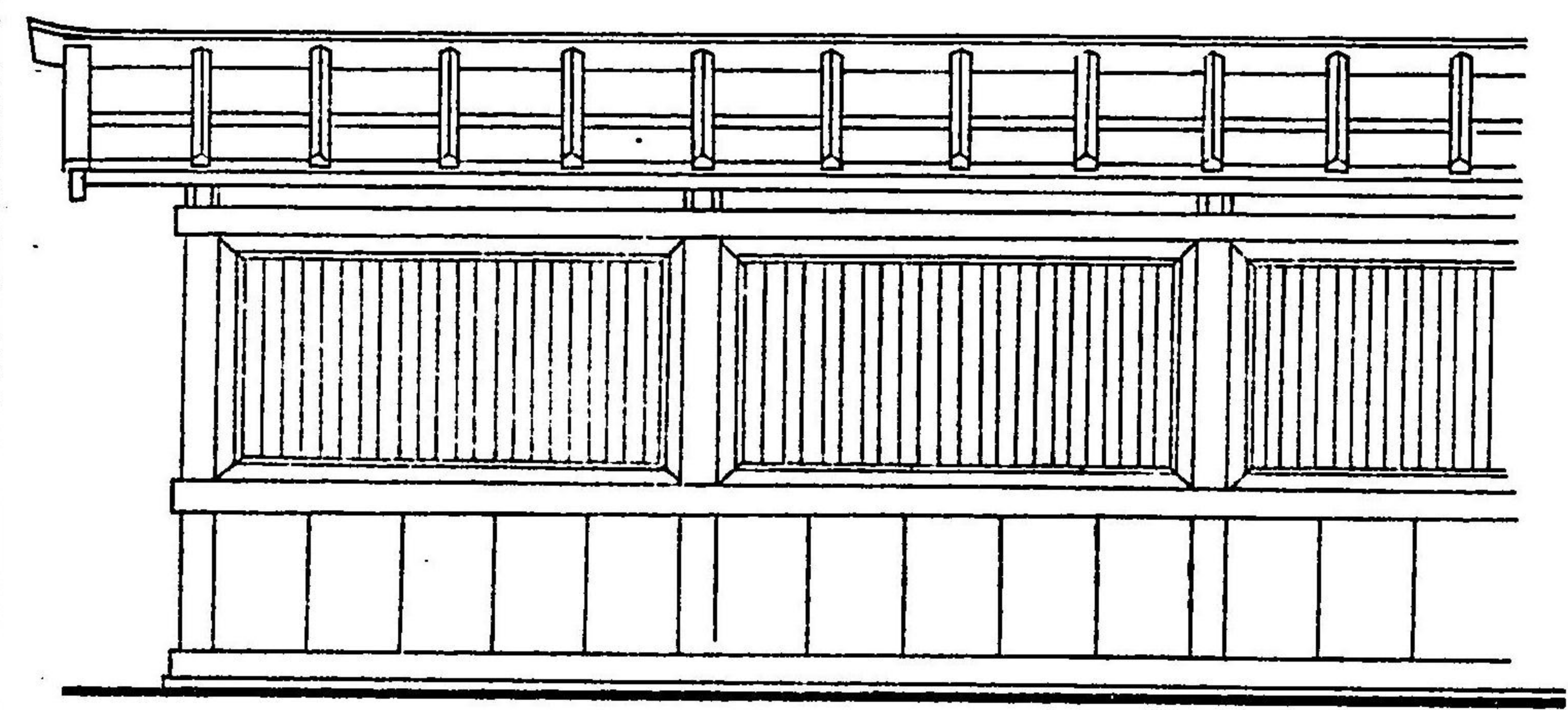


正面透塀圖
俗に月隠と云

側面

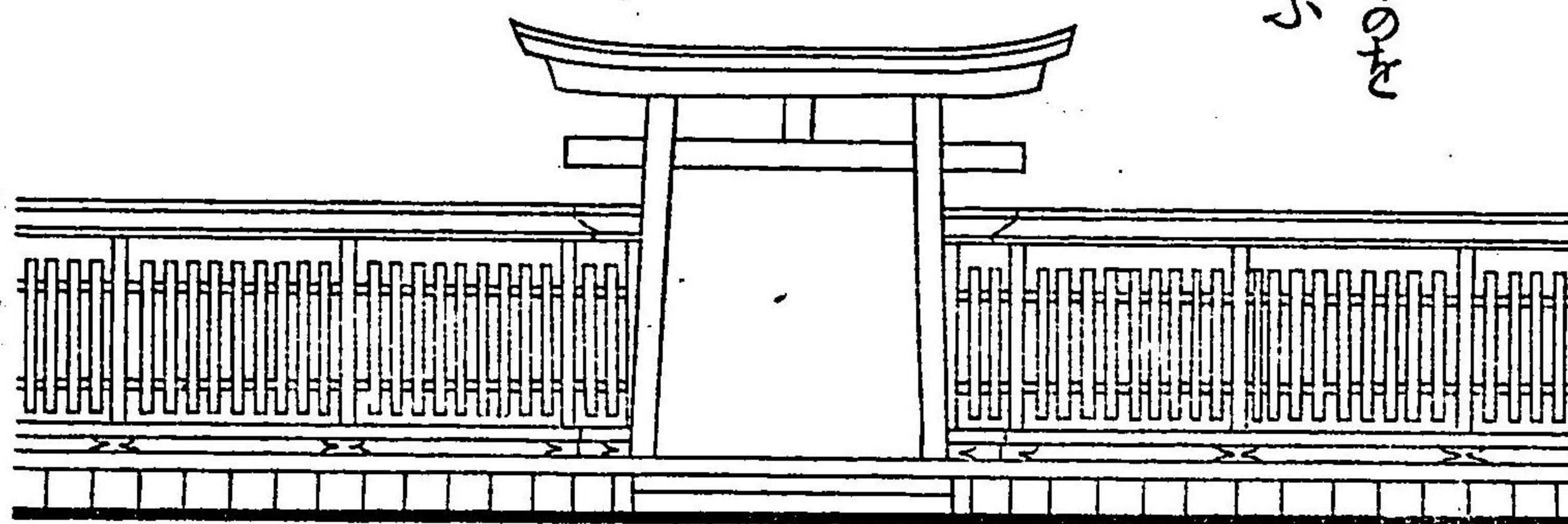


正面

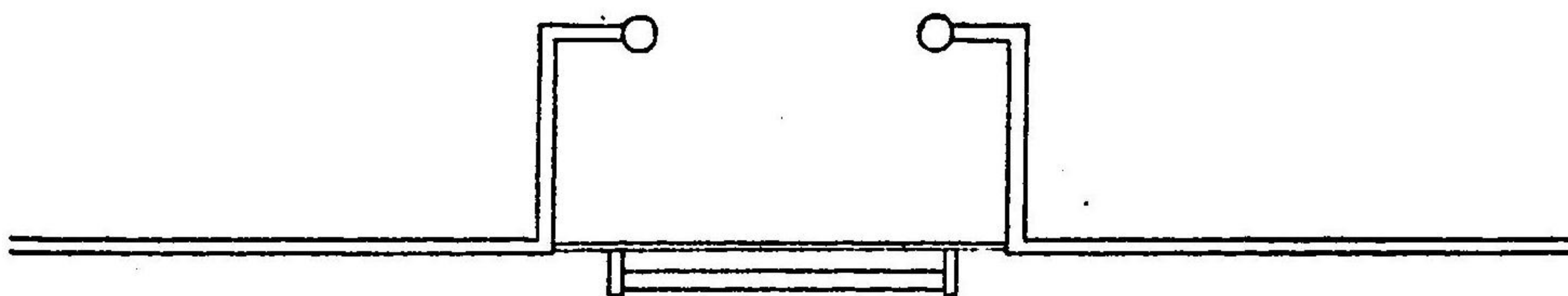


玉垣鳥居圖

社殿を繞らしすものを
瑞籬又玉垣といふ

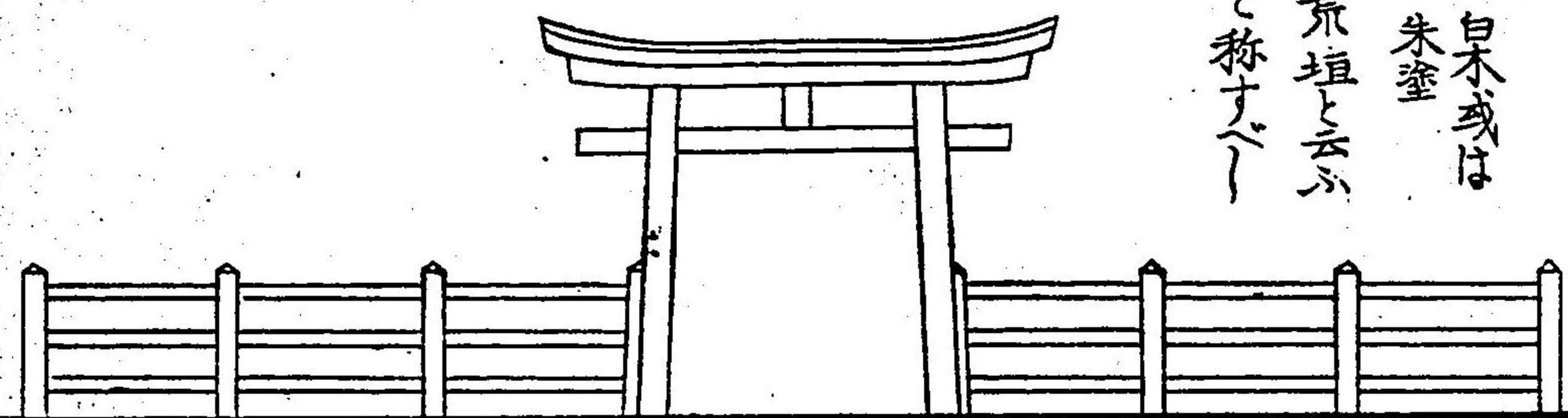


同敷圖

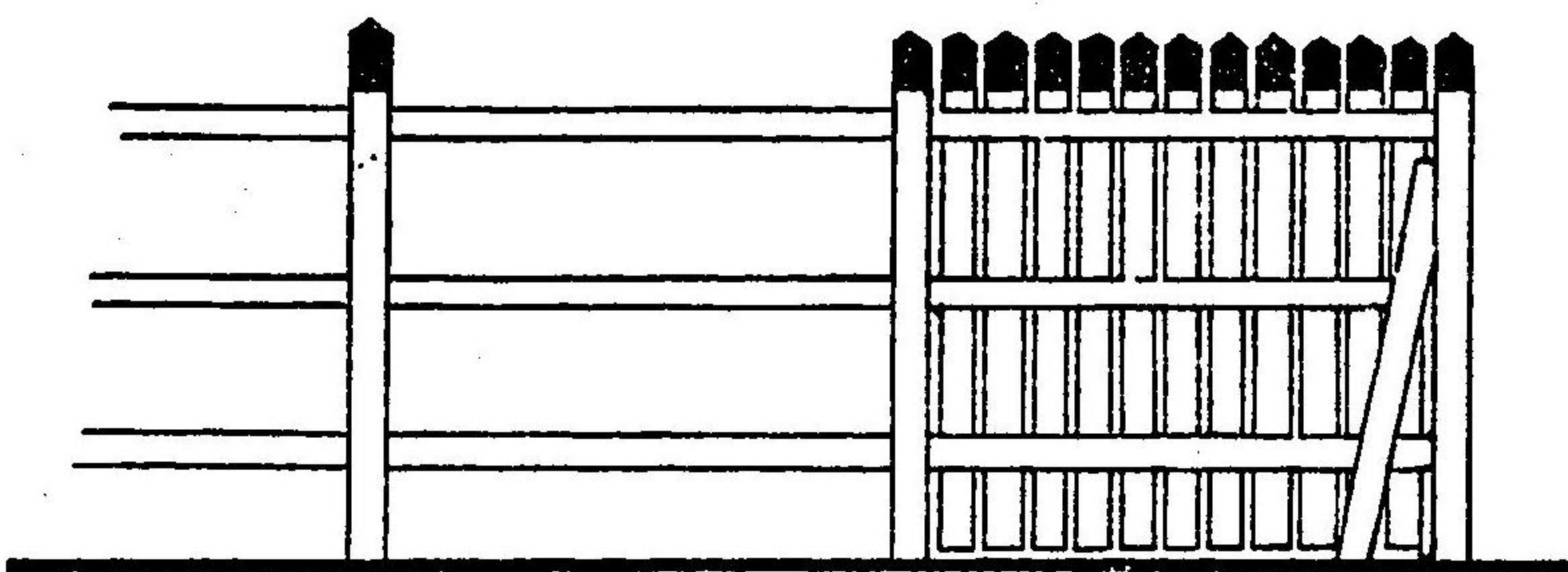


荒垣及鳥居圖

白木或は
朱塗
外構の疎きものを荒垣と云ふ
密なるは凡て玉垣と稱すべし

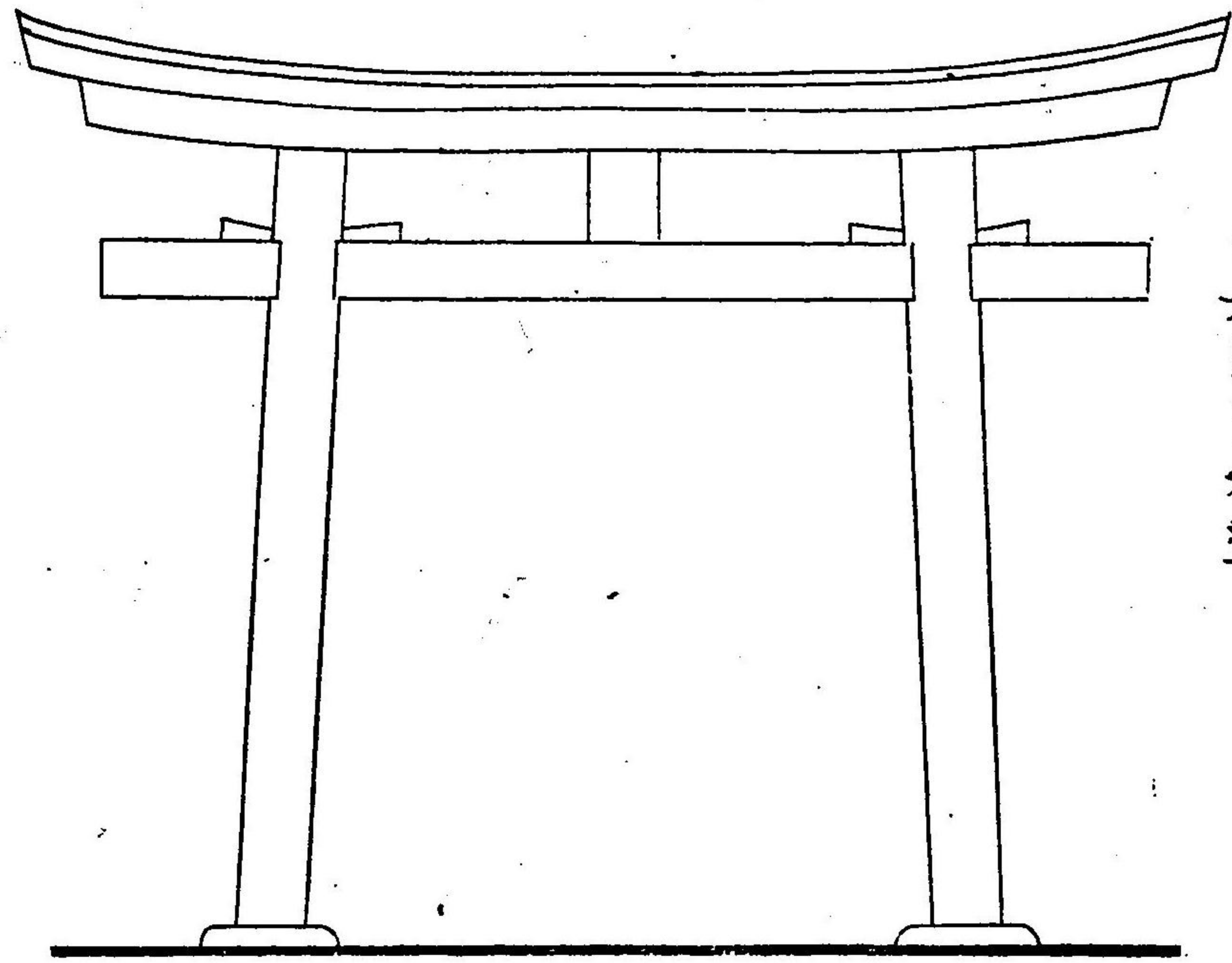


玉垣荒垣又圖

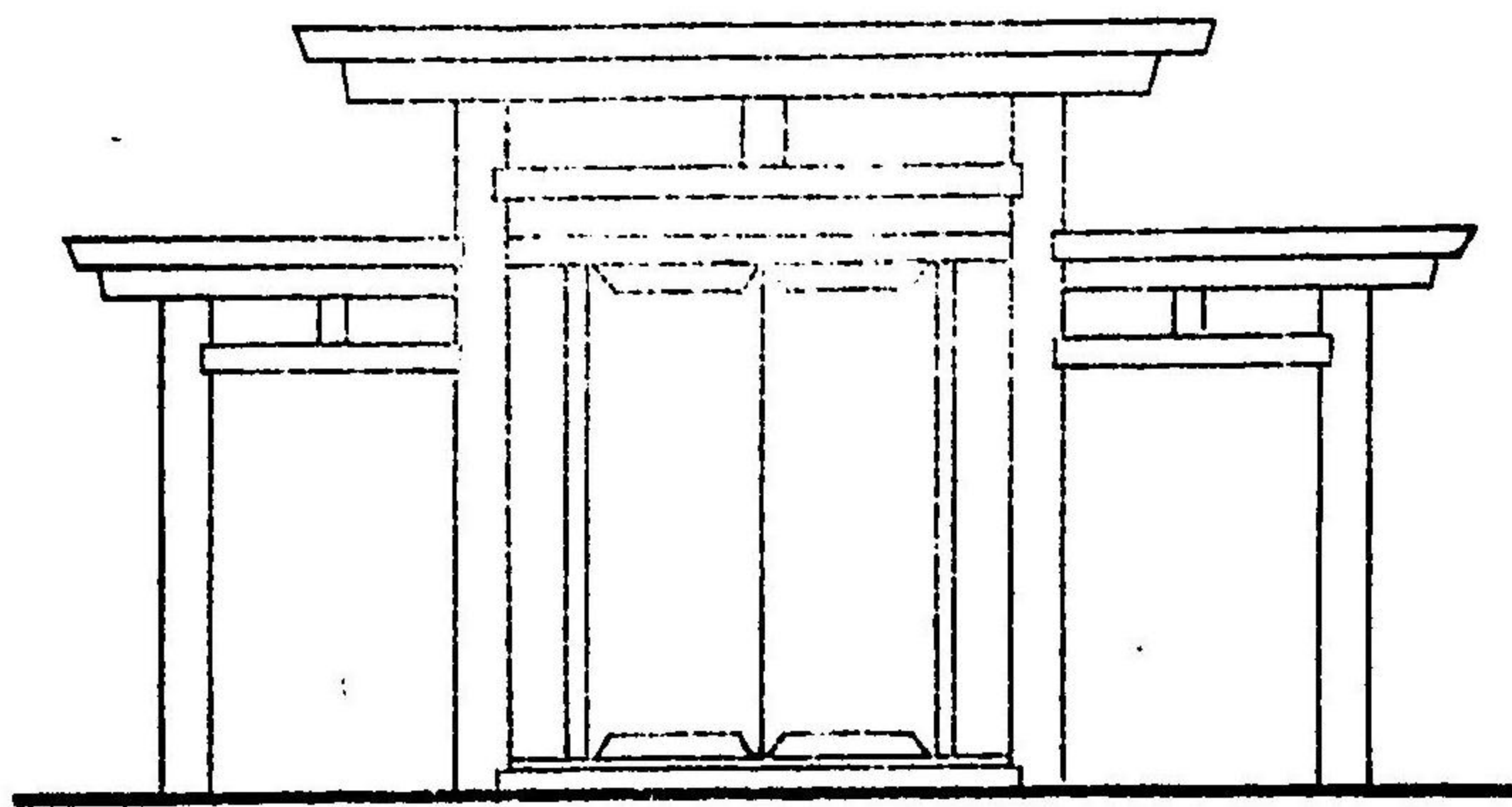


鳥居圖

倍ニホキに鳥木鳥居と云ふ
白木或は朱塗



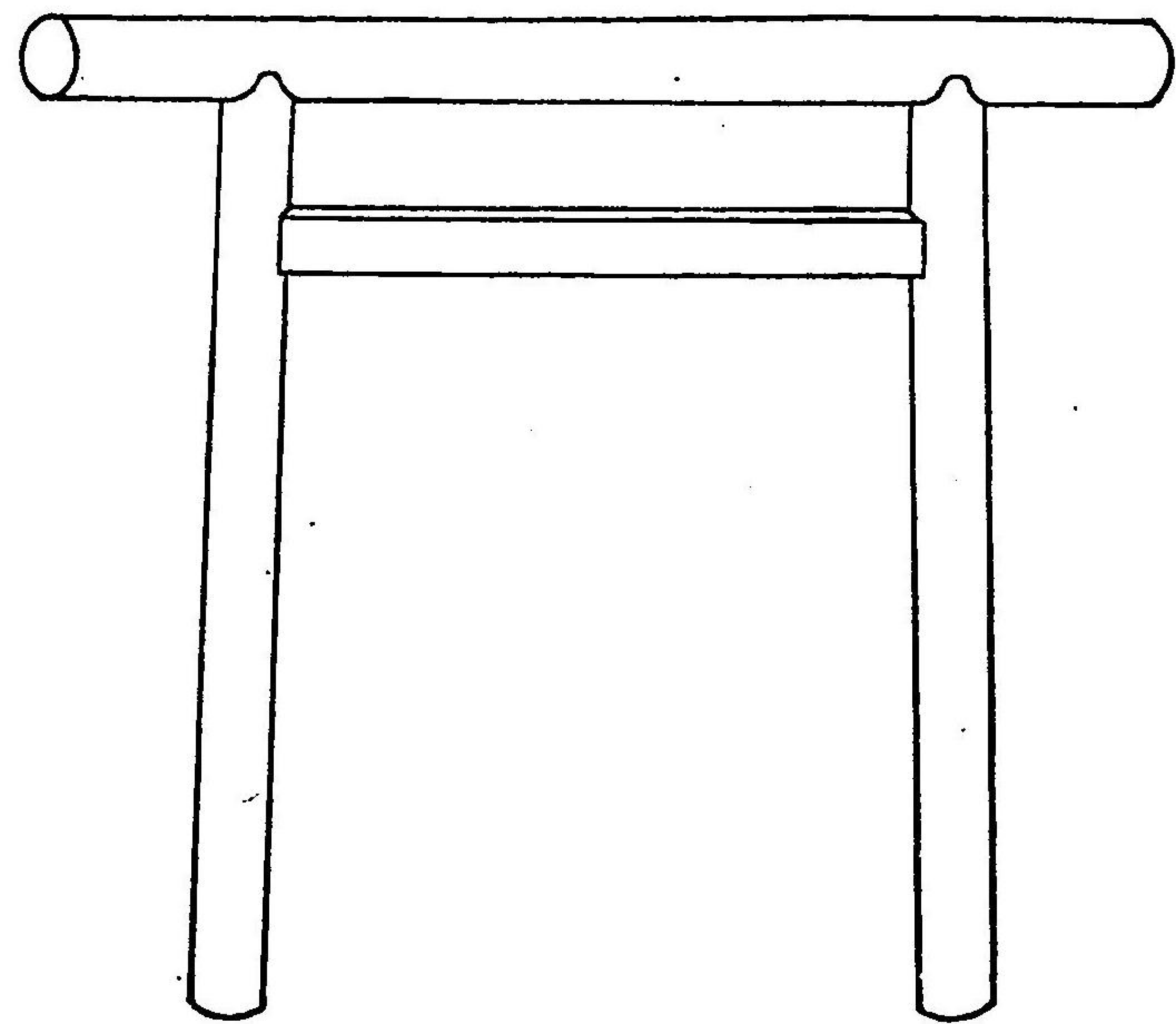
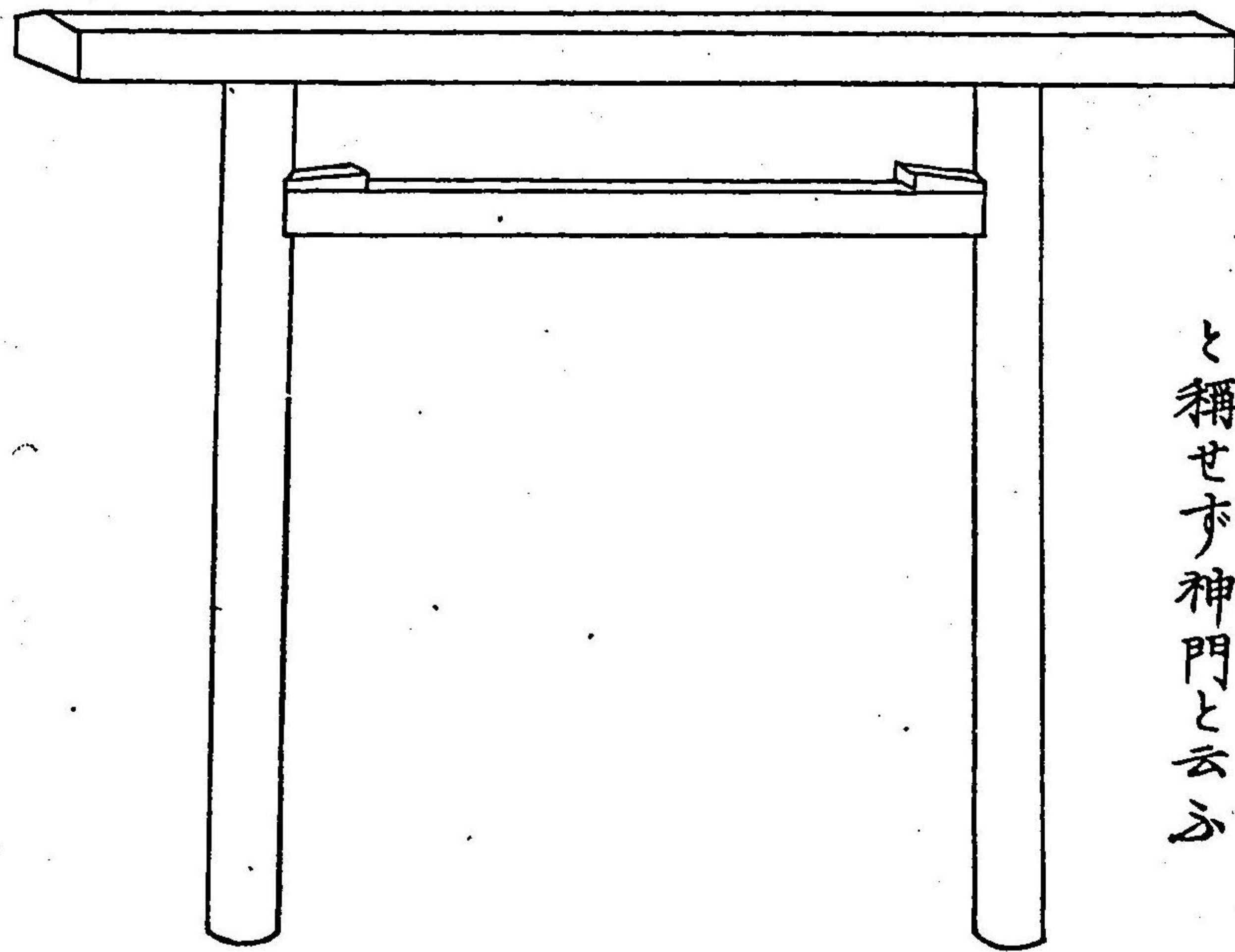
三輪形鳥居



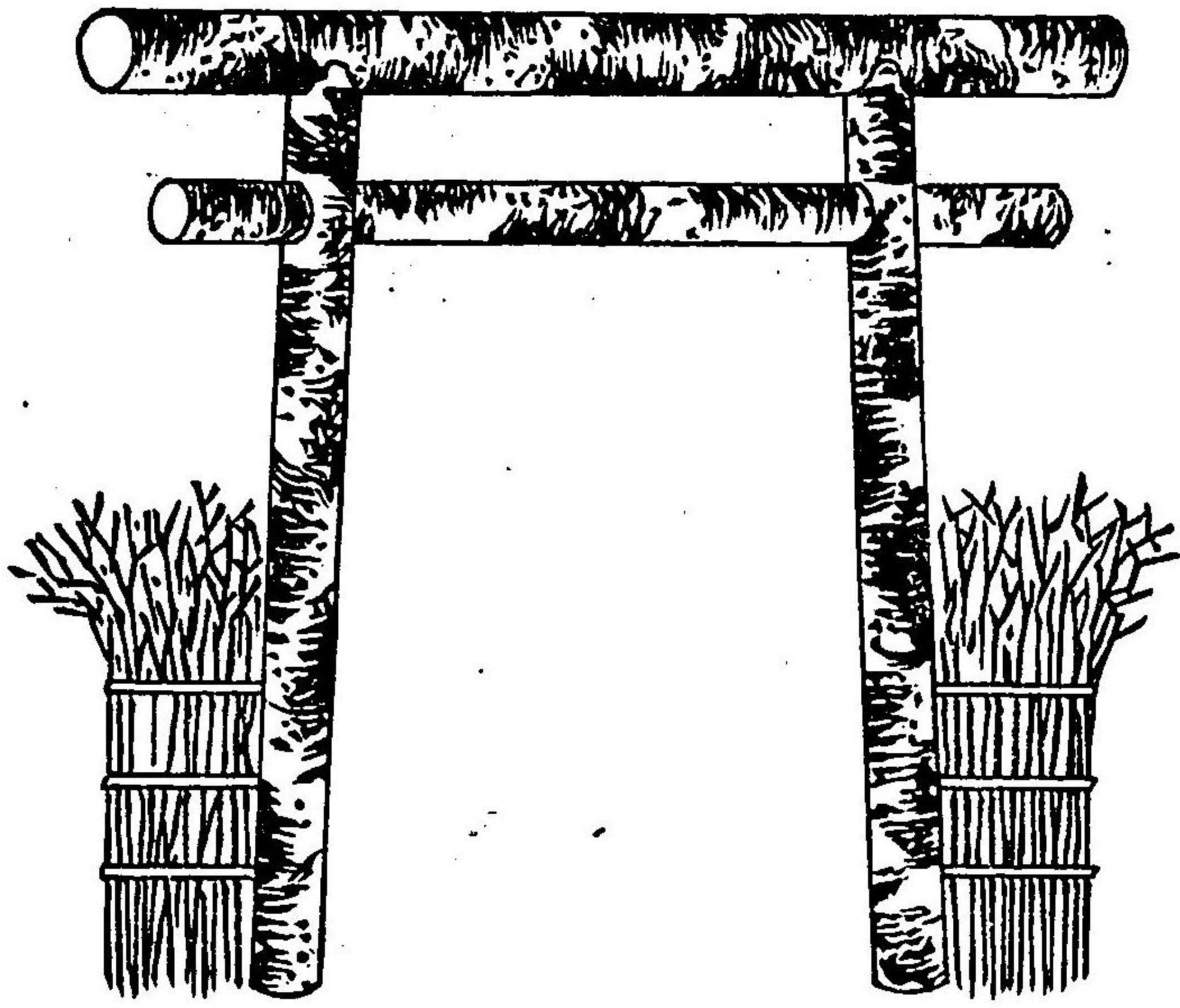
神宮鳥居

伊勢神宮に立る所の者
なり同神宮にては鳥居
と稱せず神門と云ふ

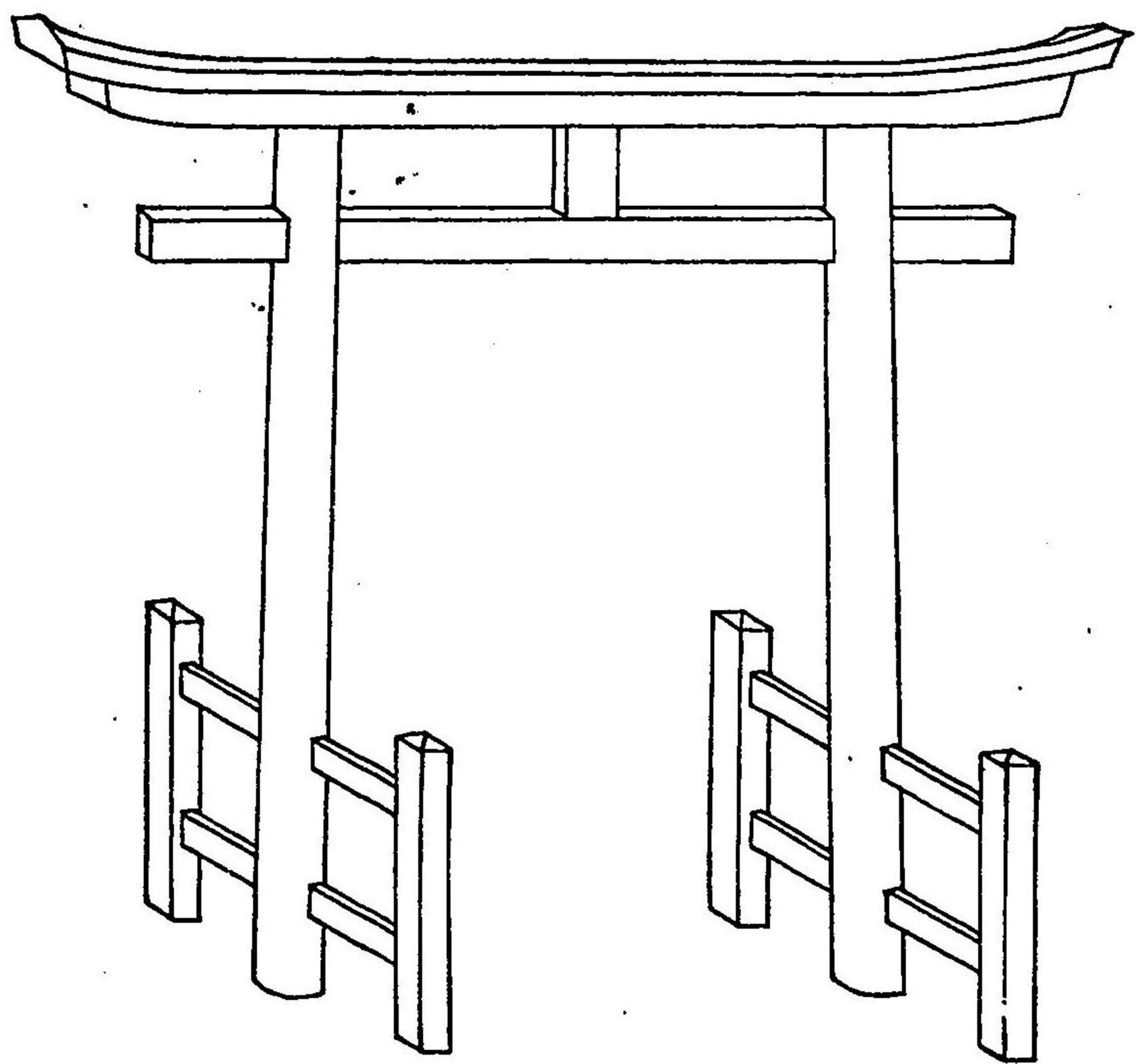
又圖



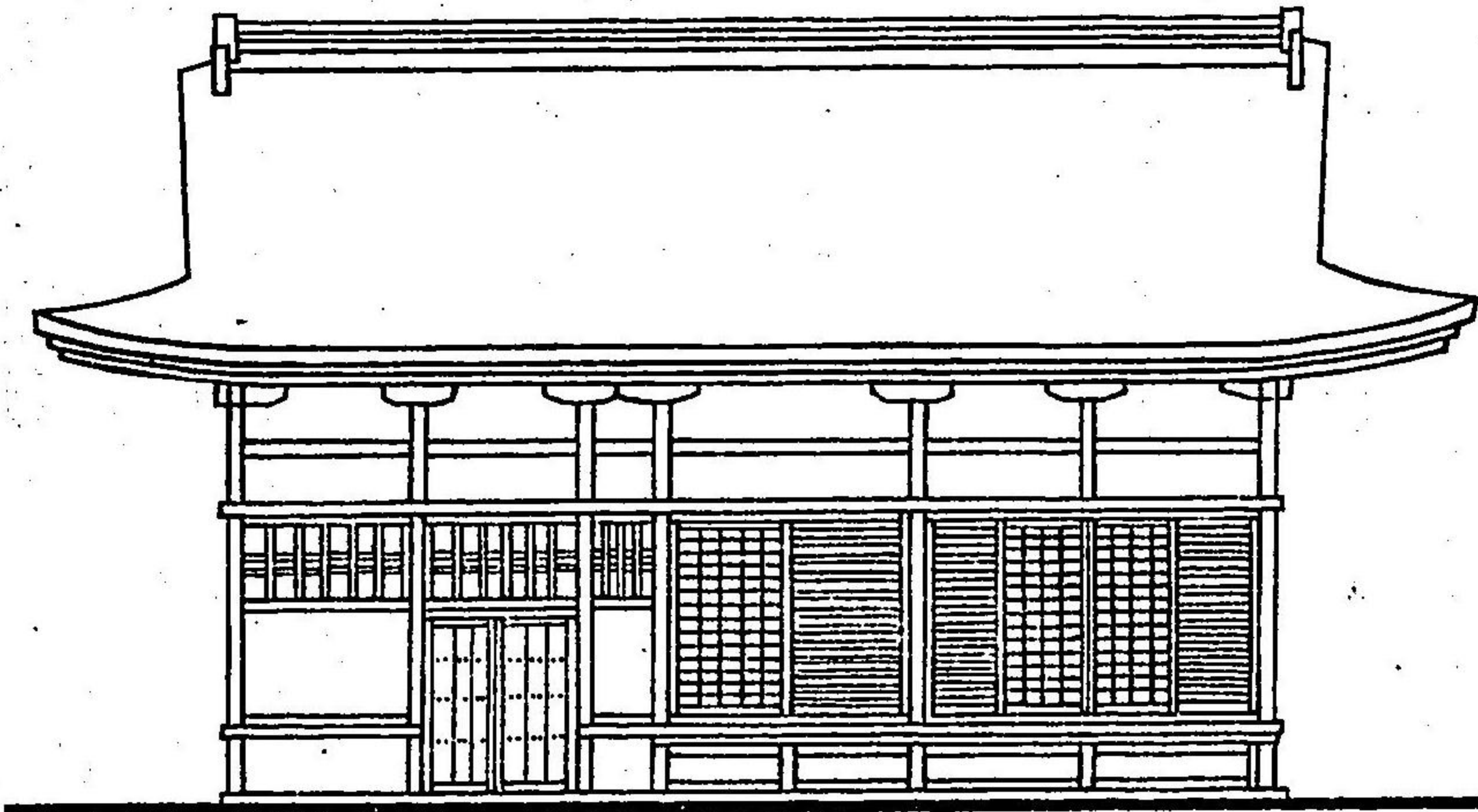
黒木鳥居



籬指鳥居^{多サシ}

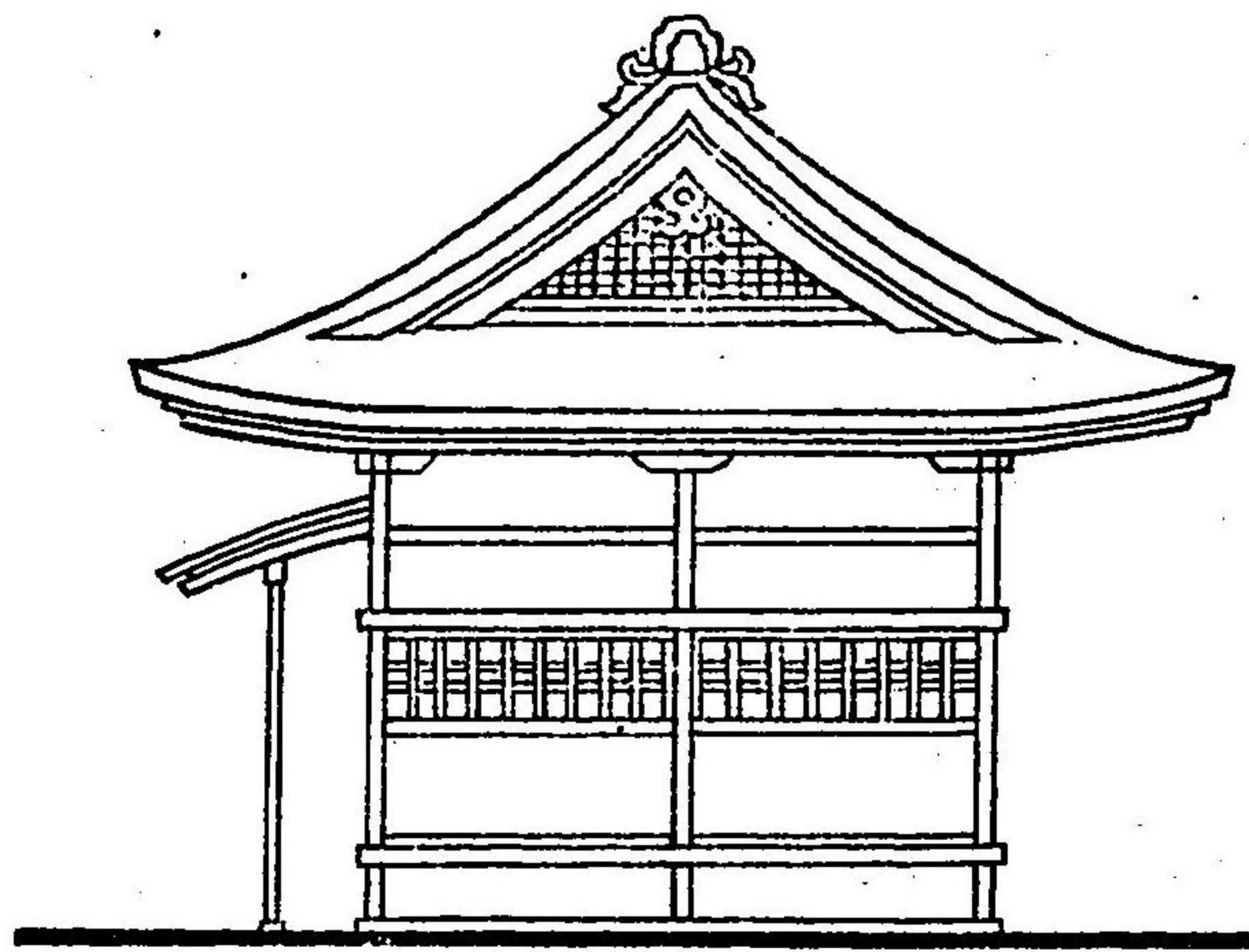


神饌所制限正面図

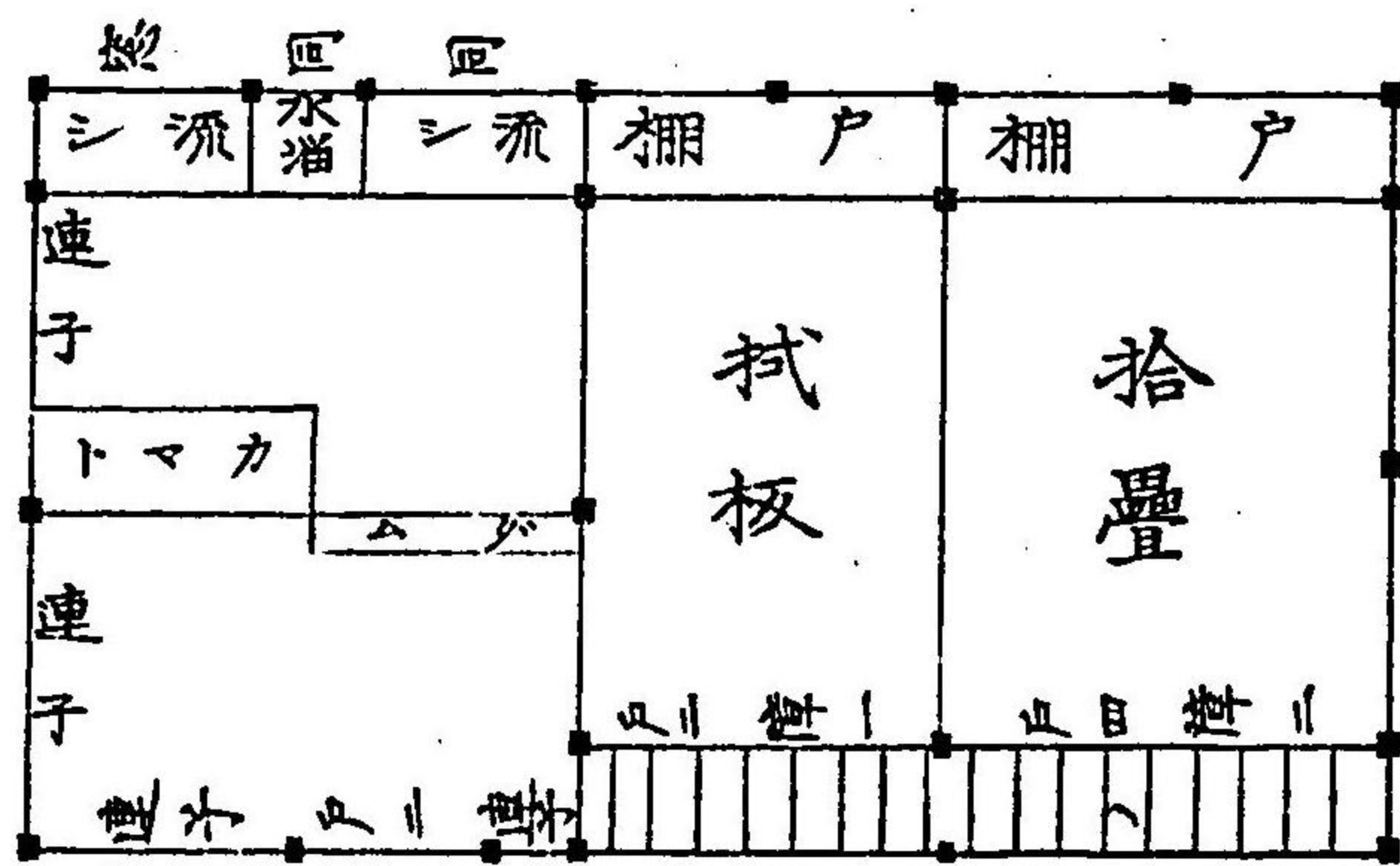


大社 三六
中社 三五
小社 三二
間半

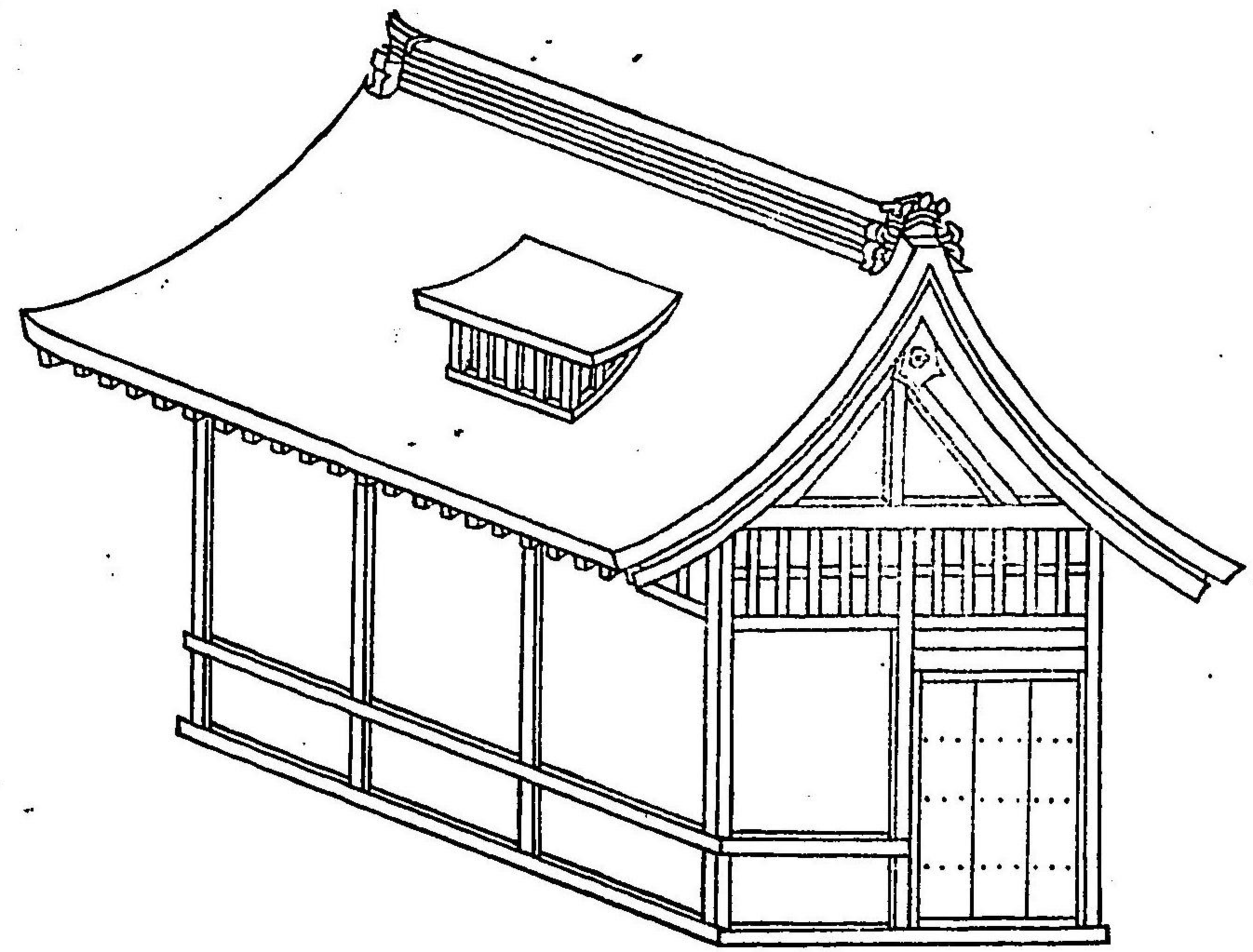
同側面図



同敷圖

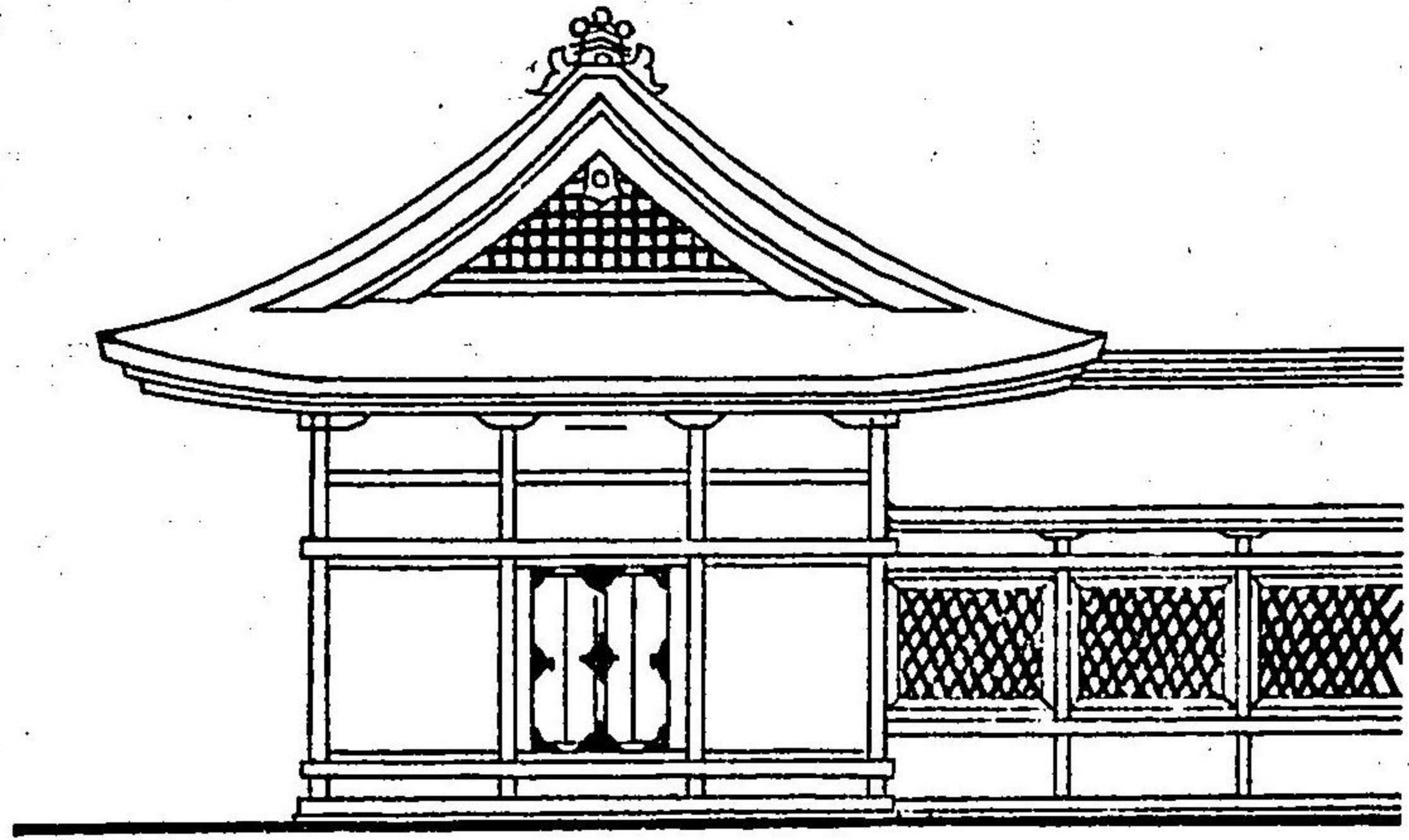


御炊殿ミカヤド圖

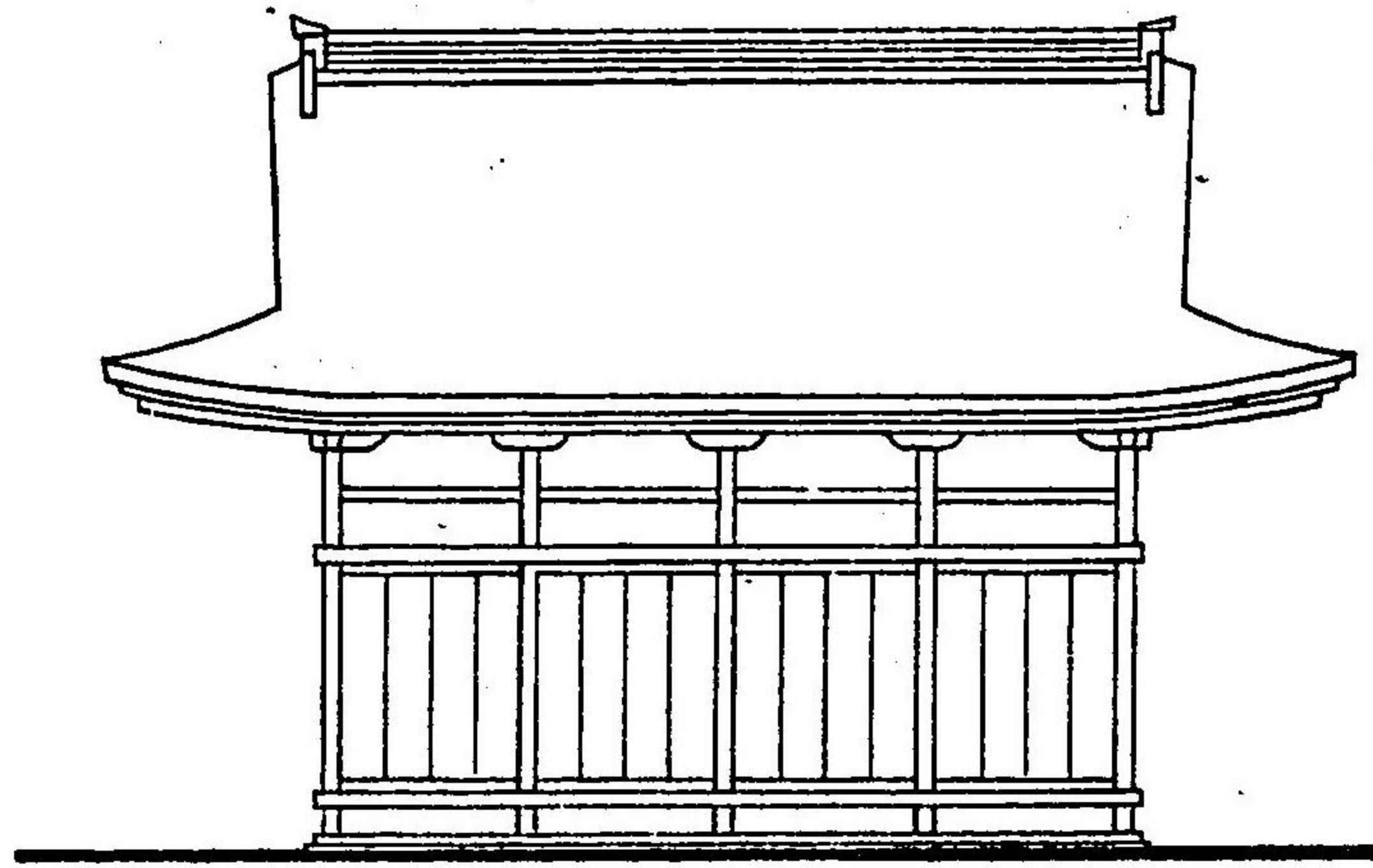


神職寶鏡一編

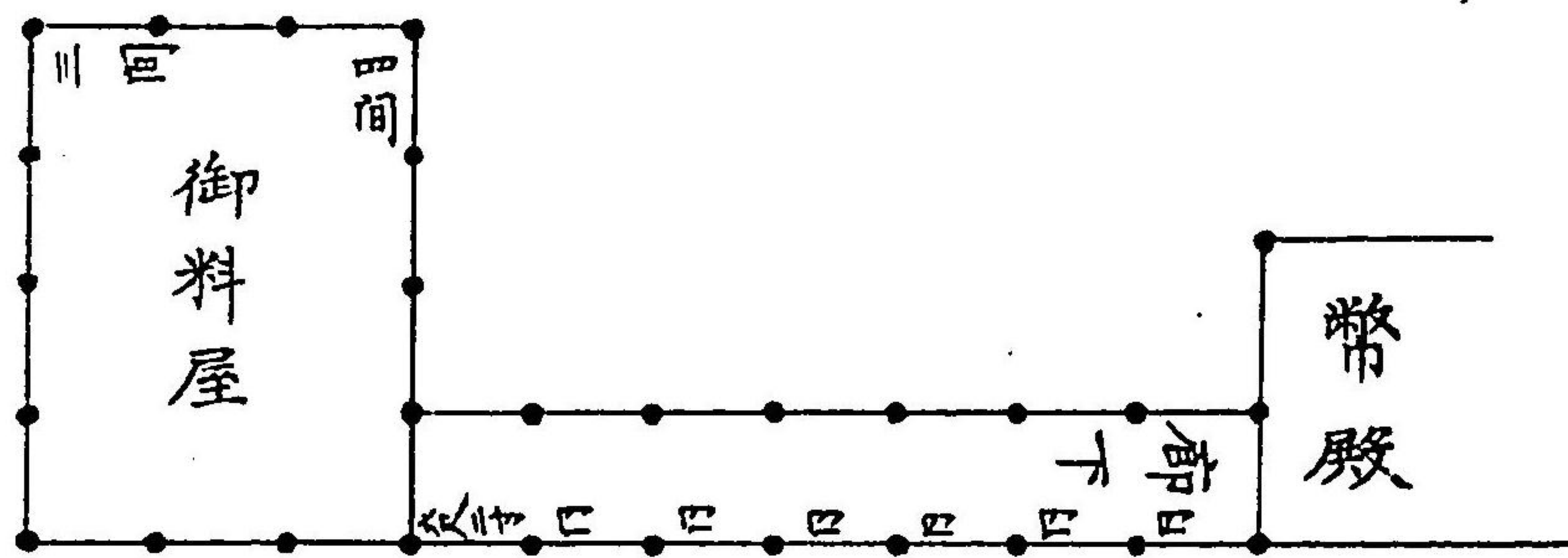
御料屋正面圖
即神饌所なり



同側面圖



同敷圖

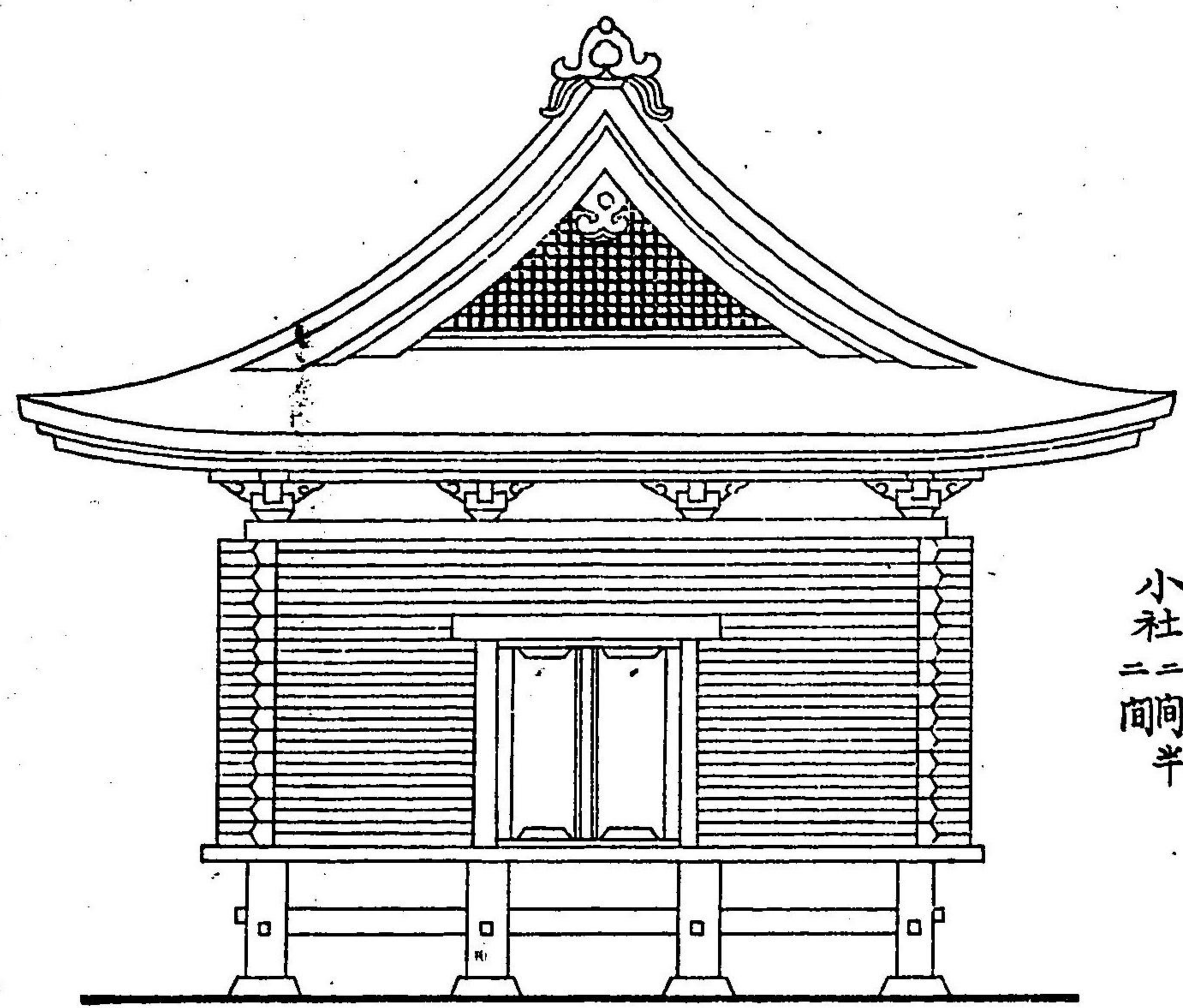


神職寶鏡一編

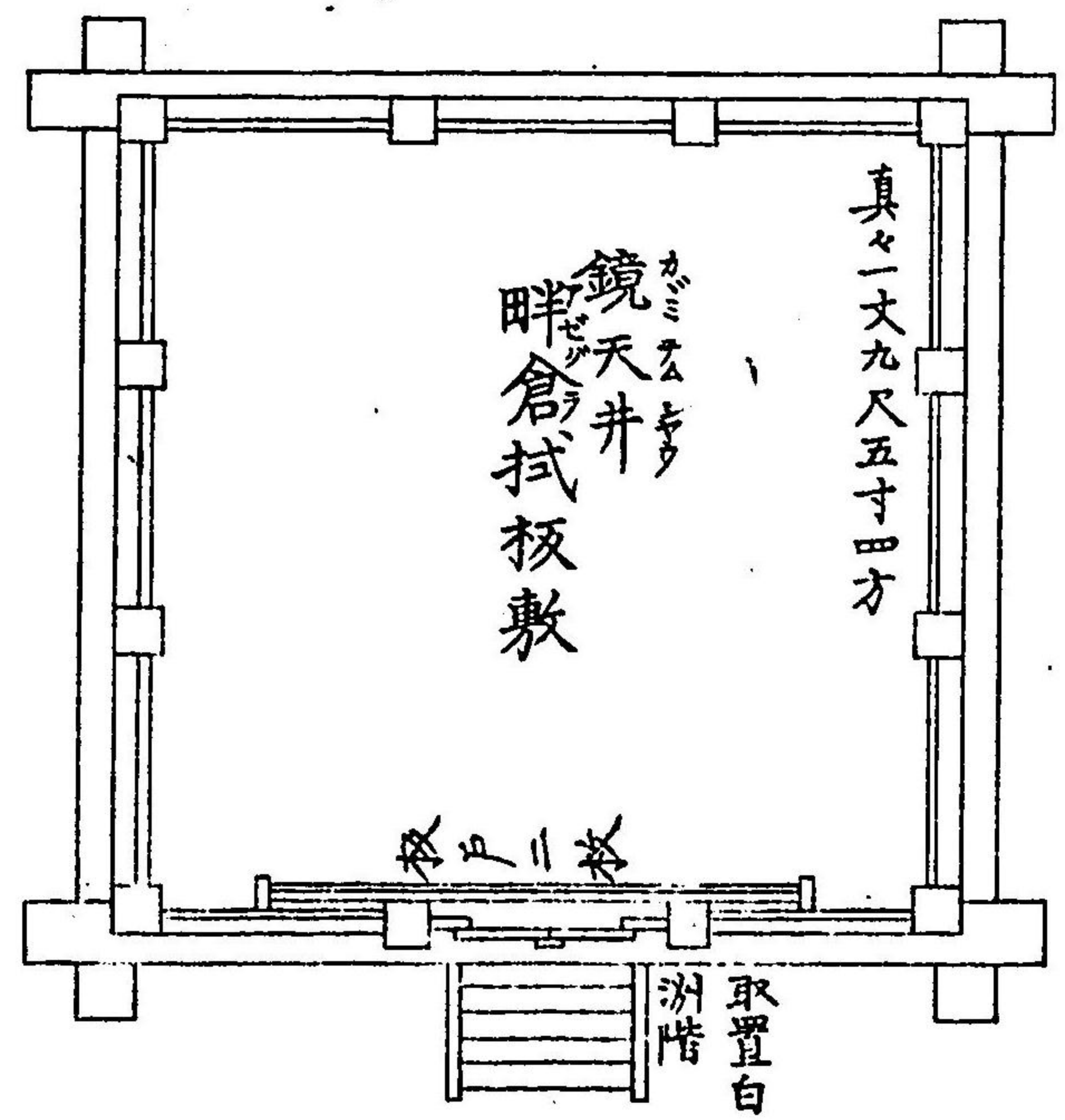
三二

神庫制限正面圖

大社 三間四方
中社 二間半
小社 二間半



同敷圖



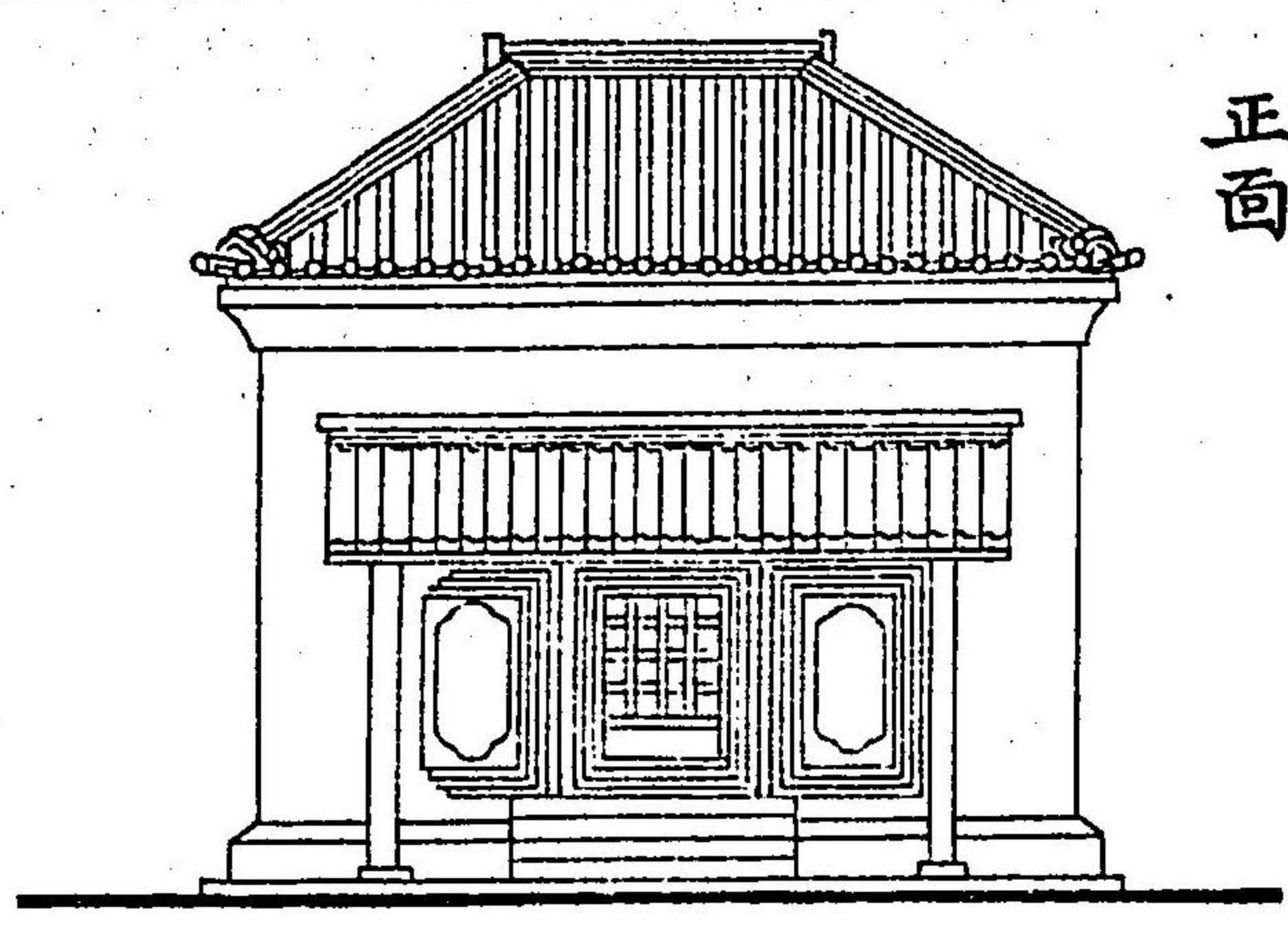
祭器庫制限圖

大社 四間
三間 庇 三間

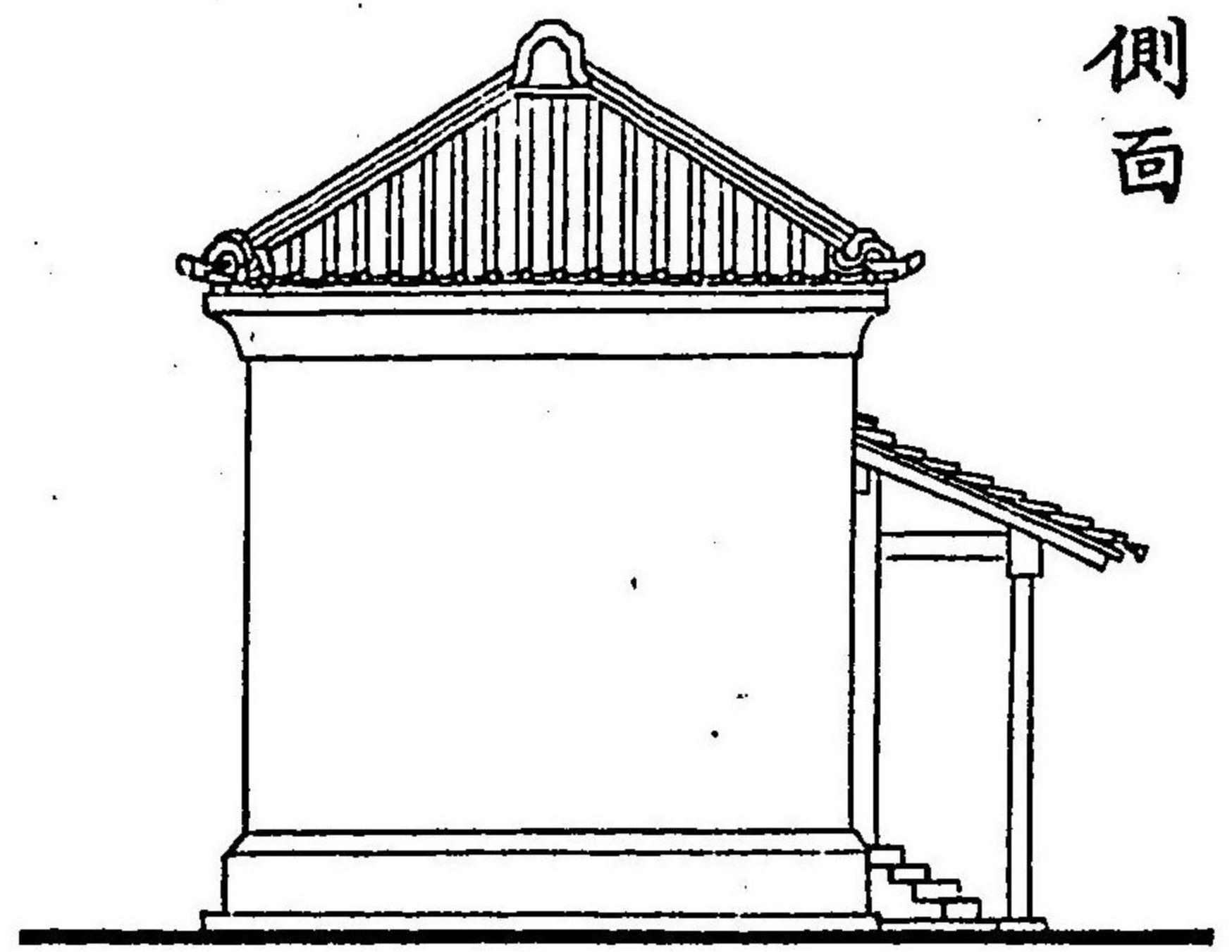
中社 四間半
二間半 庇 三間

小社 二間半
二間半 庇 三間

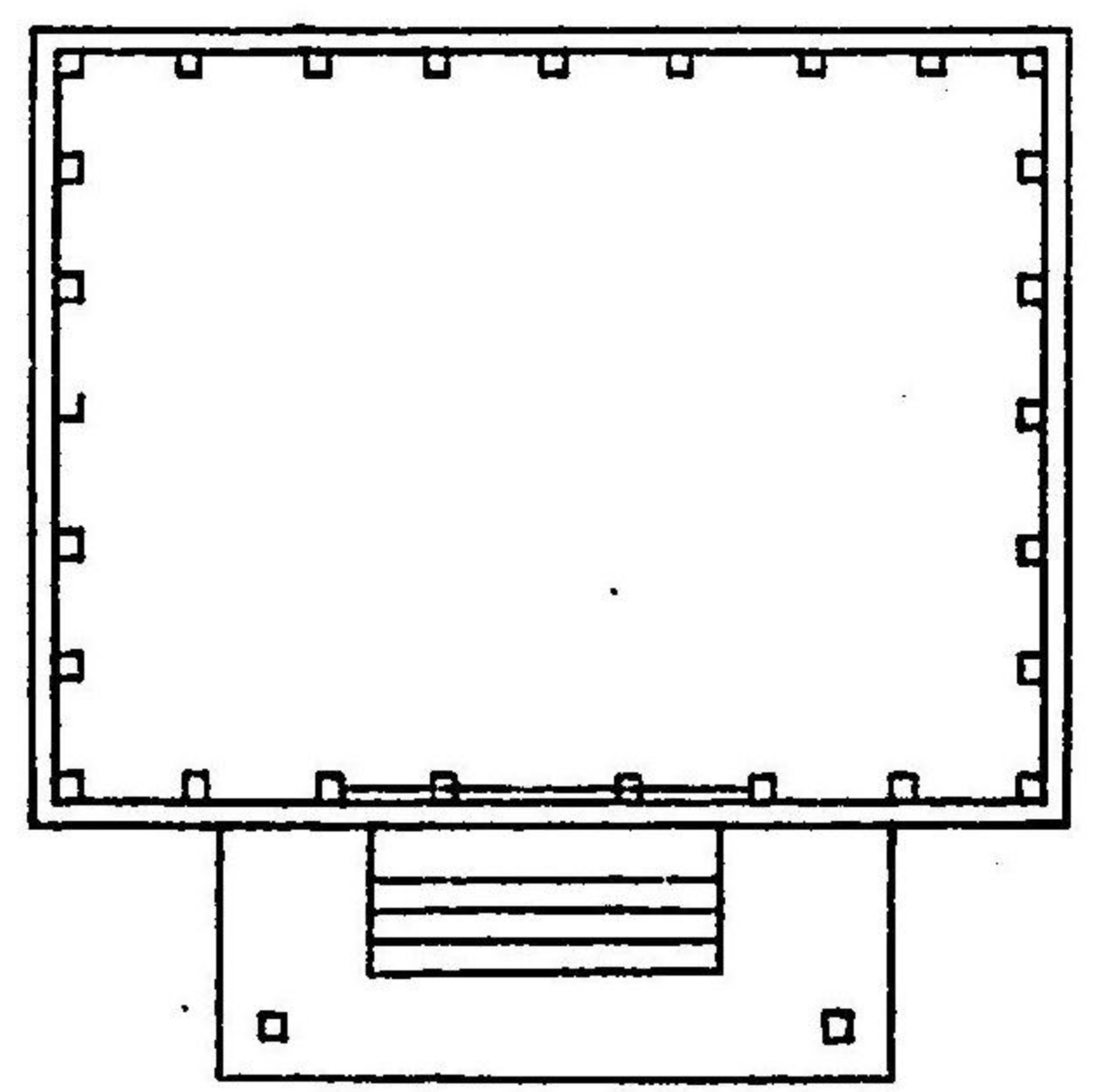
正面



側面

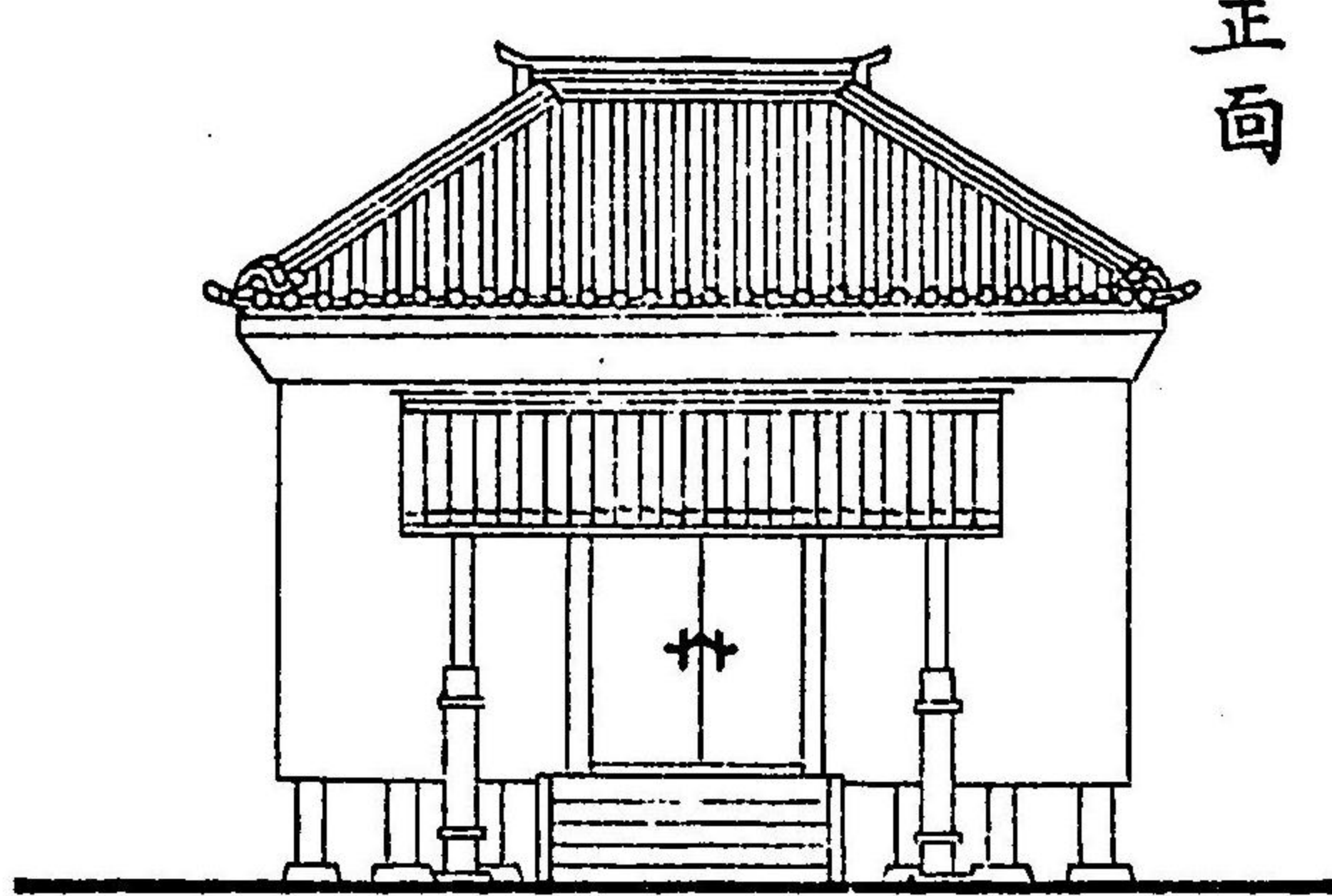


敷圖

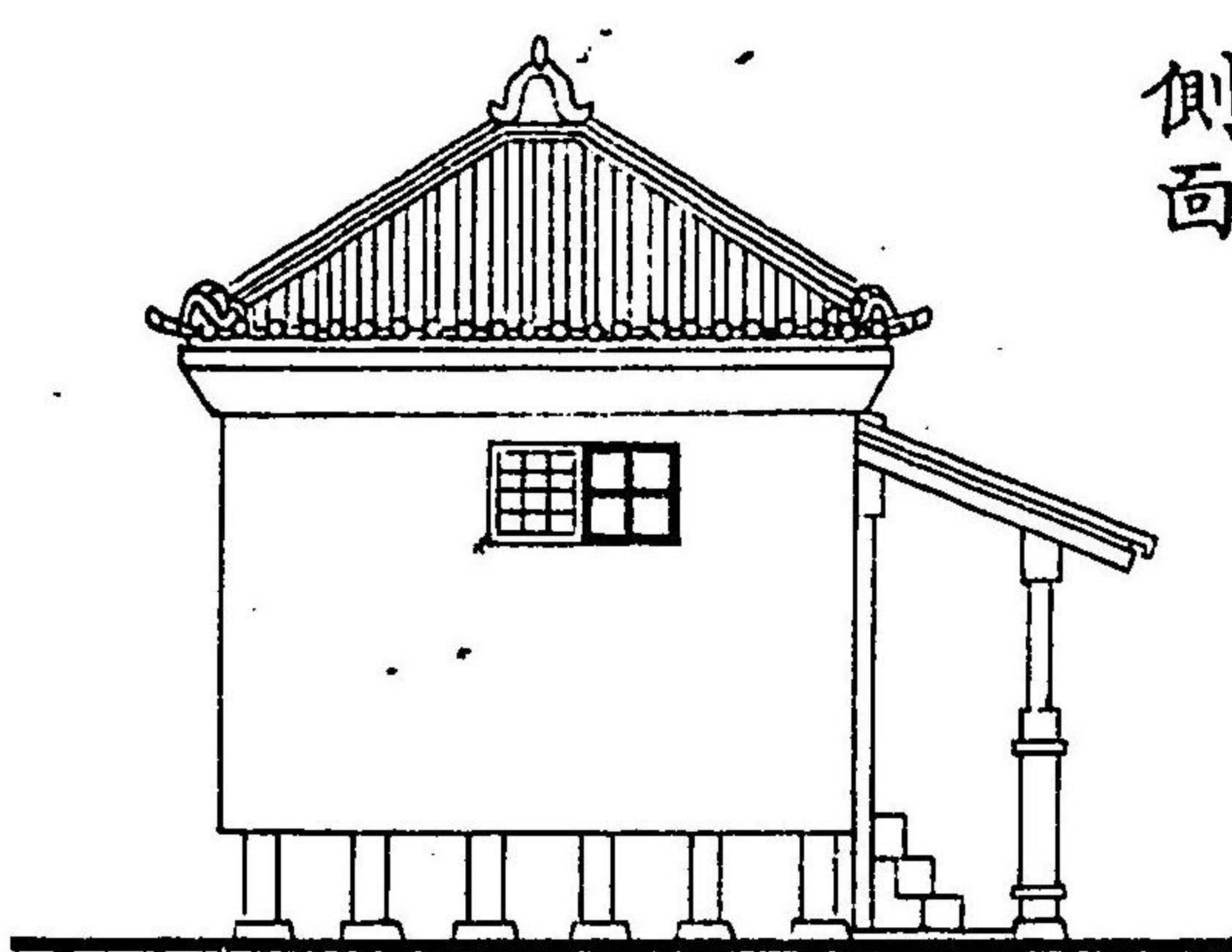


脚高藏圖

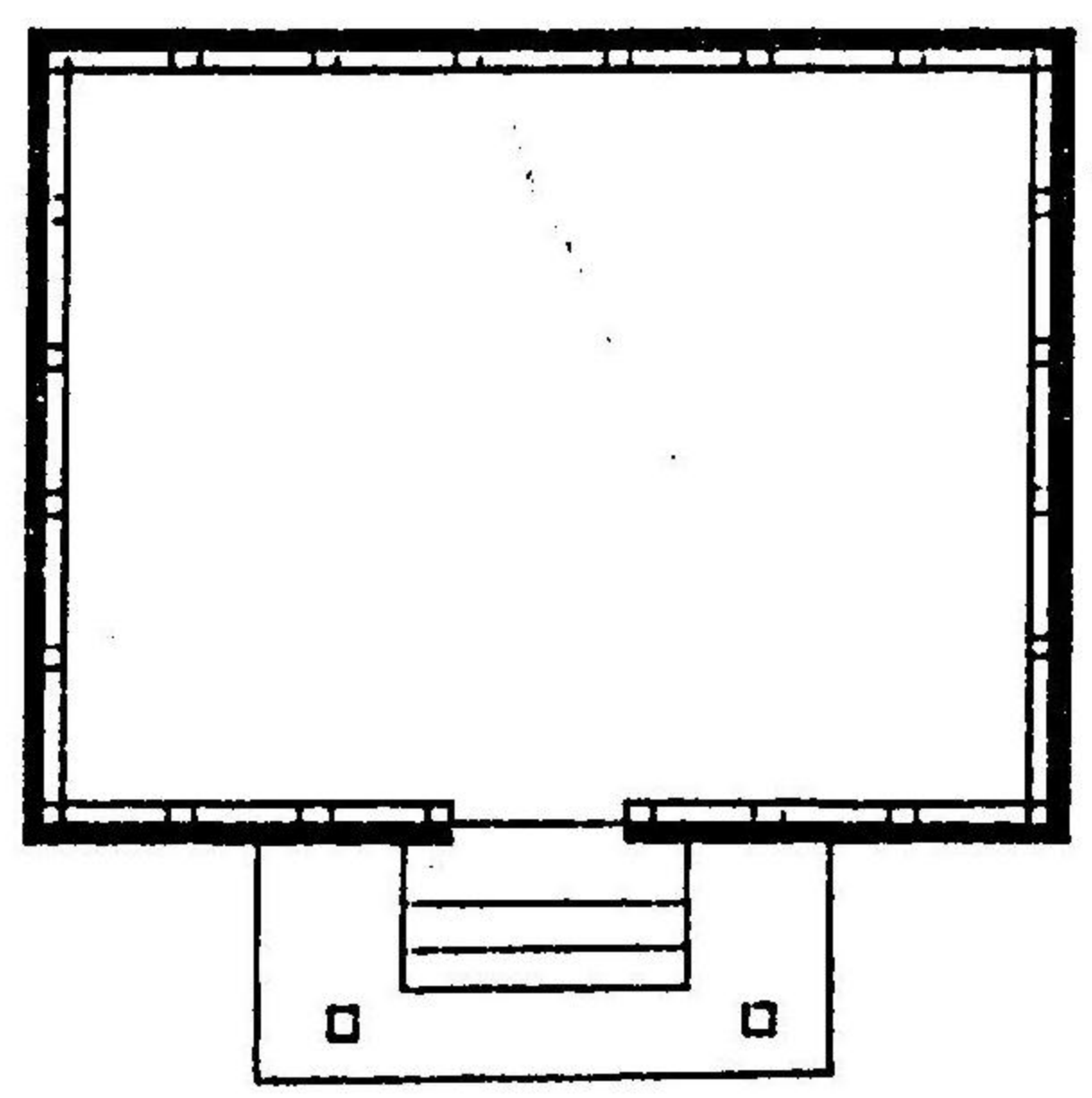
正面



側面

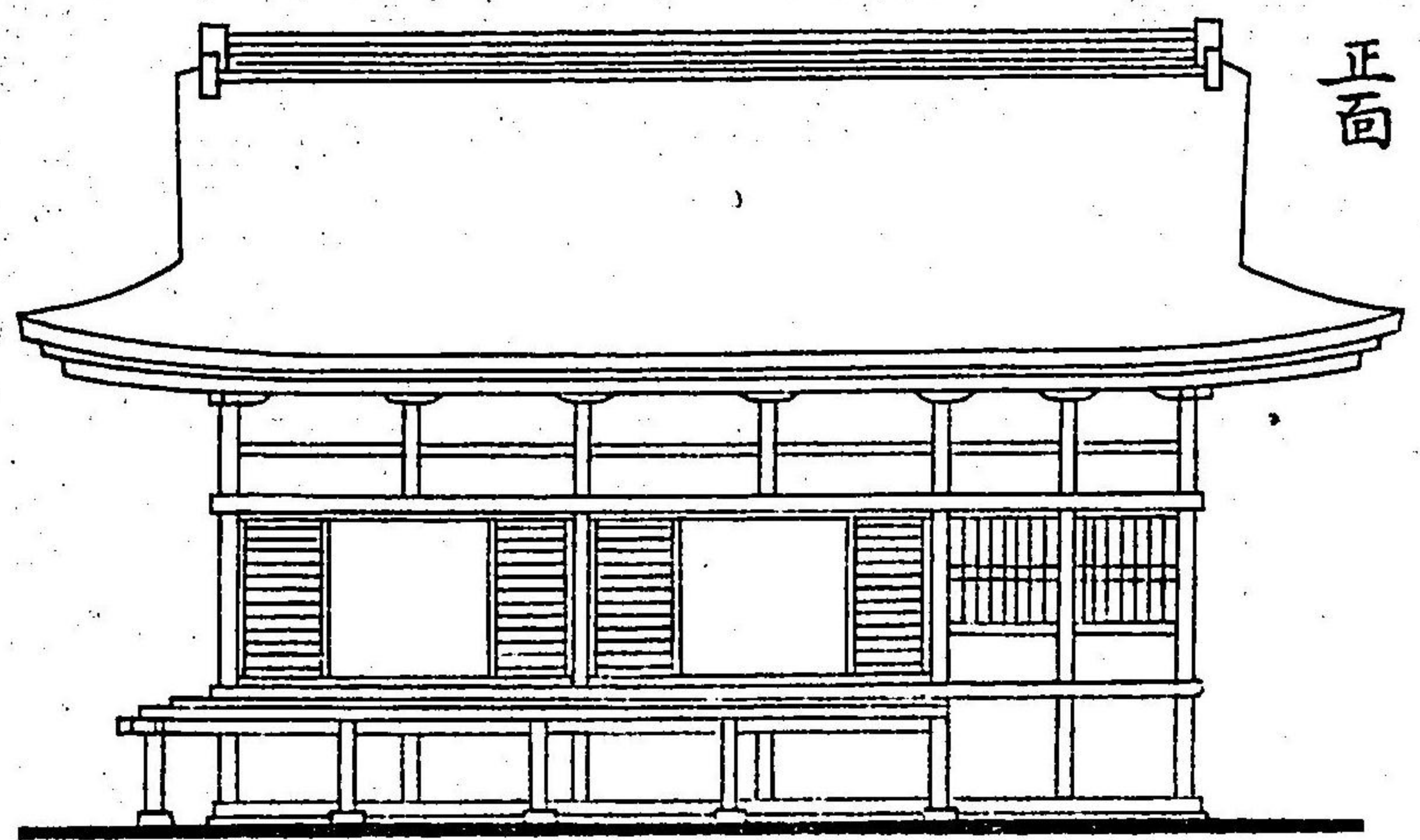


敷圖

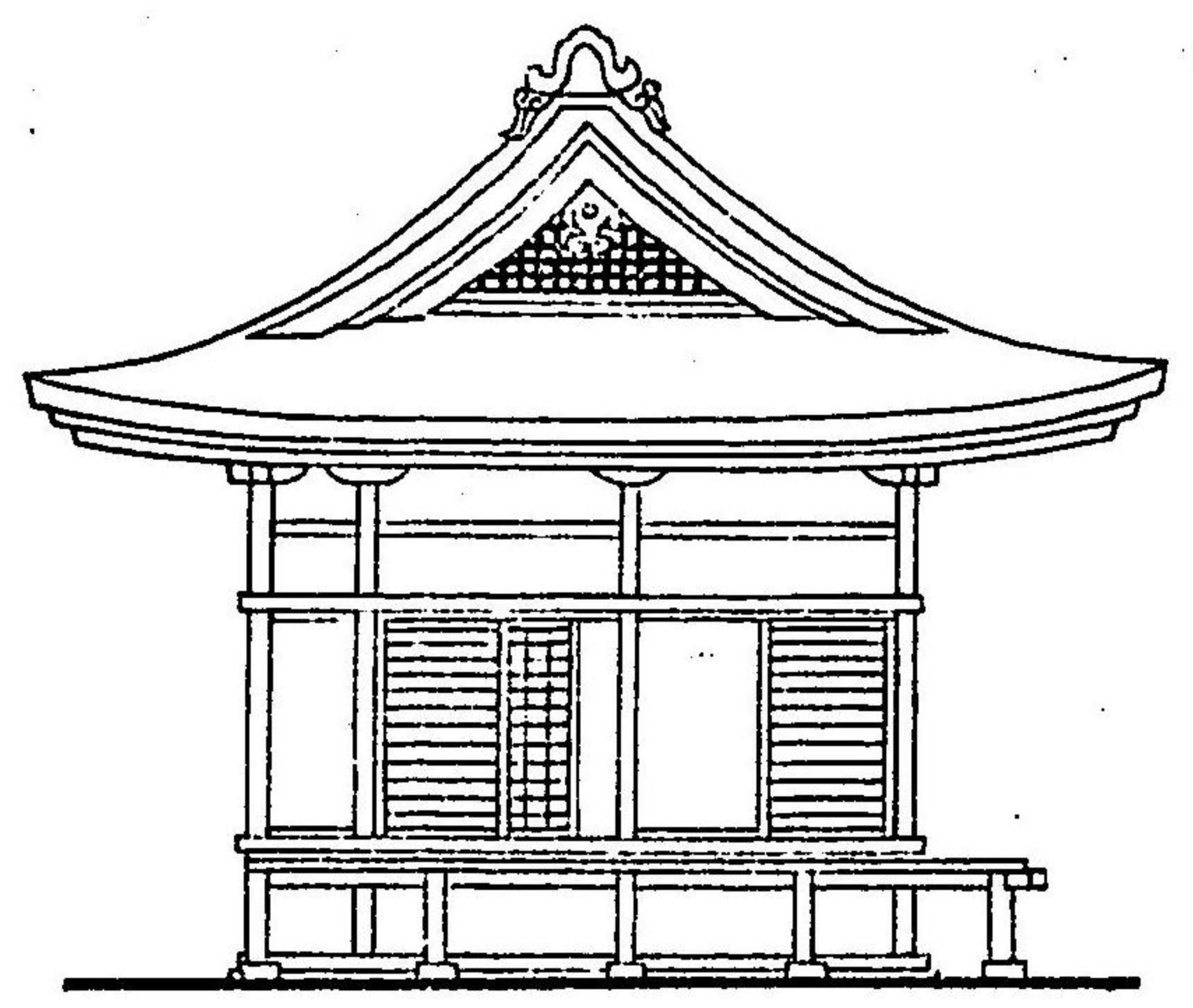


社務所制限圖

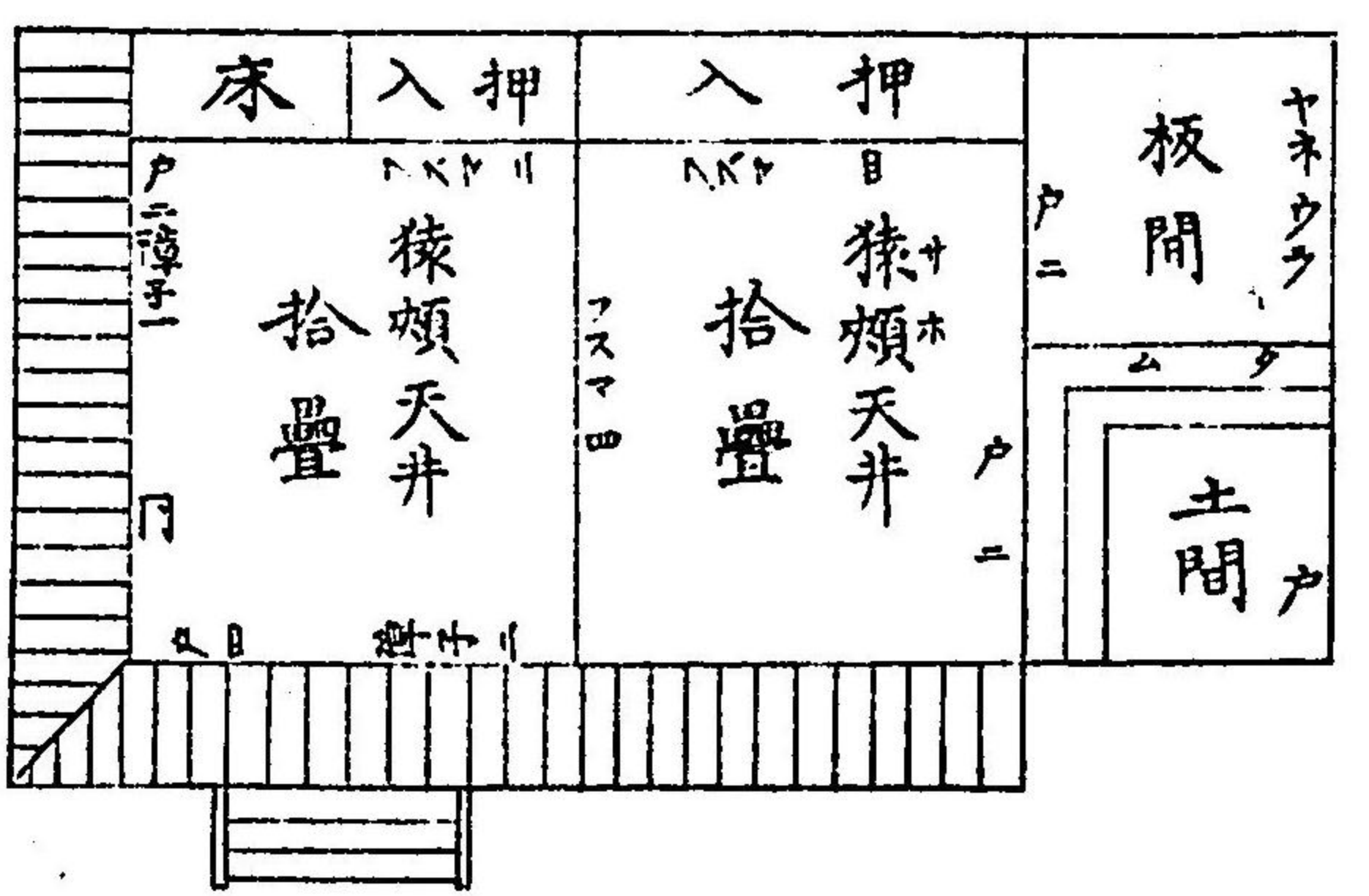
正面



側面



敷圖



大社

六間半
三間半

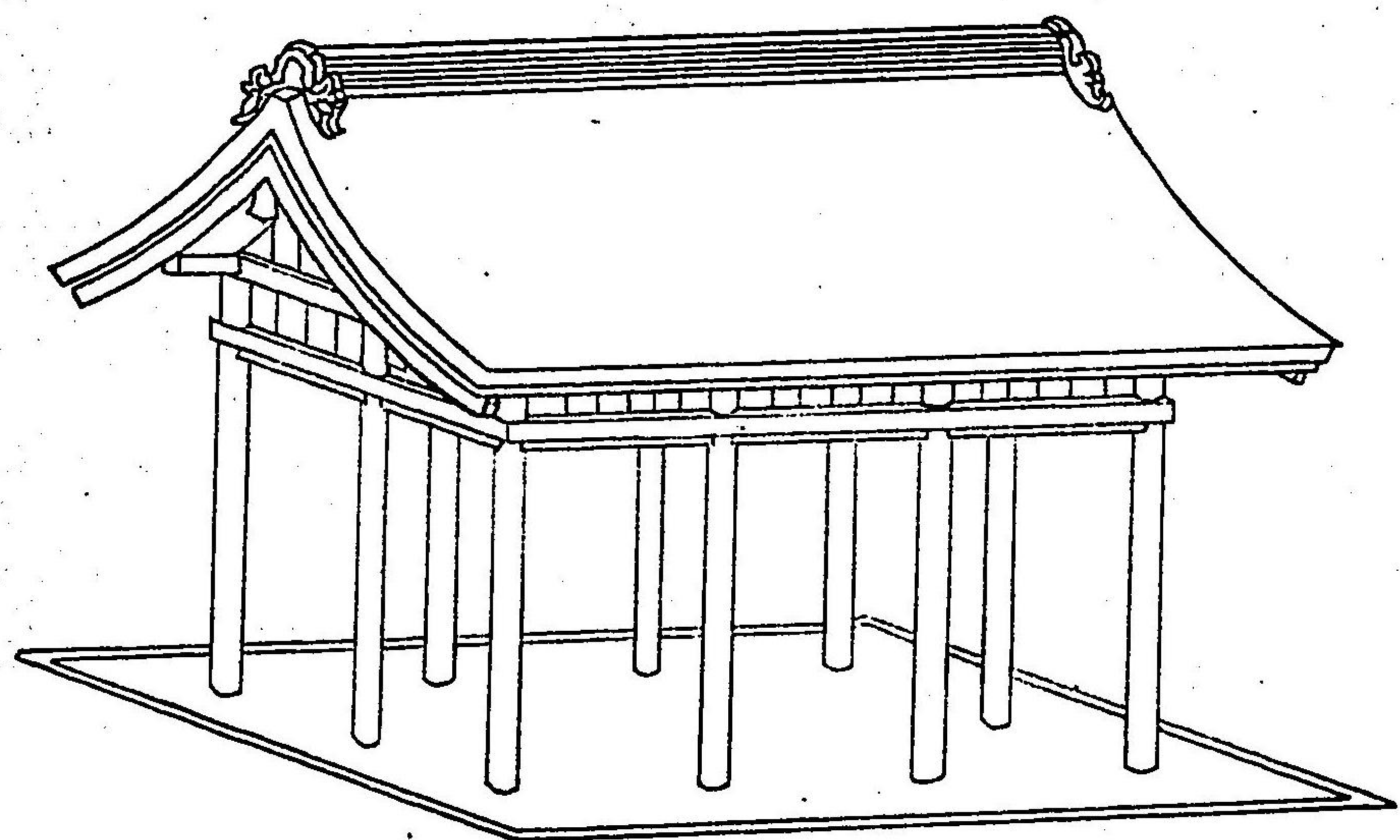
中社

五間半
三間半

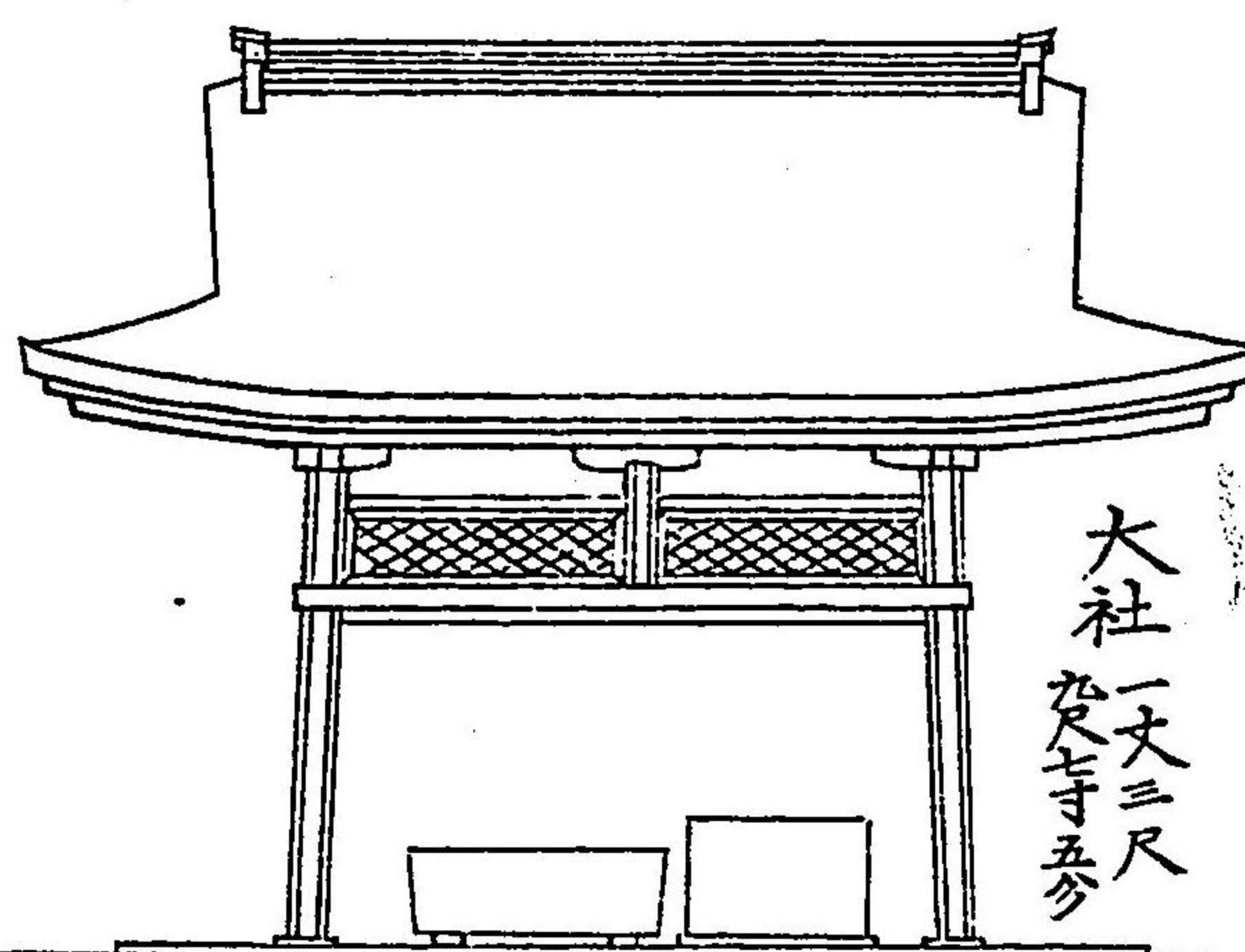
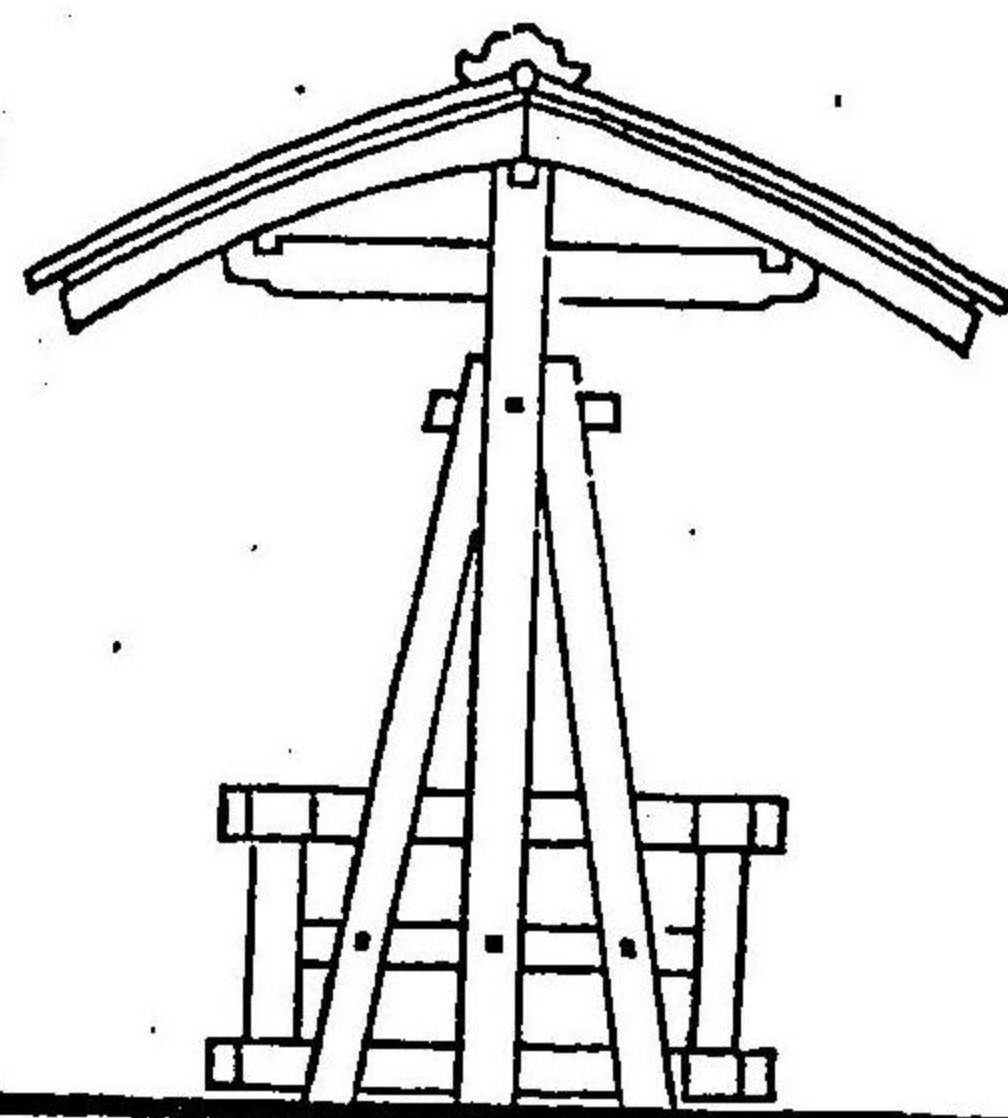
小社

五間
三間

後舍圖

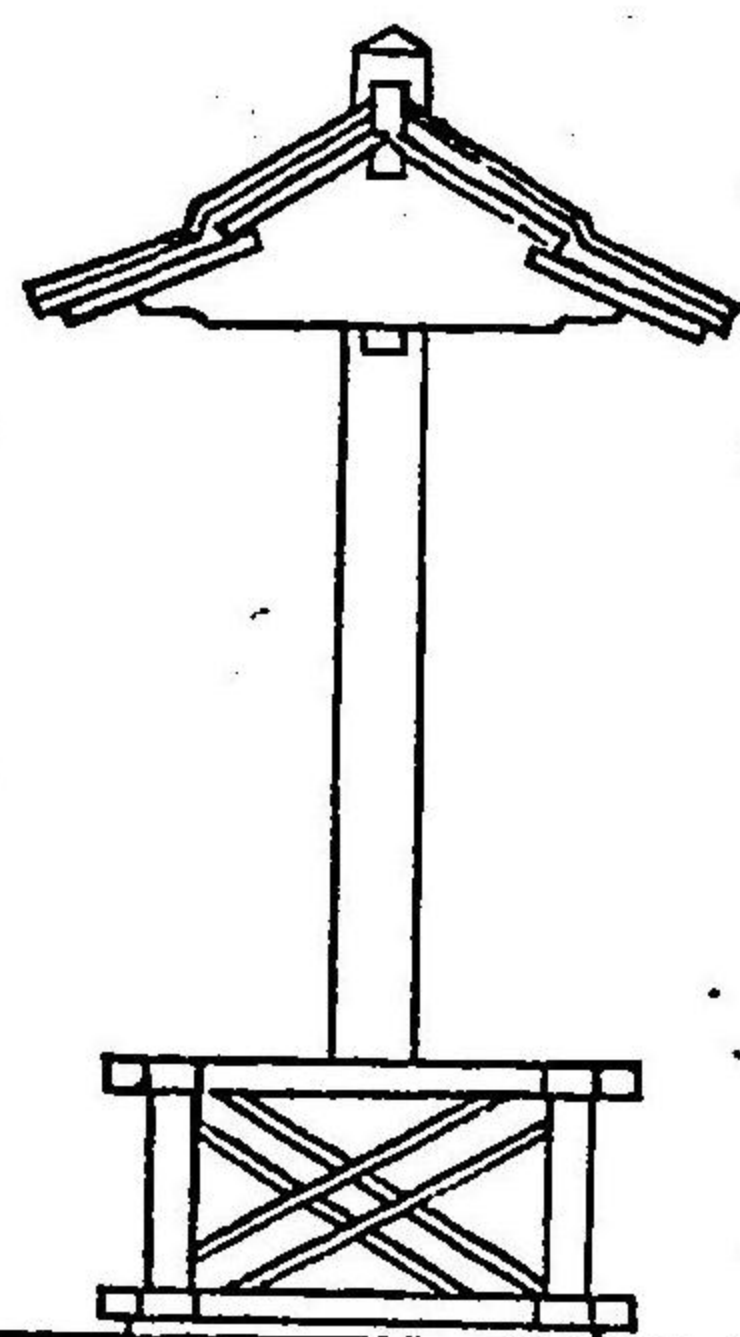


手水舎制限正面圖 井戸屋形制限圖

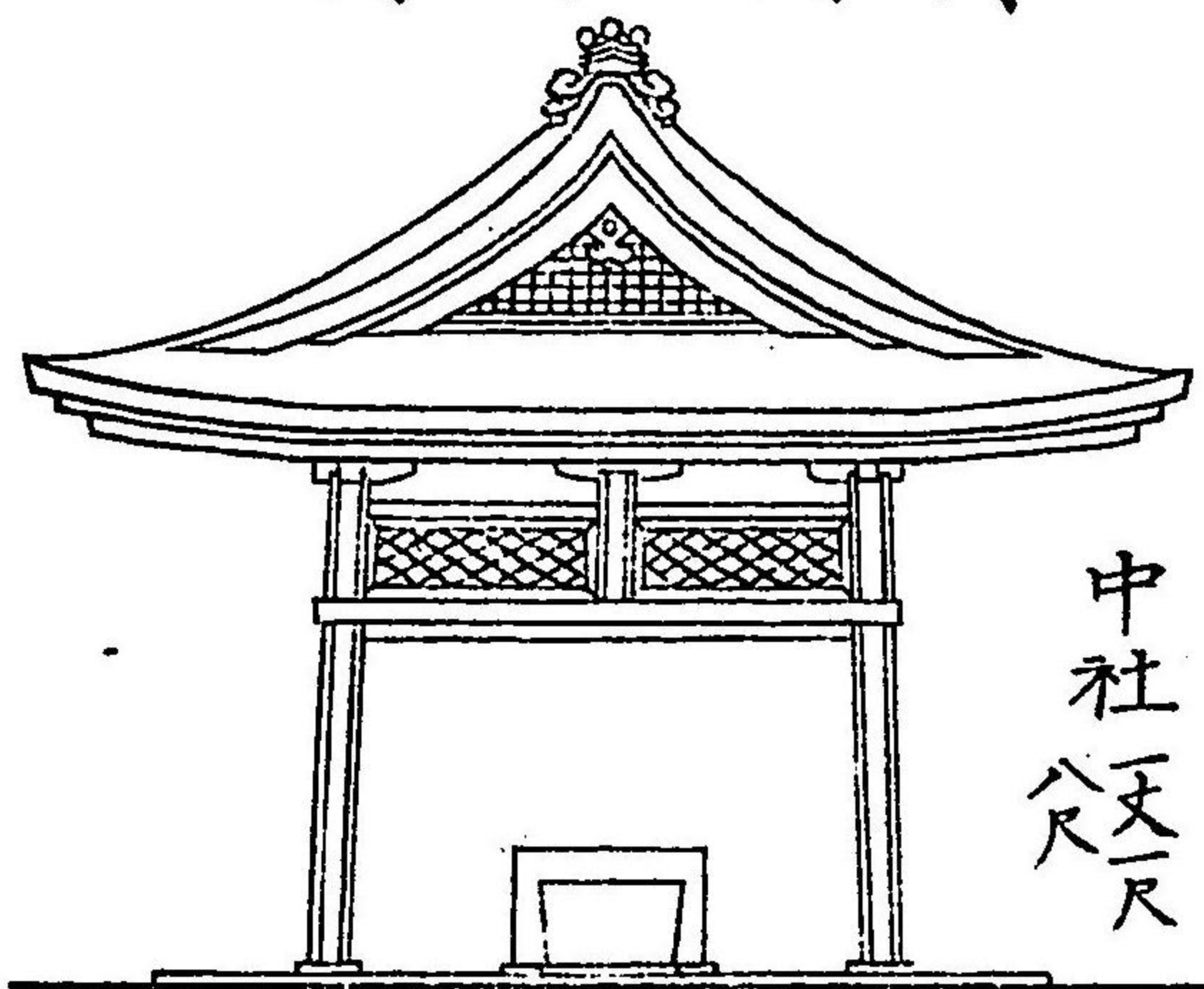


大社 一丈三尺
中社 一丈二尺
小社 一丈

又圖

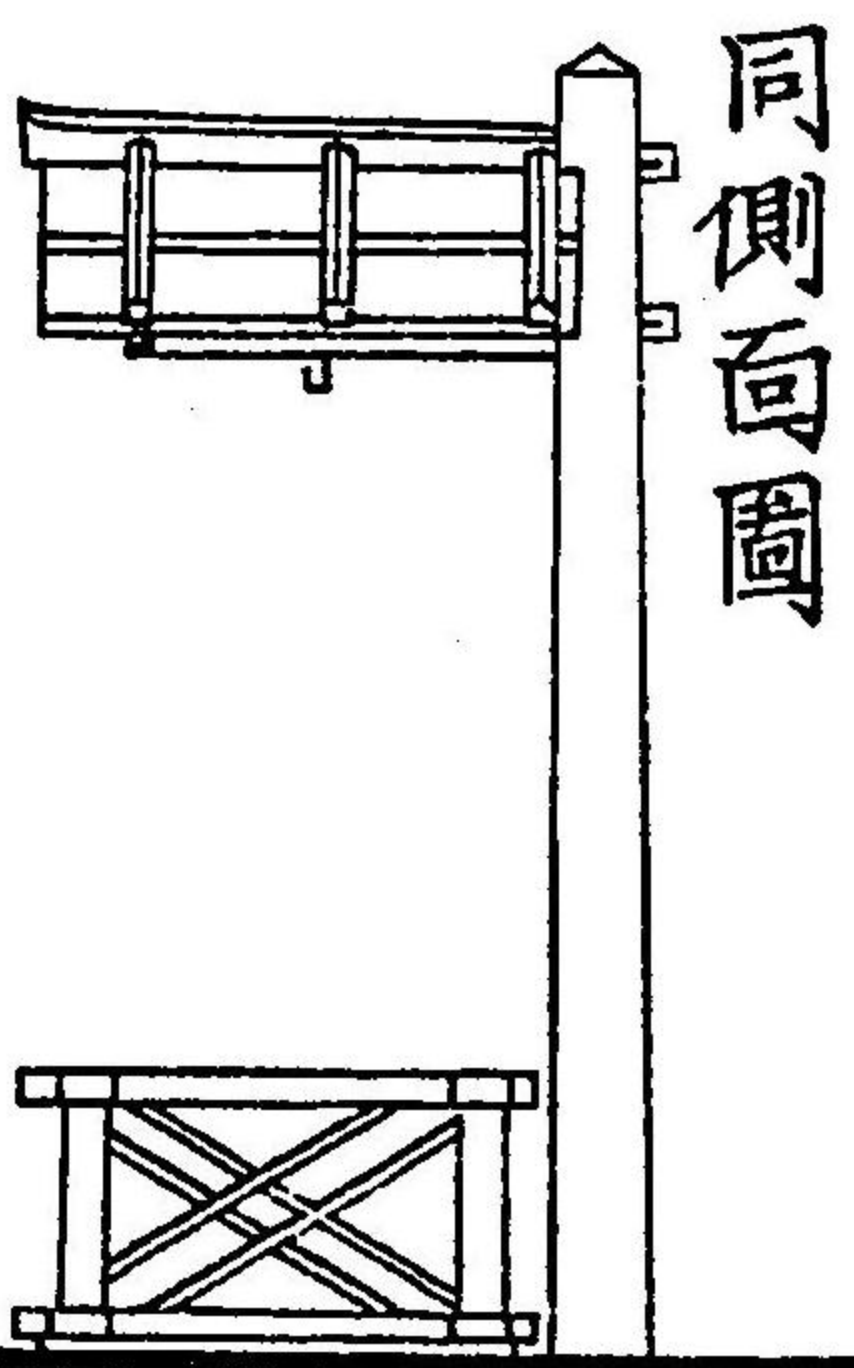


同側面圖

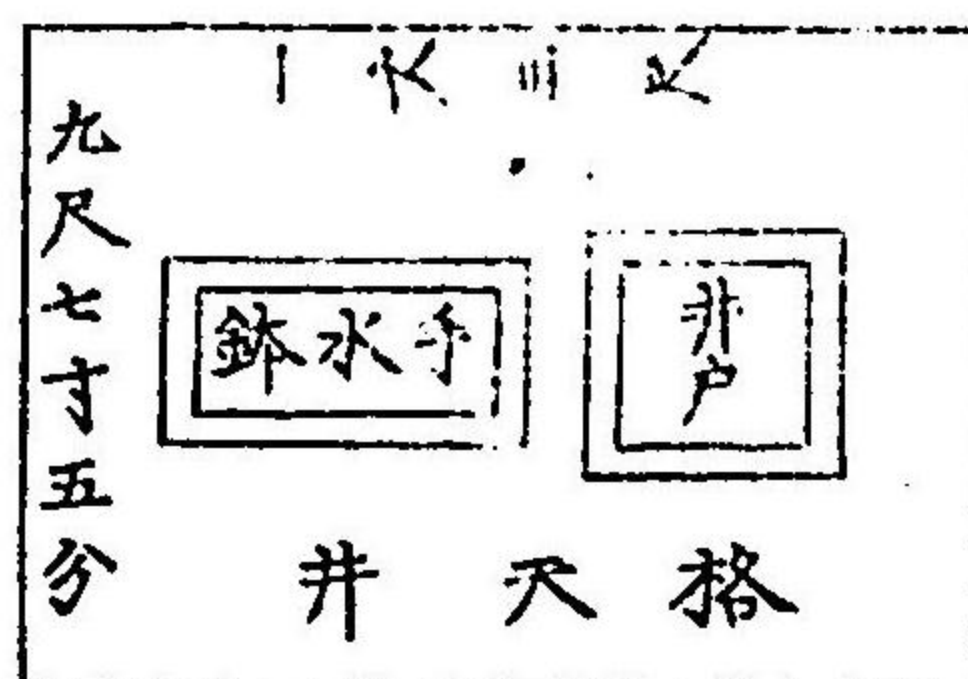


中社 一丈二尺
小社 一丈

同側面圖



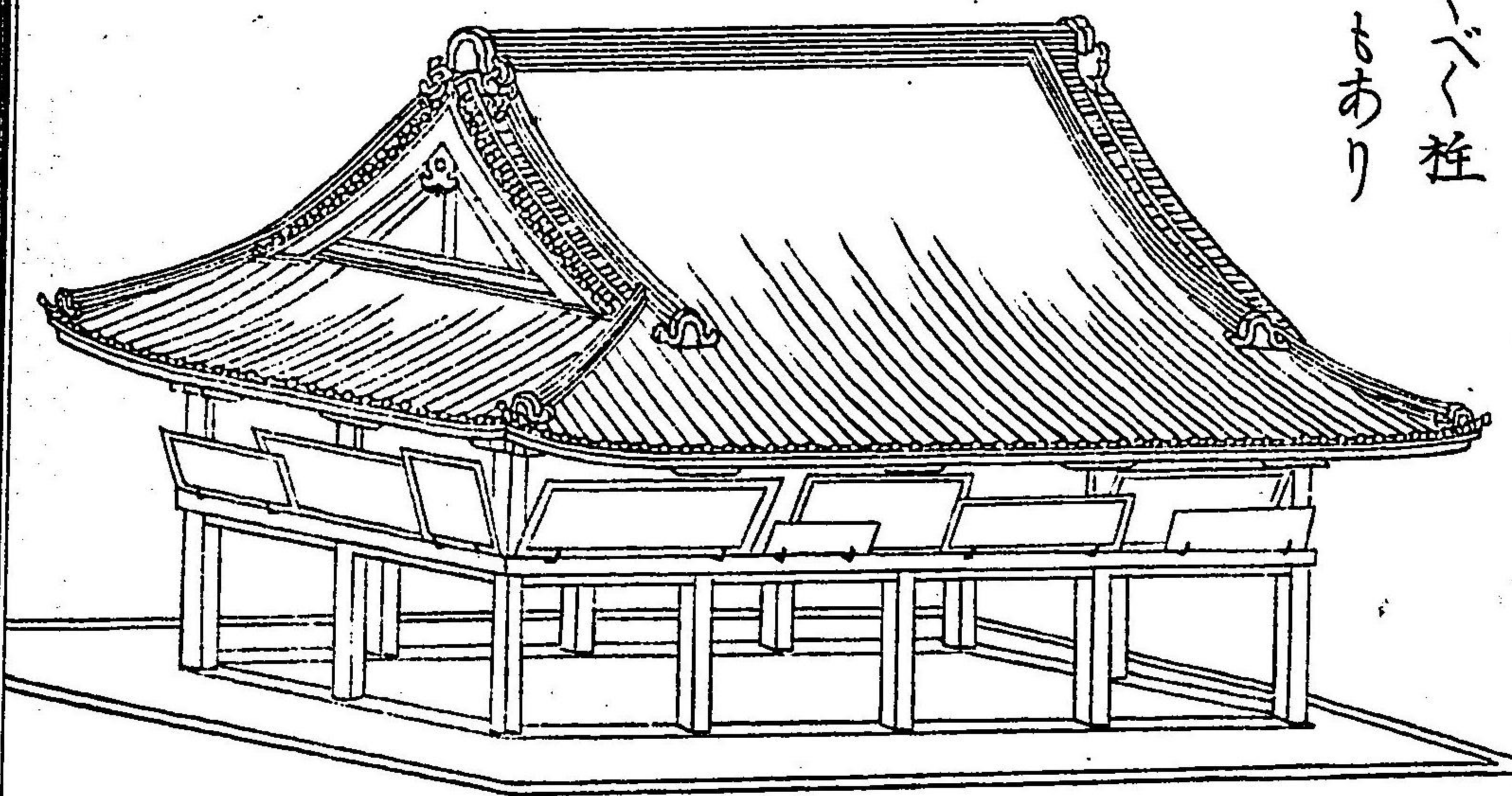
同敷圖



小社 九尺

繪馬舎圖

但舎中馬を繋ぐべく柱
毎に鐐を打たるもあり



右の外は酒殿直會殿齋館宿直所神輿舎着到殿遙拜所頓宮旅所神樂所
能樂舞臺等なり酒殿は酒を造る所にて建設炊殿に類すべく直會殿
は神事の日勸盃の所構造拜殿舞殿に準ト齋館は潔齋の屋舎宿直所は
餘り神殿に離れざるをよとす神輿舎着到殿遙拜所は土間たるべし
頓宮は臨時建るもの旅所は境外にて神幸の節駐輿の所神樂所は常日
巫女の里神樂を奏する所能樂舞臺は諸殿舎の域外に建つべし

サウシヨク テウド
装飭及調度具

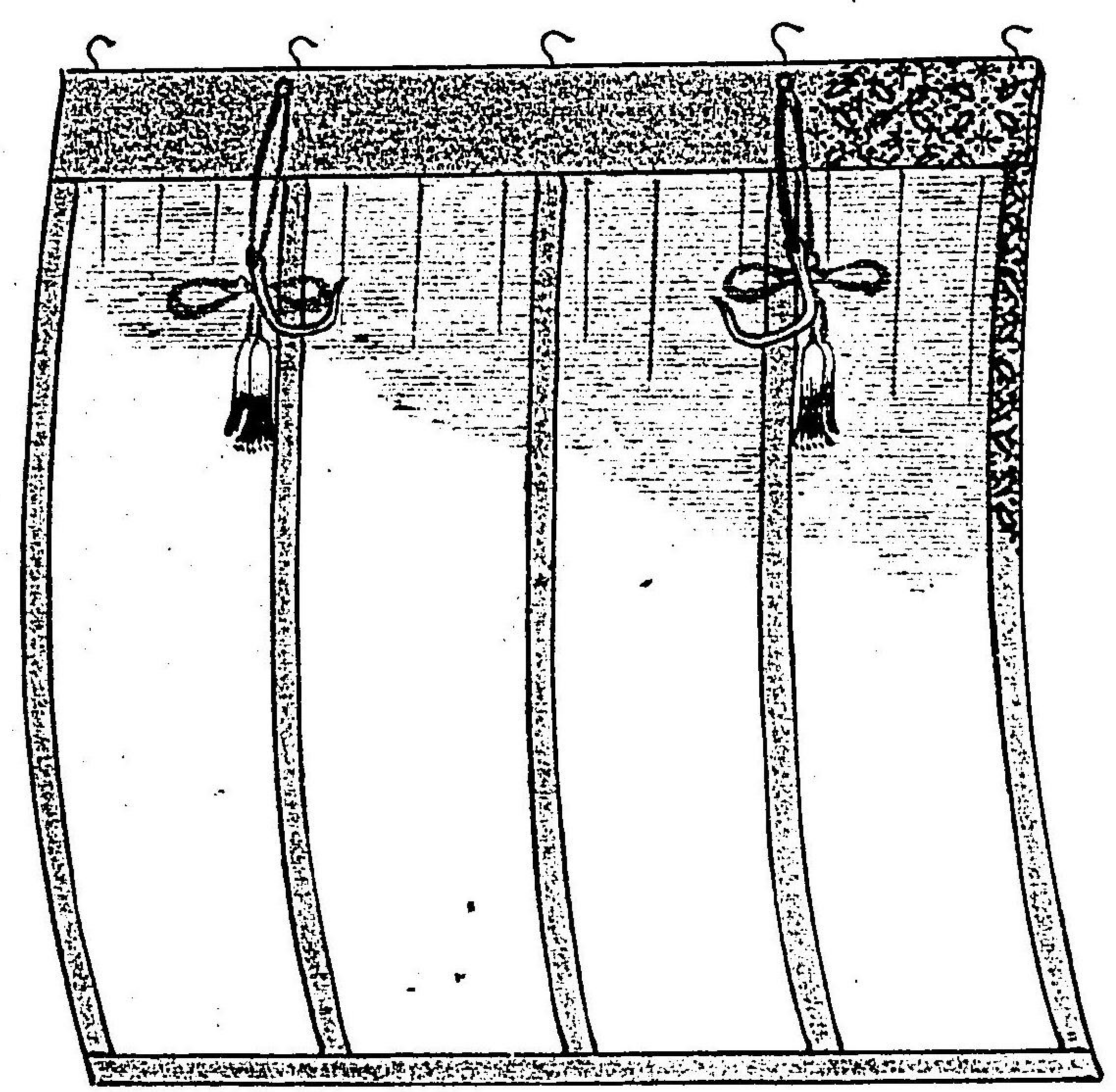
凡装飭調度の類は固より諸式ありて悉く之を載^コすること難^ガしと雖^レ諸
神社の例及び有職故實^{ムツコト}に依て其宜^タき物を採集し大概を擧^トげて其準^ス據^ト
に便す

ミス
簾

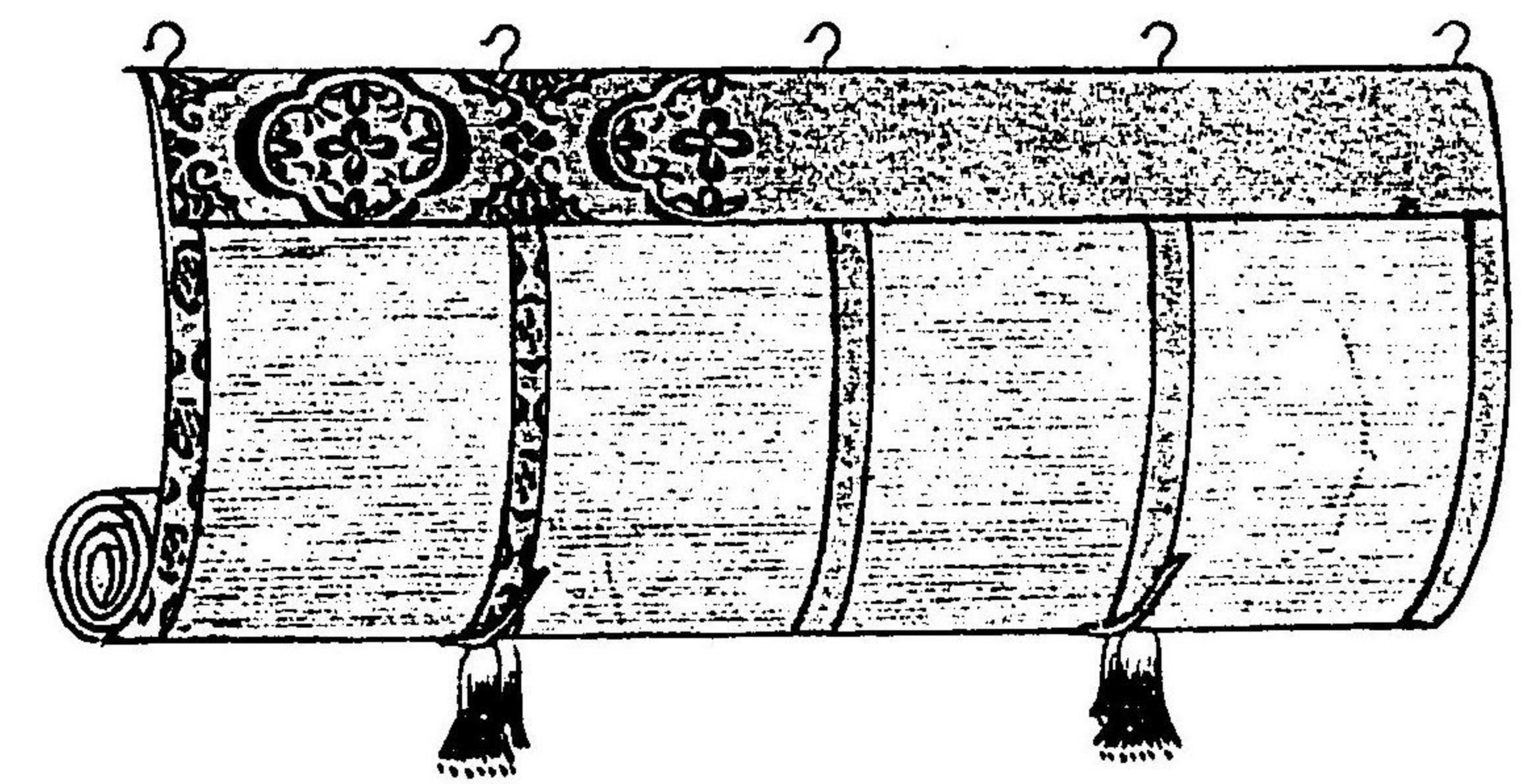
内陣^{ウチノマタ}の扉内^{トノチ}に懸^カくるは縁大和錦^{ヘリオホトニキ}を用^ヒる色及び紋^{モノ}定^マらず或は華美^{カミ}を
衒^テひて金襴^{キムラム}を用^ヒるたるも有^レれど甚^ク陋^クし外邊^{ソトノヘ}に掛^ケくるには花色^{ハナノイロ}萌^モ黄^キ
色の平絹^{ヘイキヌ}をよりとす又は大和錦^{オホトニキ}を用^ヒるたるもあり
鉤^{カギ}は内陣^{ウチノマタ}に掛^ケくる者は之を外^{ソト}に外陣^{ソトノマタ}其他^{ソノタ}に掛^ケる者は之を内^{ウチ}に着
るを汰^ハとす

簾^{ミス}を懸^カるには鴨居^{カモキ}に壺^{ツバ}金物^{カネモノ}を打ち蛭^{ヒル}鉤^{カギ}を以て之を懸^カくるなり

内陣扉内の簾圖



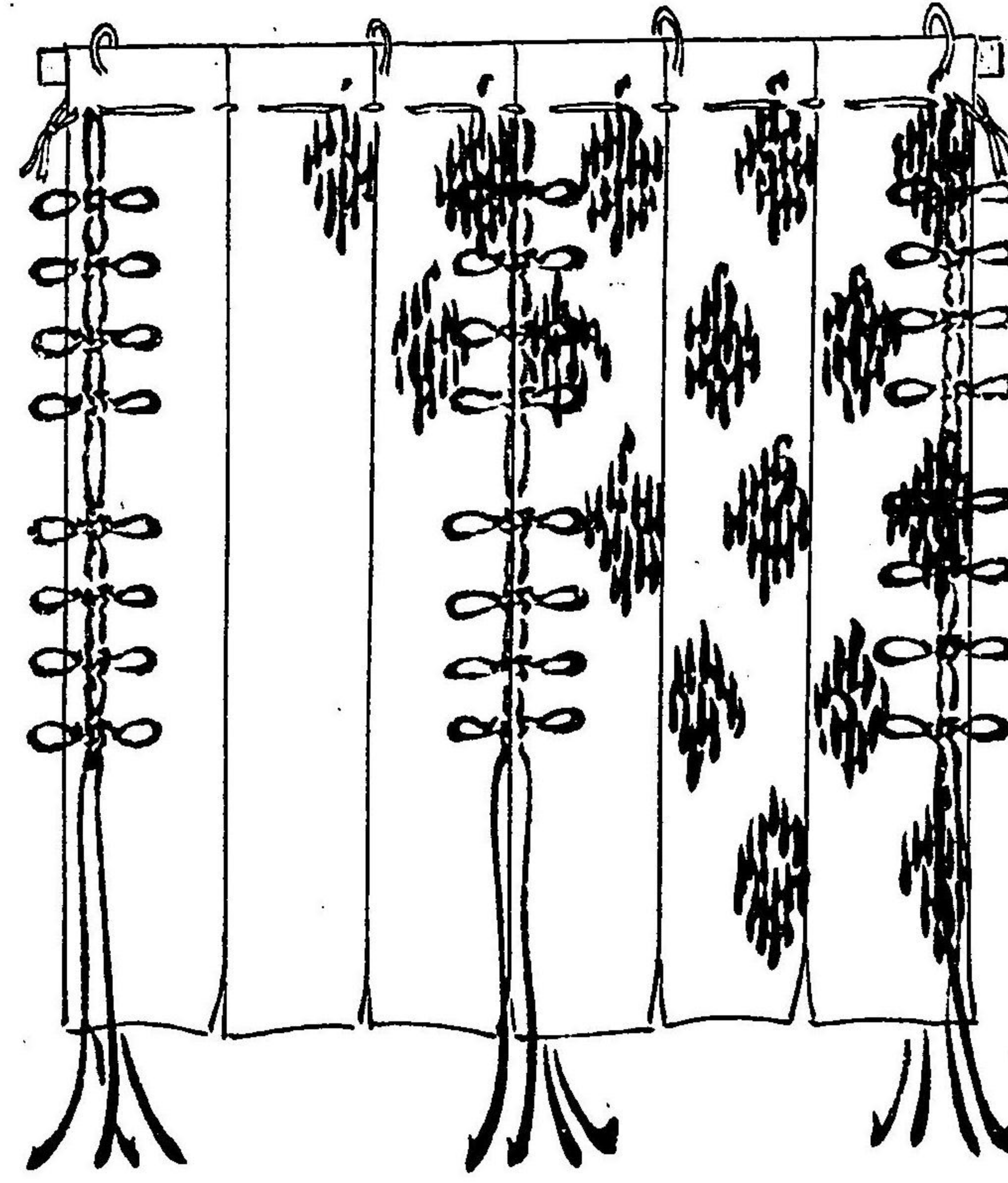
外部の簾圖



幌トリ

内陣簾の内に掲ぐ地大和錦真紅の褰紐を付す又堅地織物或は平絹にて作り朽木形などを摺り野筋を付するもあり次の壁代の如し

此処に檜の棹ササを入れ上の輪を杭釘ツルギに懸ツルぐべし

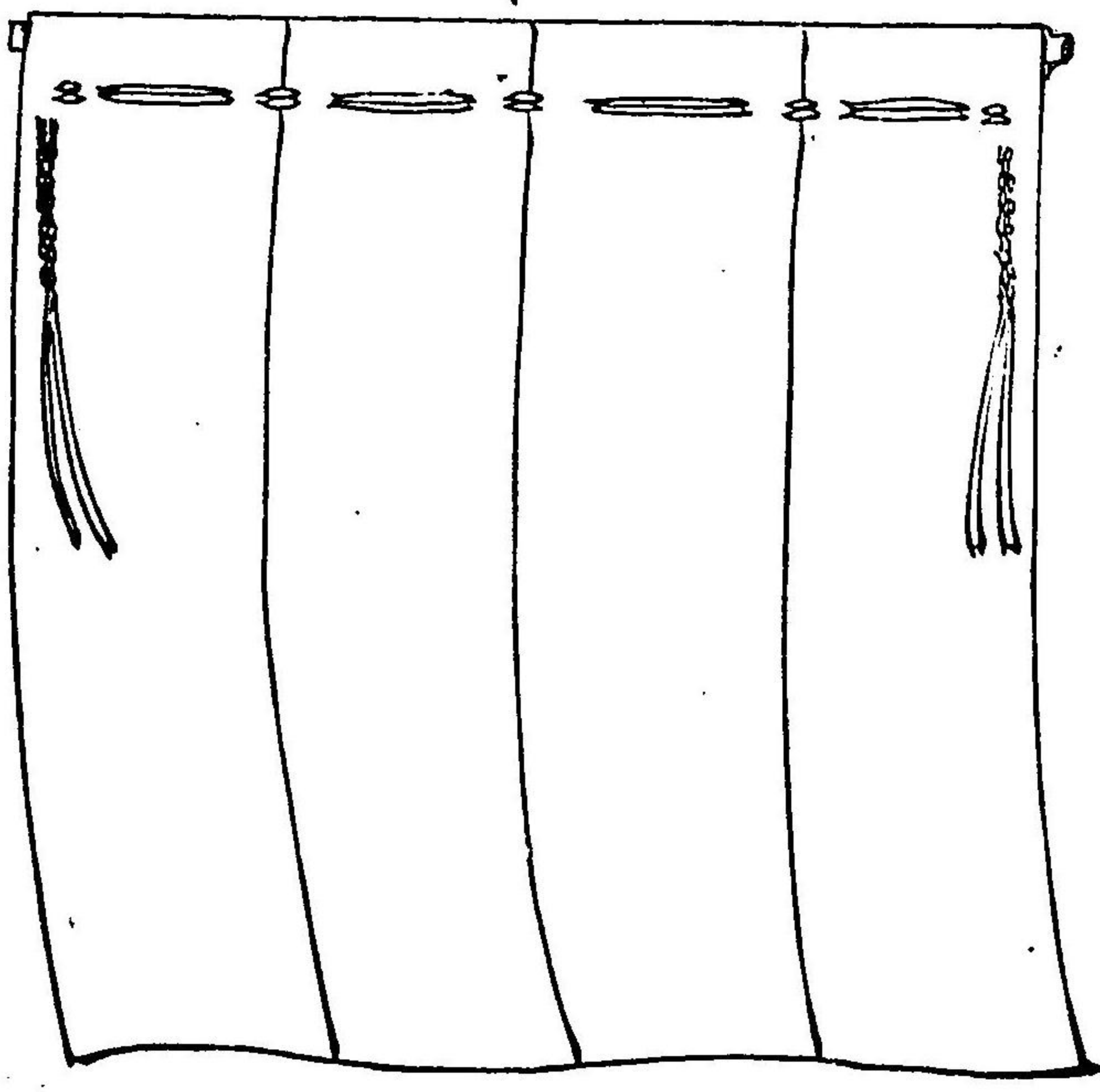
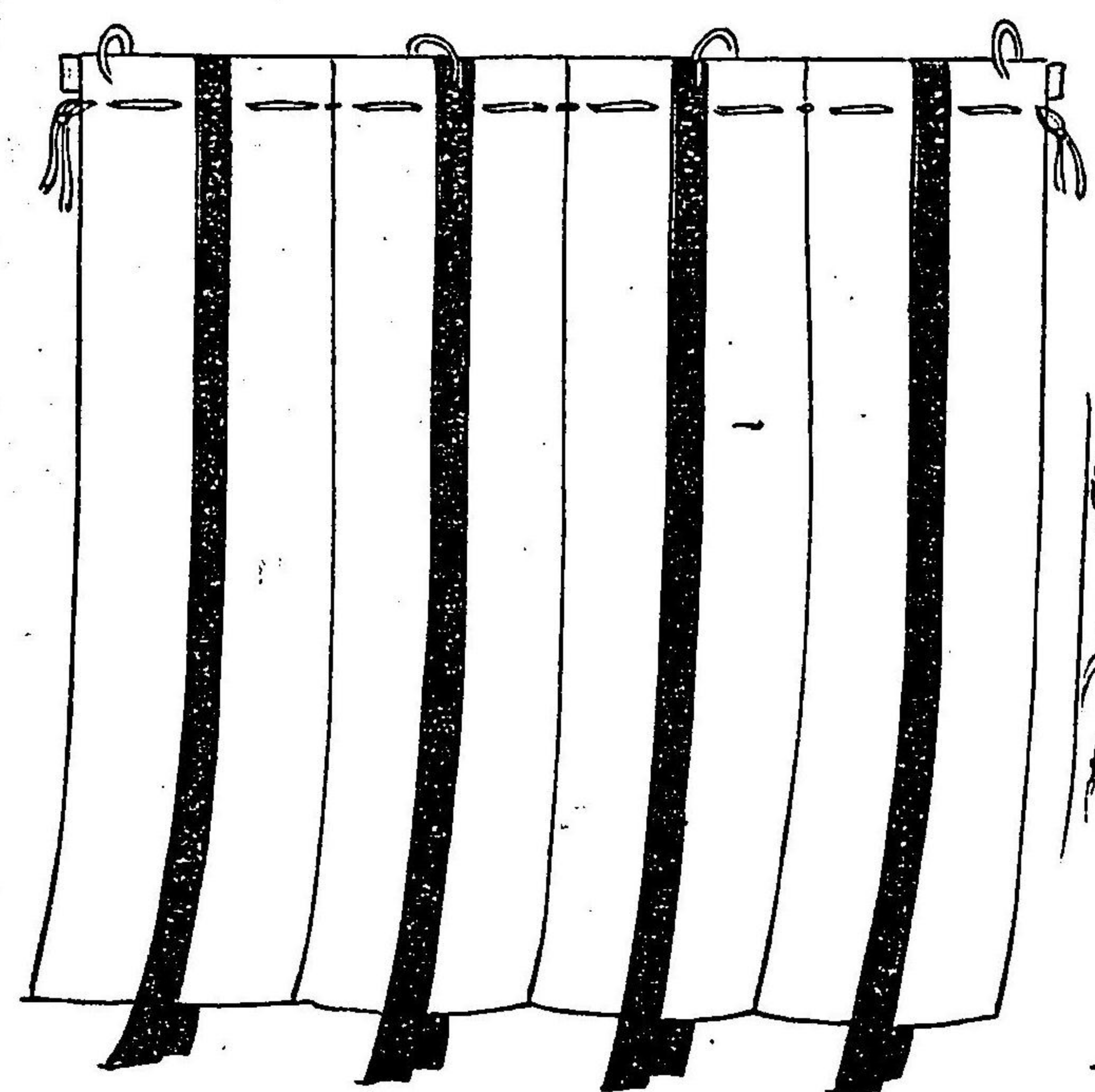


壁代

内陣の前面扉の處を除き周圍の羽目板の上に掛く地表裏白平箔或は略して晒布を用るもあり野筋は赤と黒との箔をハラアセに逢ふなり又紫のみもあるもあり胡粉にて蝶鳥を画く

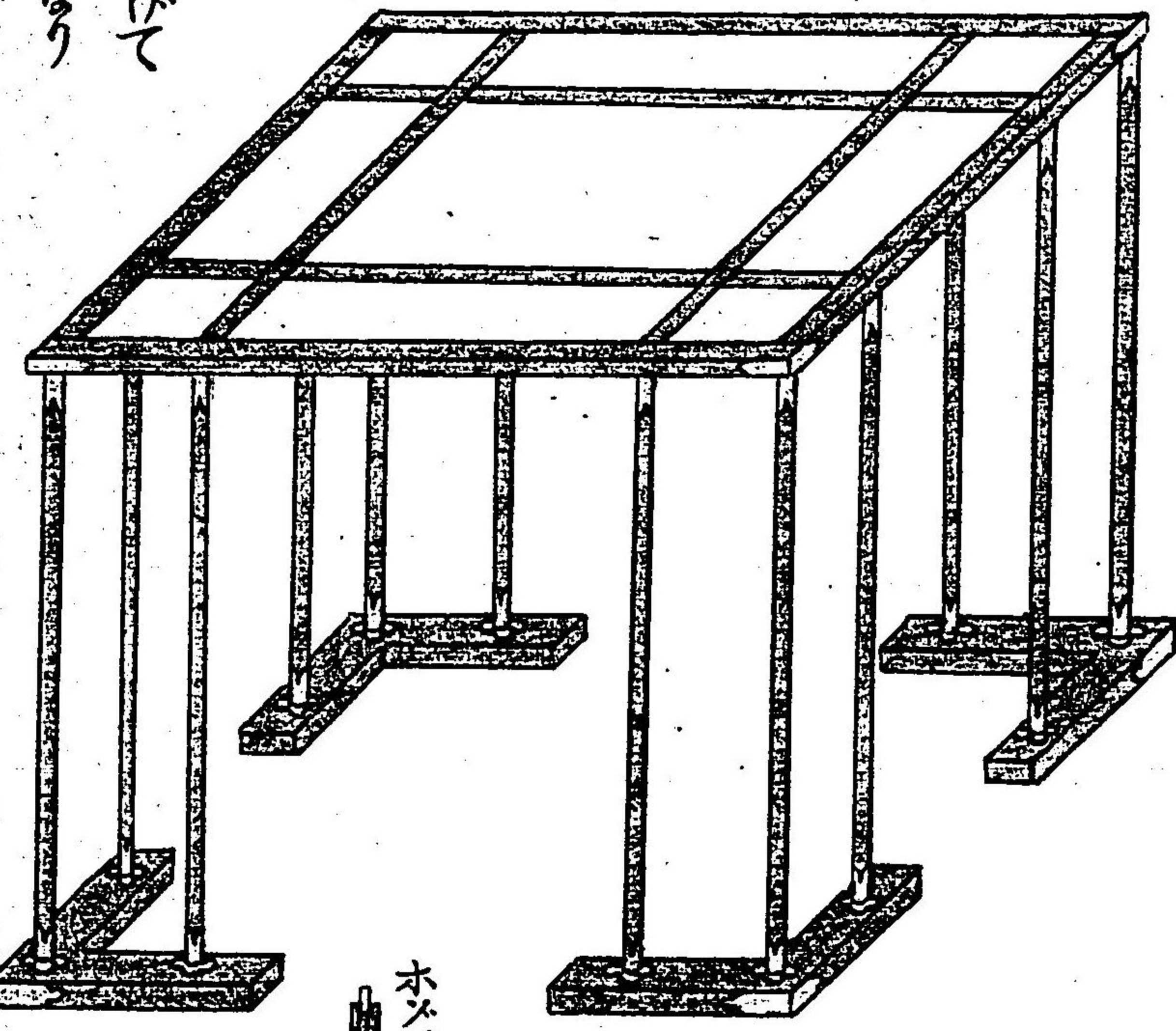
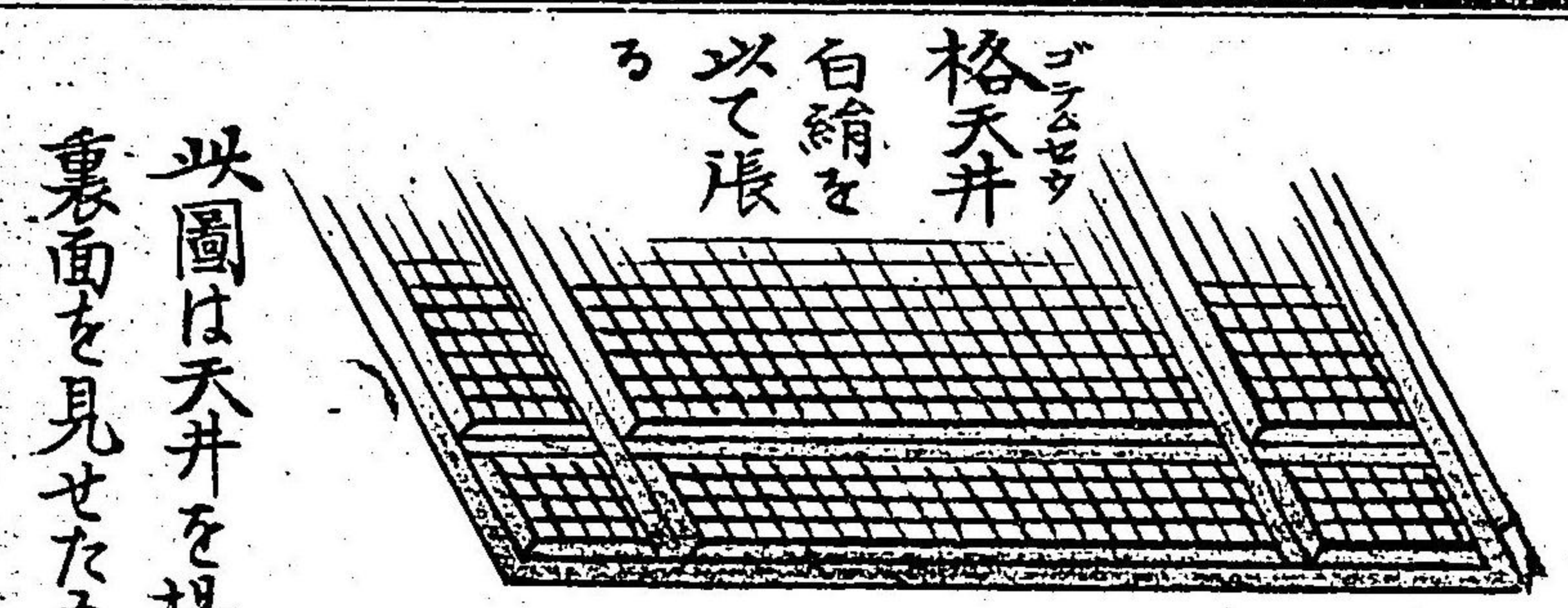
蝶鳥

又圖 白箔又は白布裏を



帳臺

帳臺は此内に靈代を安置する物なり又堅固なるを計りて下框を四隅に分たず四面通して造るもあり

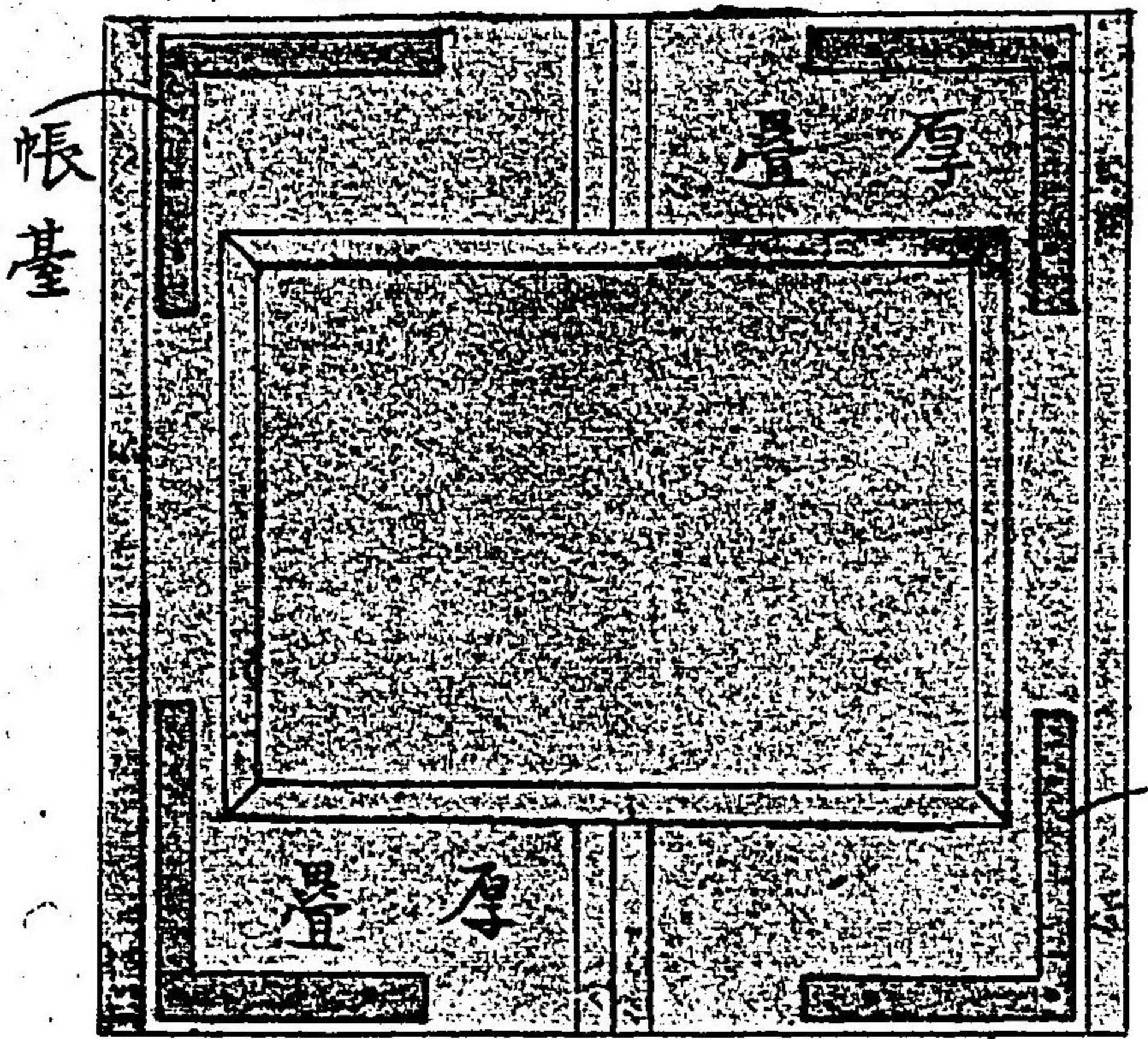


- 木鉄 帳柱形八角
- 柱圓座
- 柱脇金
- 土居隅脇金物
- 菱釘
- 鐵クサビ
- 殺折足金物

此圖は天井を揚げて裏面を見せたなり

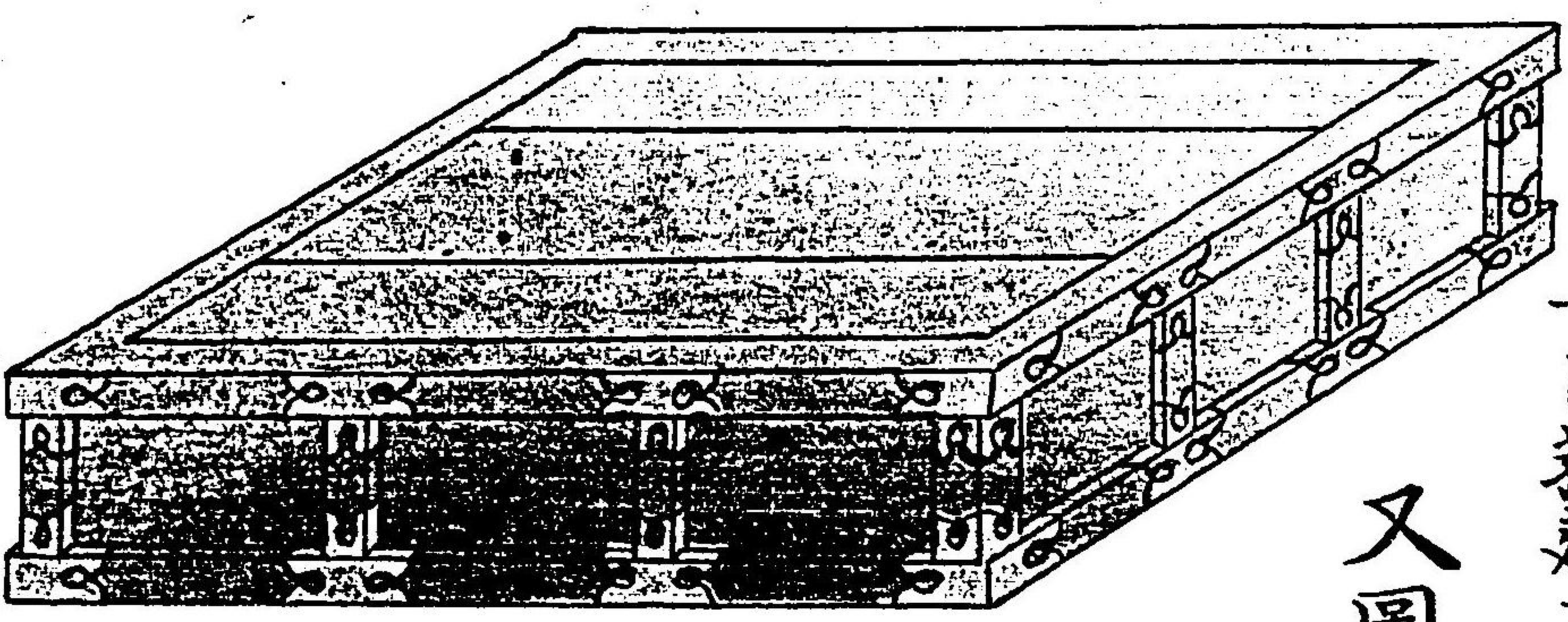
厚畳

帳臺の下に敷く畳を云但二畳の合せ目を前とすべきなり或は横となすも一畳ならは綫綱端を前とすべし

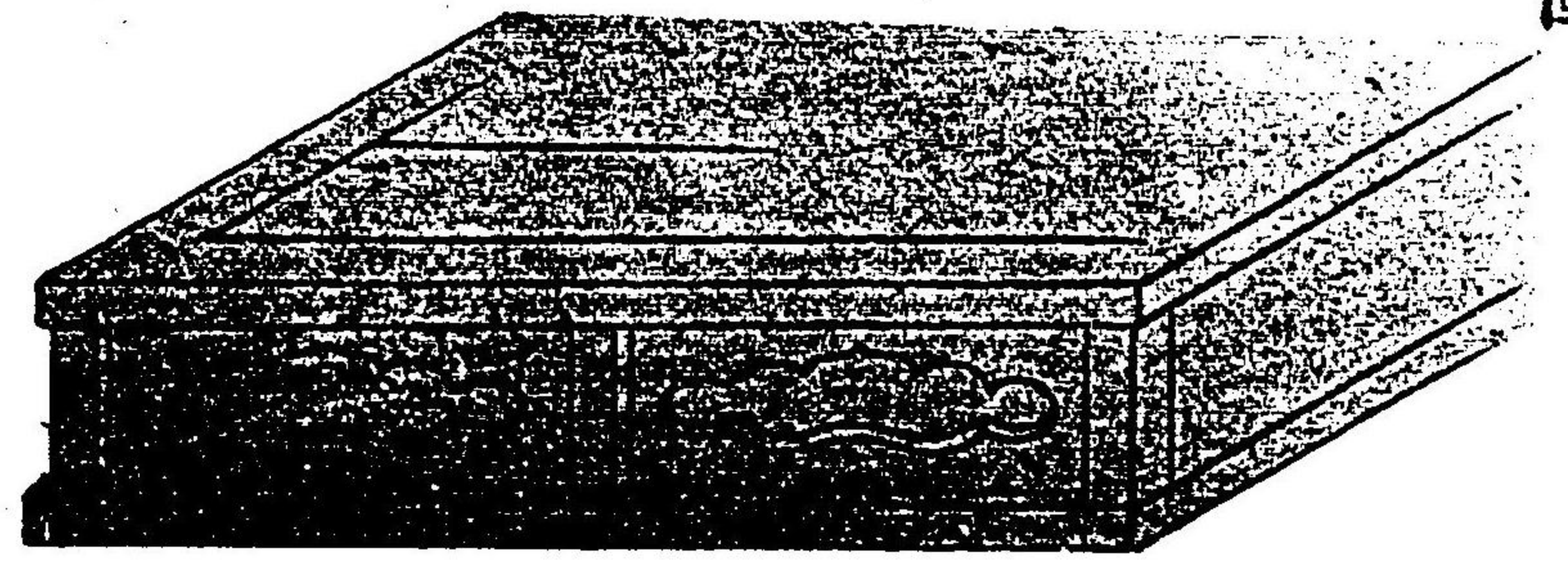


濱床

帳臺を載する臺なり下に拵延を敷くべし



又圖



錦蓋

帳臺の格天井に掛けて霊代を覆ふ物なり又は内陣天井より掛け垂して帳臺の上を覆ふもあり但垂絹は大和

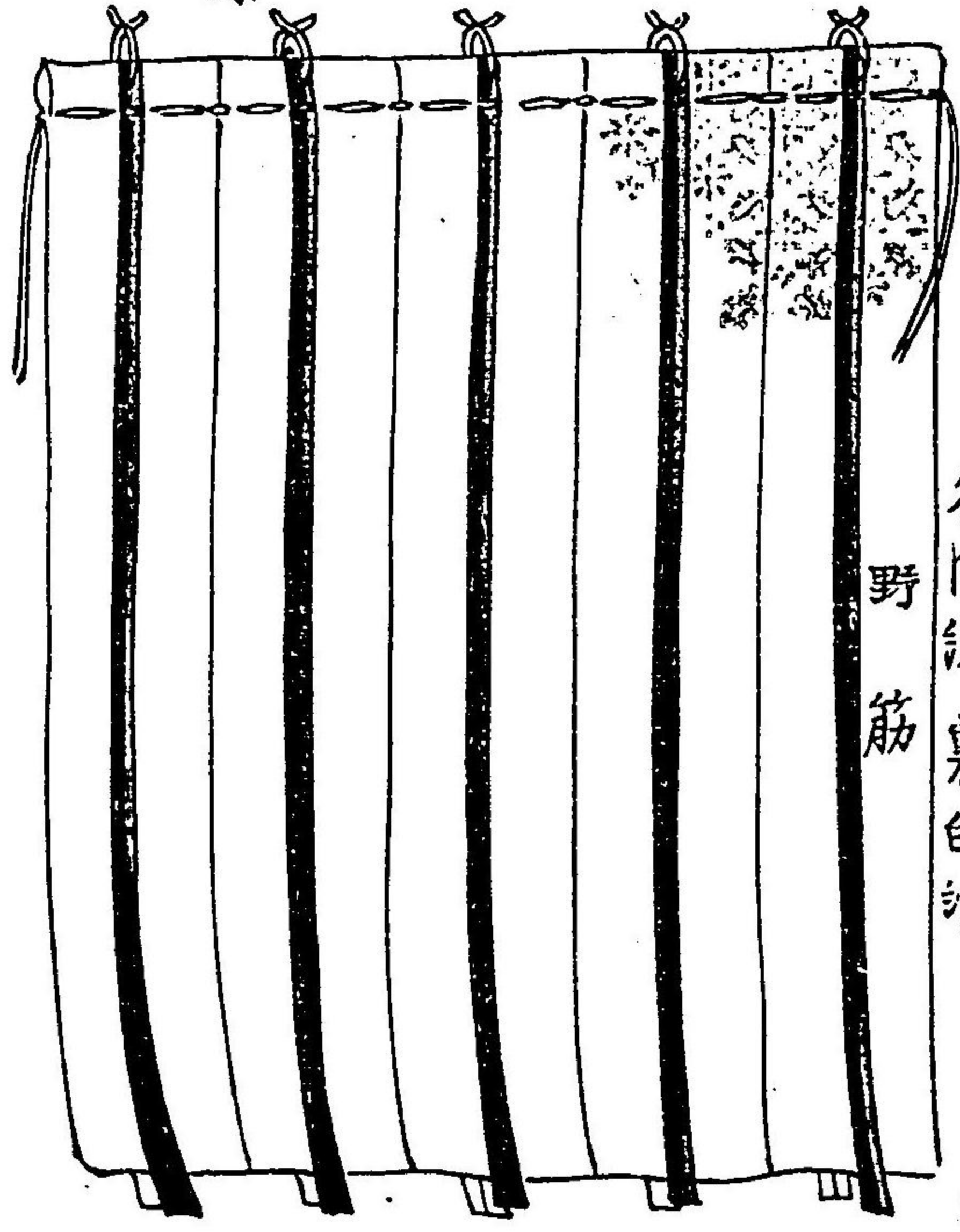


錦又白綾用な

帷

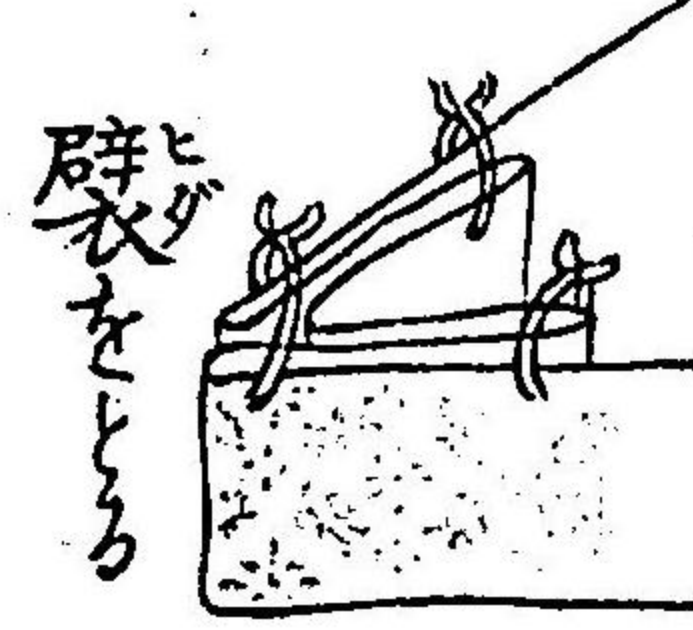
帳臺の四面隅に懸く用の様次の総図に見ゆ 表織物又は平絹夏は生冬は絹裏白絹

此四分四條

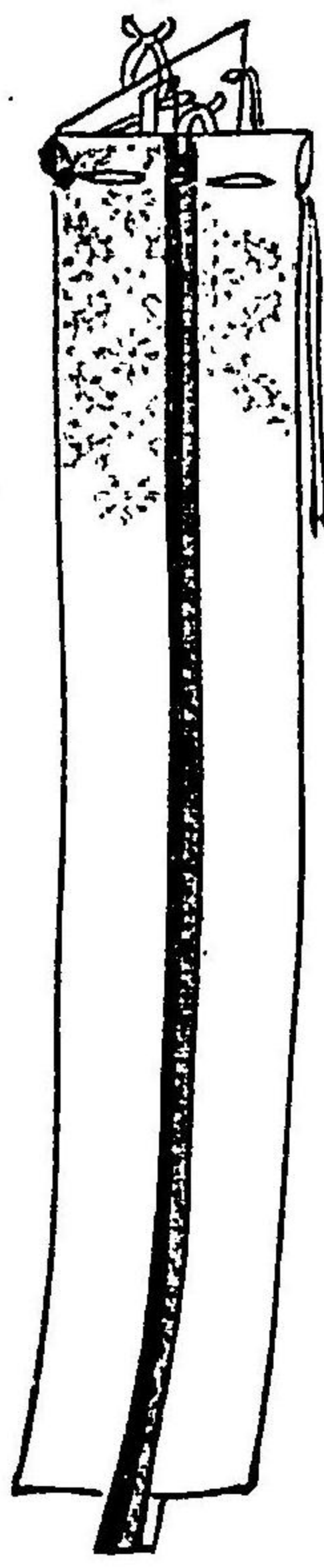


帽額

帳臺四面の上框を環ら懸く両端を後の真中にて合すなり表裏帷に同ド



此分四條



衾

白地織物或は白平箔又は
大和錦裁縫表裏同ト

八重疊

敷方次の図を
見て知る

大床子

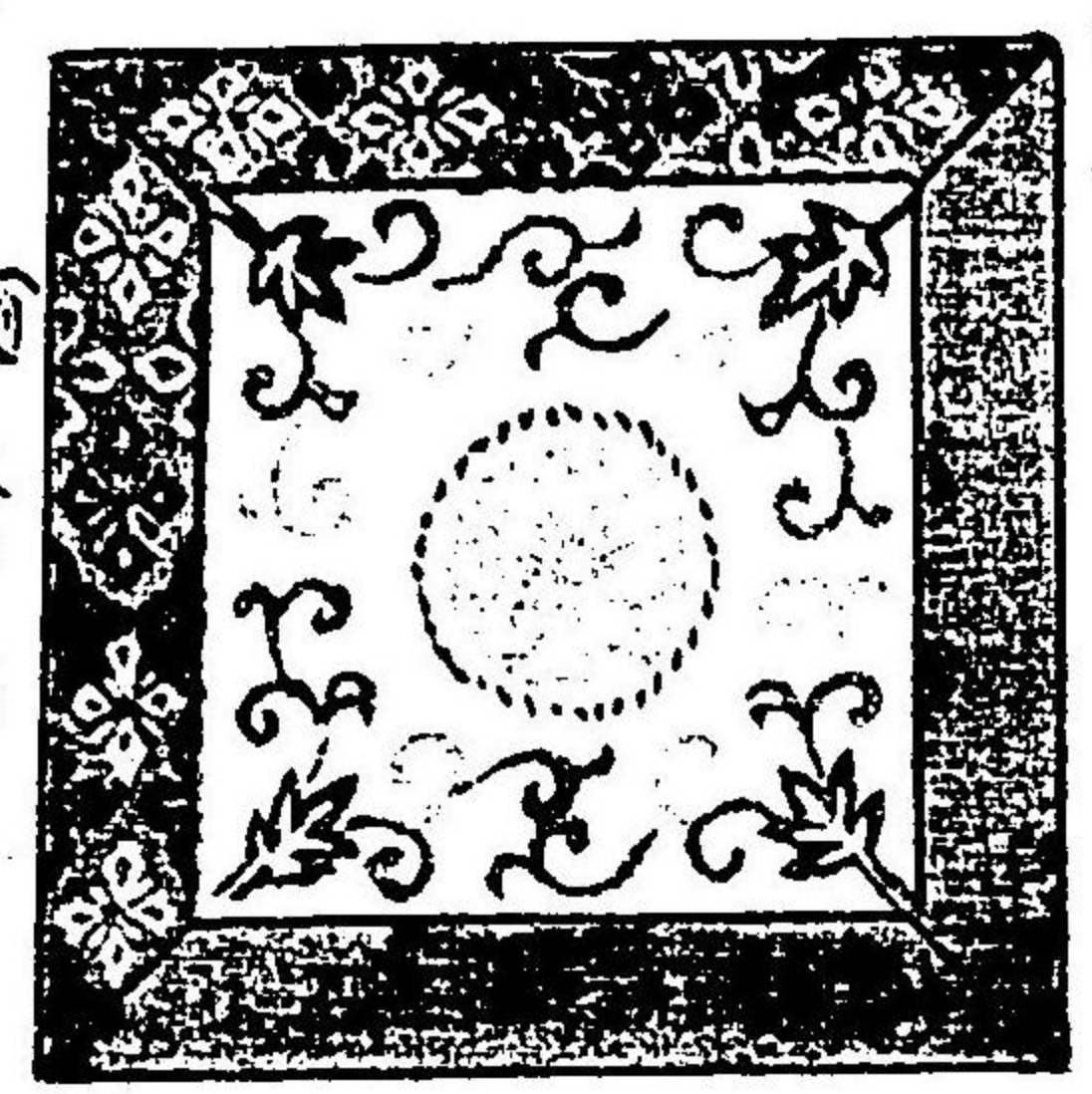
厚疊の上之を

置但し
ふれなき
もあり

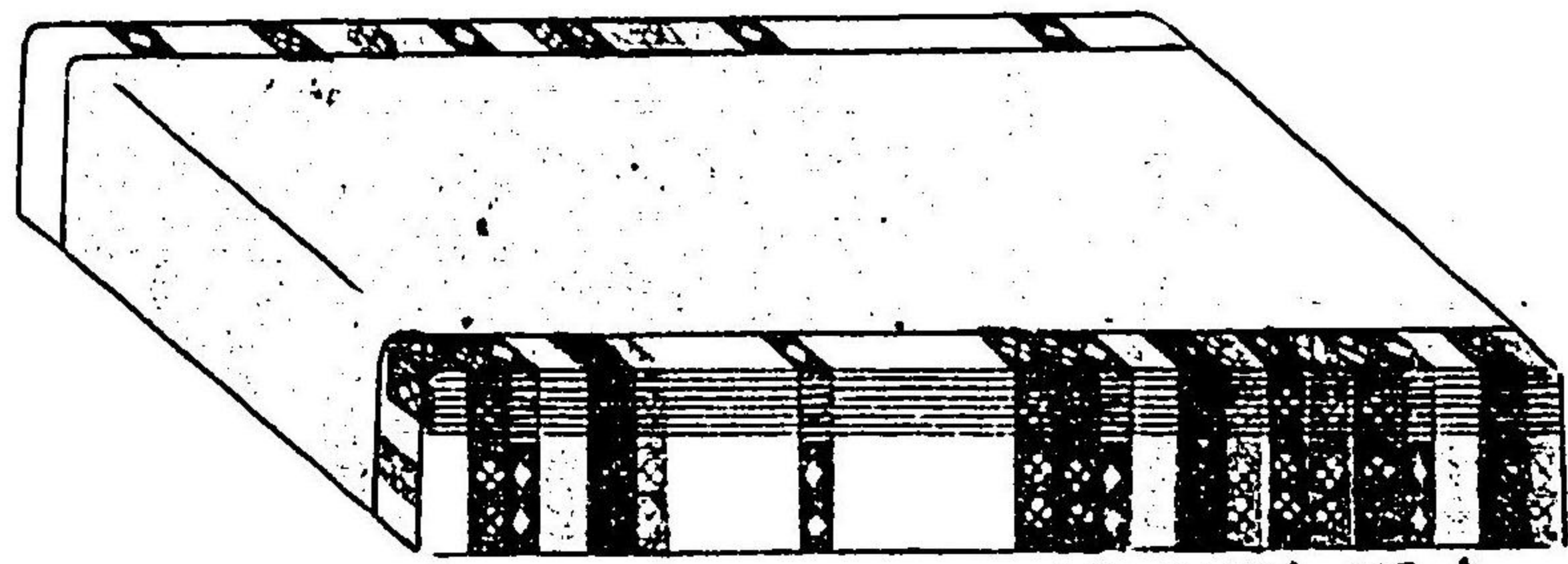
脚八角

茵

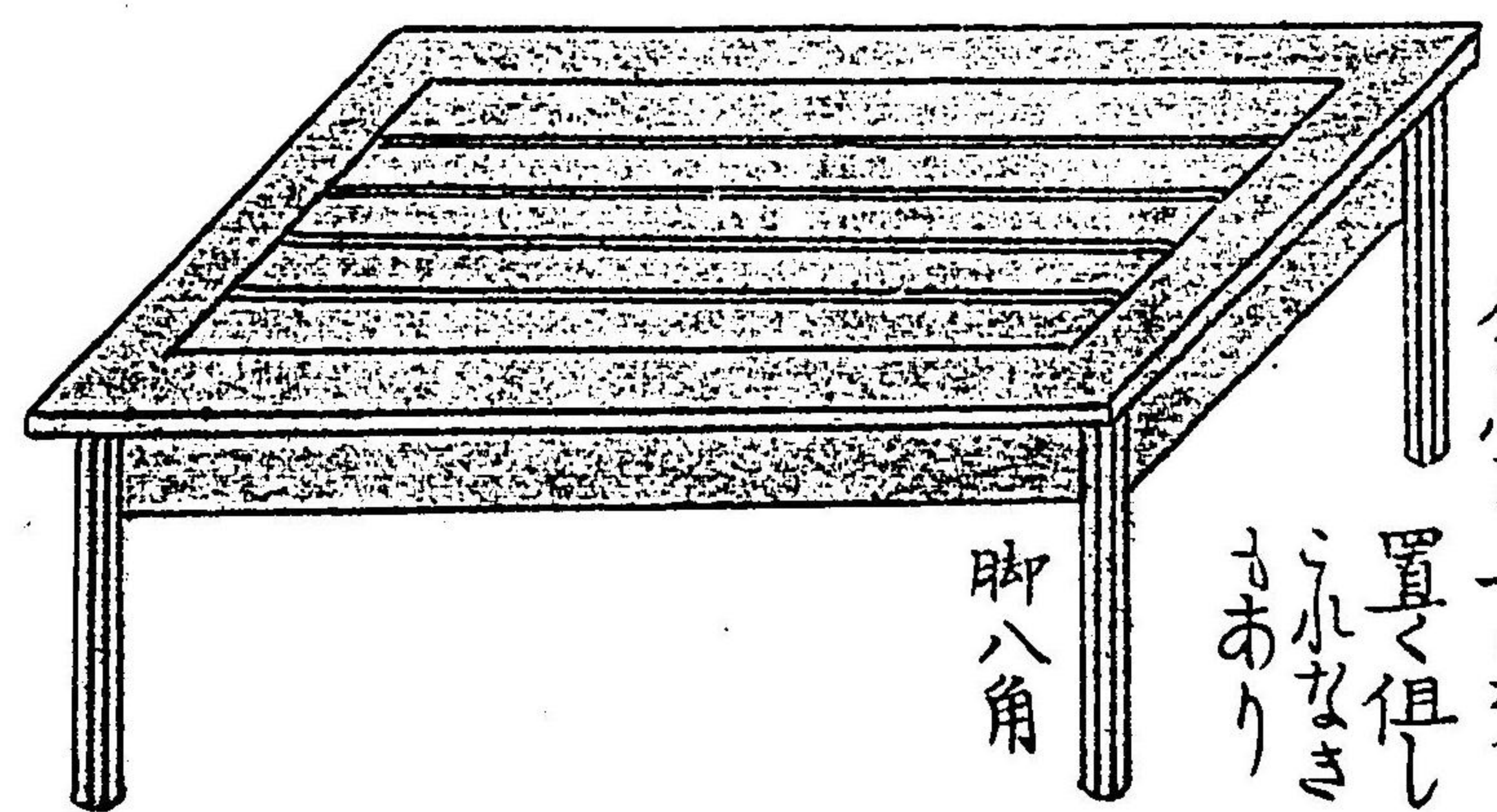
鏡地白綾に繡又白地織物
裏緋精好



縁大和錦

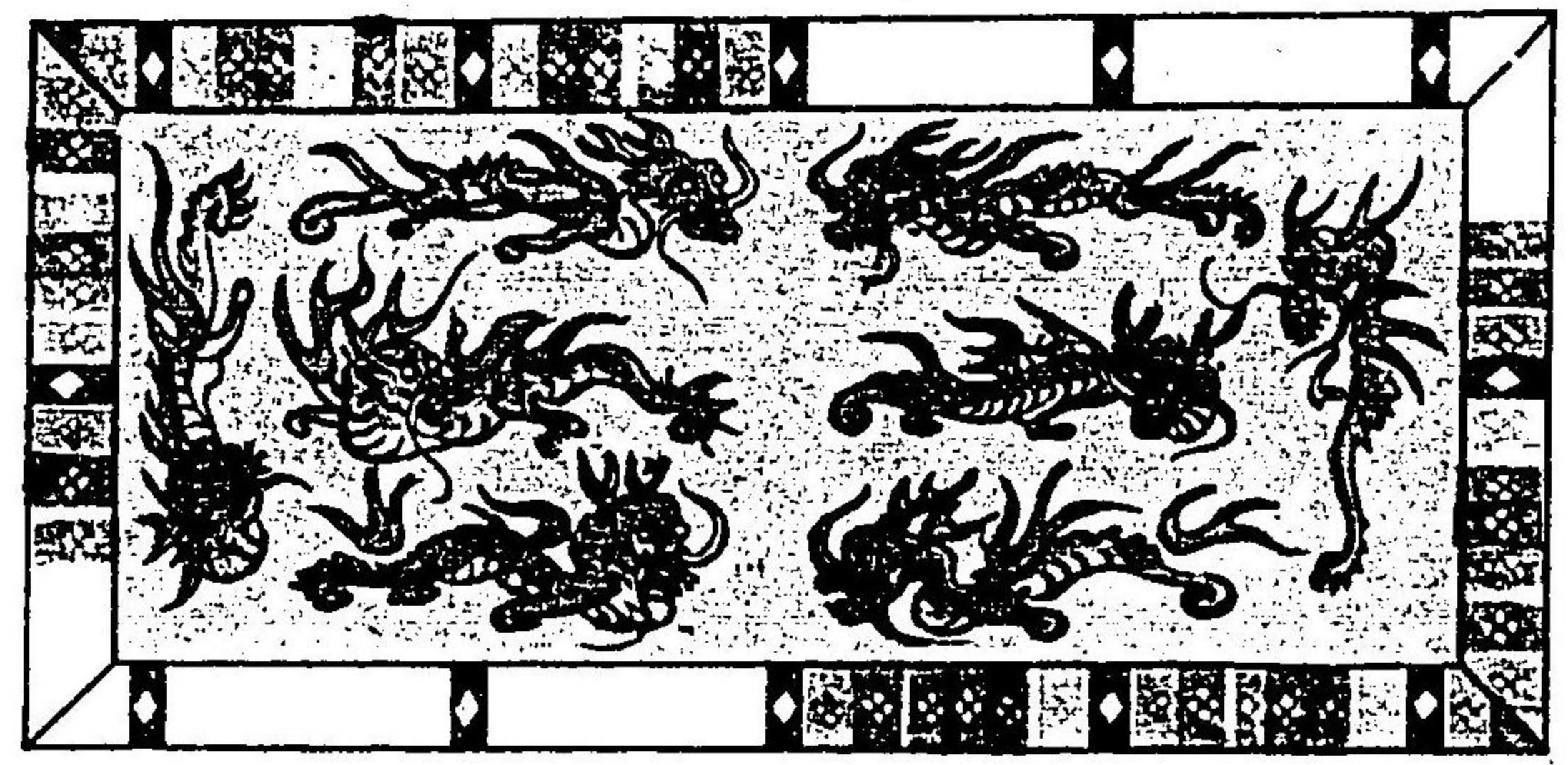


端の間を縋り

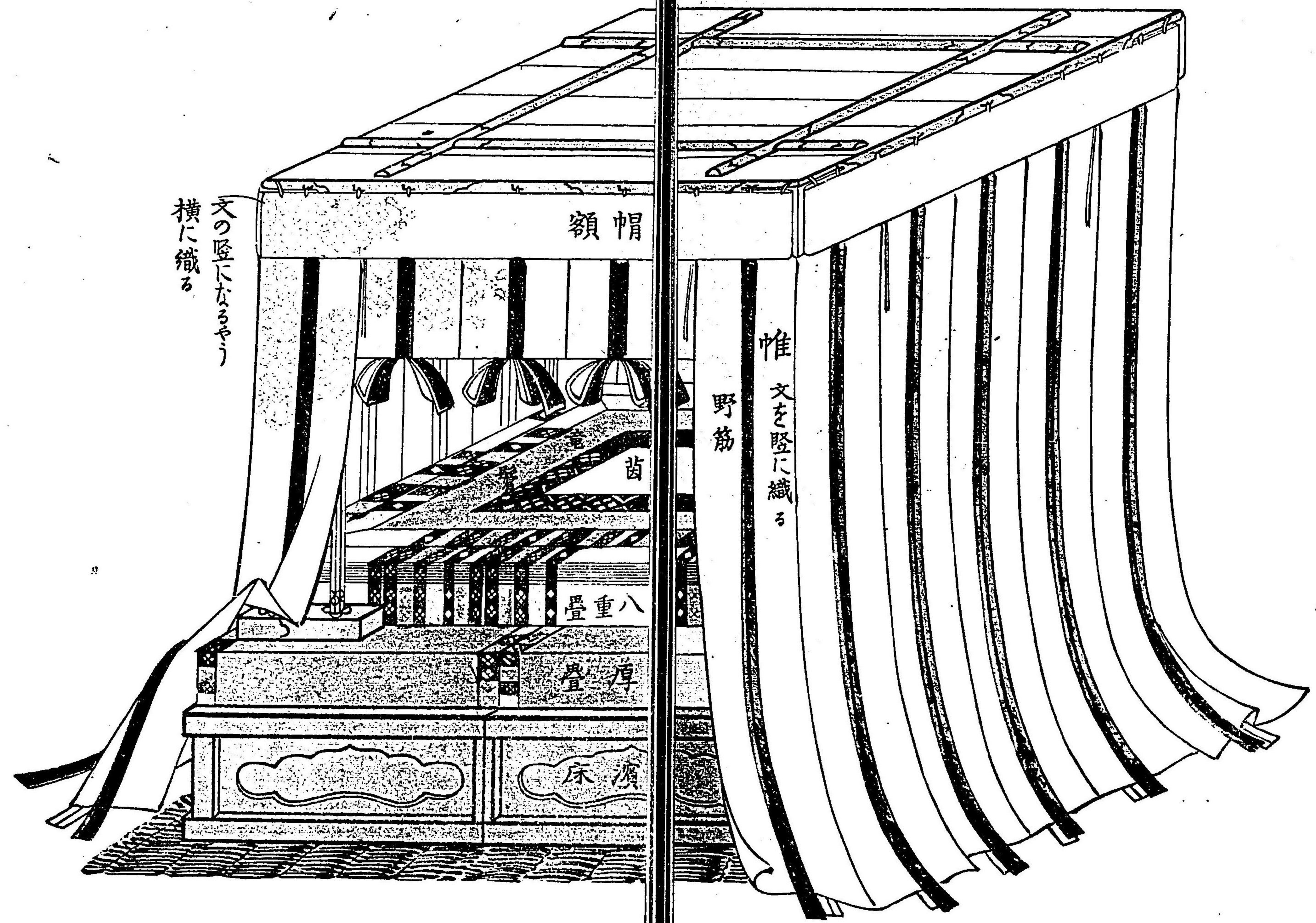


龍鬚

龍鬚草を以て織る故に
龍鬚と云ふす一然れども
現今は眞宣の表を以て作る
なり進面八所に繡の龍
紋を貼添す又之をきり
あり



帳臺飭付圖
チウダイ カサリソケツ



額帽

文の豎にならざり
横に織る

茵

八重疊

厚疊

床

帷 文を豎に織る

野筋

帳臺に角鏡を懸けたる圖

鏡 弘一尺二寸二面

帳臺後面中の丸

右柱に懸く物具

丸て下の鏡臺の

図に記す

犀角の懸角 枚ニ

帳臺前面中の左右柱に懸く

長手角 沈又榎を以て造る

長一尺

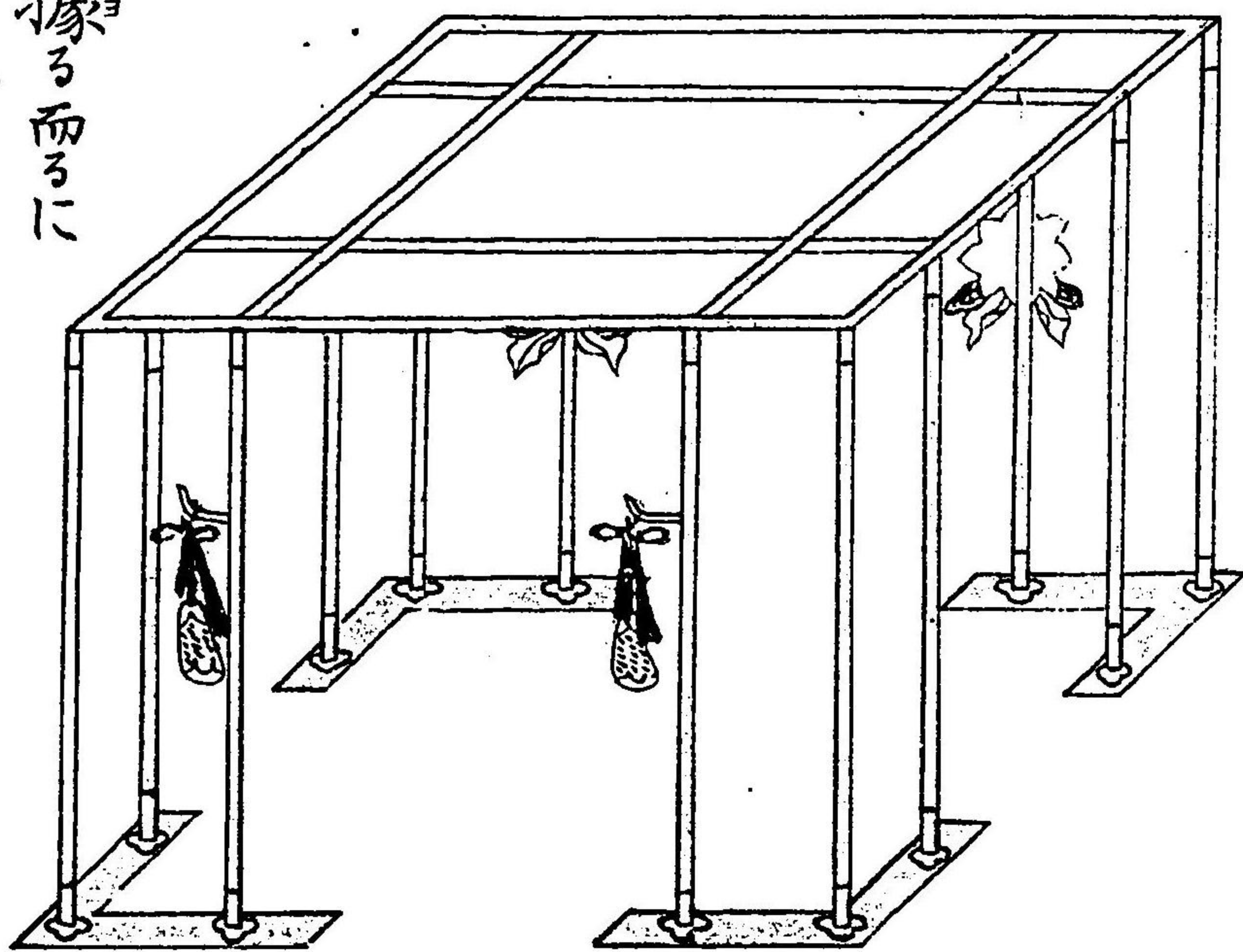
長一尺四寸

九寸

長九寸

今五寸三徑口

但犀角及び鏡を帳臺に掛ること類聚雜要抄に據る而るに
宮中の式今無一賀茂別雷神社には角鏡枕を掛けたり



褥茵

表大和錦裏白平絹

渡御の時帳臺の下

より之を前に延く下

獅子狛犬

臺黒漆

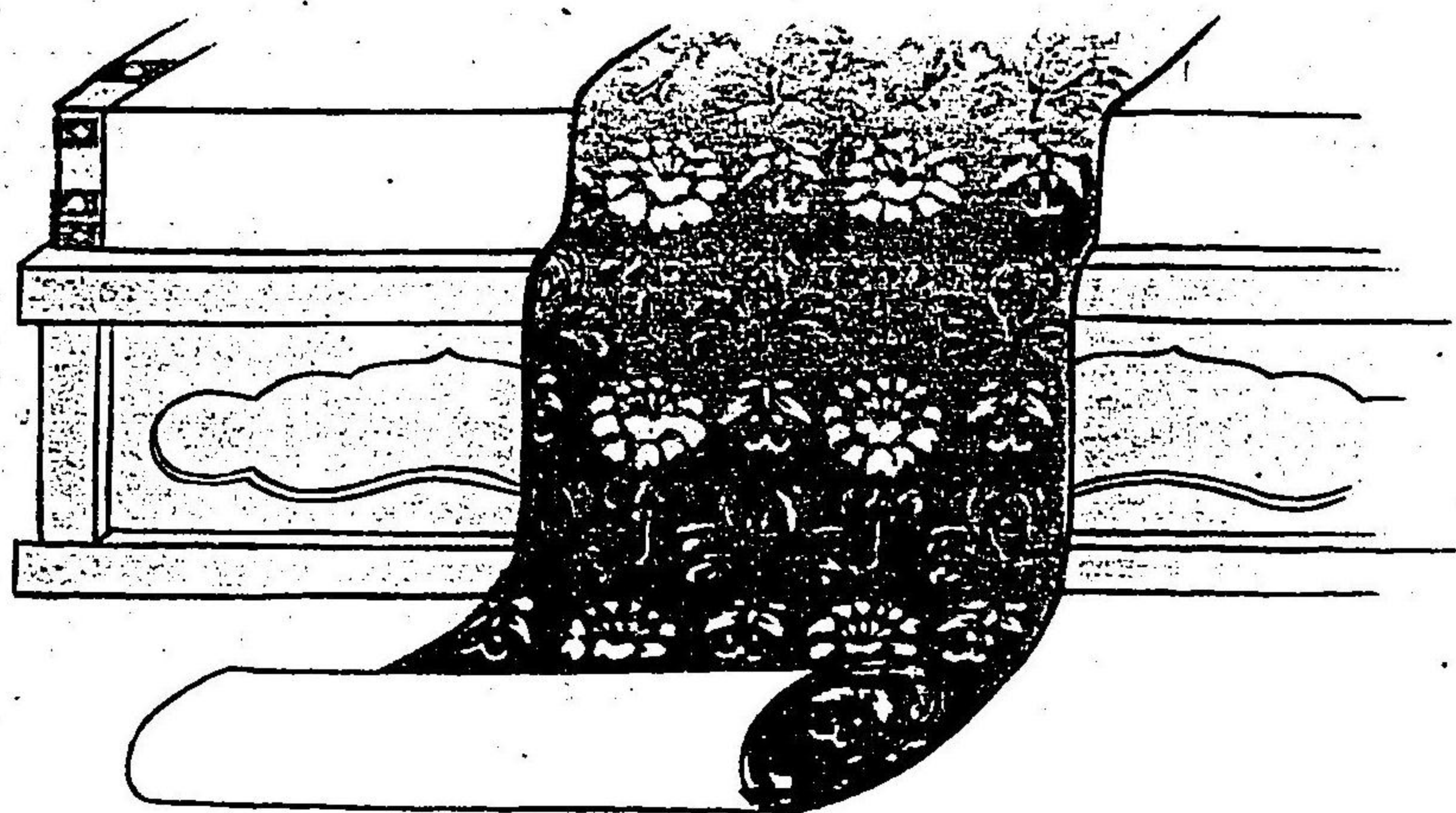
帳臺前左右に相對す



左獅子
黄色口開



右狛犬
白色口閉

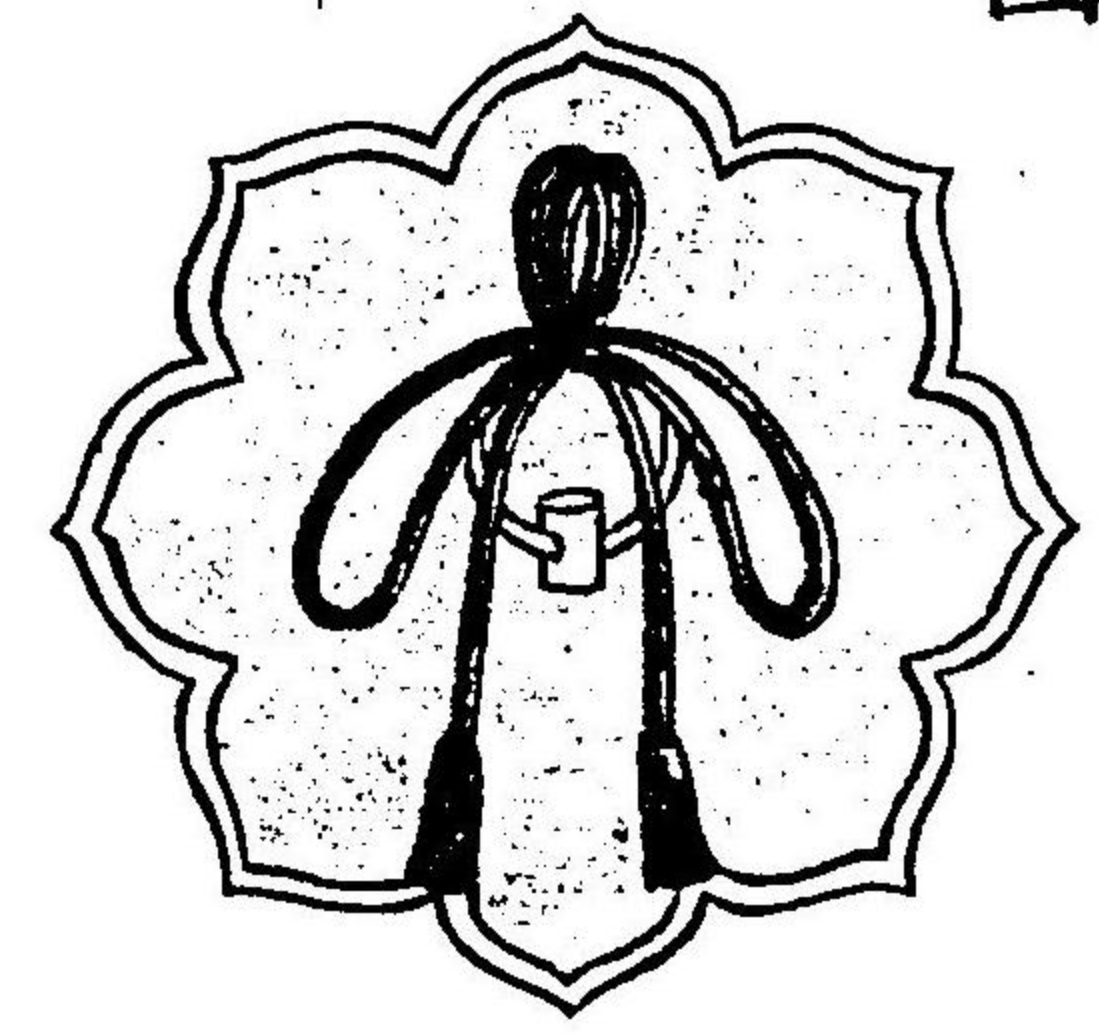


鏡 同基

根古自形と云ふ



鏡背面



鏡臺背面



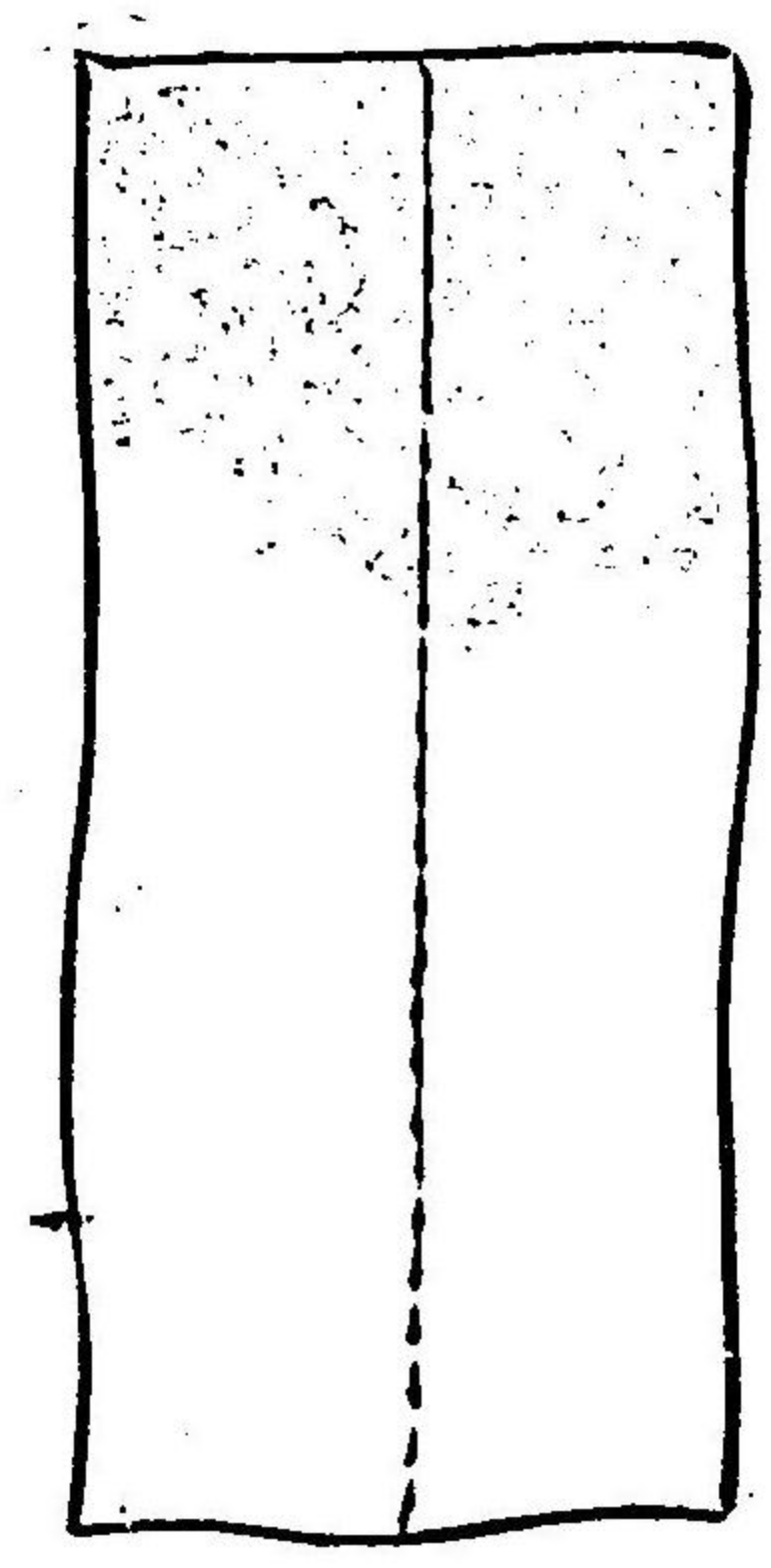
枕錦色

覆消綾有文裏白絹板引



羅紐 大小二枚

入帷 白綾文小葵表裏同ト

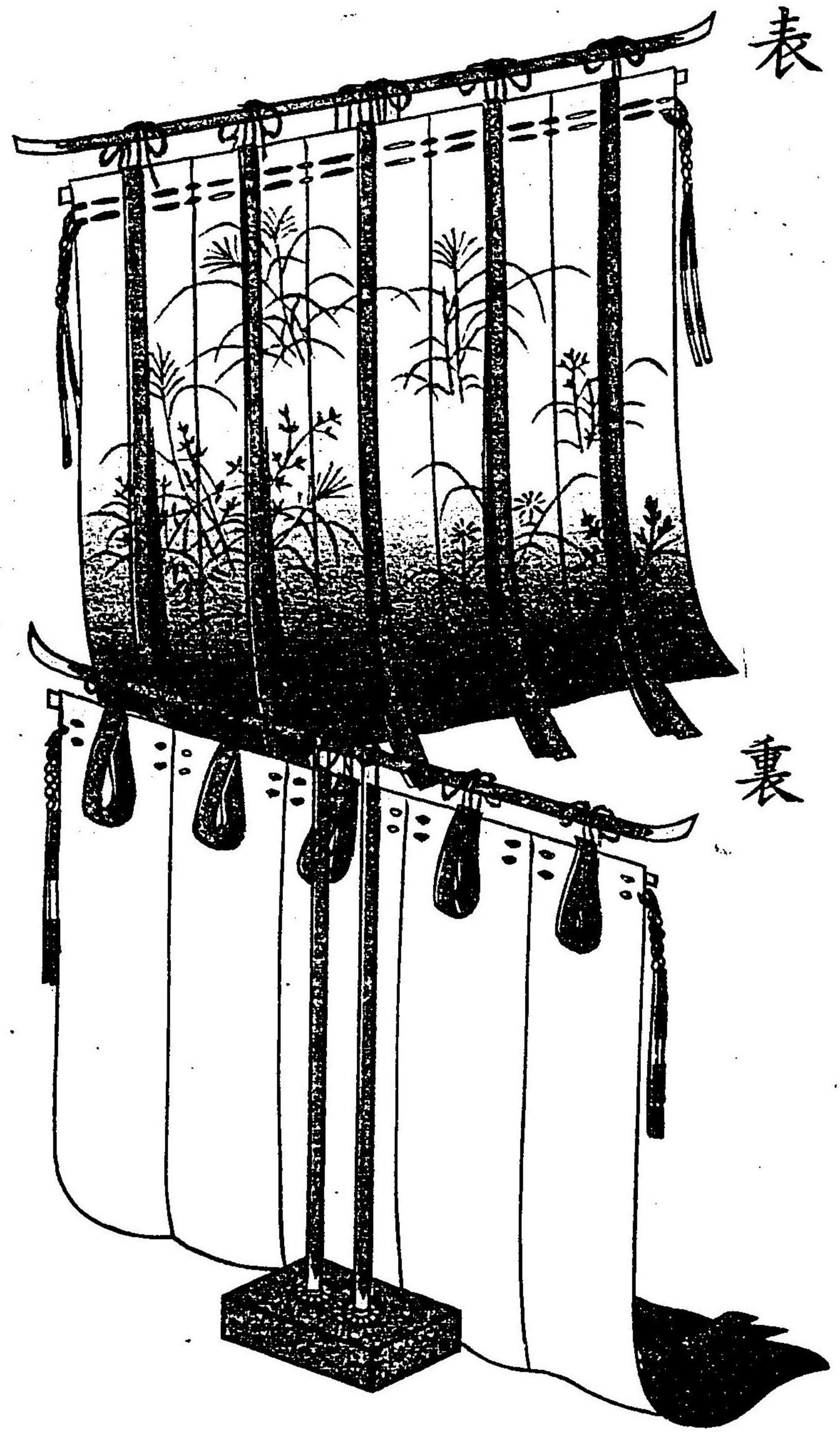


几帳

二基又は四基にして三尺几帳四尺几帳などあり帳臺の左右に立つ夏表生綾有文又平消摺文裏白練野筋生綾又平消泥繪蝶鳥冬表綾有文又平消摺文裏白練野筋綾又平消蝶鳥を繡ふ釣緒練線糸飭糸綵打五筋蝶結

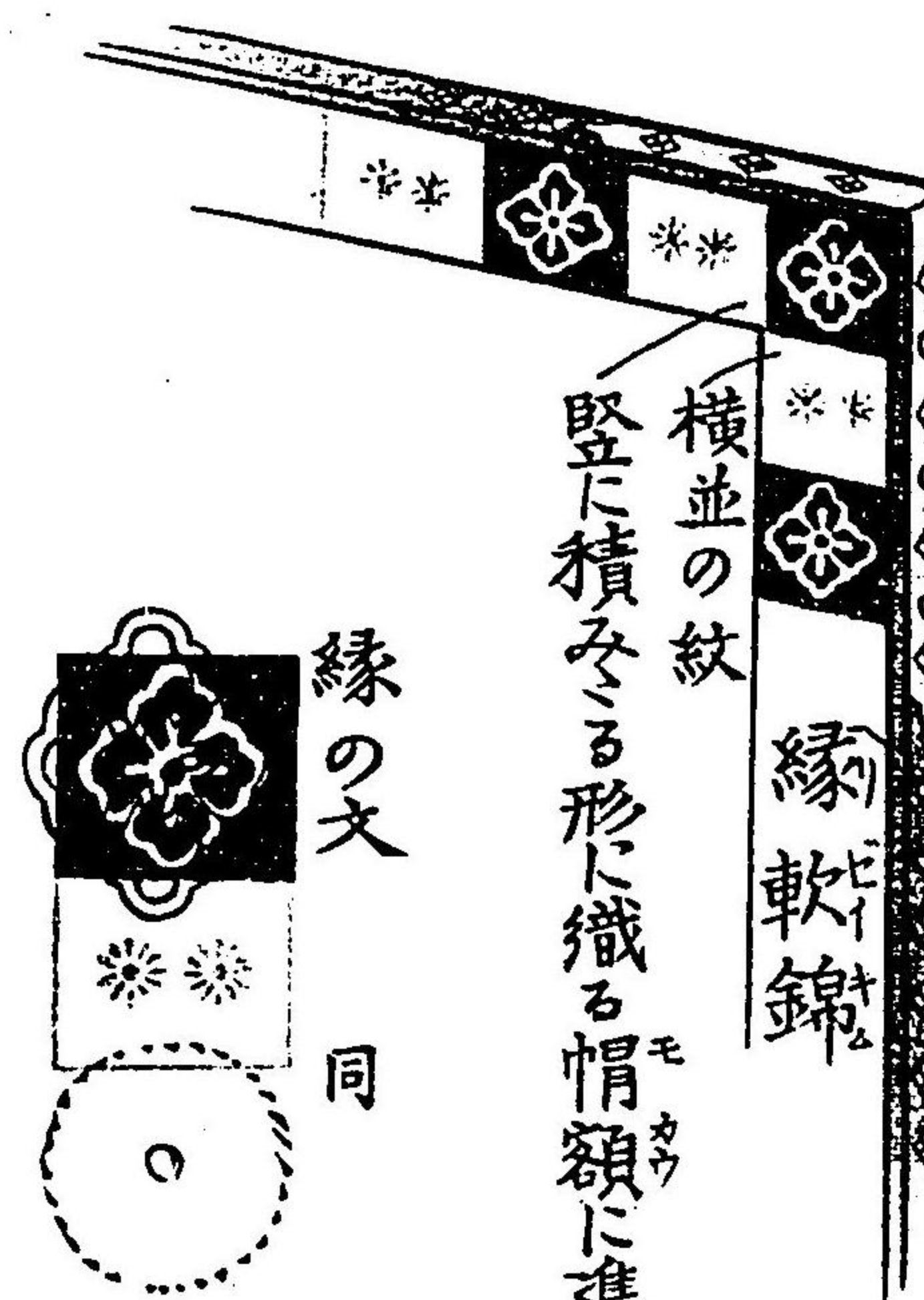
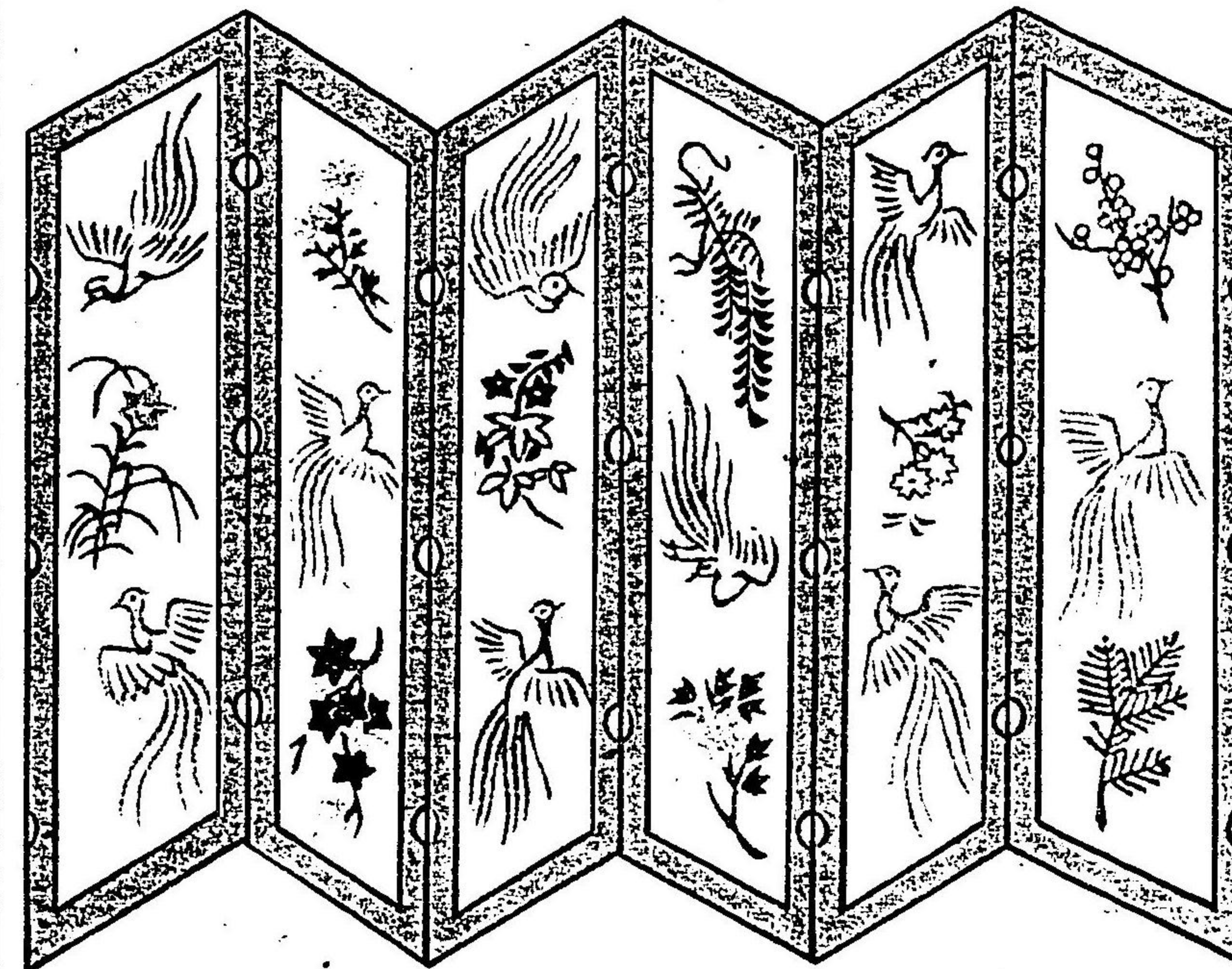
表

裏



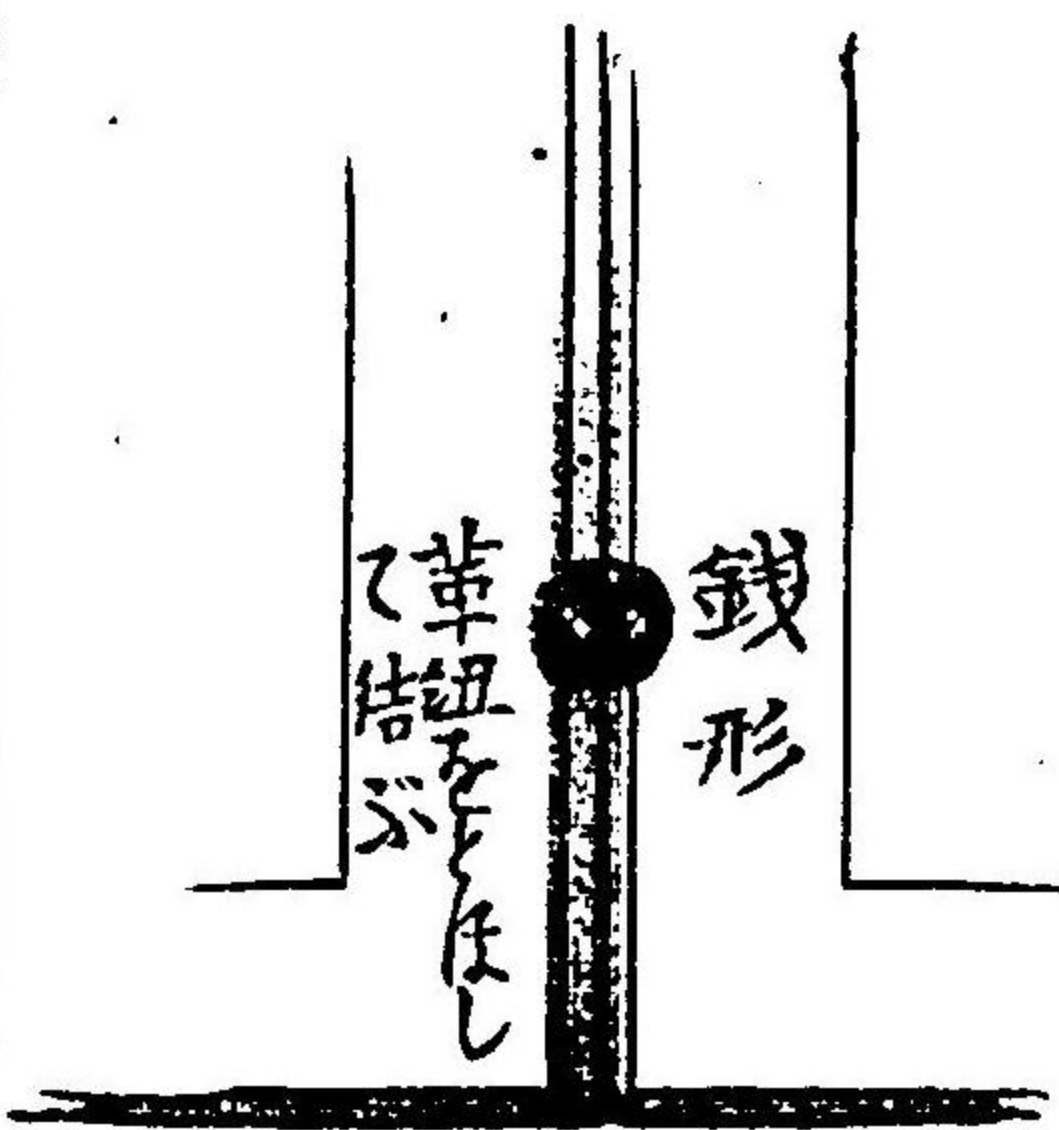
屏風ビョウブ 一雙 錢形ゼニカタ又錢形ゼニカタなるものあり

帳臺の後に立つ五尺十二帖ツキナミ双月次繪ツキナミ四季を各三帖に宛て、之を画く花鳥を画くもあり



縁の文 同

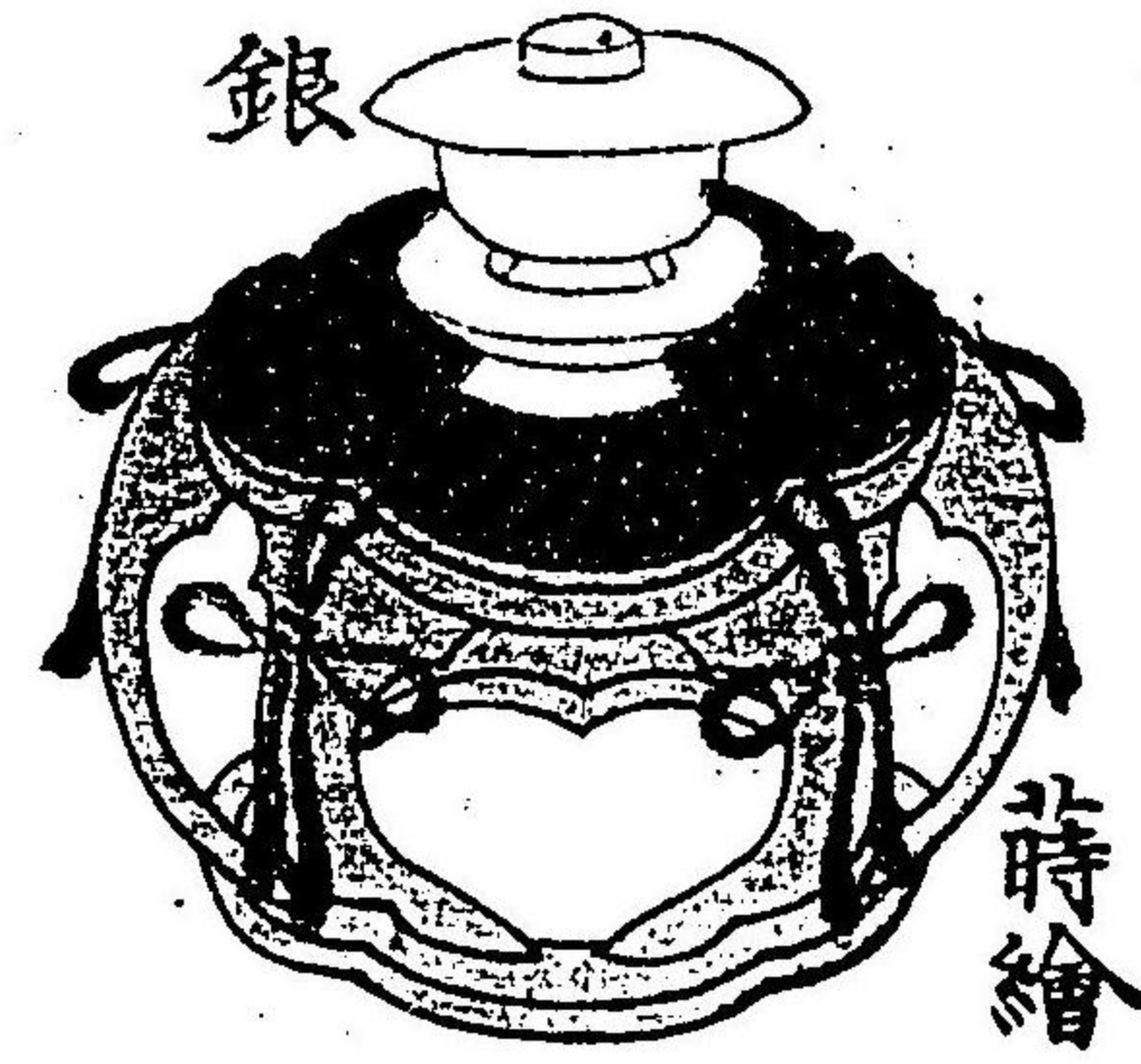
横並の紋
縦に積みる形に織る帽額モカウに準ず



錢形

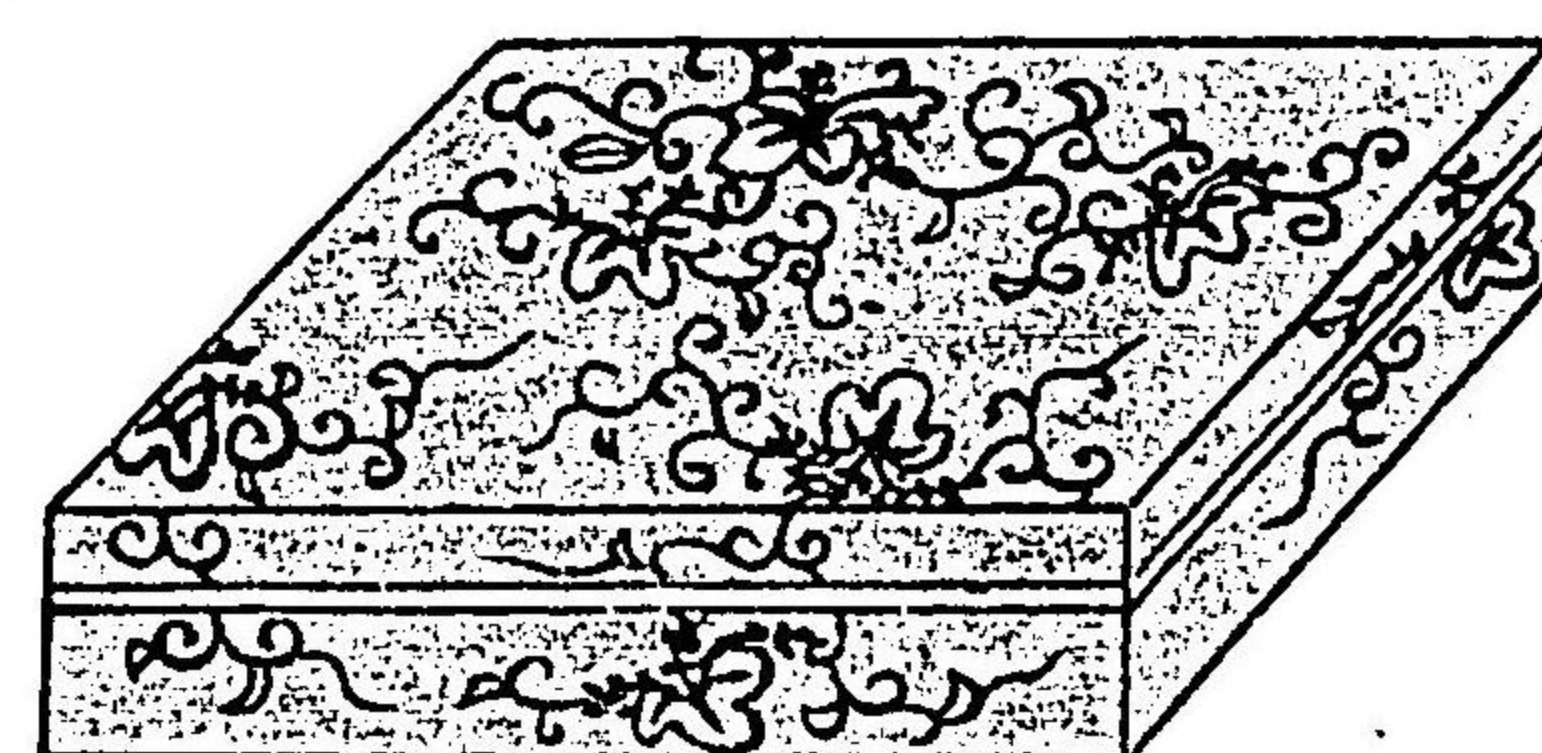
泔坏ユスル 同臺ツキナミ

覆オホヒ 生絹ナマキ

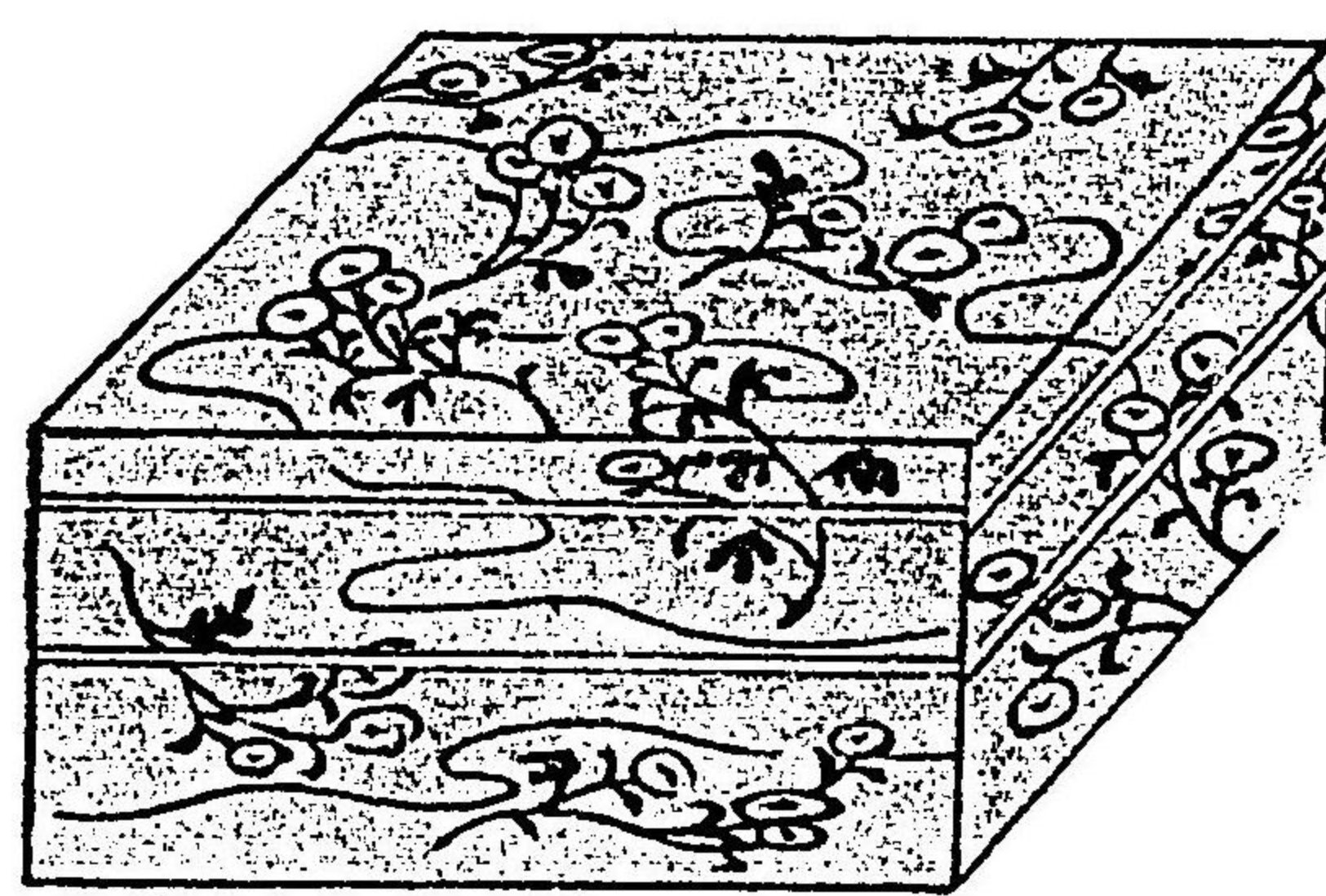


時繪

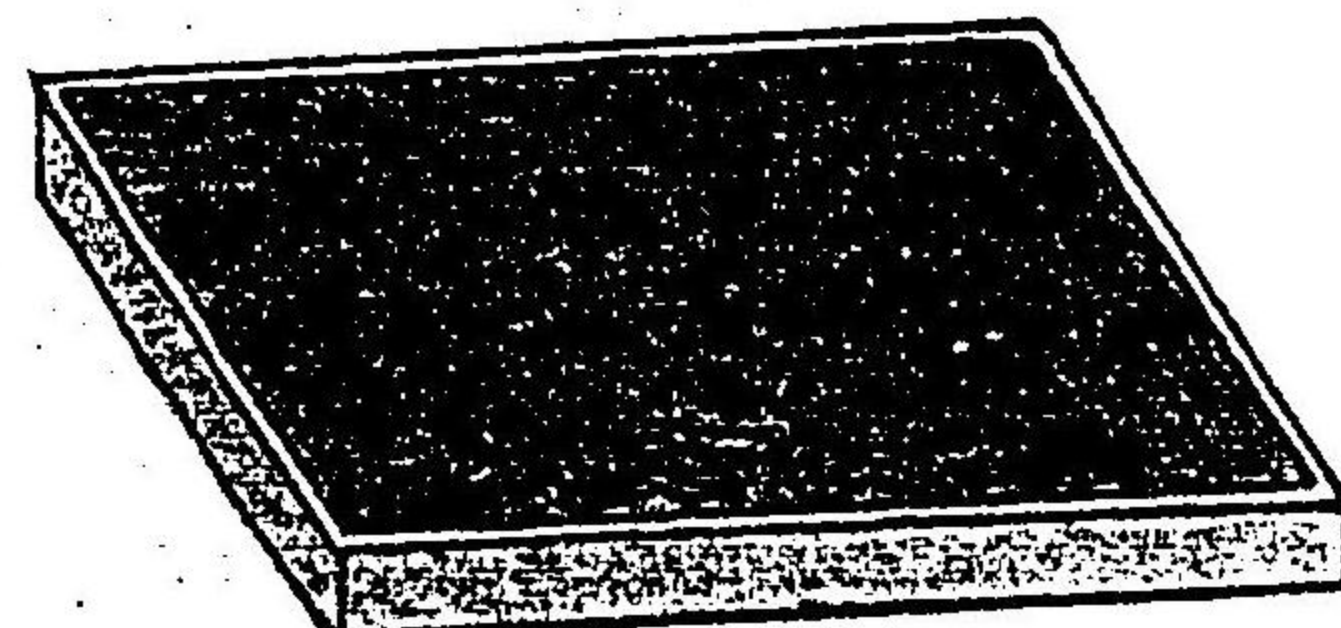
櫛コシ 篋バコ 時繪



硯スリ 篋バコ 時繪

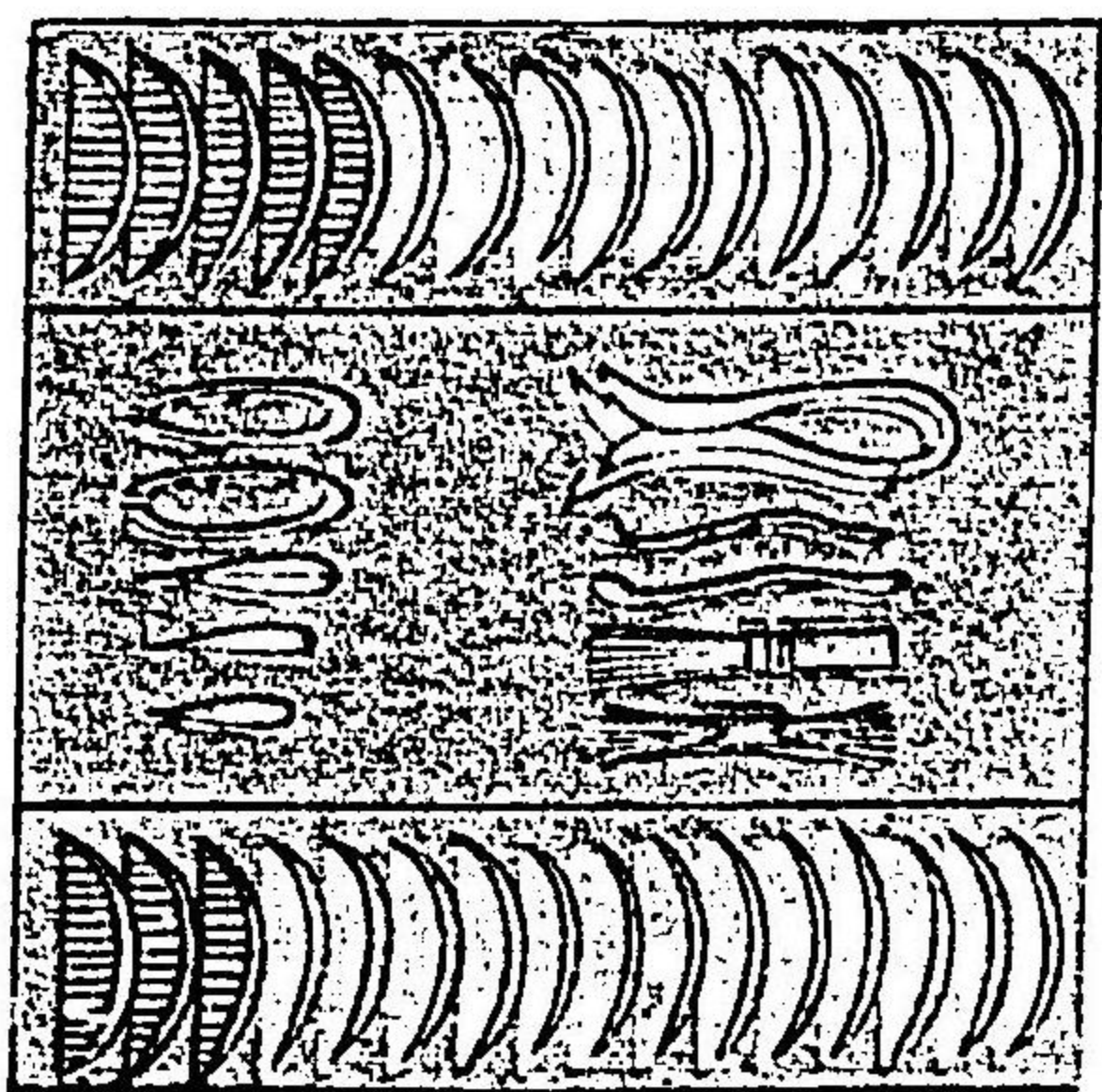


打亂ウチミズ 篋ハコ 時繪



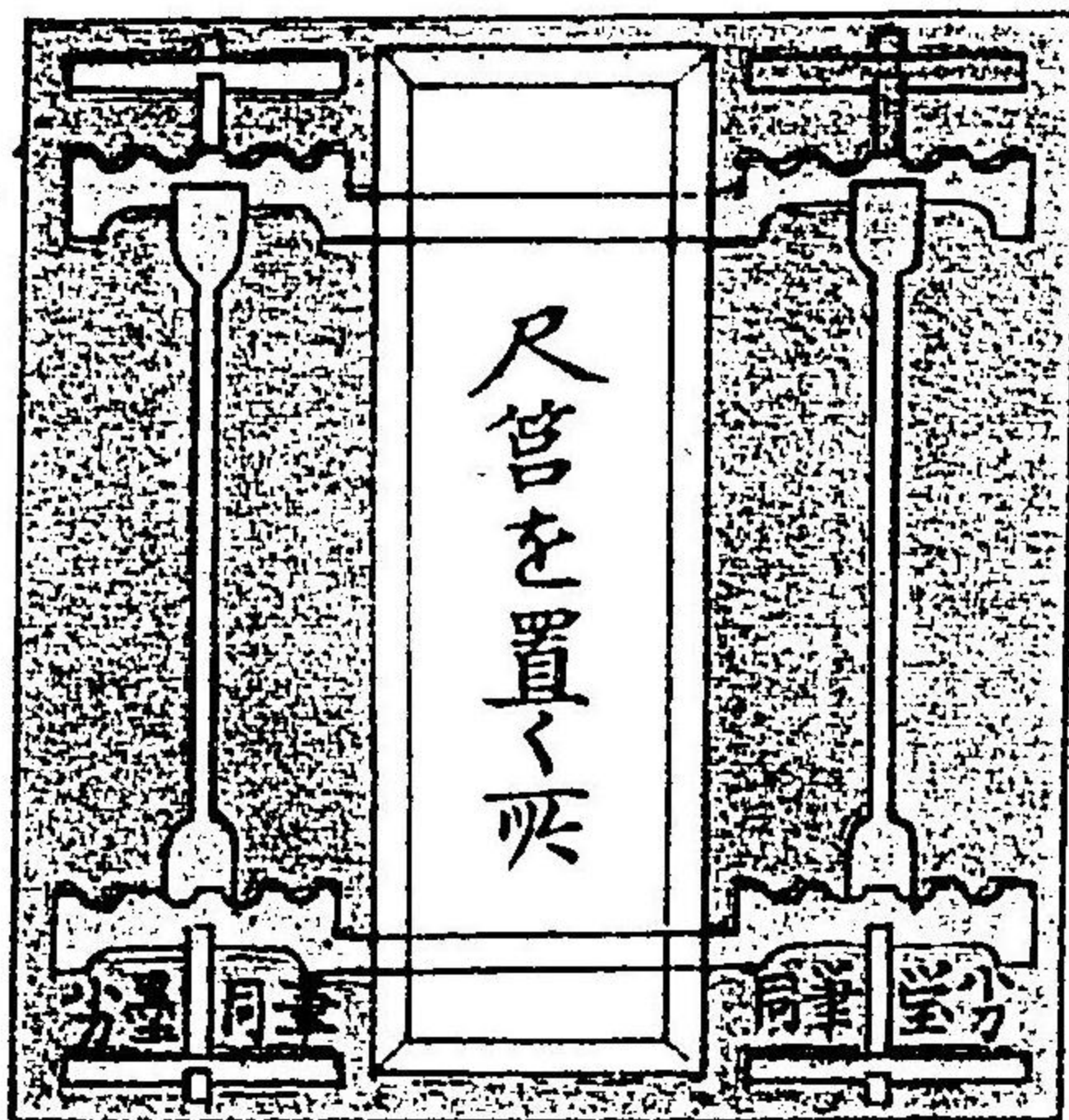
櫛宮内圖

耳決 鉸子
櫛 髮搔 櫛掃



硯宮内圖

上重

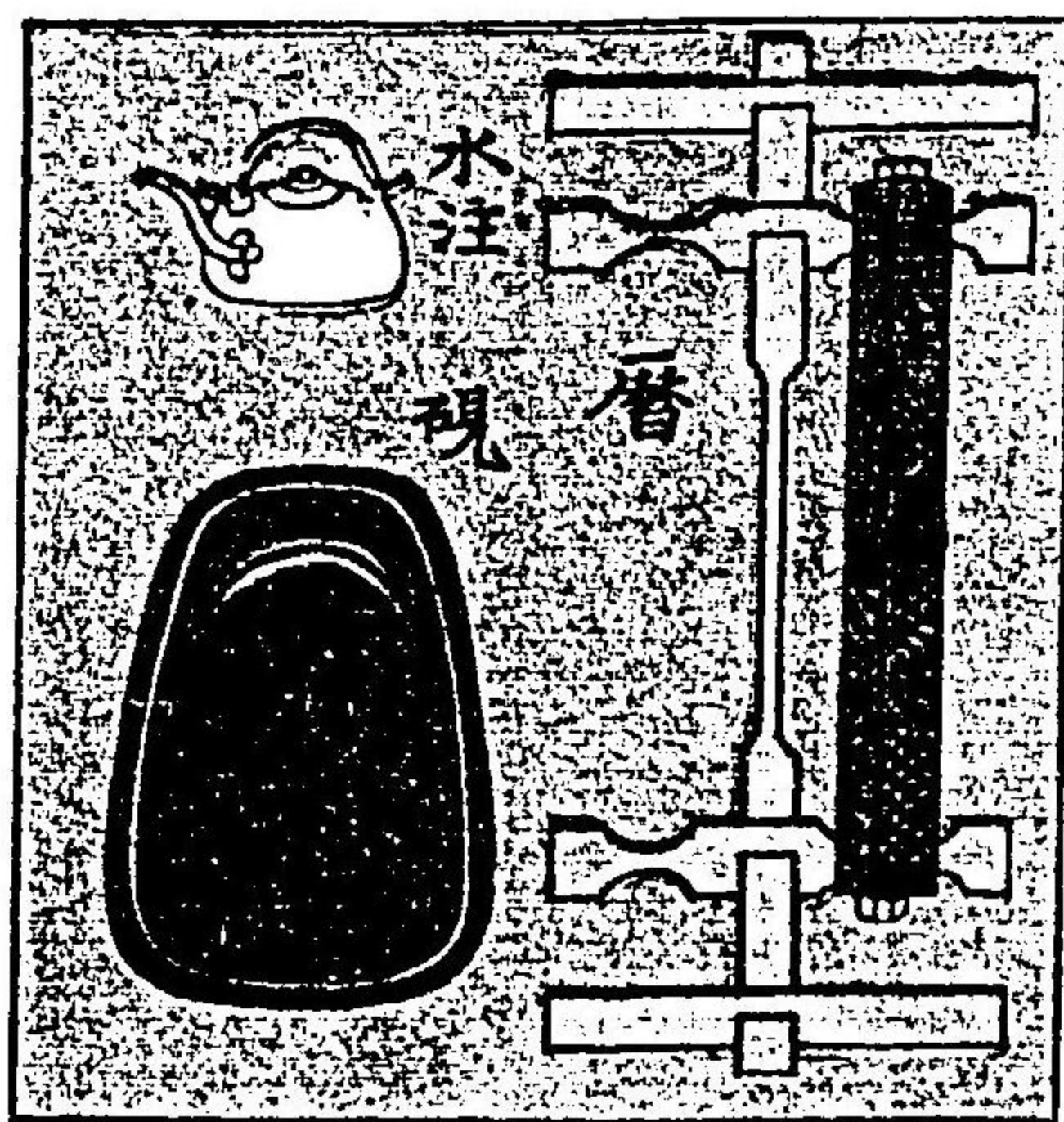


尺宮を置く所

尺 硯

筆 水注

墨 小刀 堂



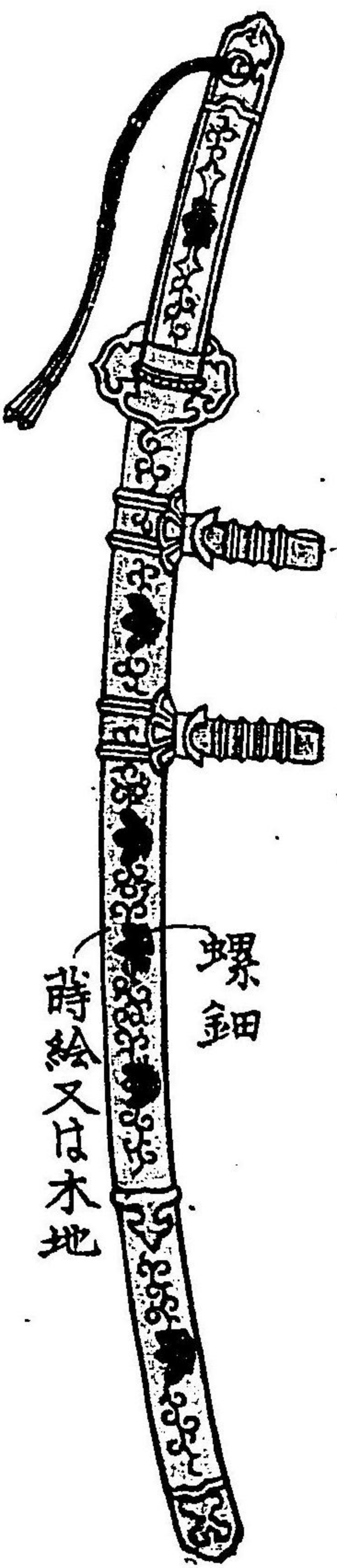
右泔坏等は厨子又は机に陳列し置くべし是類猶ありといども
今其一二を舉るのみ

劍

木地 螺鈿

袋大和錦裏紅平絹紐白練線系八打總付

藍革又は紫革



螺鈿

時絵又は木地

平緒

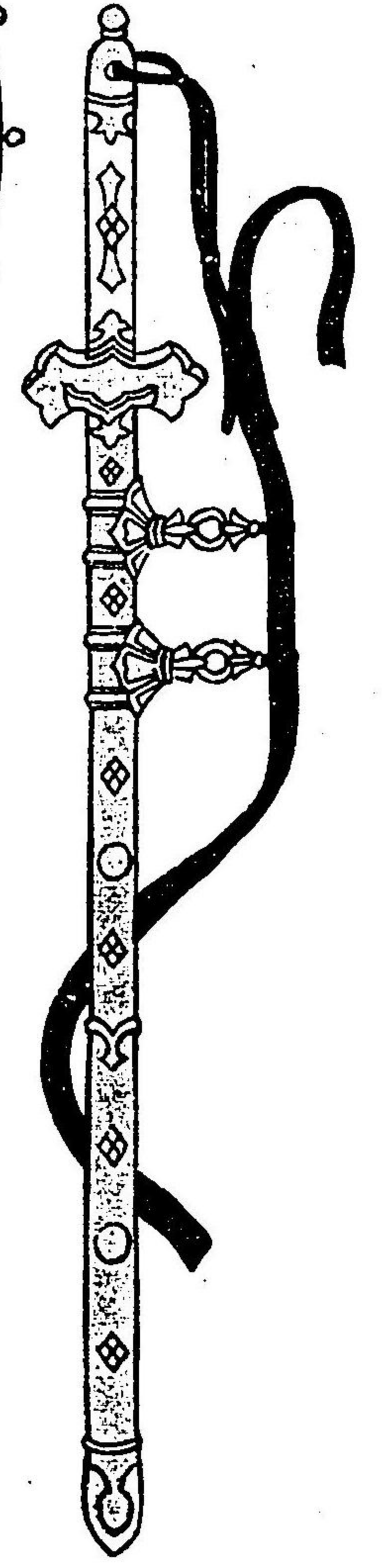
紫綵 緋帶 或は白糸平打無文

此を續平緒といふ



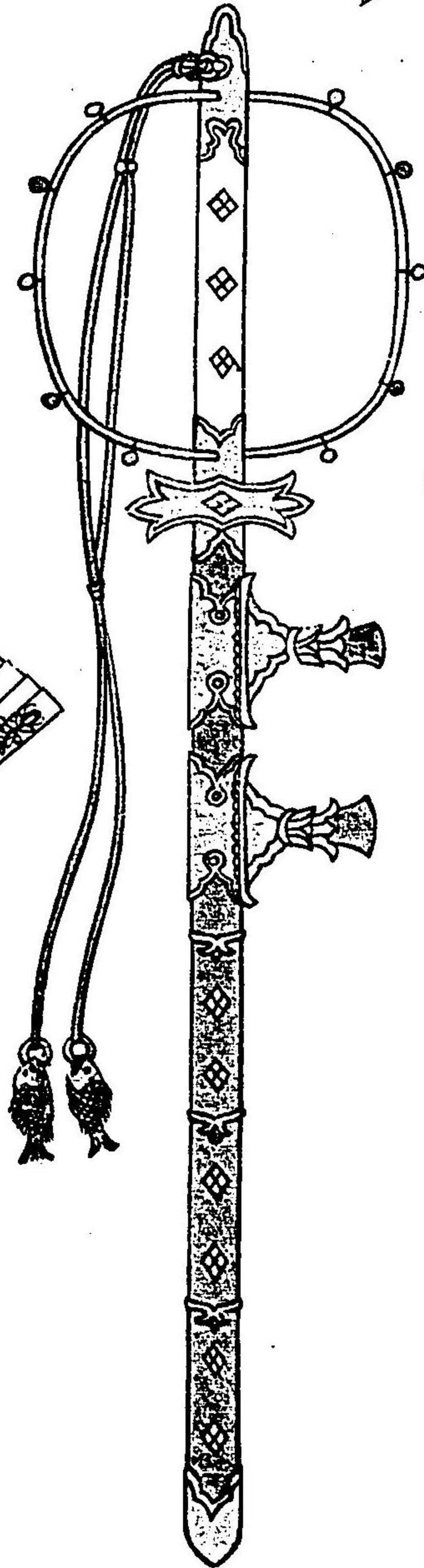
劍又圖

古式

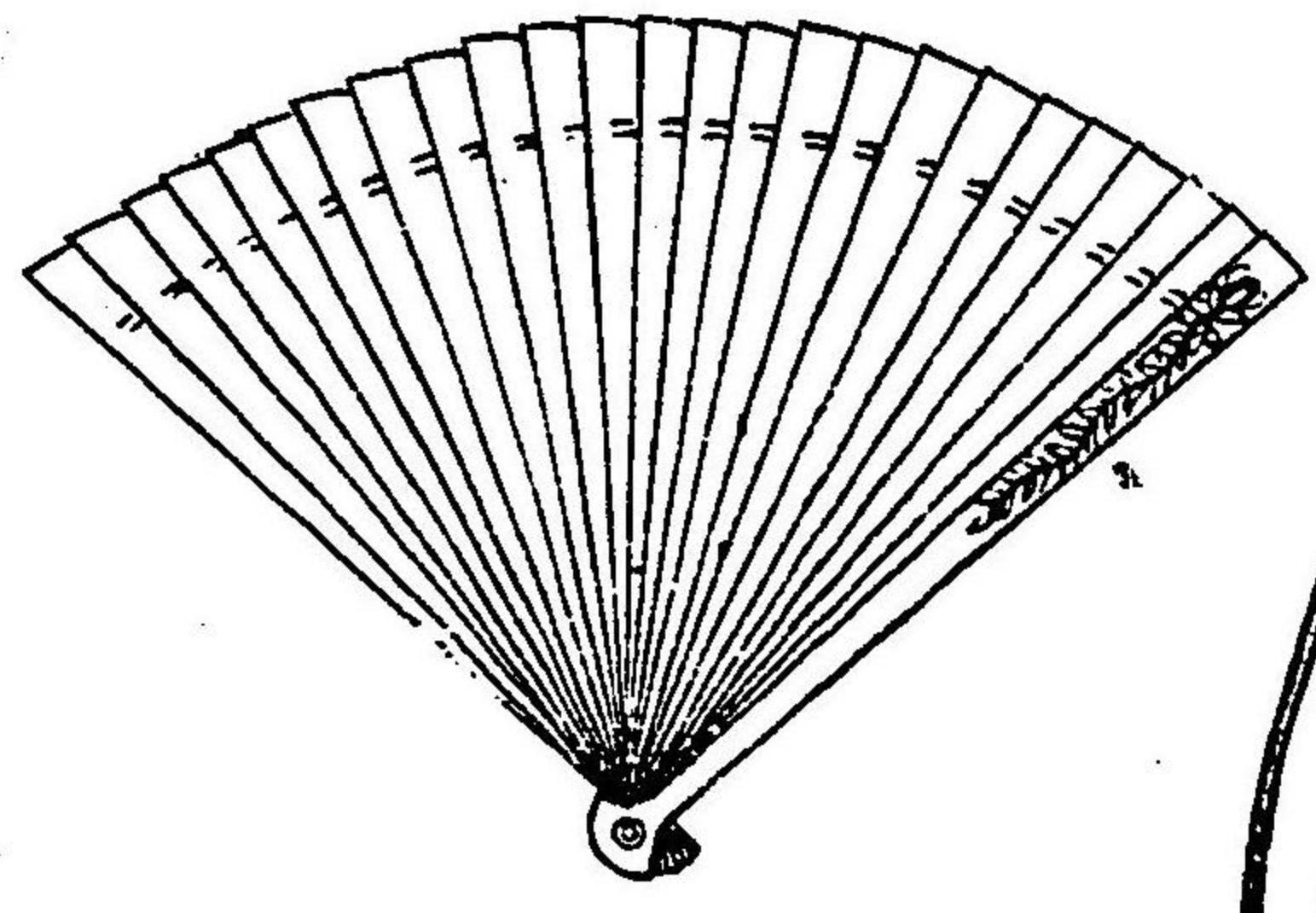


玉纏

太刀

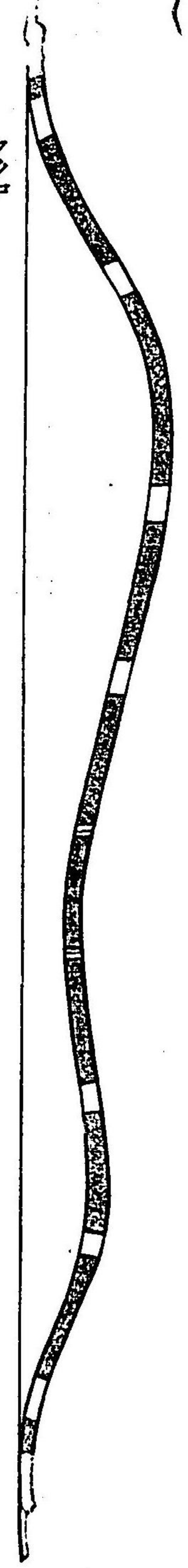


檜扇



弓

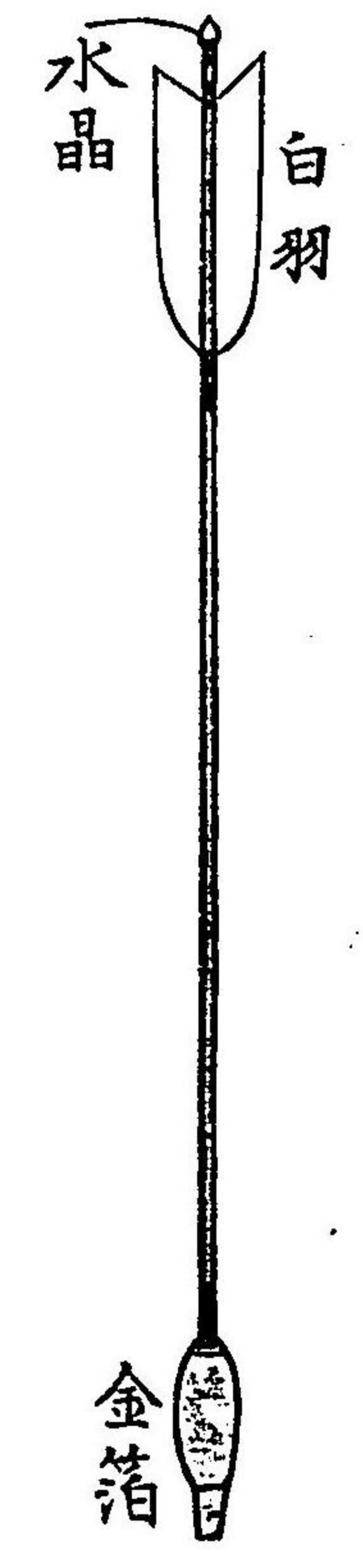
彌銀或は塗物 附錦又は綾 樺卷は檀紙 弦生絹一幅



袋 大和錦裏紅平絹紐白練線糸八打

矢

墓目



雁叉

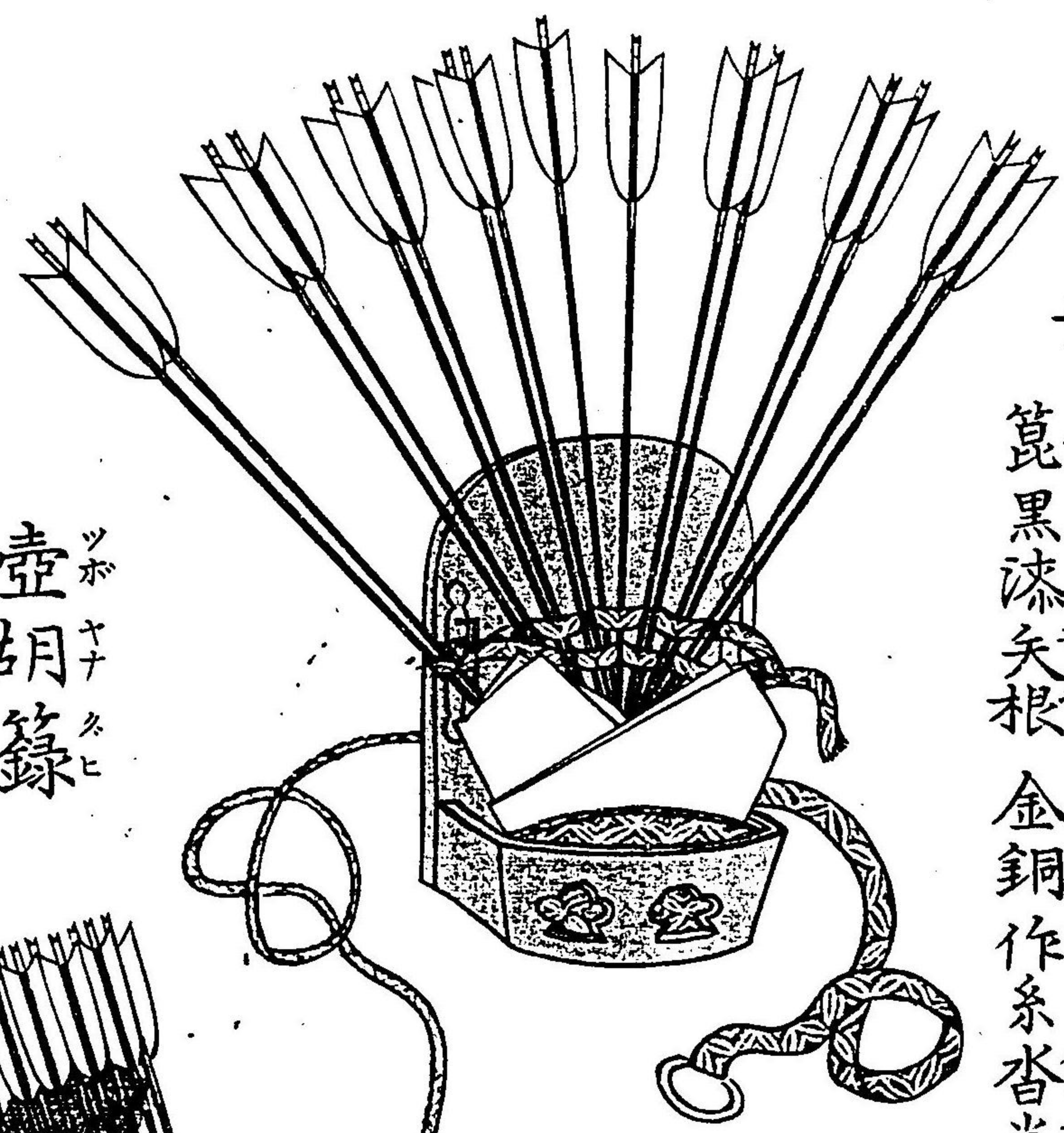


平胡錄

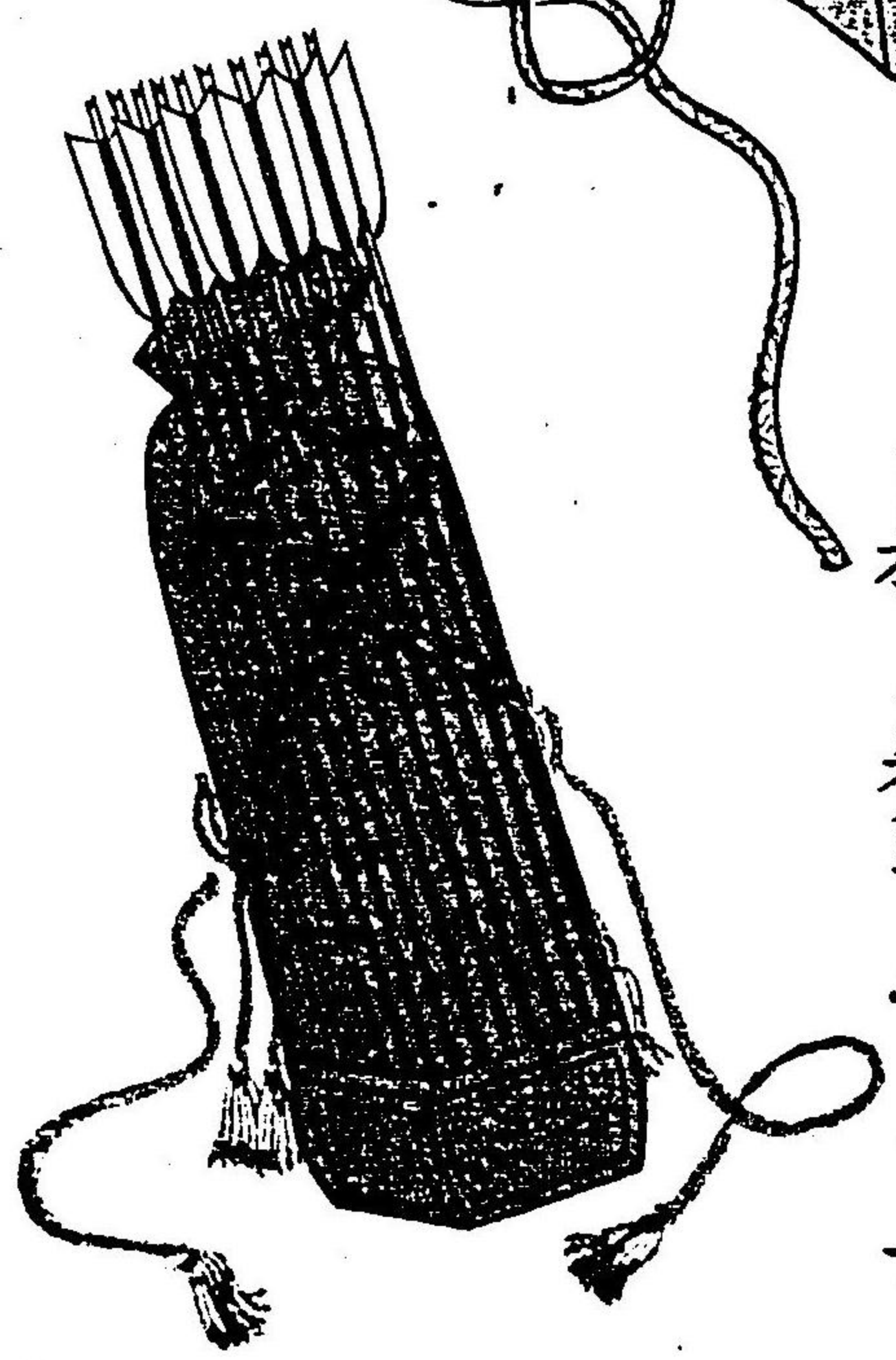
時繪又水地螺鈿時繪螺鈿
征矢上差共廿一筋又十六筋もあり就舊白羽水晶筈

矢 筈黒漆矢根 金銅作系沓卷紅糸

矢束 紅白絞蝶緒露水晶
矢拵 大和錦平紐
負緒 同上鏢付
間塞 白檀紙二枚重
同板 大和錦を以て之を裹む

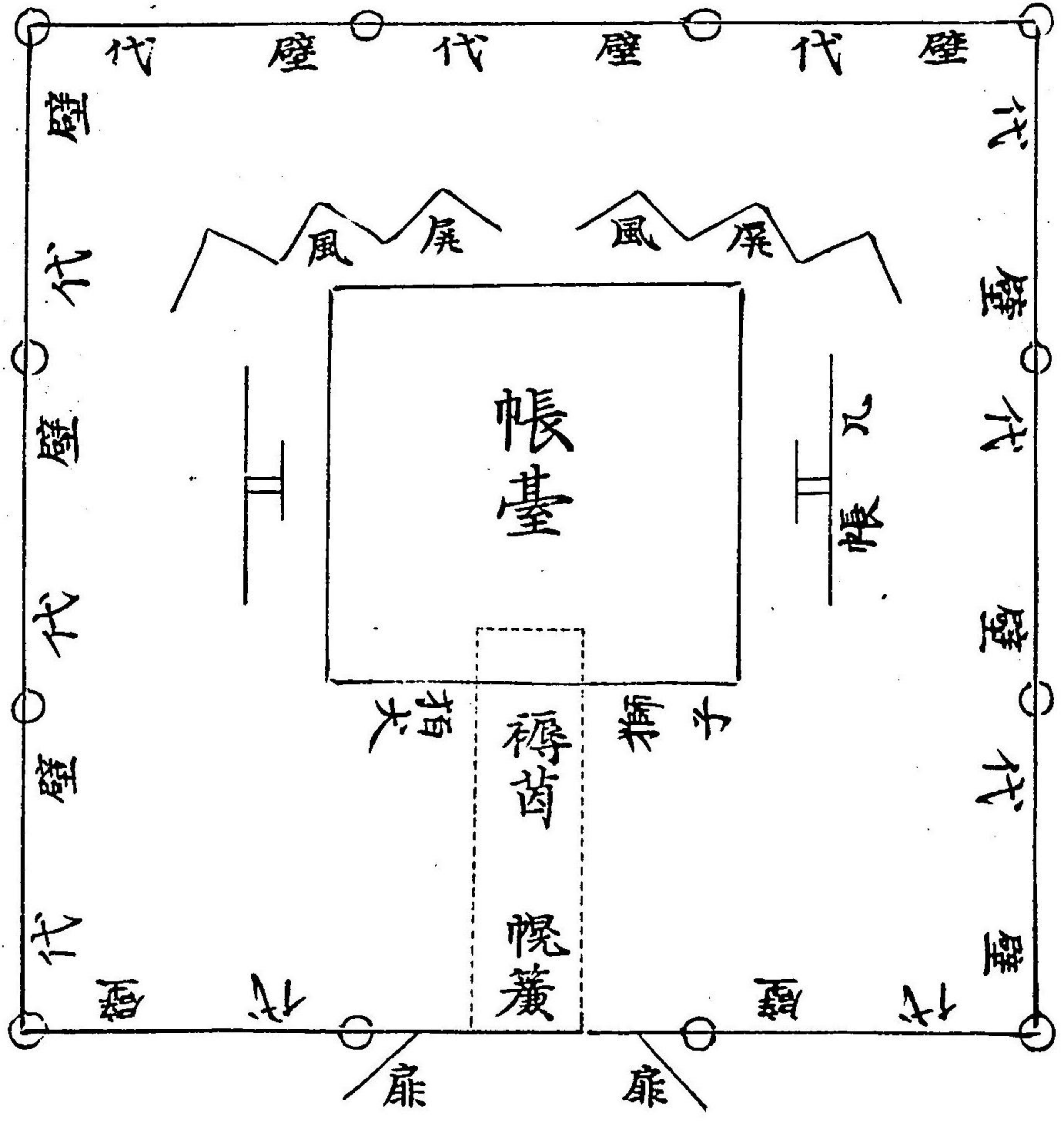


壺胡錄



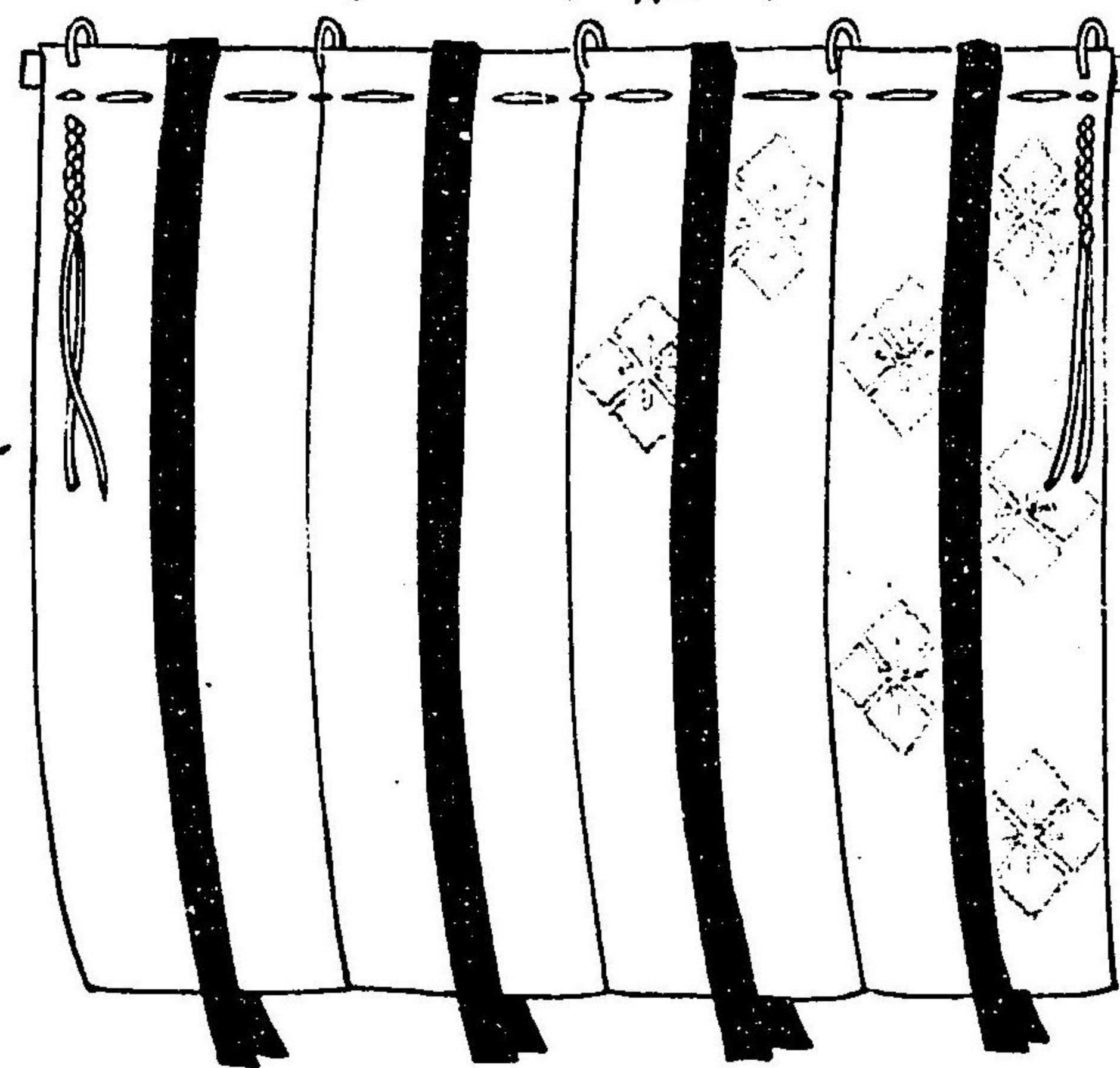
内陣裝飾位置略圖

調度具は帳臺の
左右に奉置すべし
但劍は官中の式南
面の御座には東に
置き柄南又東なり
北面之に同じ御座の
右なり東面には南に
置き柄西又南なり
御座の右なり西面
之に同じ御座の左
なりなり



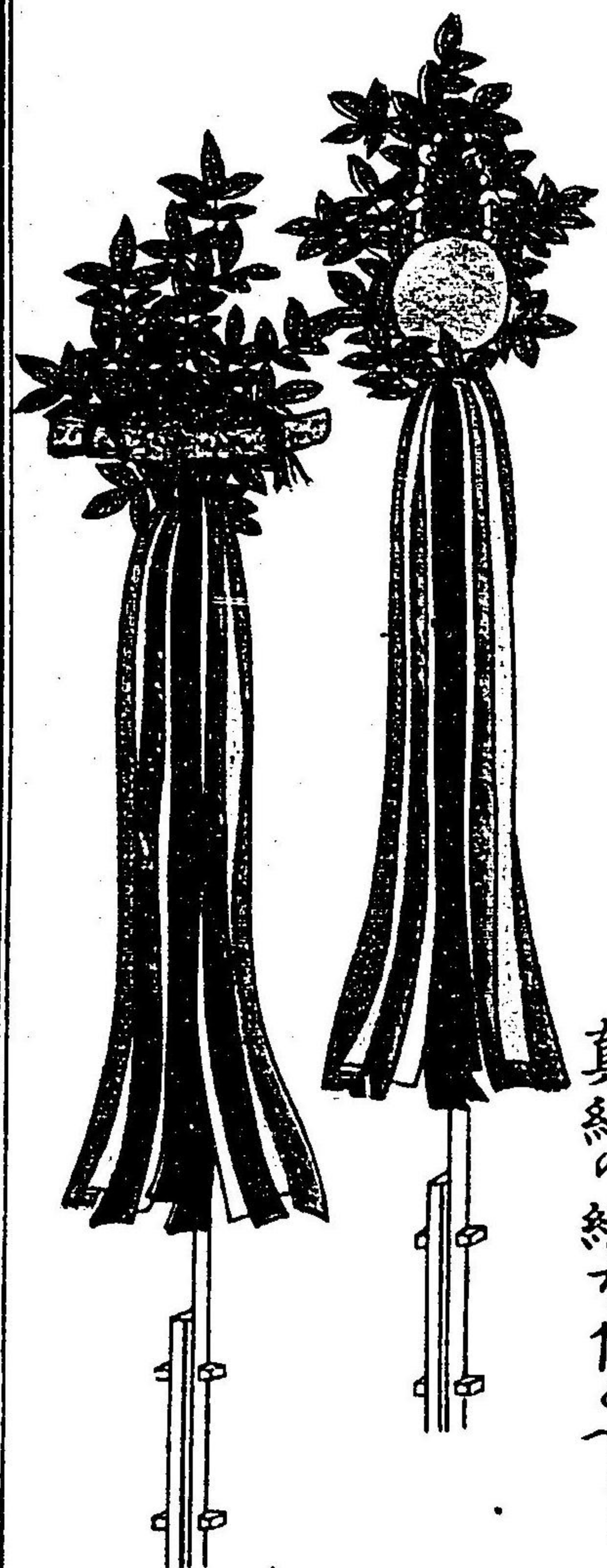
門帳

白地織物又平
縮野筋共表
裏同ト又平
肩にて野筋
かきしあり中
門大門の扉
外に懸べし



真神二本

社前左右に之を
建つ共に五色の
絹を垂れ左に
鏡玉右に劔を挂
く



鏡

徑八寸許裏に箇の
如く紐を付くべし

水晶或は瑪
瑙又ハ練物木等
して造る可なり

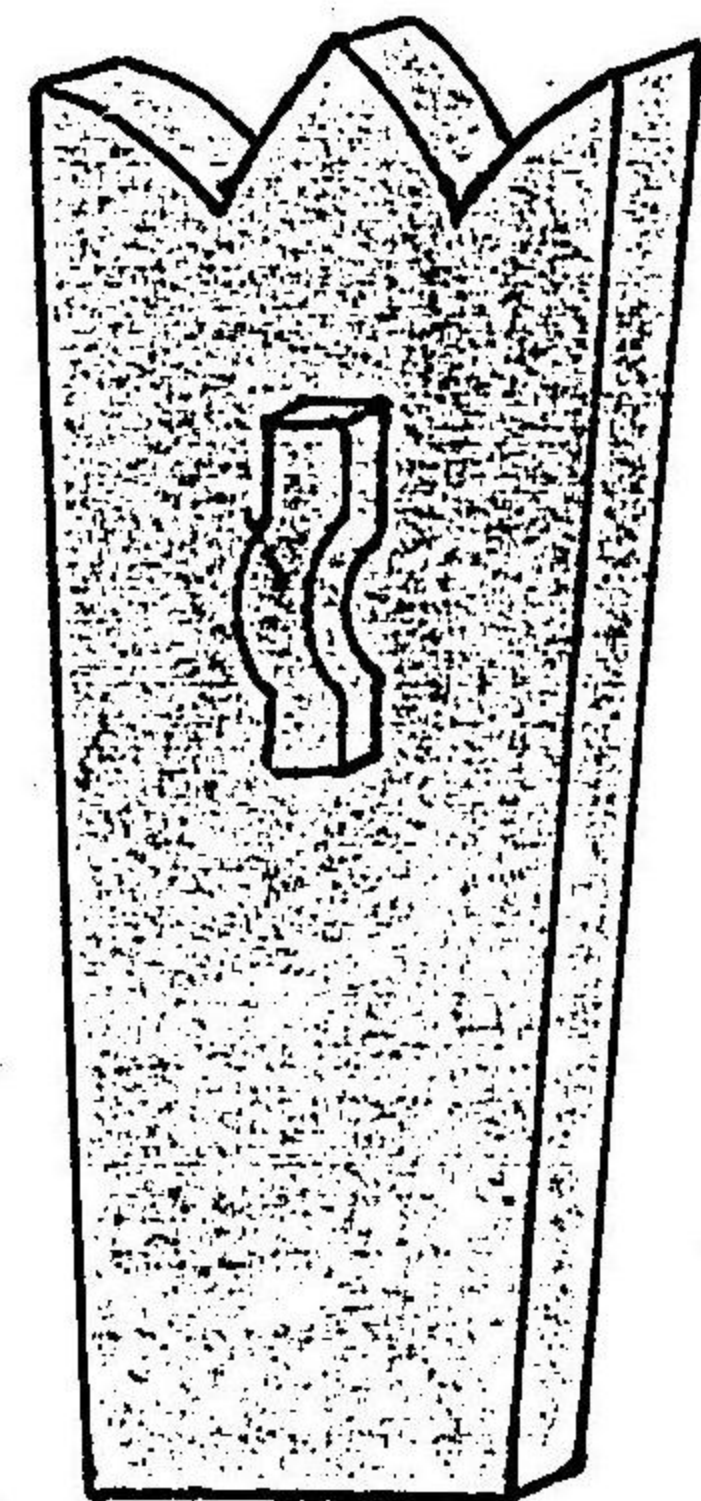


劔

白鞘に收め大和錦袋入
真紅の総を付くべし

楯

表裏黒漆



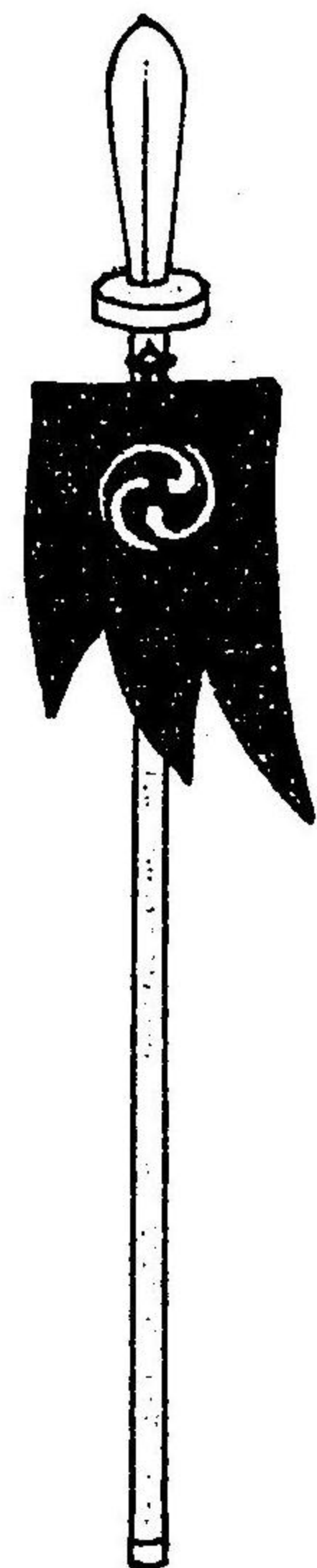
矛

鍔 銀箔 鍔 金箔

柄 黒漆

比禮 赤地錦表裏

詞 紋 金物



旗

祭場に旗を立てること神代の遺風にして朝賀の儀に武官萬歳の旗を
振る事あり最吉例なりは社前に建てて



織物表裏同ト

齋竹

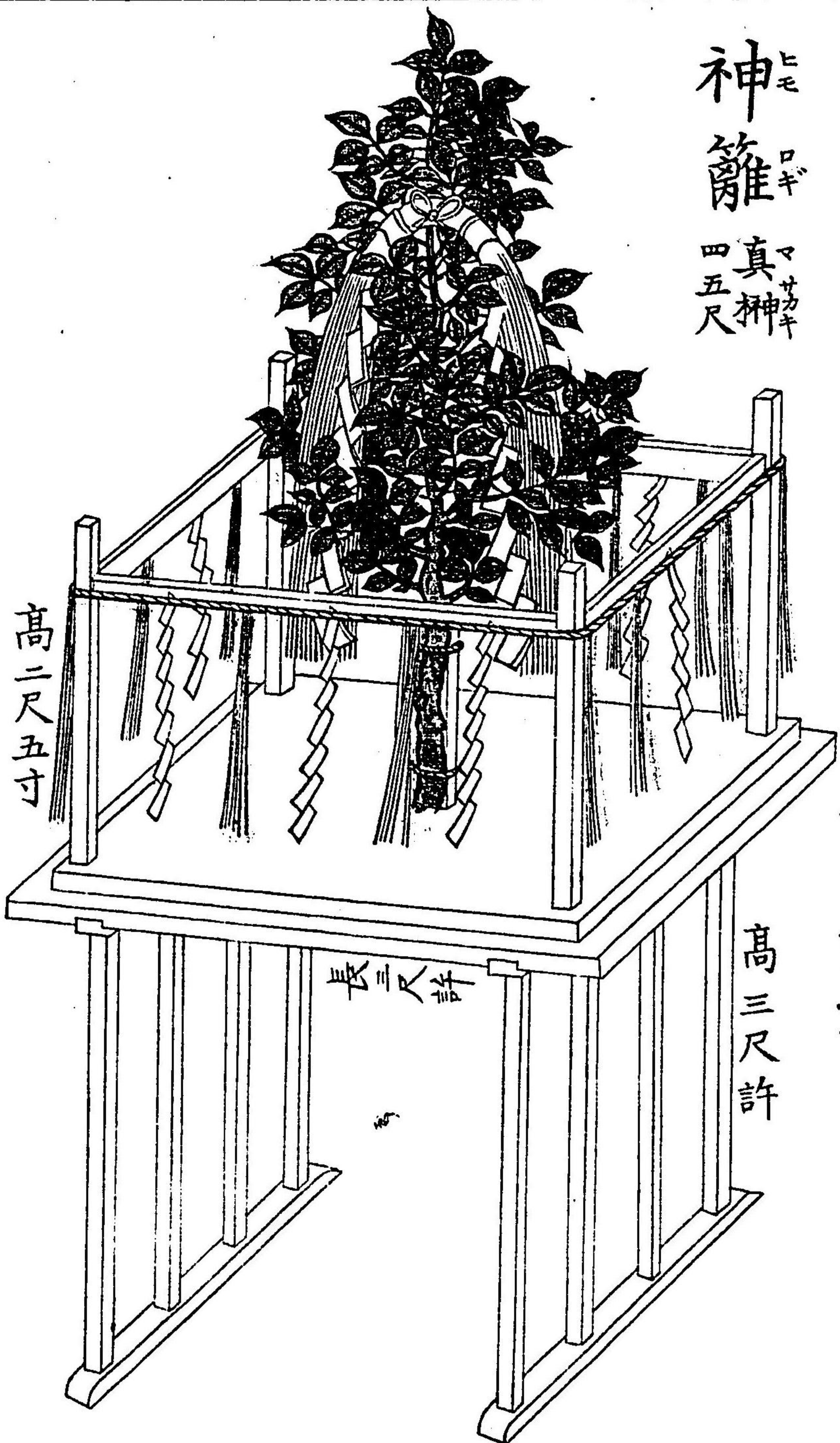
葉付の青竹に注連縄を張り四垂紙を付く祭日門鳥居等出入の
要所に之を建つ地鎮祭の如きは其地域四面に建て
又は一本づつ四隅にたつべし



祭器及樂器

神社祭式及び其他に就きて普通用ゐる易き
ものを挙ぐ此其大略なり猶諸社在来の式
あらば其宜に隨ふべし

神籬
真神
四五尺

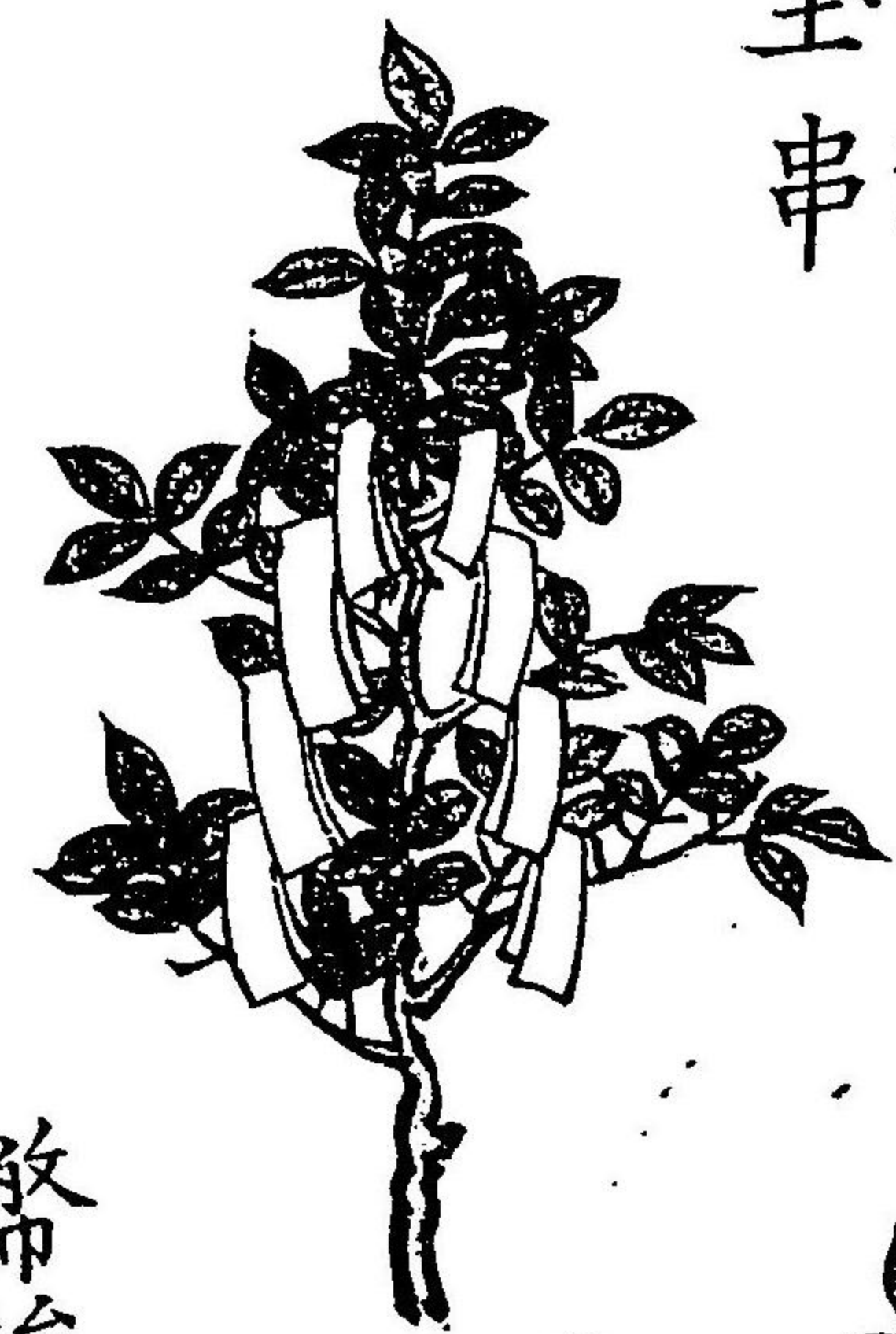
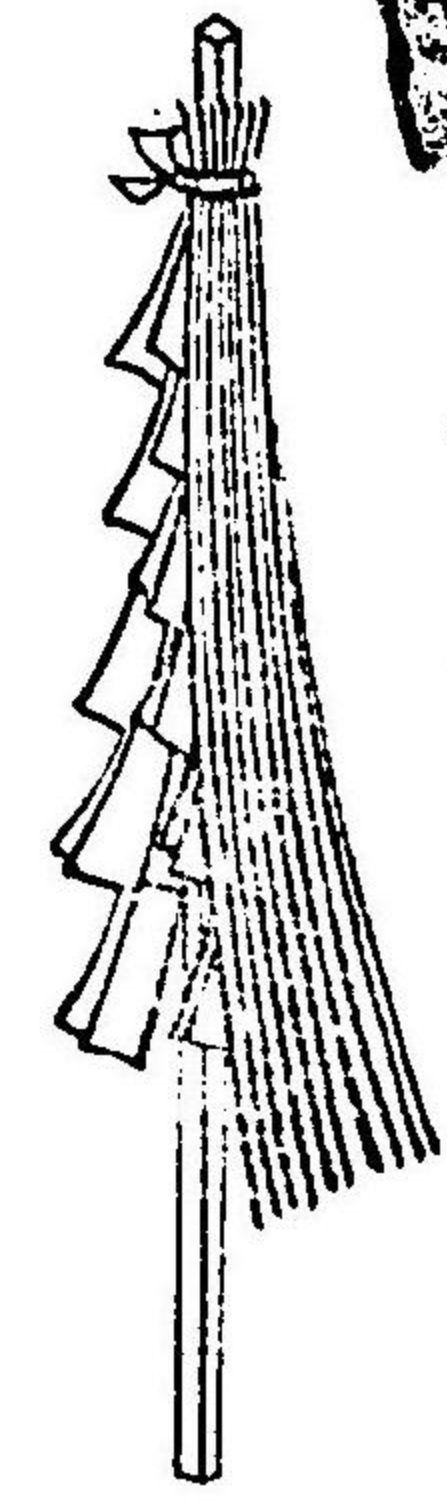


大麻オホスサ
神枝三四尺

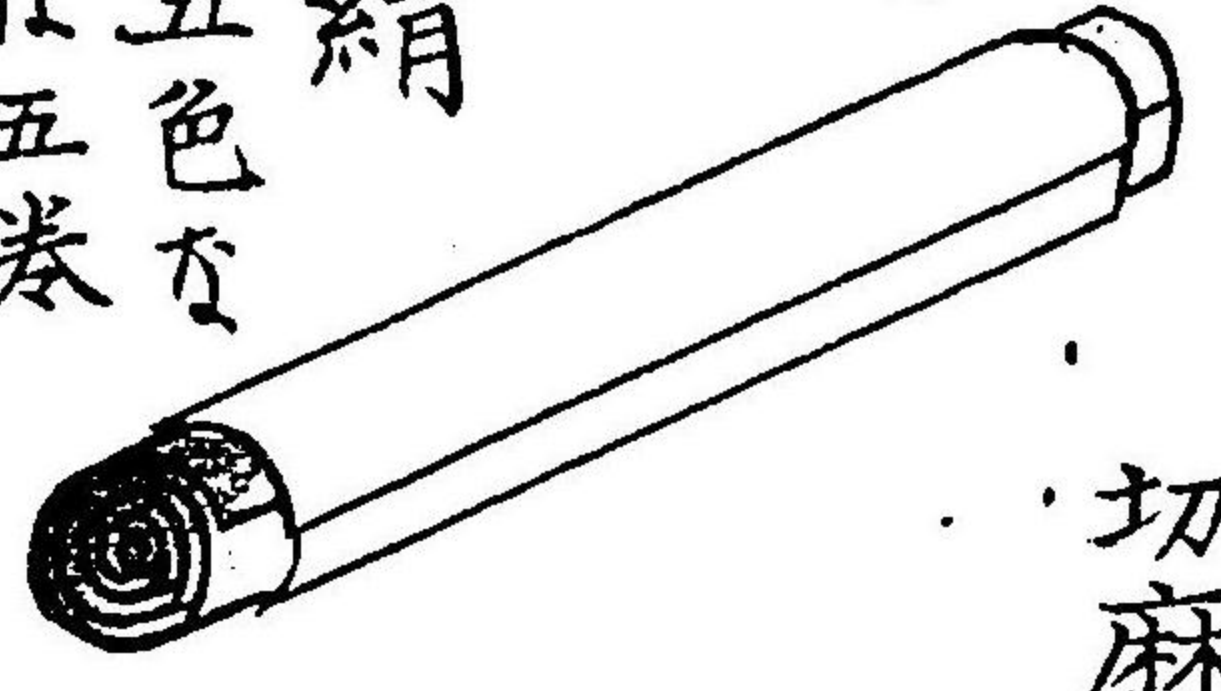
玉串タマクシ



小麻コスサ



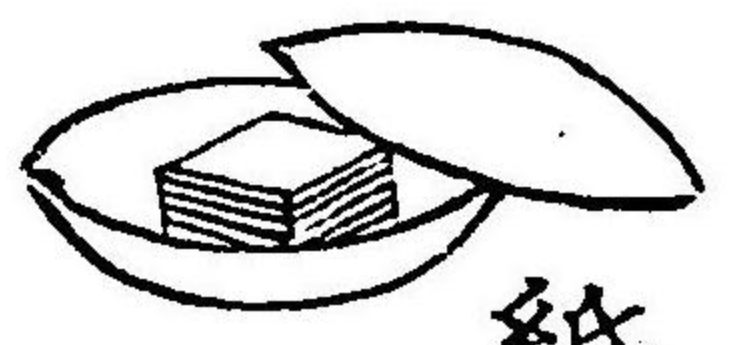
幣絹ヘイヌ
但五色
らは五卷
楊管に納る



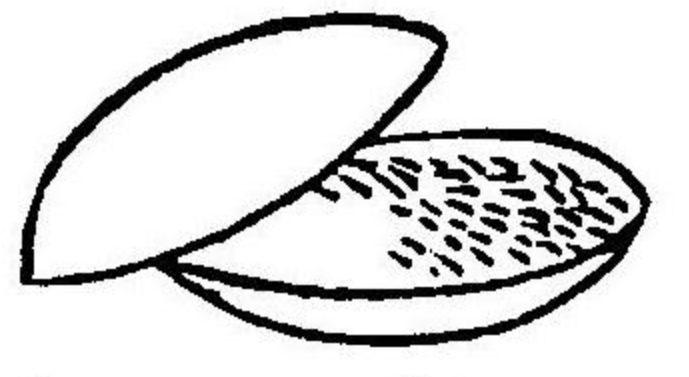
切麻キリマ



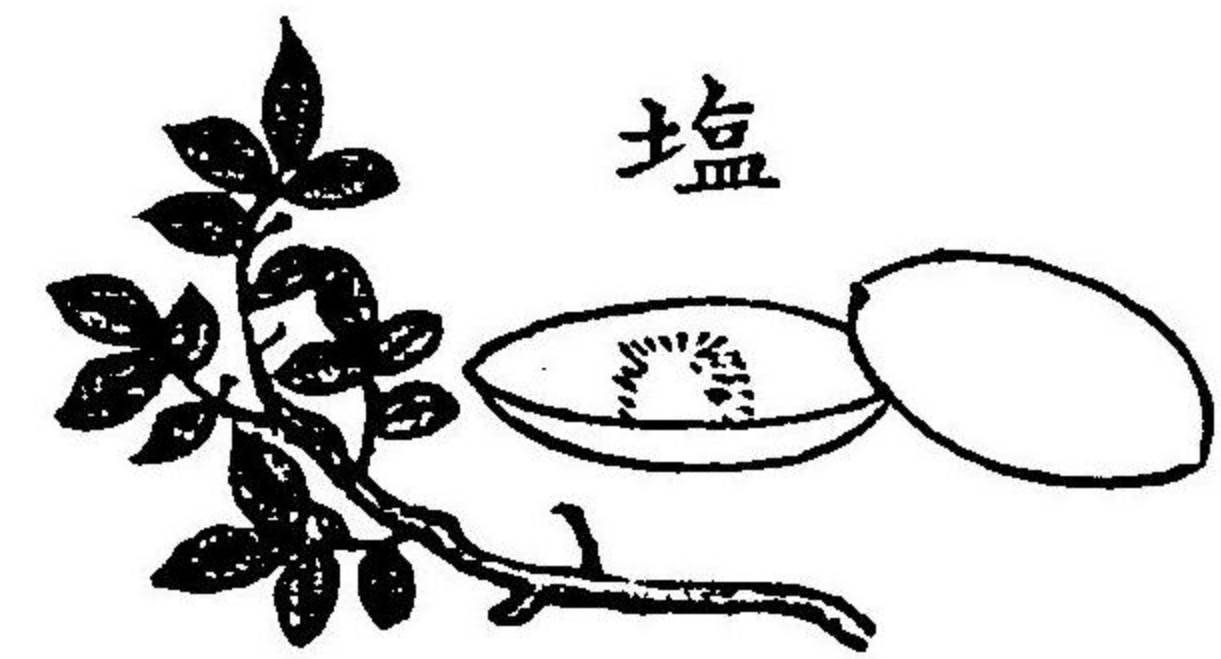
紙



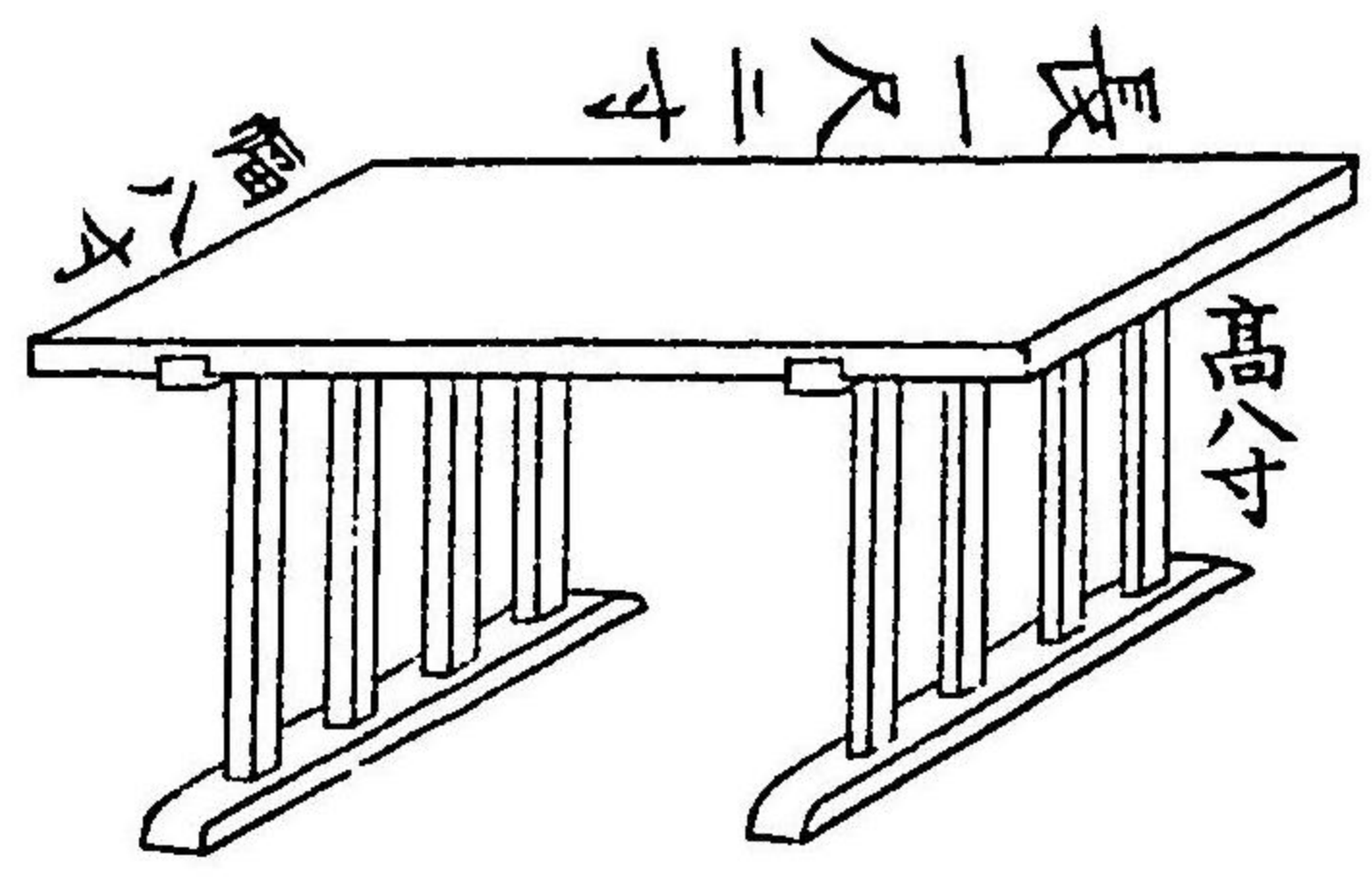
米



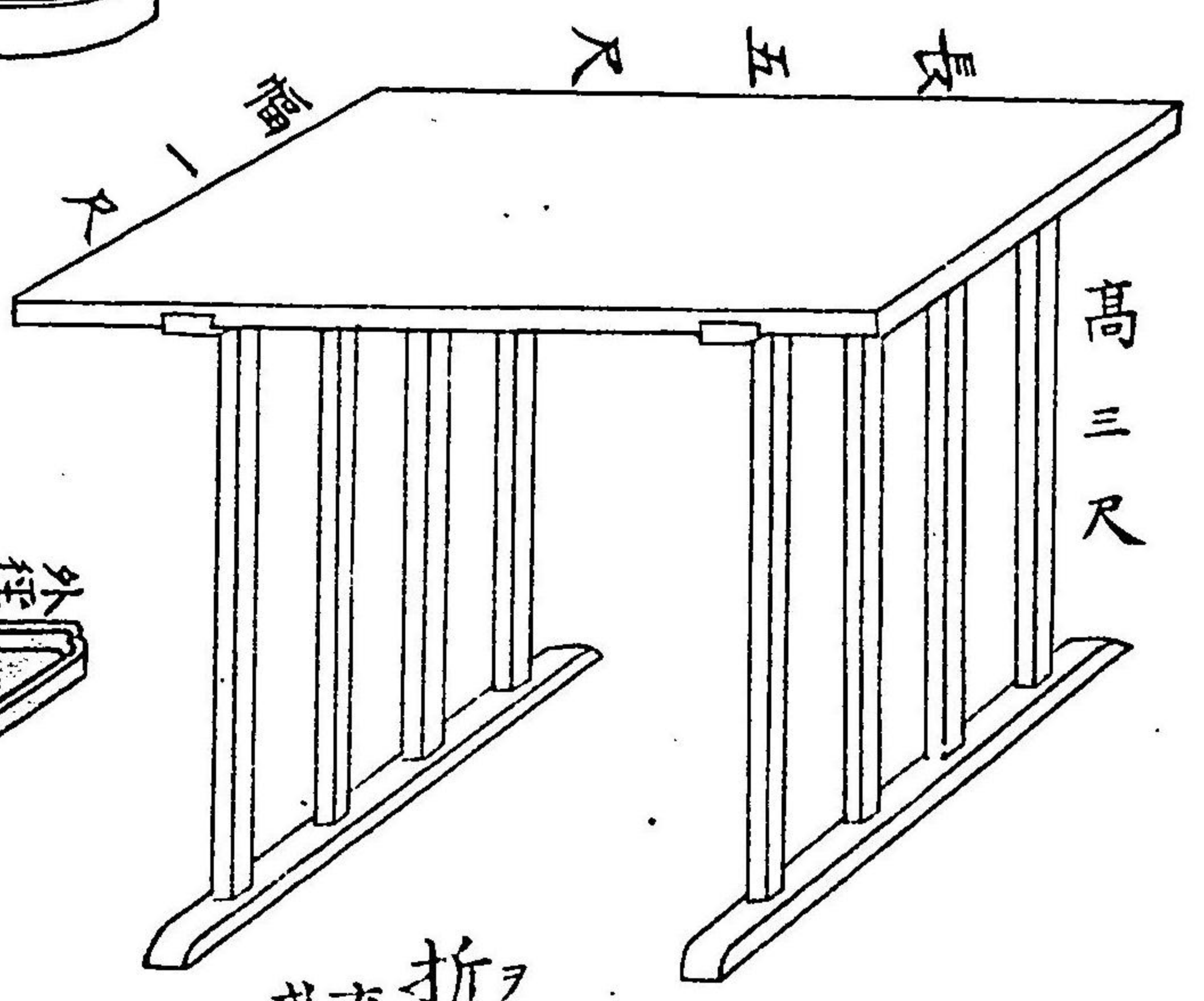
塩



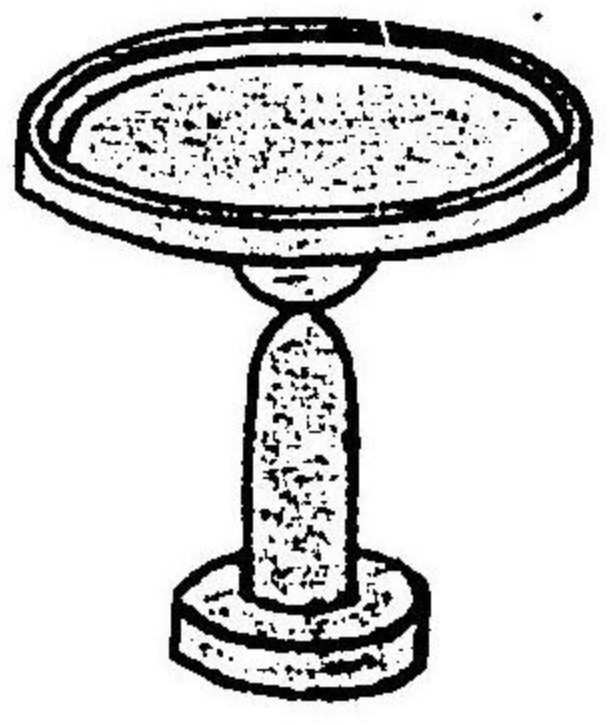
八脚小机



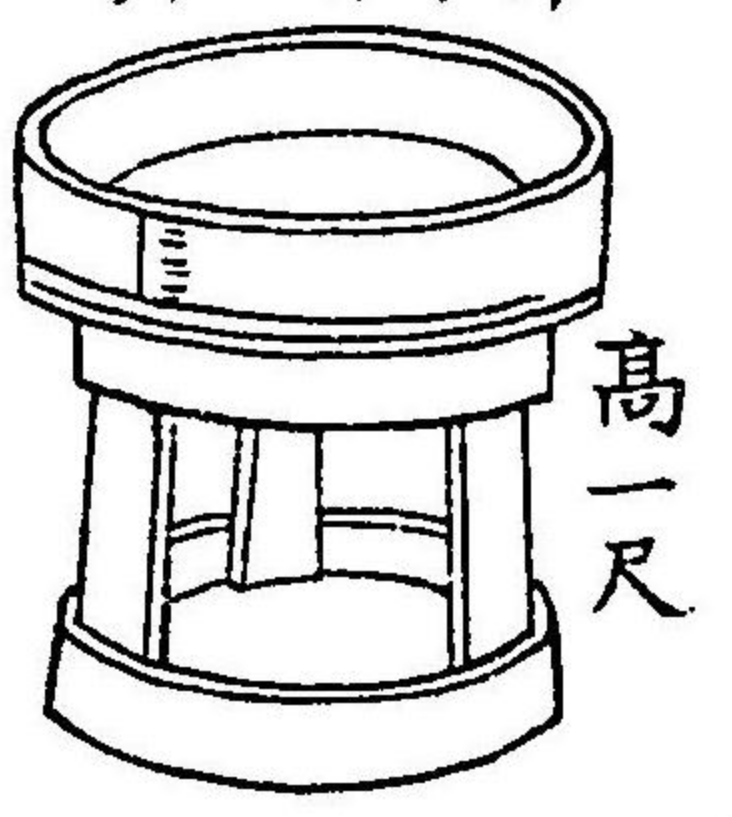
八脚高机



高坏タカバ



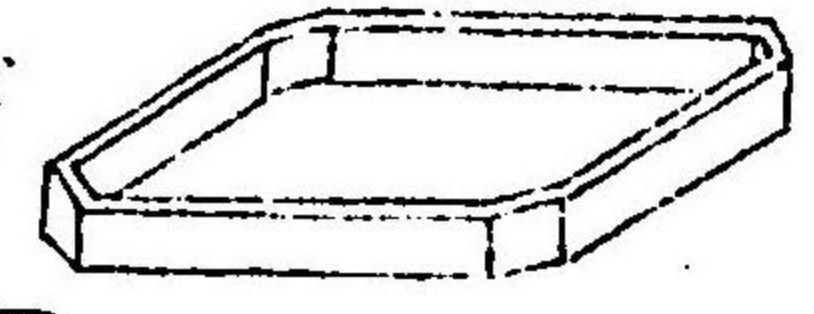
懸盤カケハム



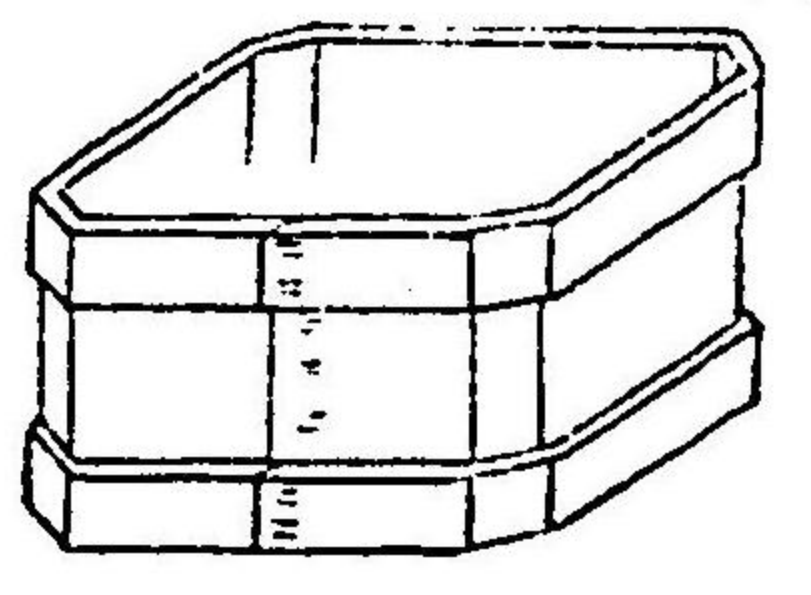
高坏タカバ



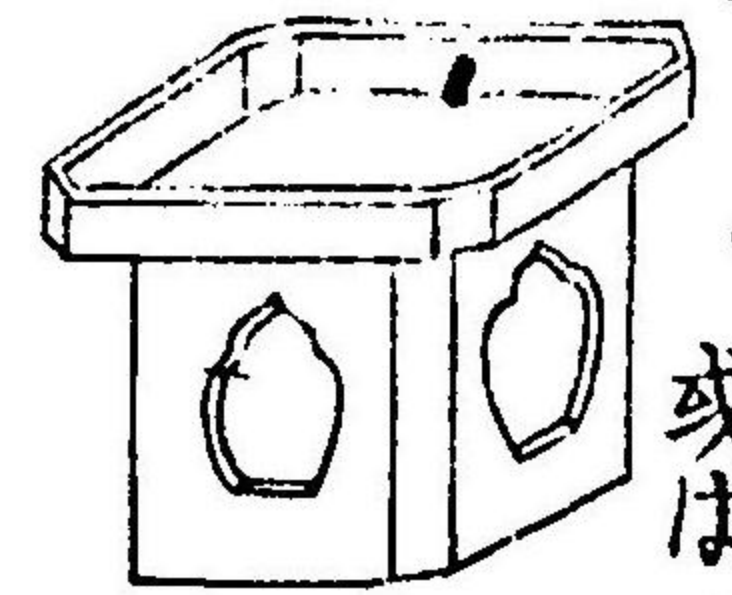
折敷オリシキ
或は方寸
或は方寸



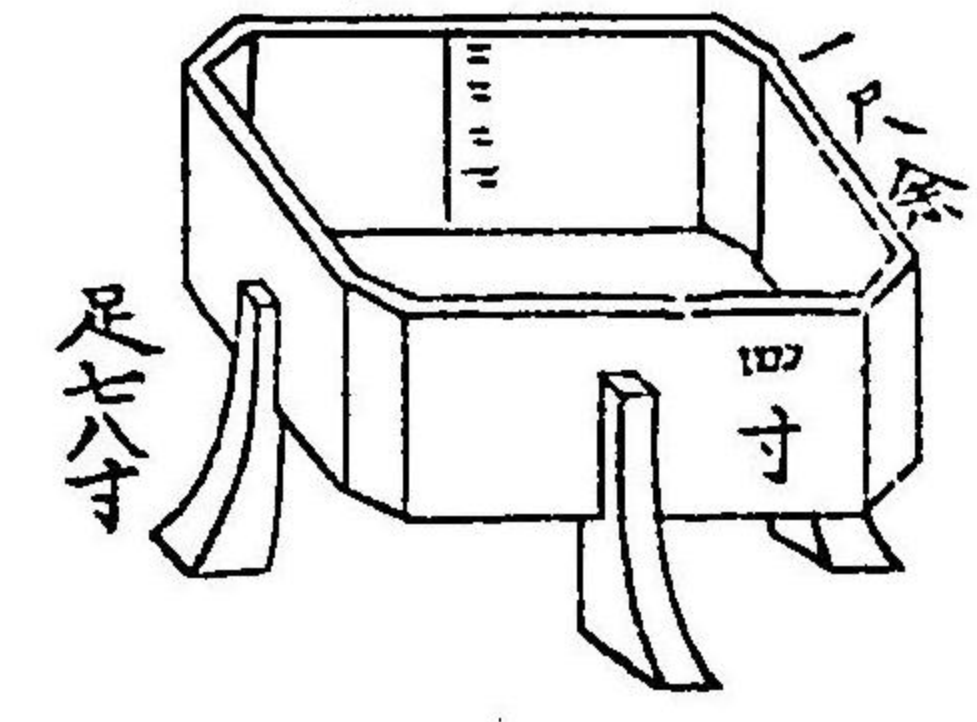
折櫃オリビツ
方尺餘



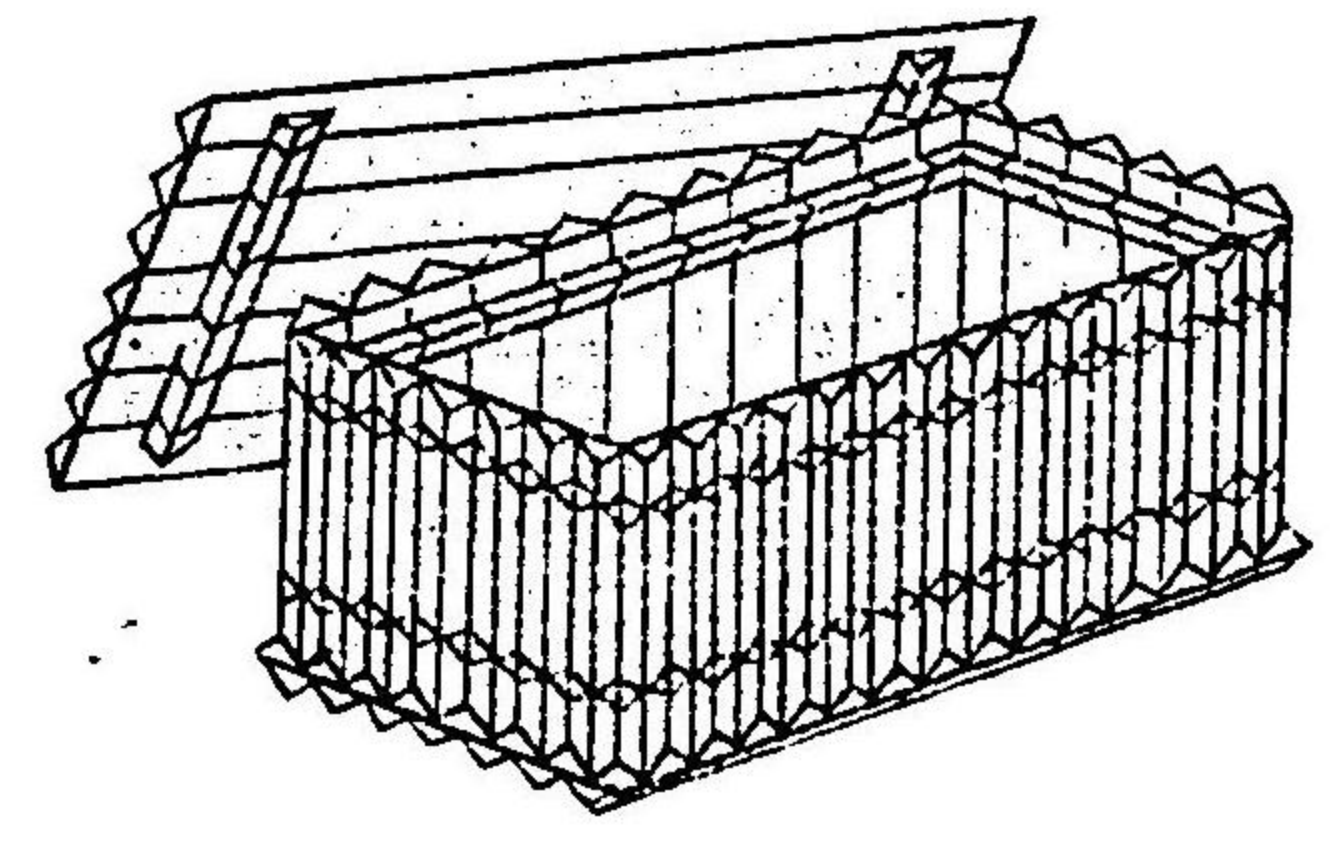
三方基方尺寸
或は一尺



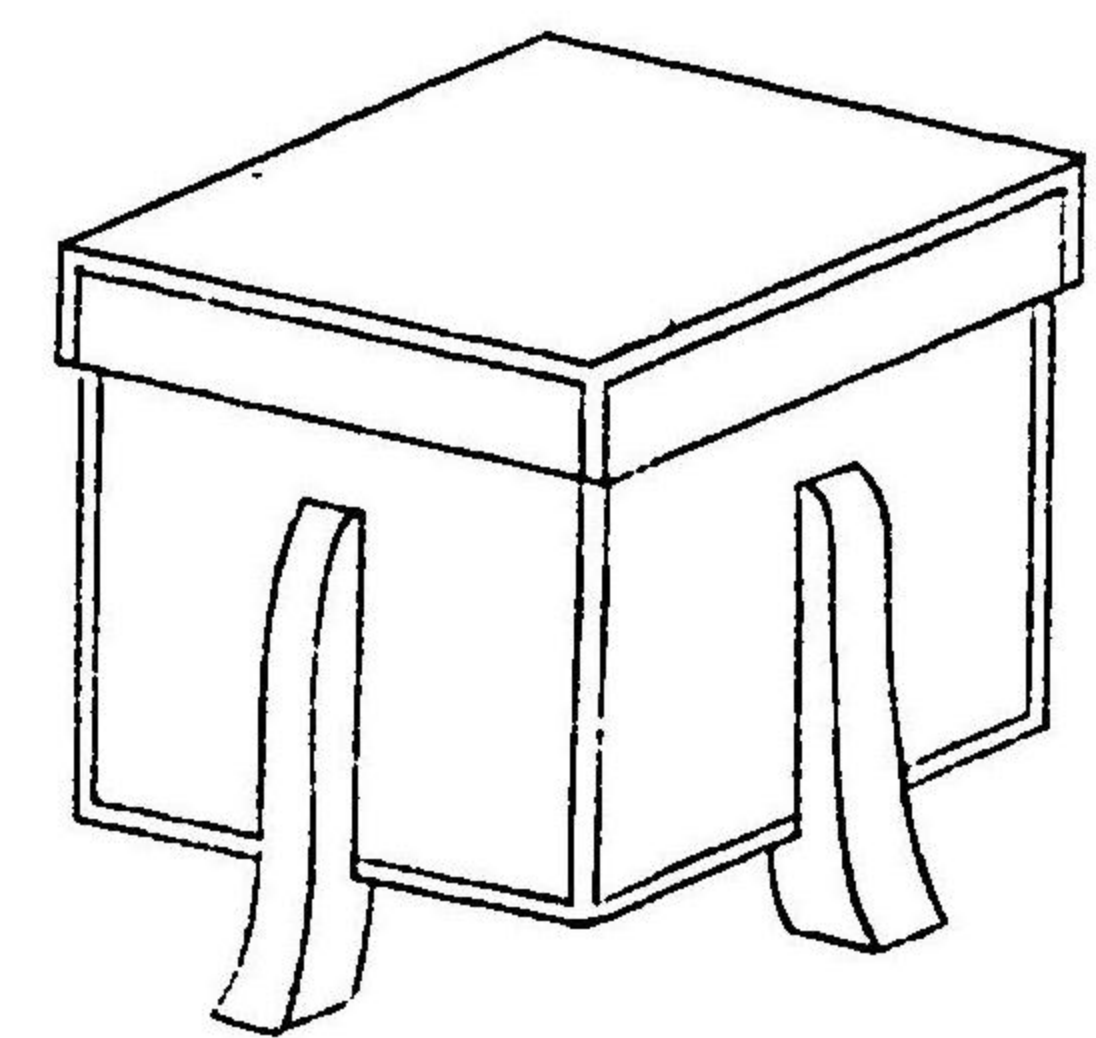
行器 ホカイ



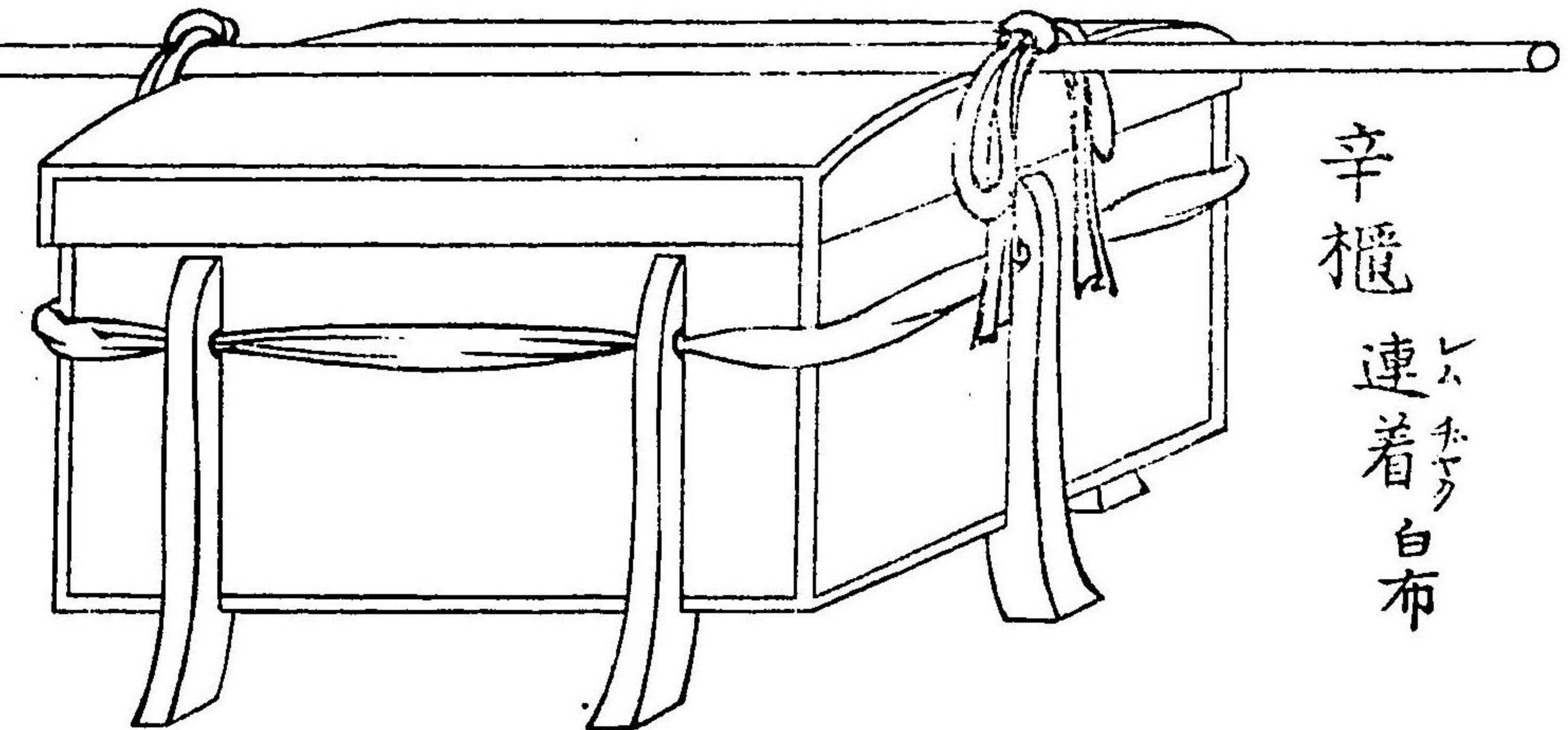
楊篋 ヤナイバ



辛櫃 カラヒツ



辛櫃 連着白布 シムチキ



瓶子



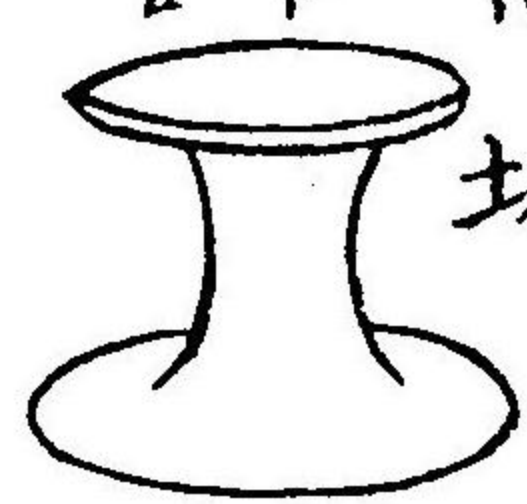
盞箸 サカキ



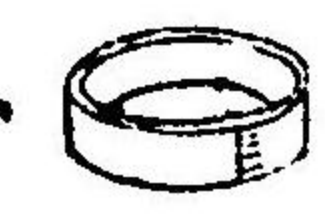
盆 マリ



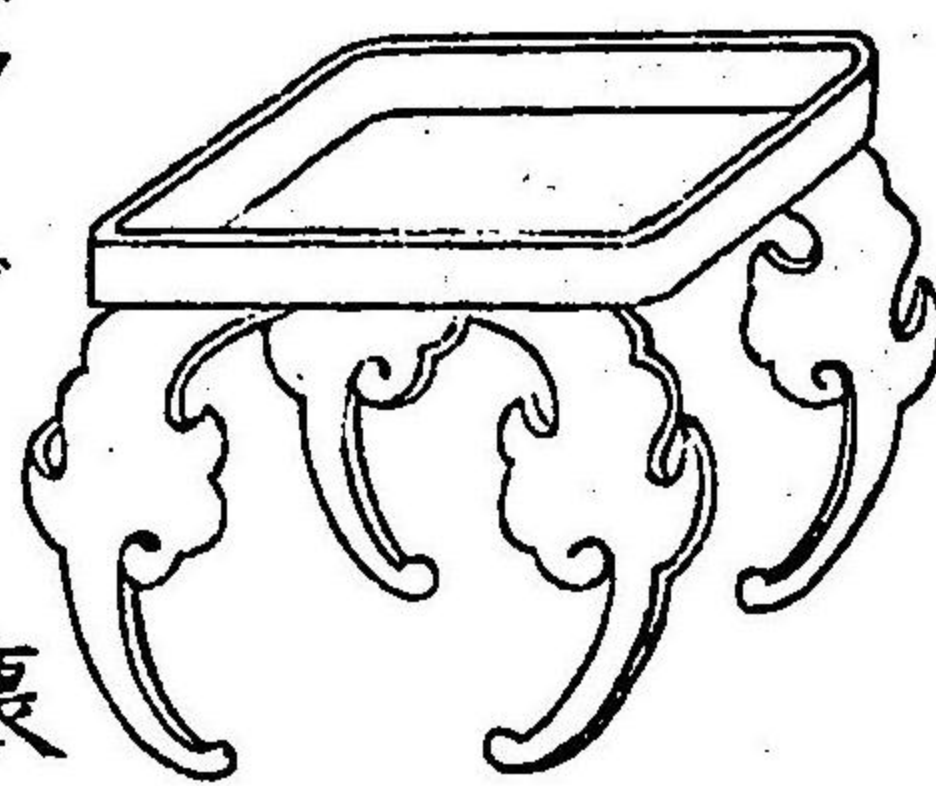
高坏 タカ



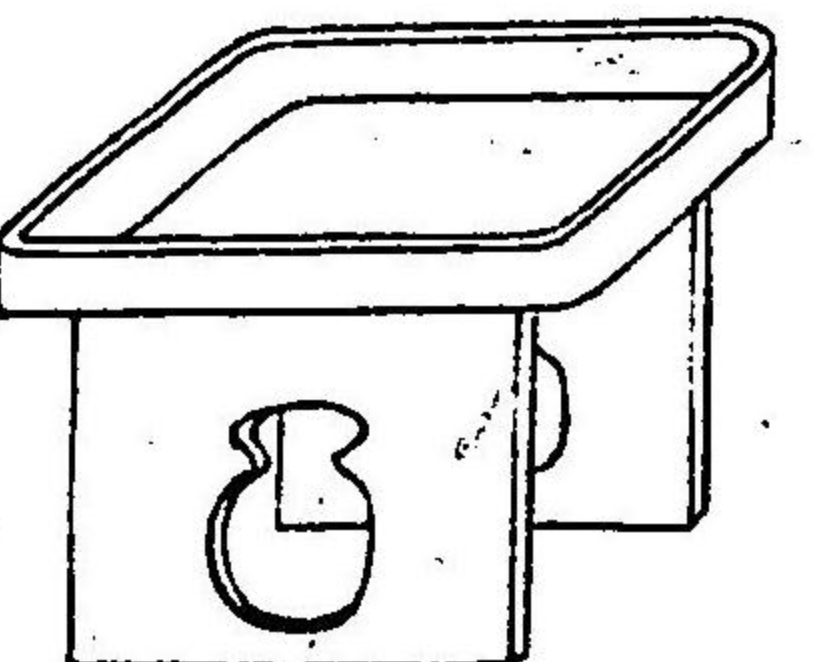
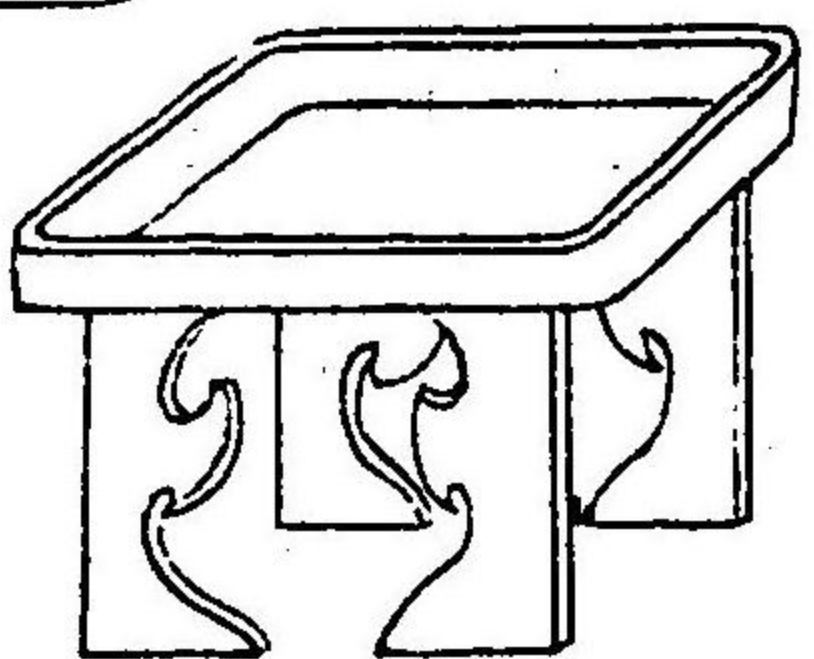
敷輪 シキ



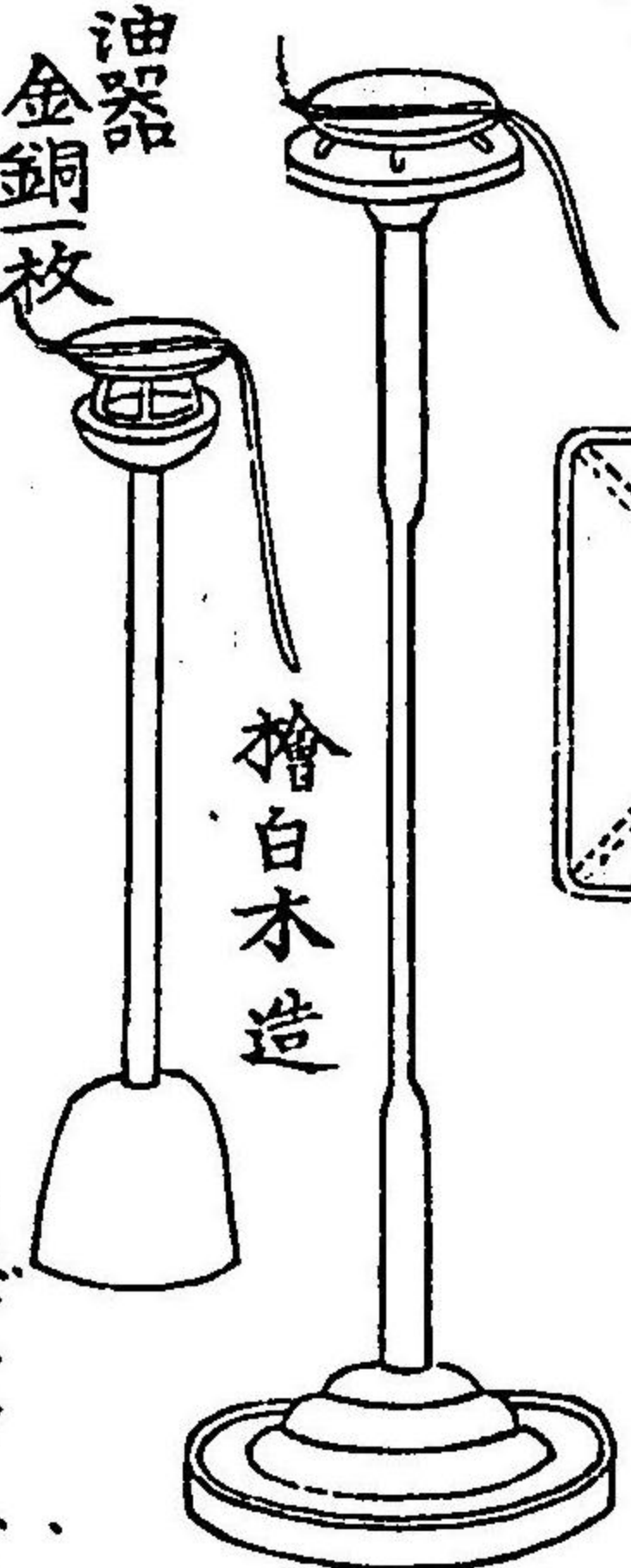
雲脚臺 クモアシ 方一尺



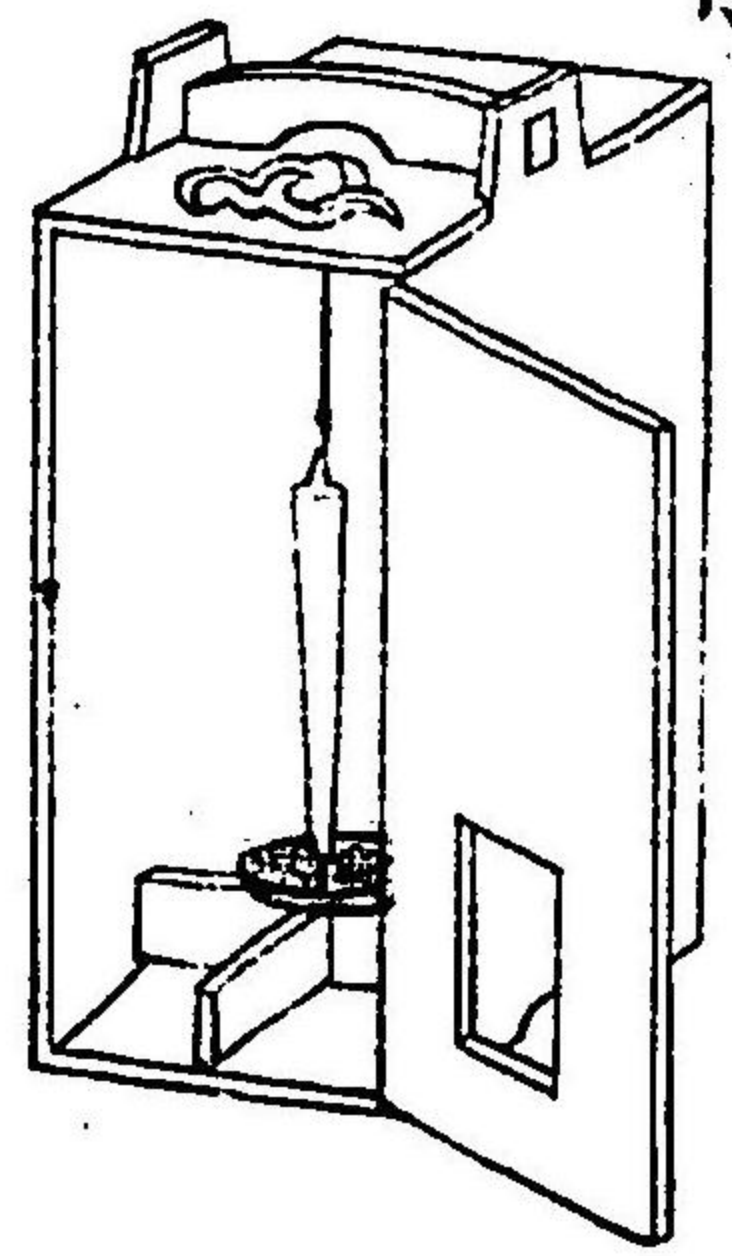
豎脚臺 タツアシ 方一尺 二重縹臺 ニヘウ 方一尺



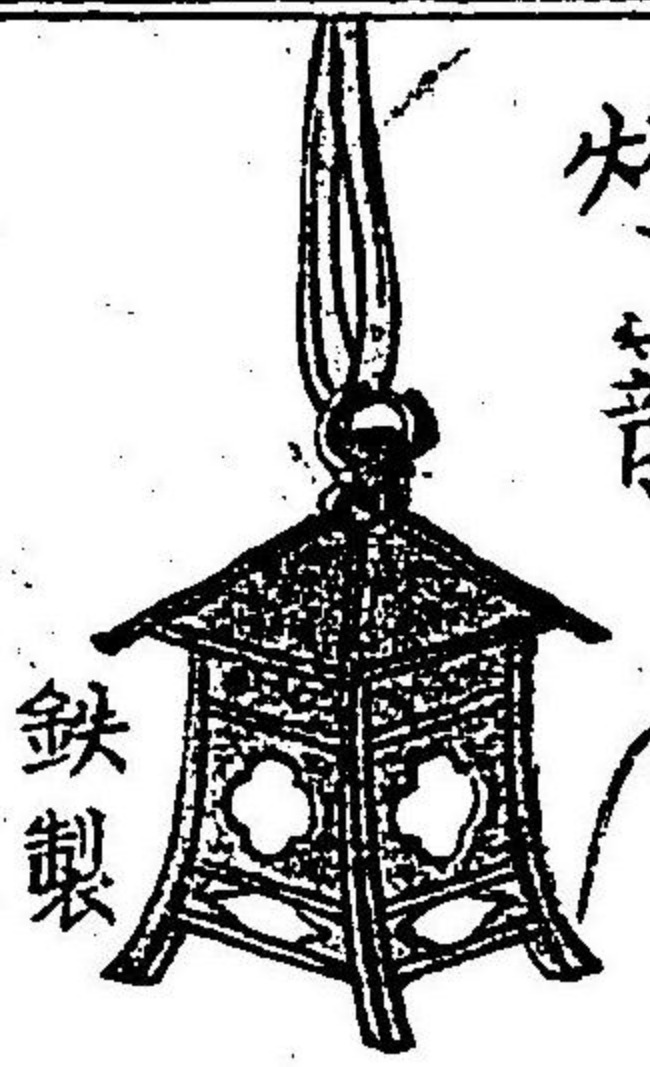
燈臺 トウ



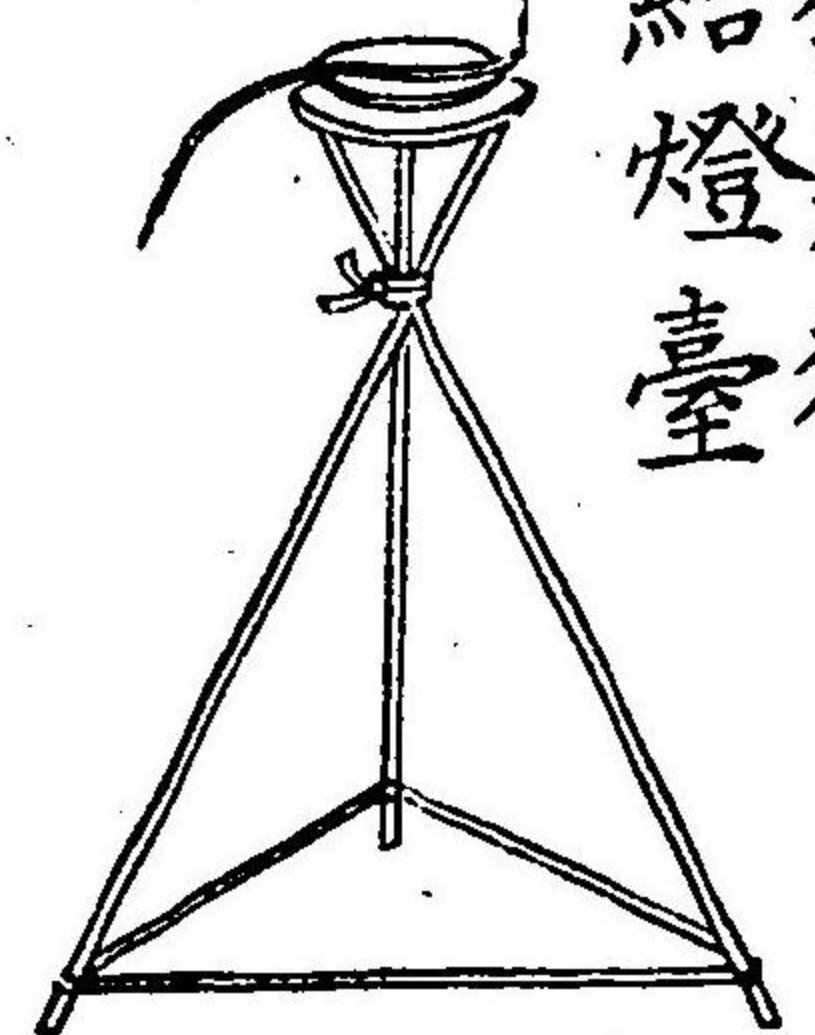
陰燈籠 カケトウ



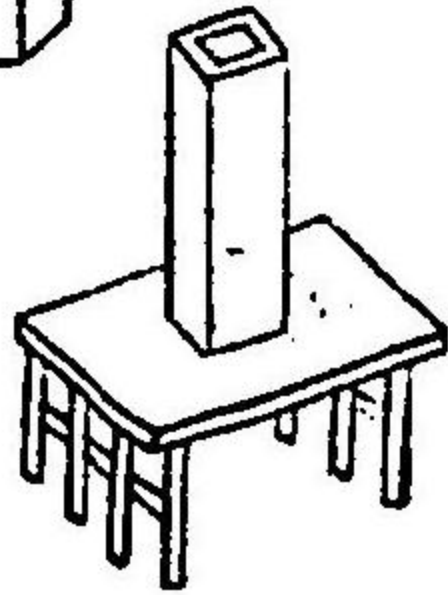
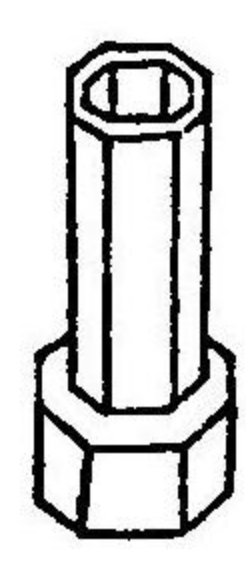
燈籠 トウ



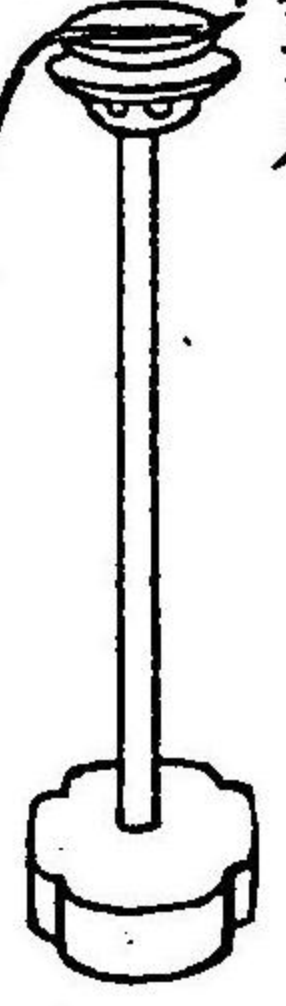
結燈臺 ヒビトウ



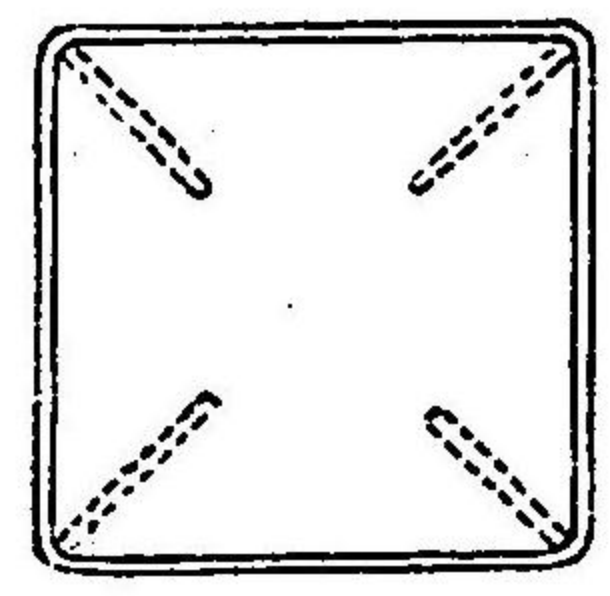
玉串筒 タマクシ



油器 アブ

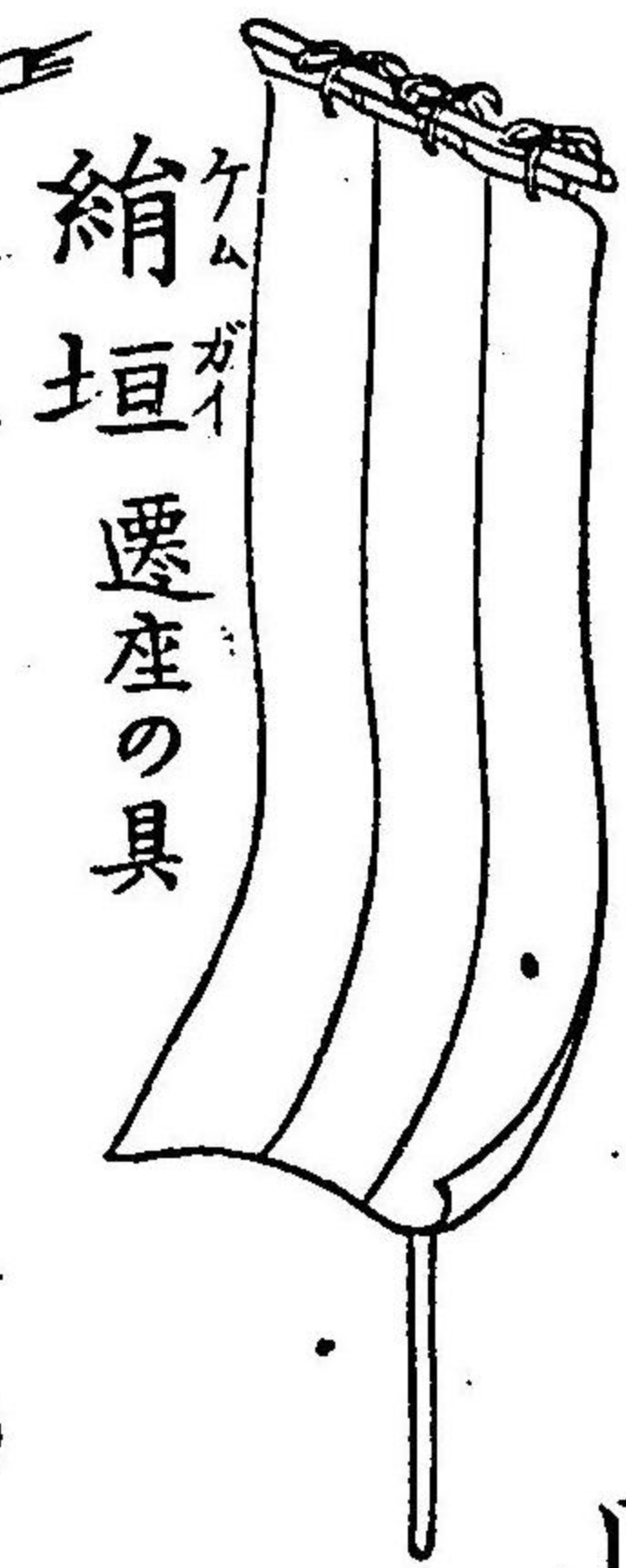


檜白木造

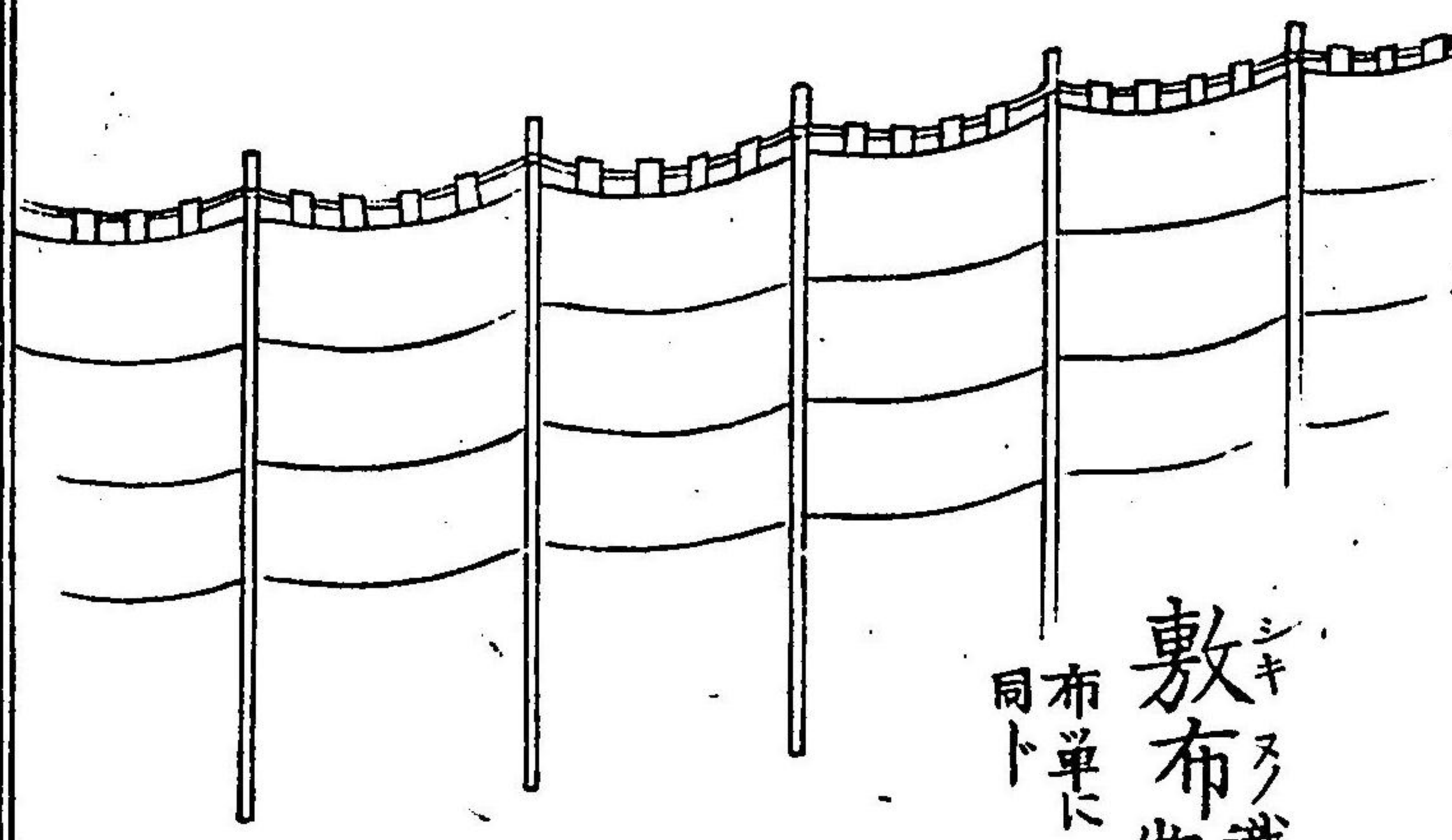


鉄製

行障 遷座の具



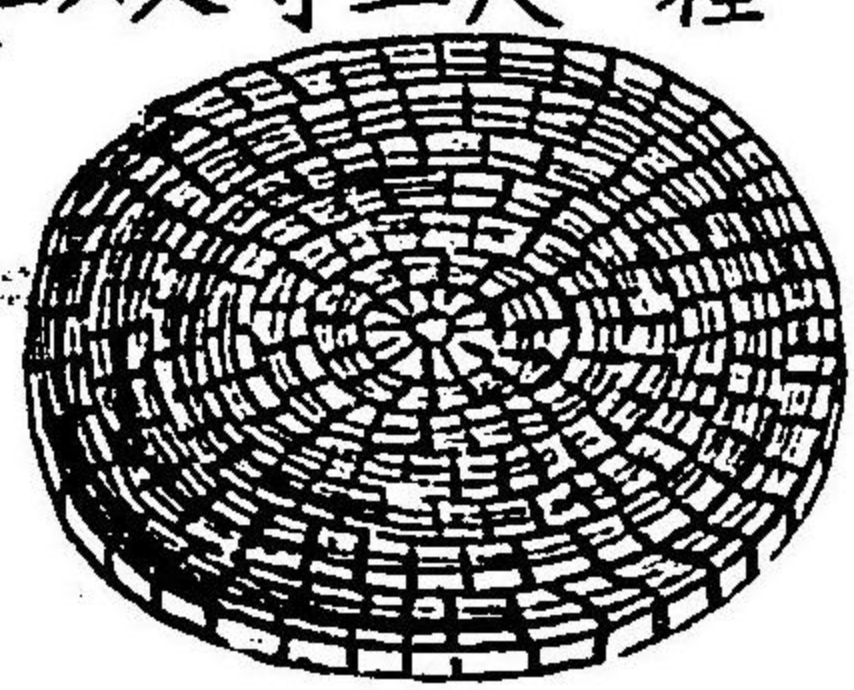
絹垣 遷座の具



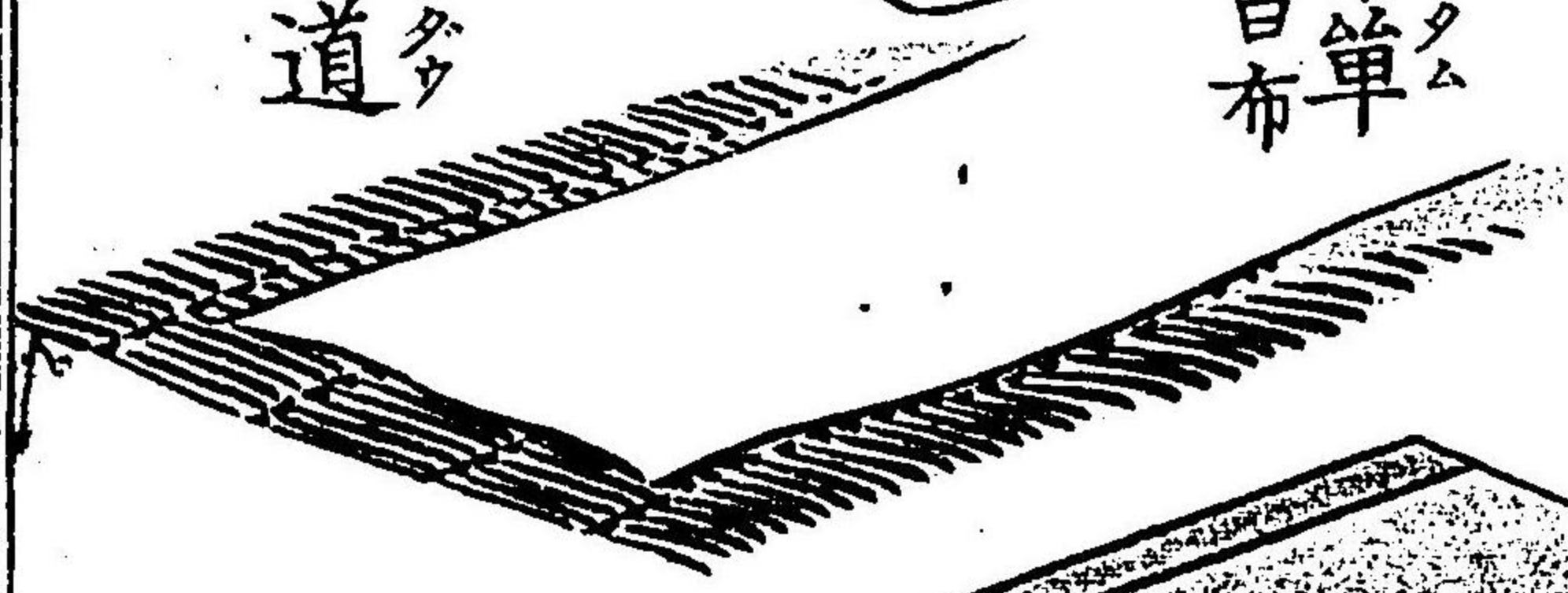
敷布物 布単に 同ト



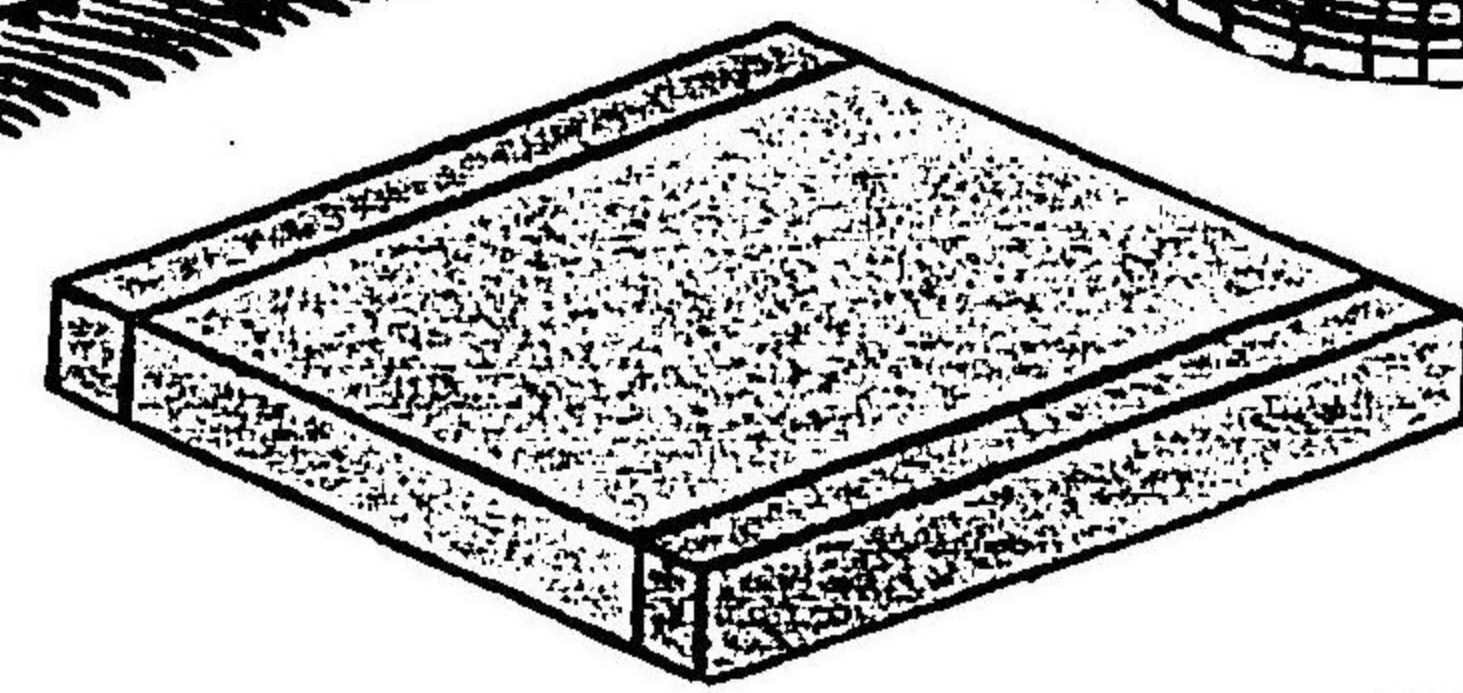
圓座 藁又は菅なり



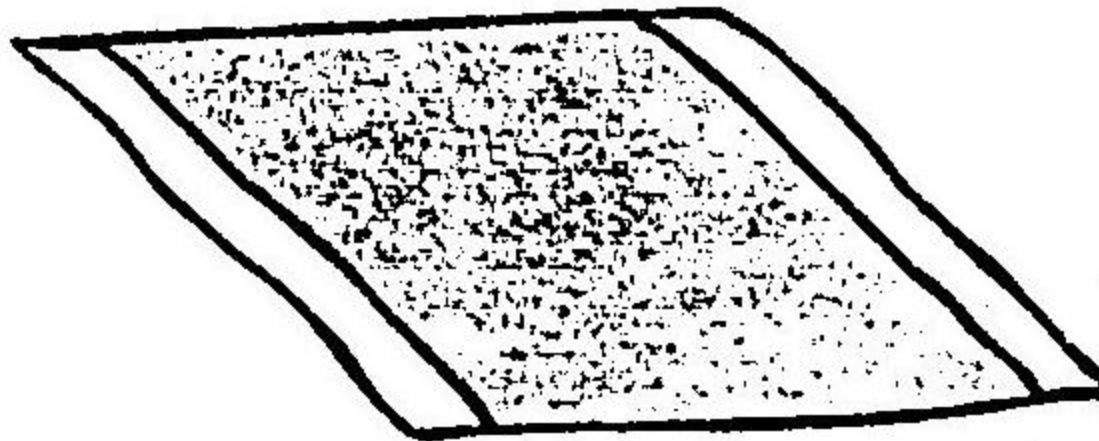
布単 尺=ハ又寸五尺一徑



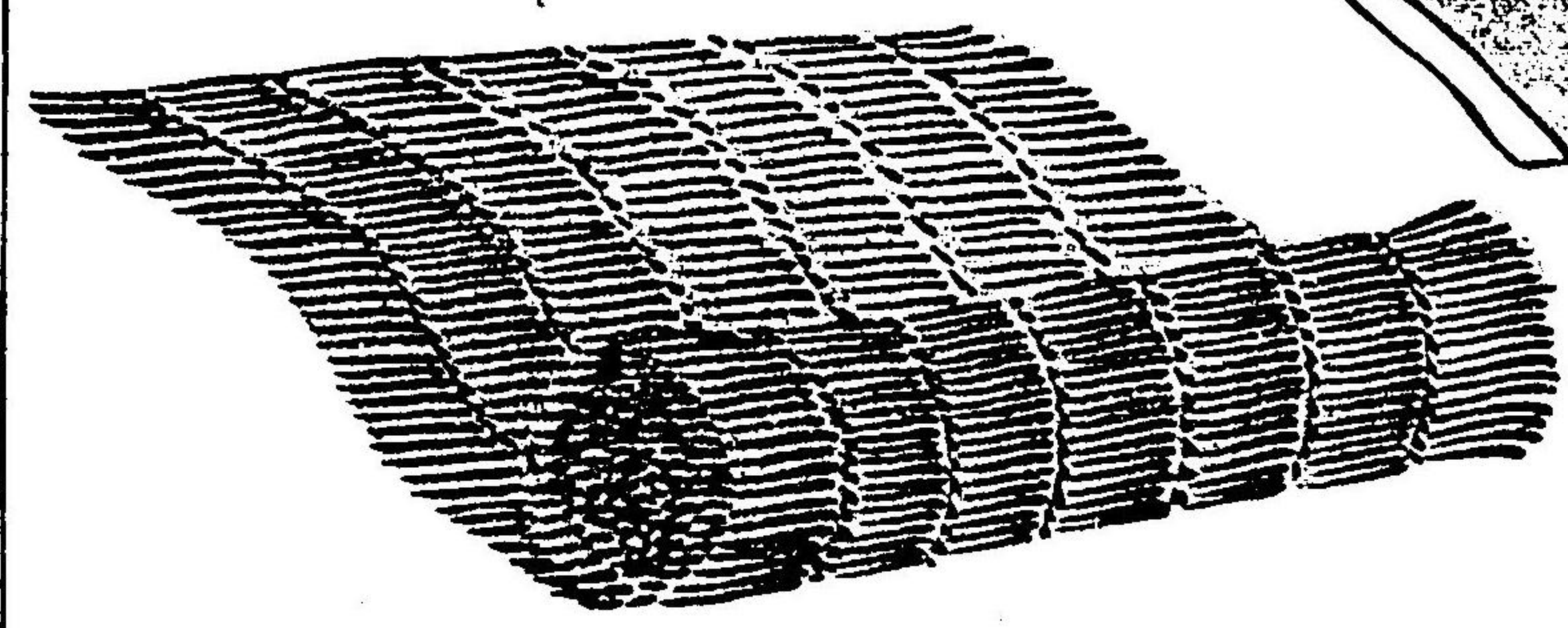
半畳



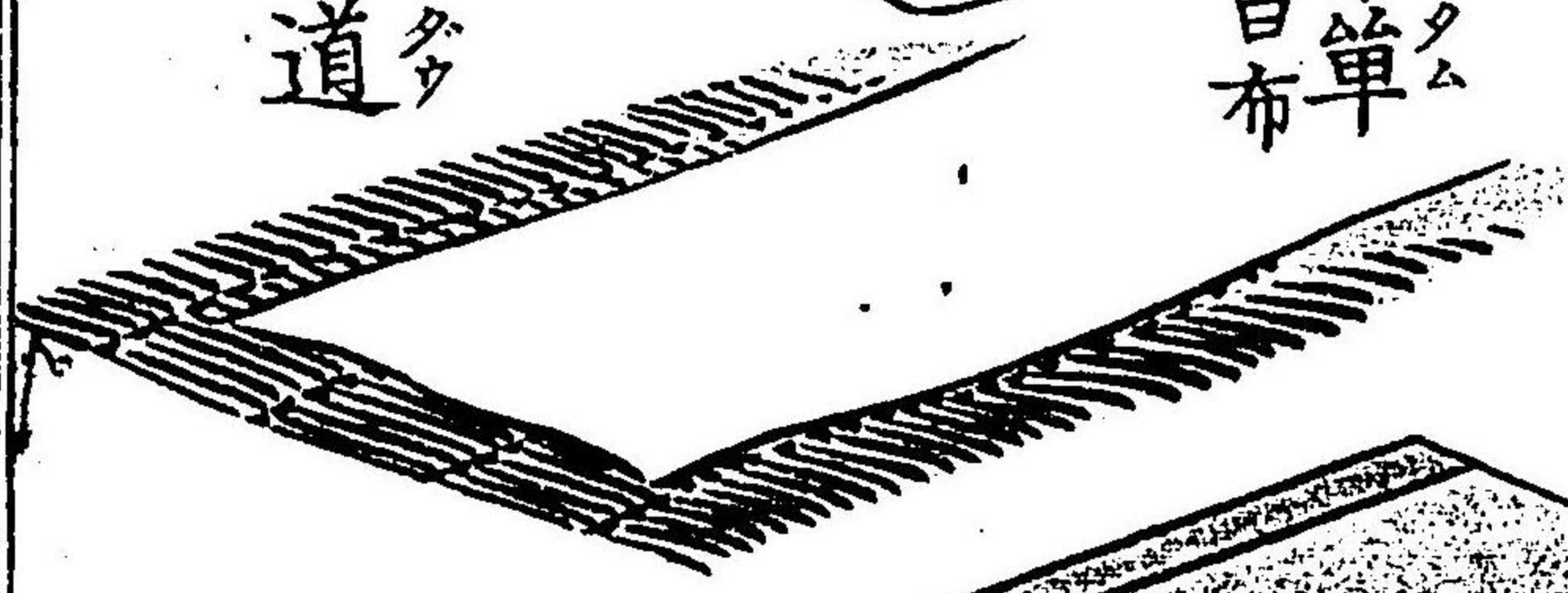
軋



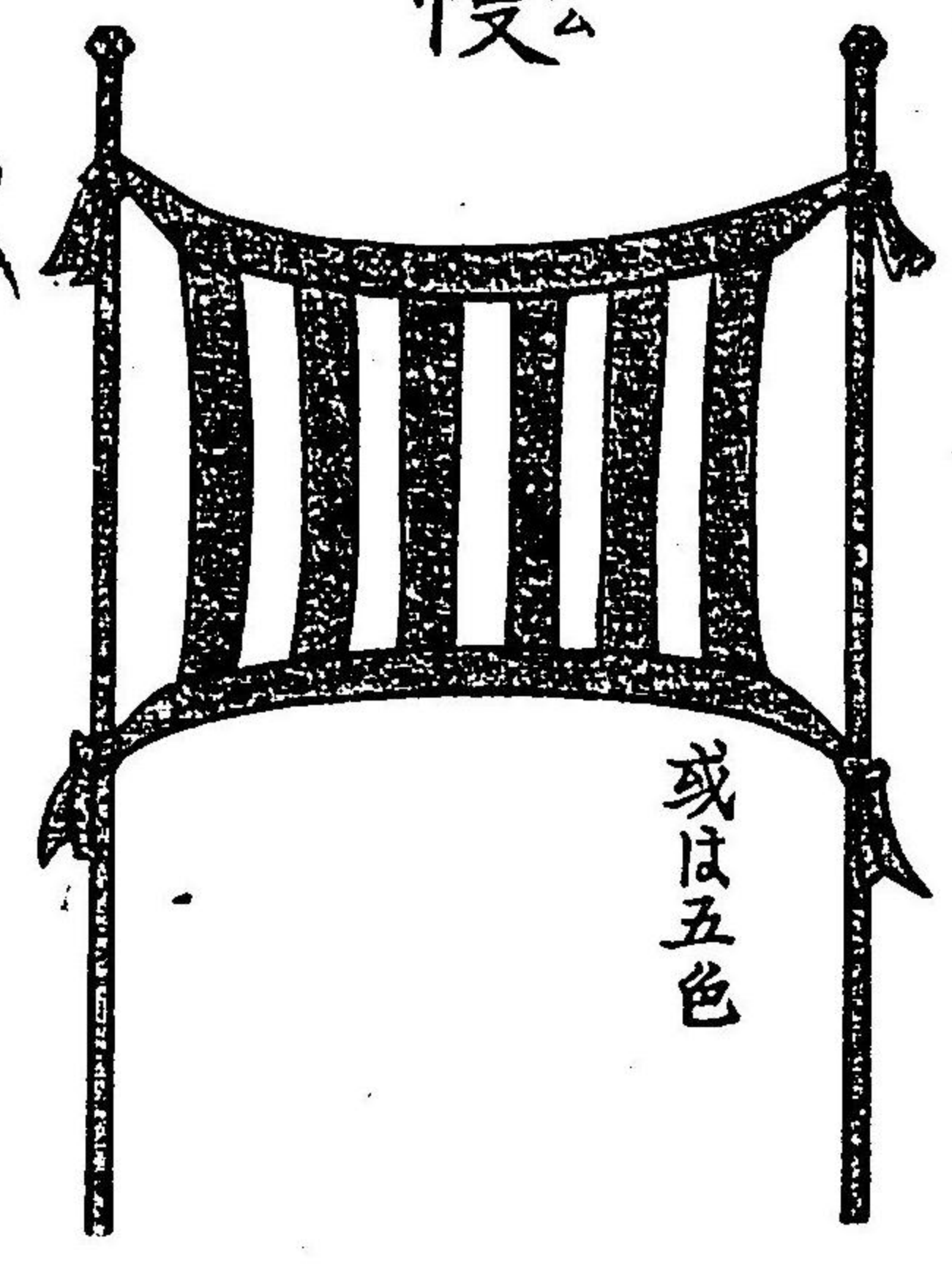
薦



筵道

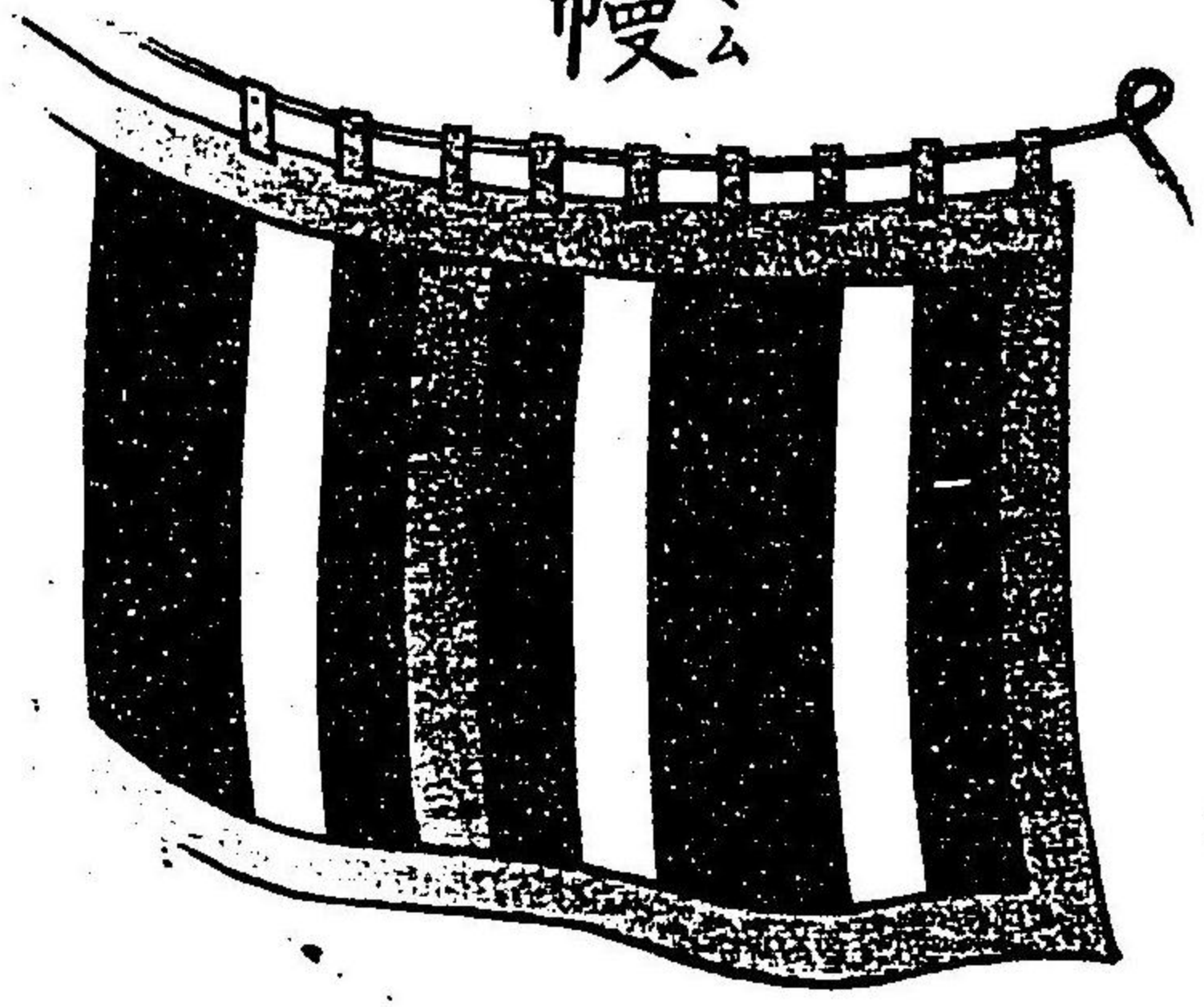


幔



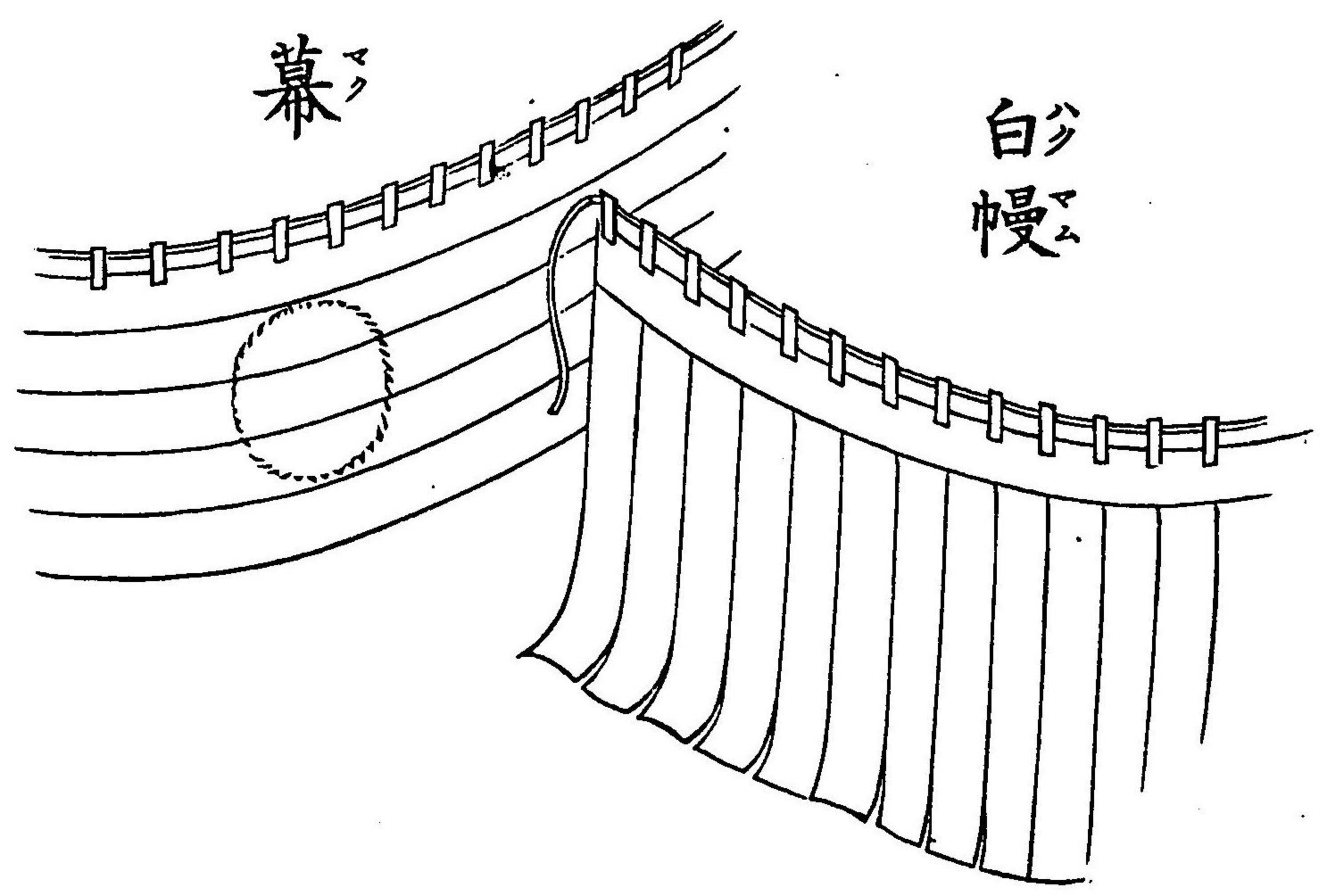
或は五色

斑幔



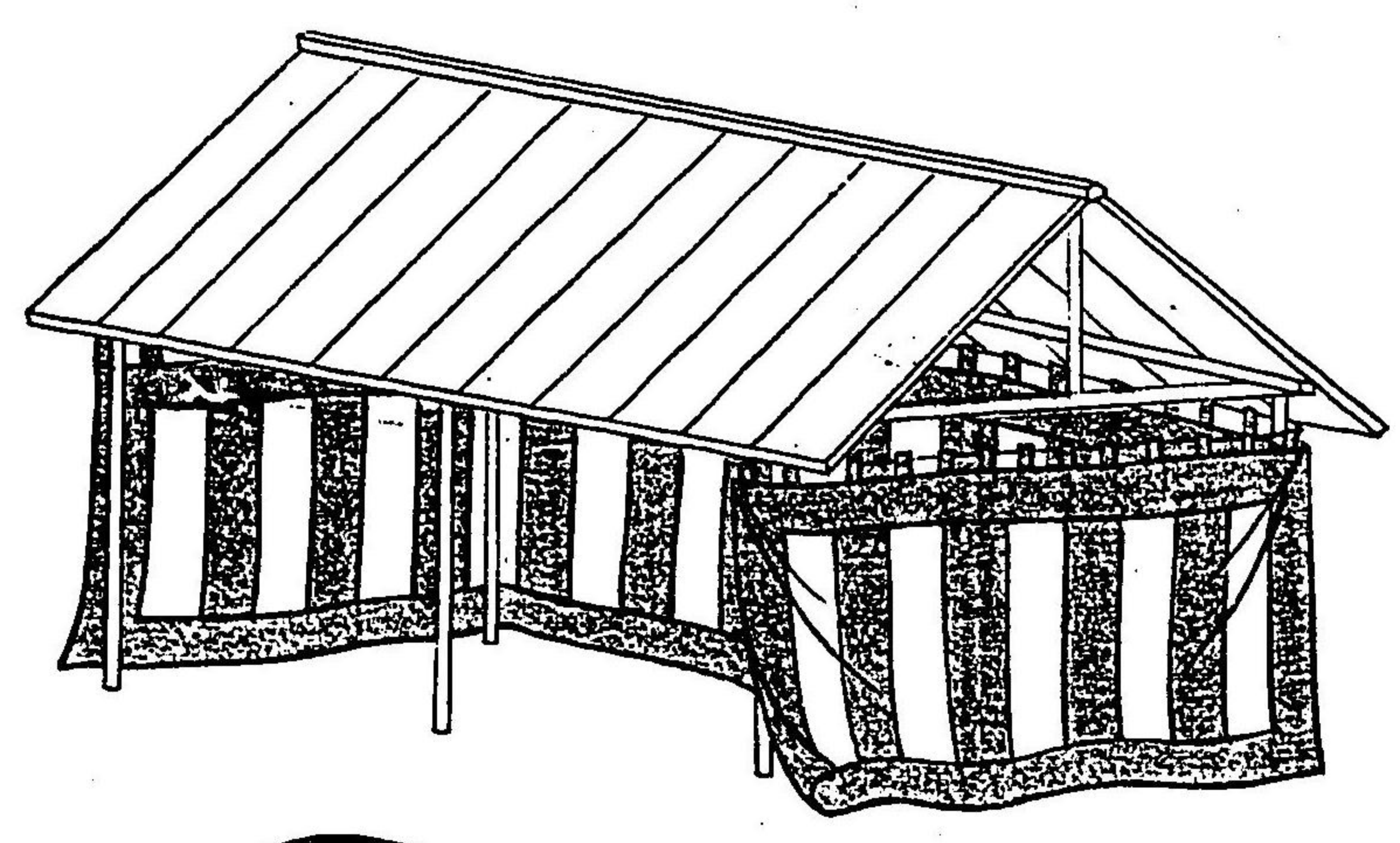
白幔

幕



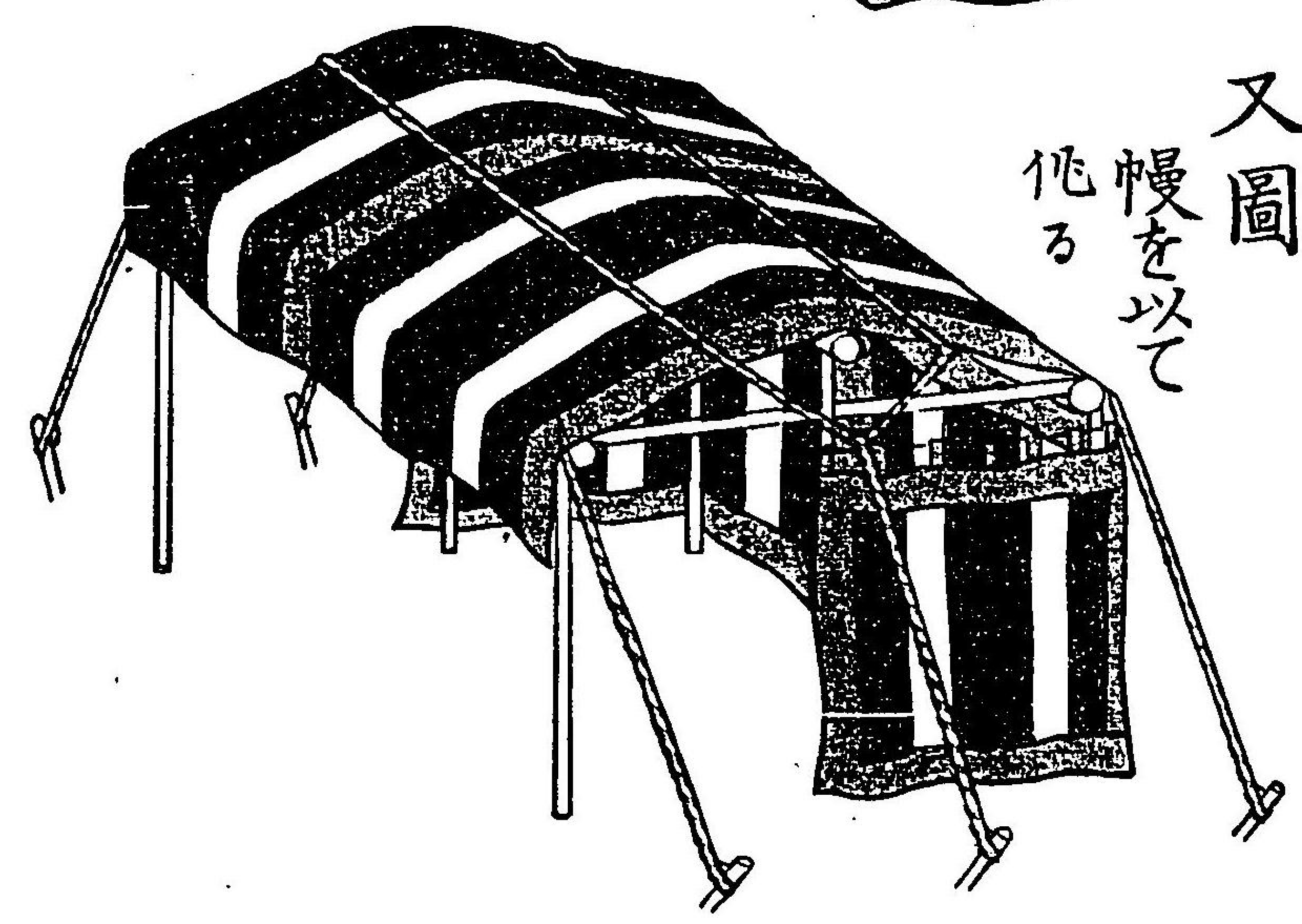
幄舎

屋は板雨障子等にて葺き三方へ幔を張るべし



又圖

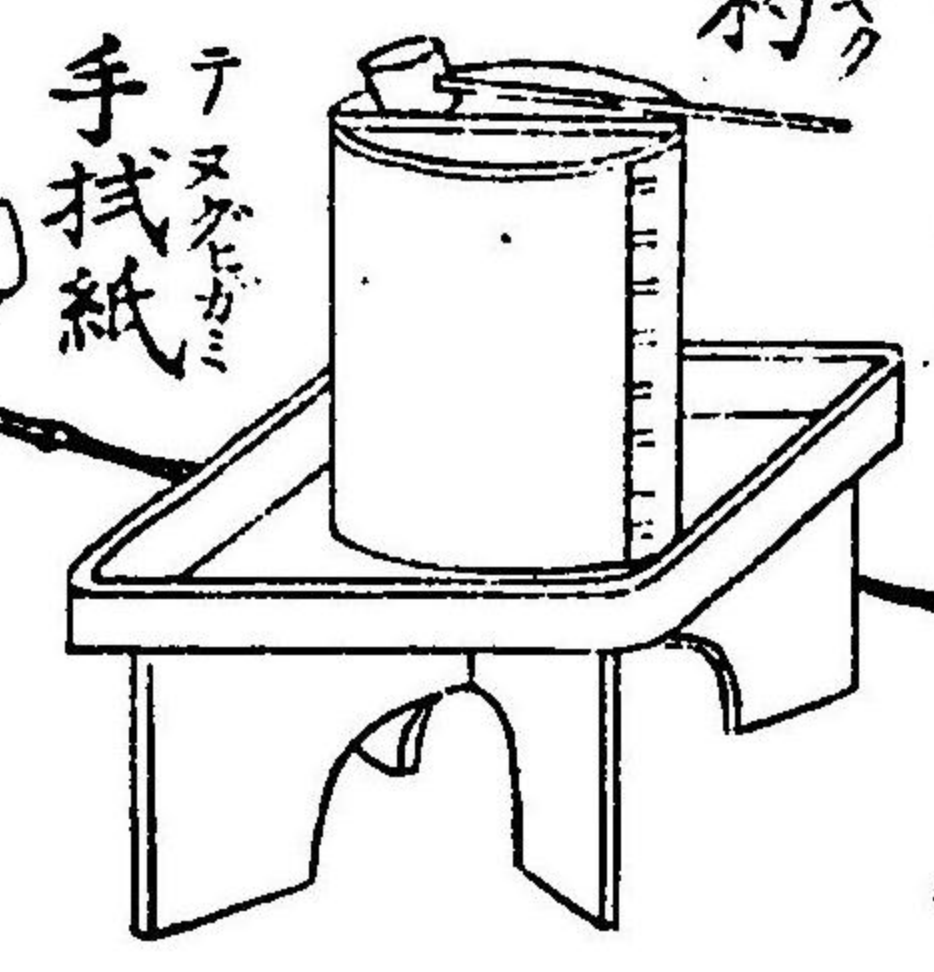
幔を以て
作る



テ
手水桶

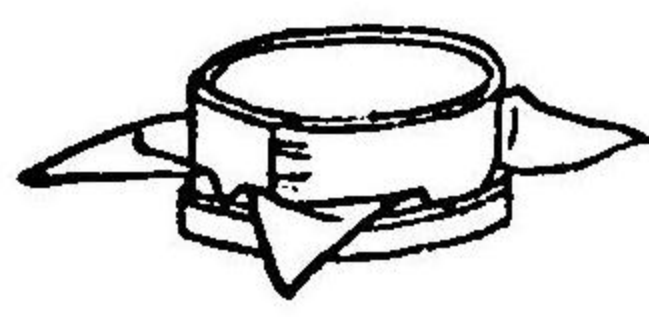
杓

テ
手拭紙



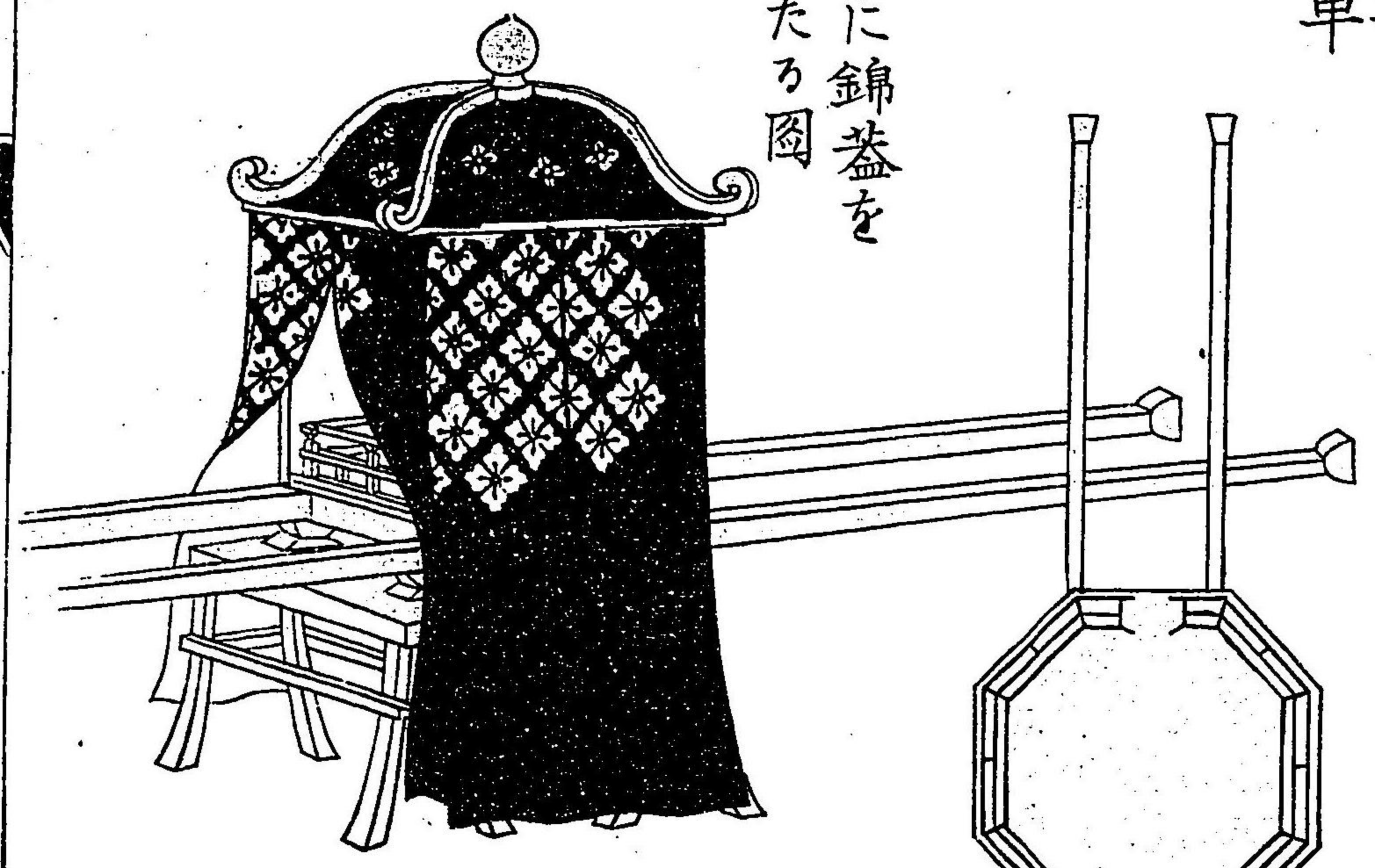
同臺

水
澱

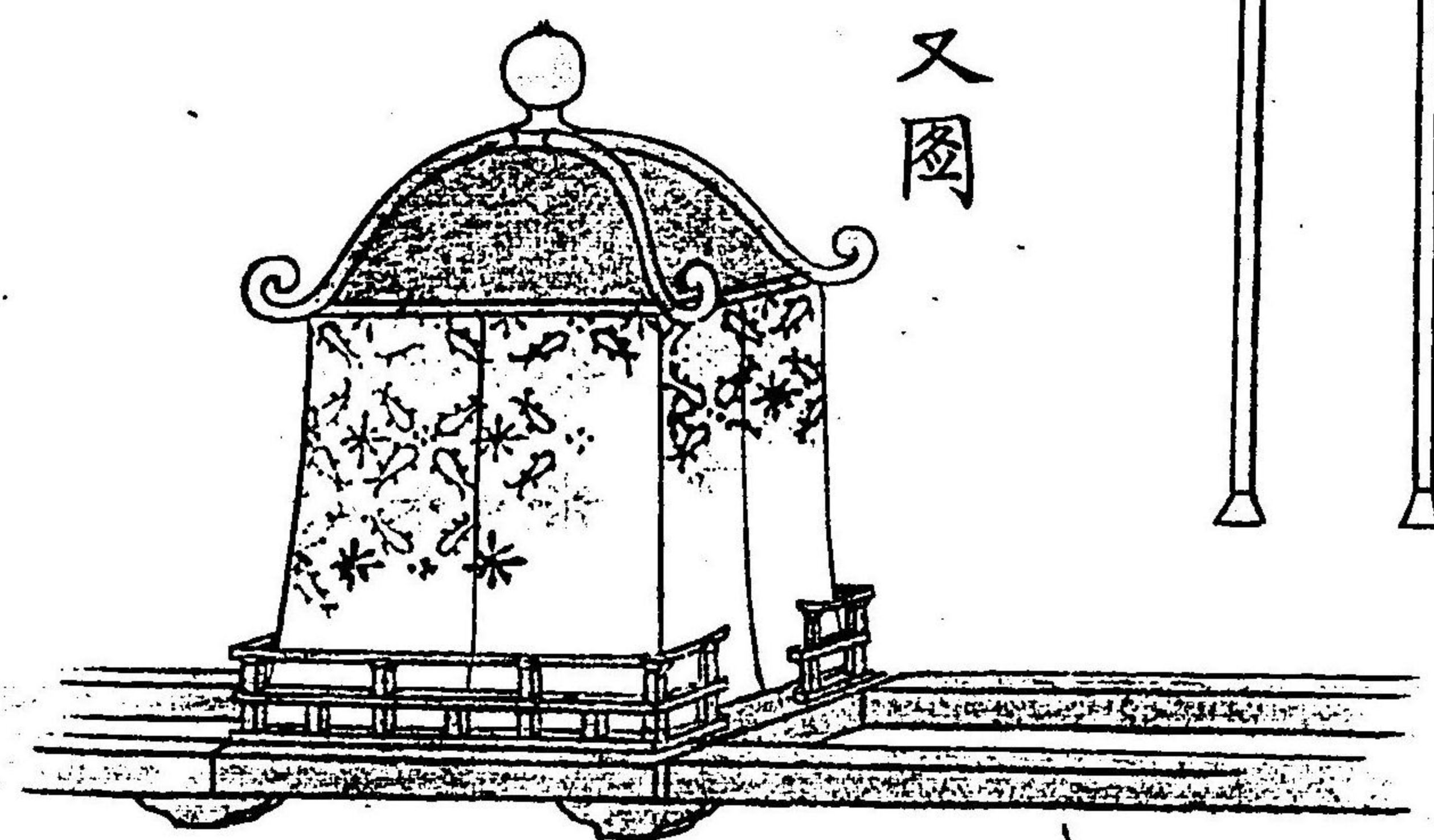


羽車

羽車に錦蓋を
覆ひたる圖

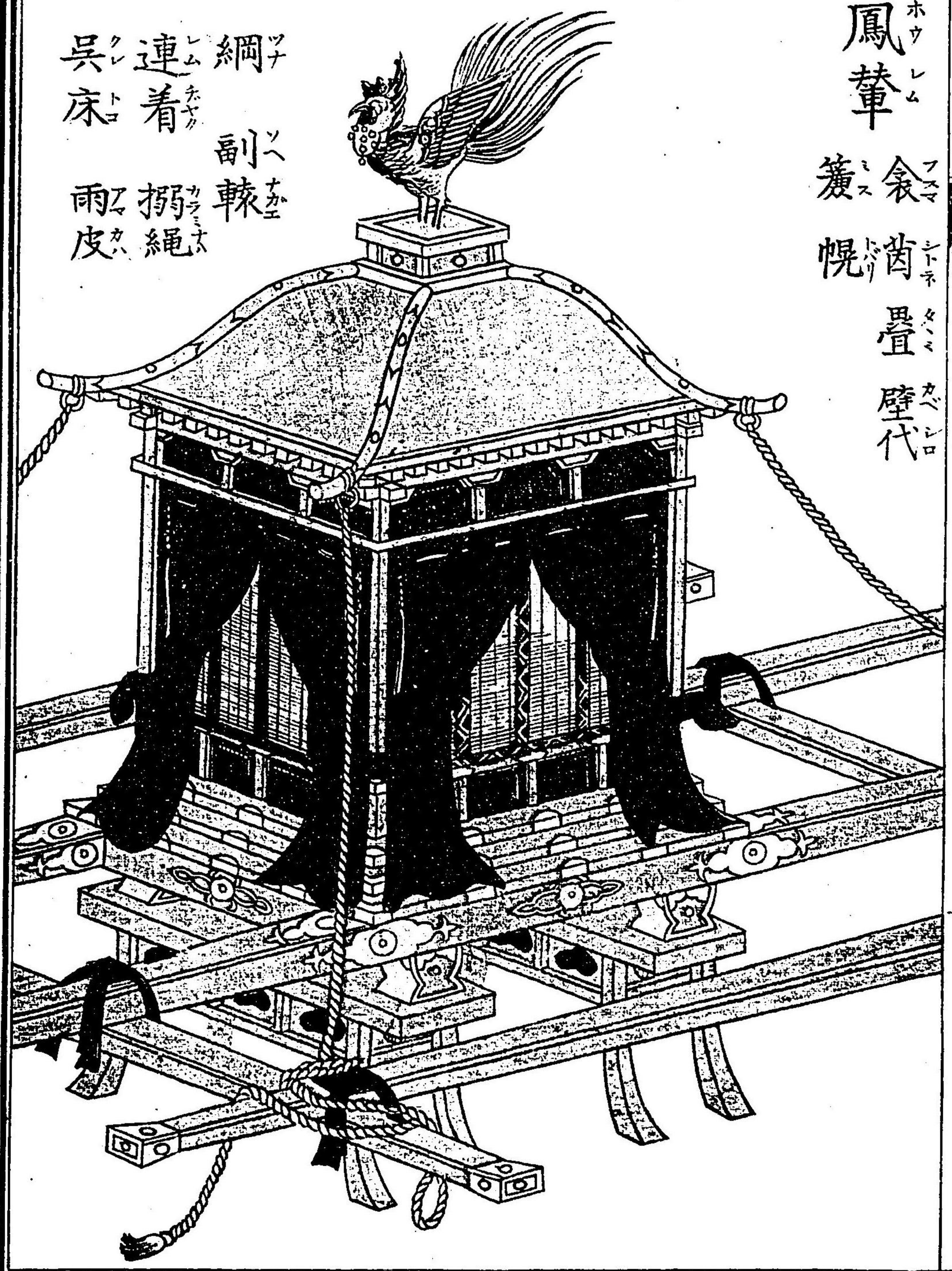


又圖



鳳輦 ホウレン

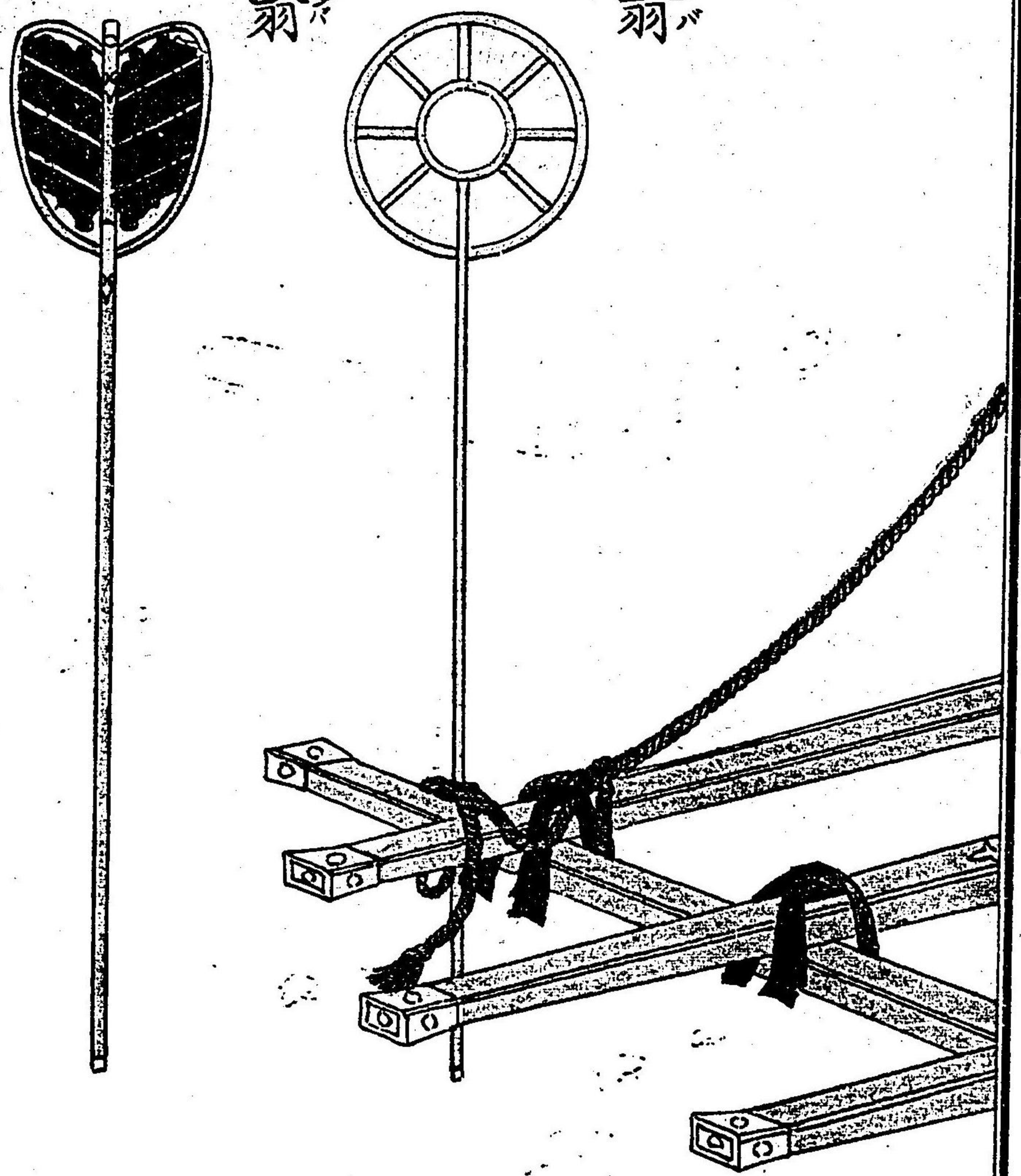
簾衾 レンキン
幌茵 ホウイン
疊壁代 タテカミ



網子 アミコ
副轆 ソコ
連着 レンシヤク
雨皮 アメカ
吳床 ゴト
搦繩 カサヒ

管駁羽 スガノサシバ

紫駁羽 ムラサキサシバ



牛車

諸式あり今其二を舉ぐ此の有無あり女儀は絲毛車なり
簾 蕪芳深もあり縁紫縁又錦縁あり裏縁白綾無紋

雨皮掛

掛竿

掛杖二本

同 鞭二本

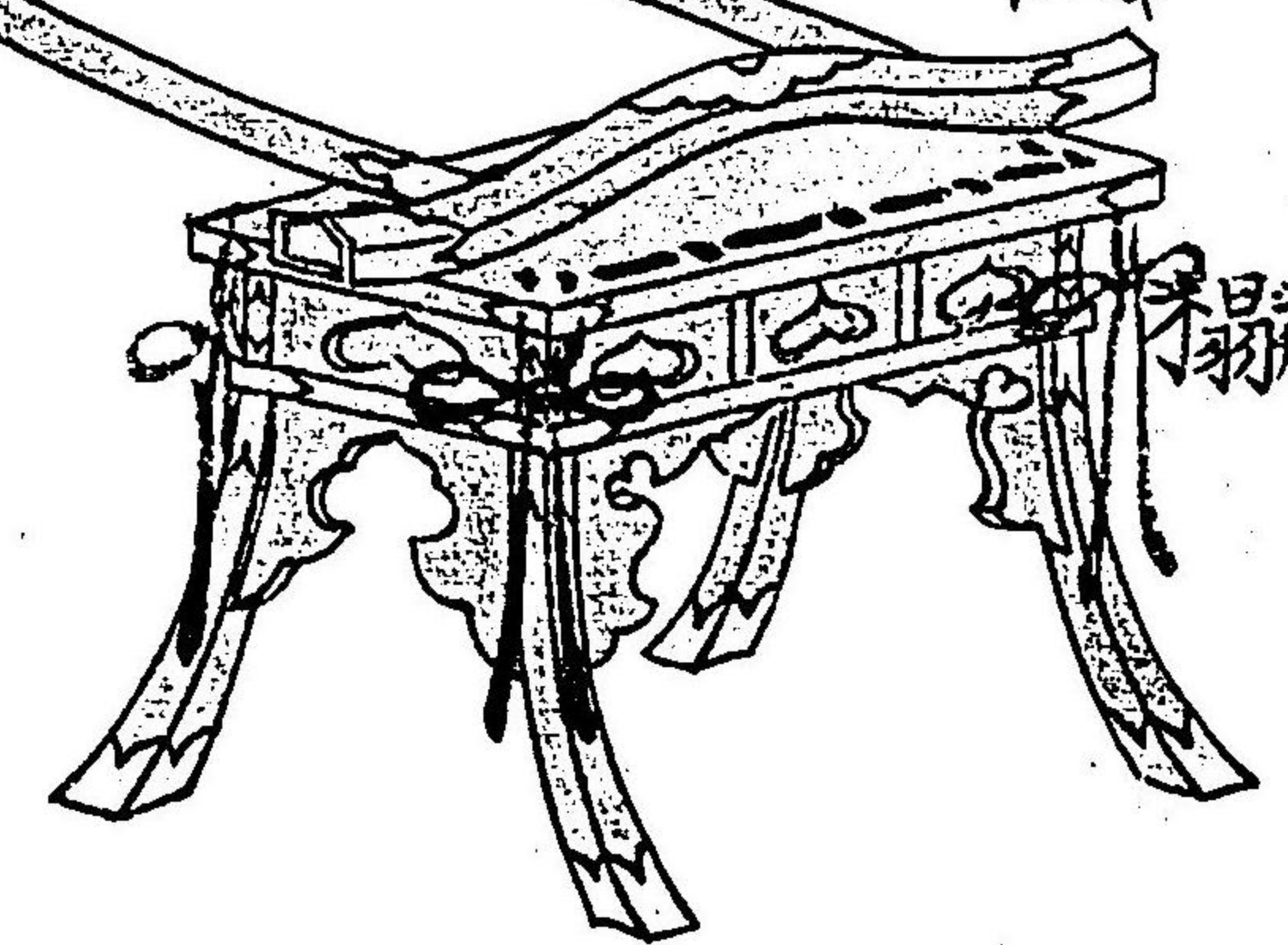
棧

下簾 檣御車には蕪芳の末濃なり

袖内

軛

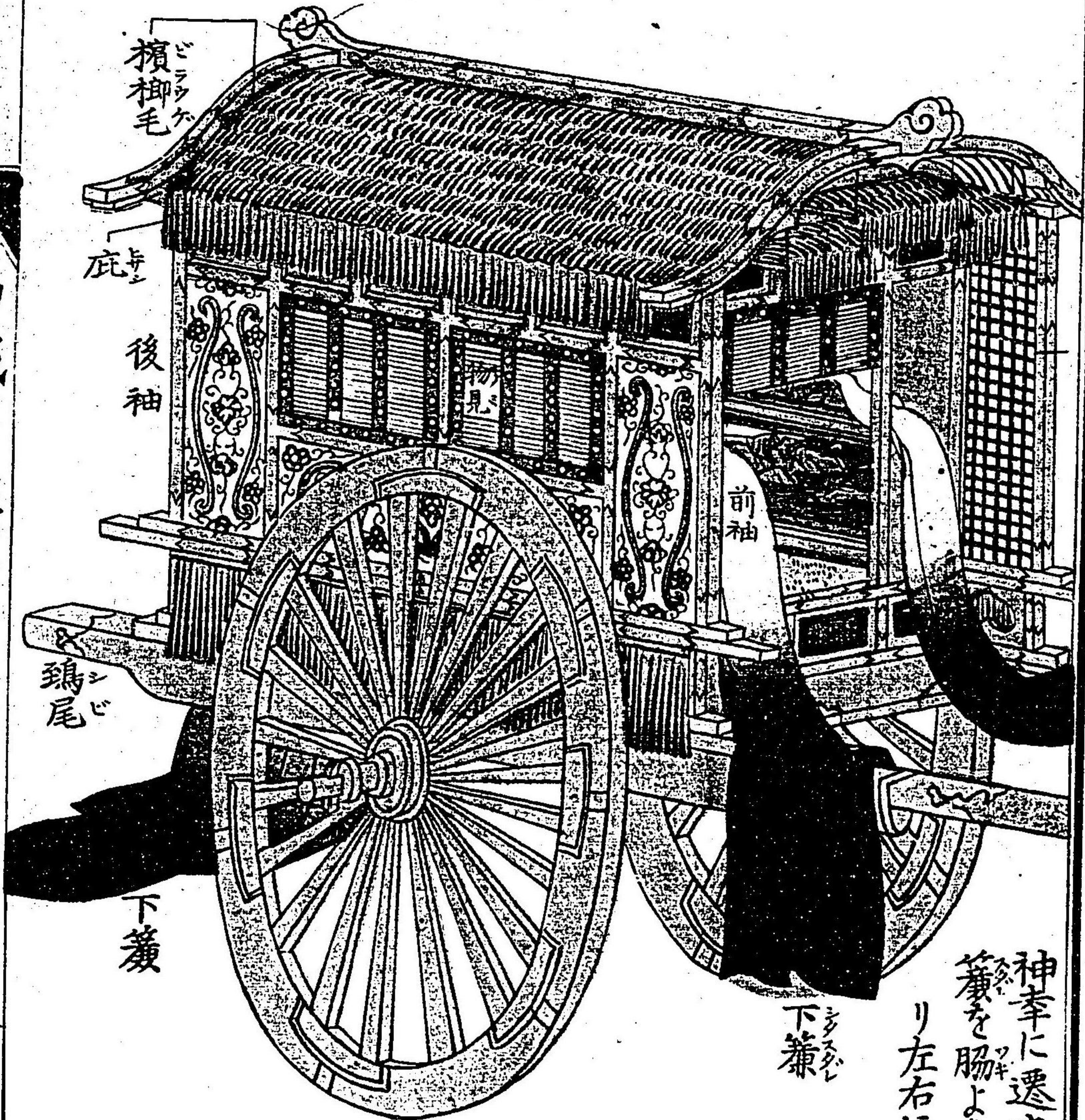
轆



牛装飭具

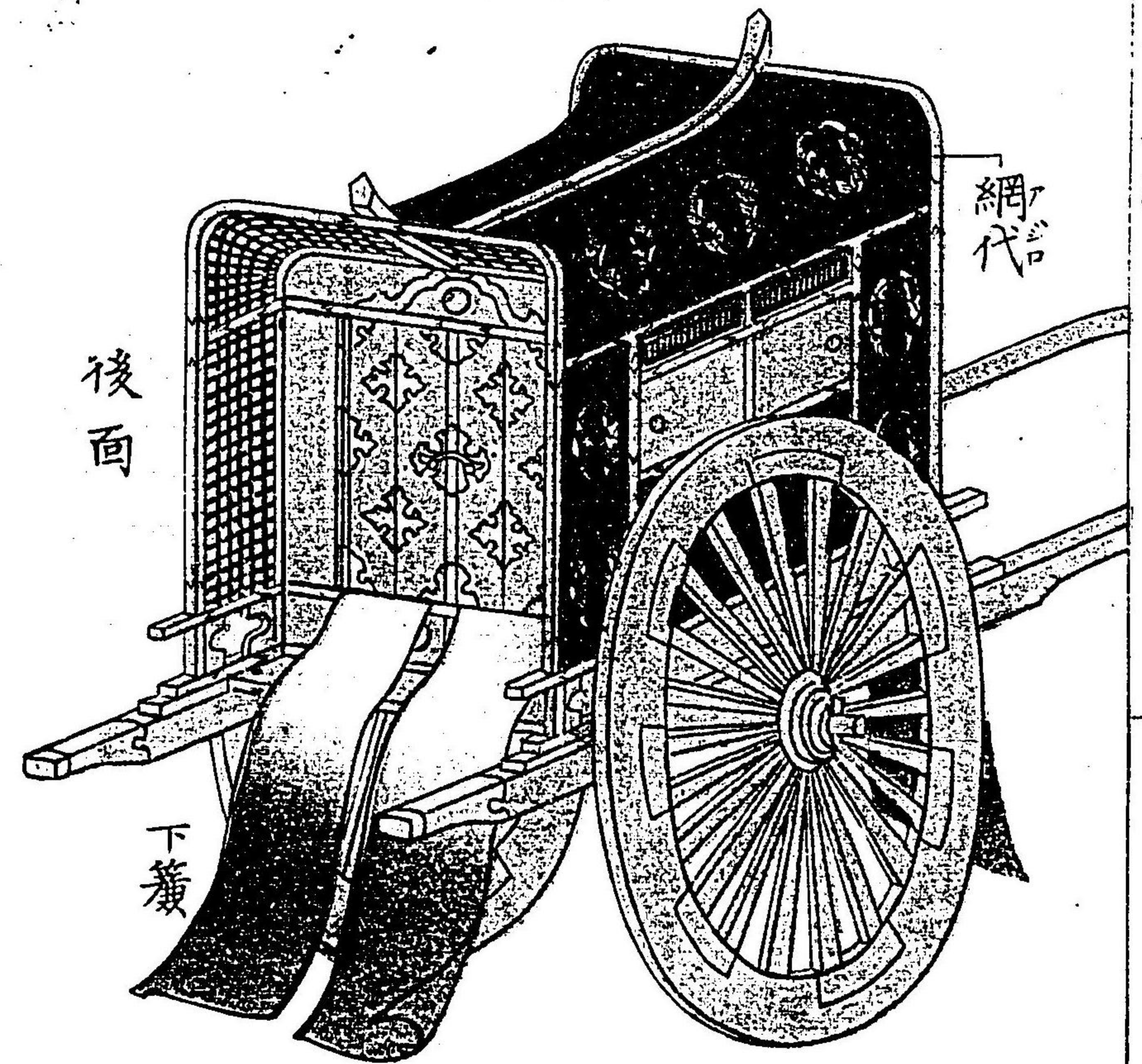
前網 後網 追網
胴網 面懸 胸懸
尻懸 上鼻 腹帶
手網 引繩等なり

神幸に遷座せば簾を下り下簾を脇より出さず簾の下より左右に開き轆に掛けて外へ垂るべし雨儀には簾の下へ捲込むべし



又圖

簾 アキカバ 藍草縁 裏同上
 下簾 アキカバ 網代車には縹の末
 濃なり
 網代 アゴロ 底の有無又七葉八
 葉其他諸式あり
 但網代は男女通
 用す



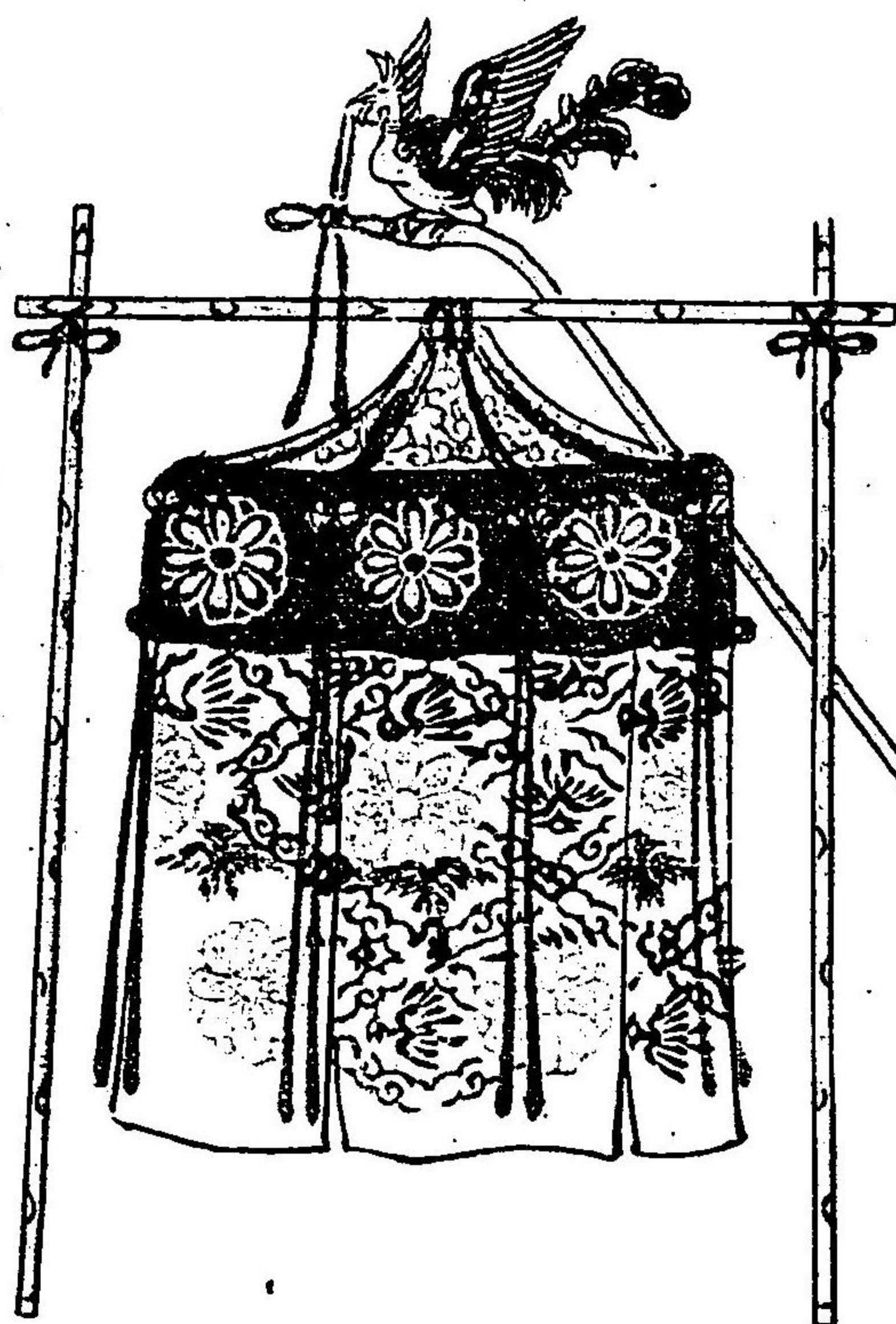
神輿

鶺鴒鳥あり葱
 花あり四角造
 あり六角又八
 角造あり



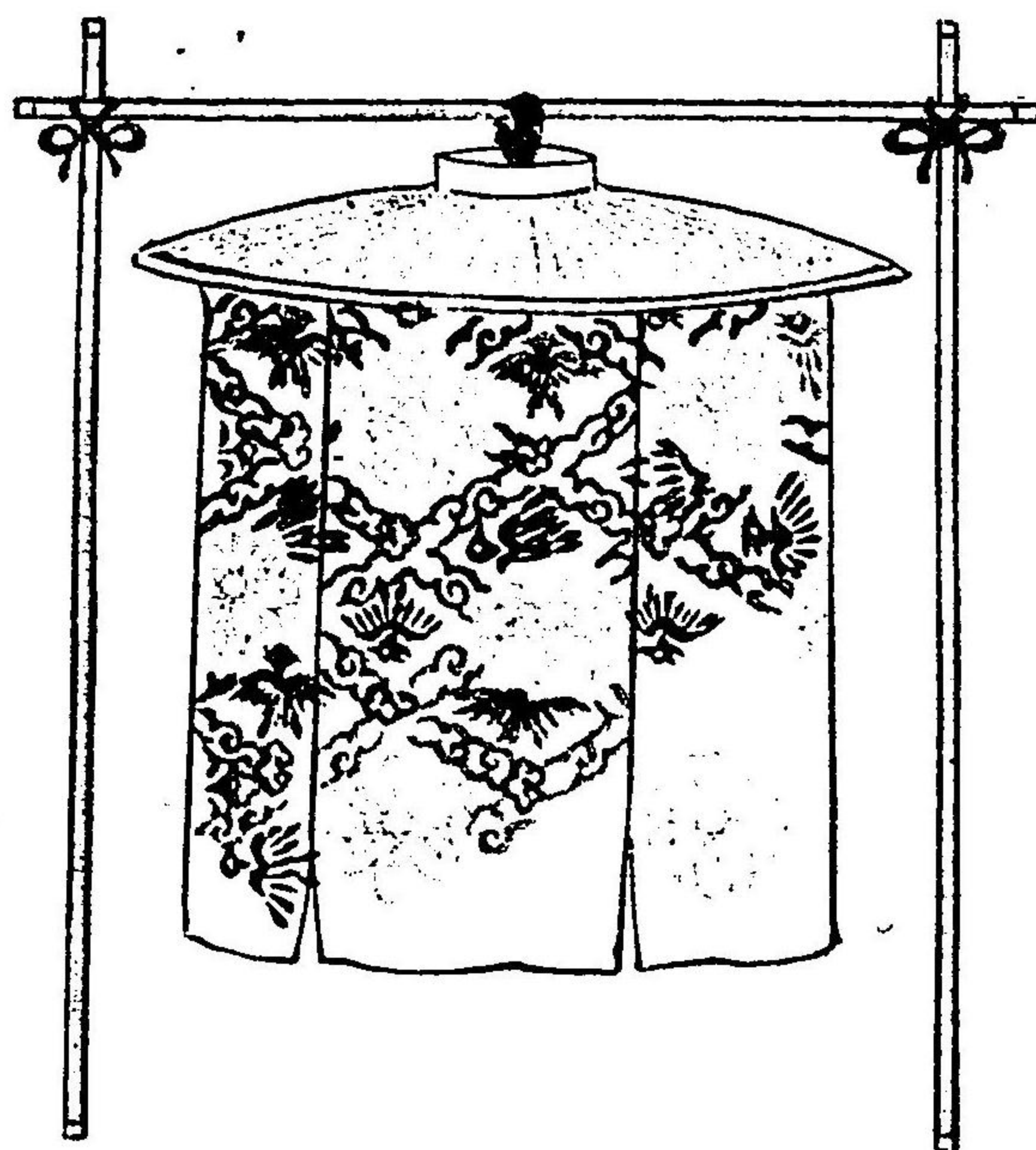
錦蓋

帽額垂縮ともに地表大和錦但
多くは帽額を赤く垂縮を白
くして地色を同くせず裏白平
縮真紅の紐を付す柄
漆蒔繪金物あり



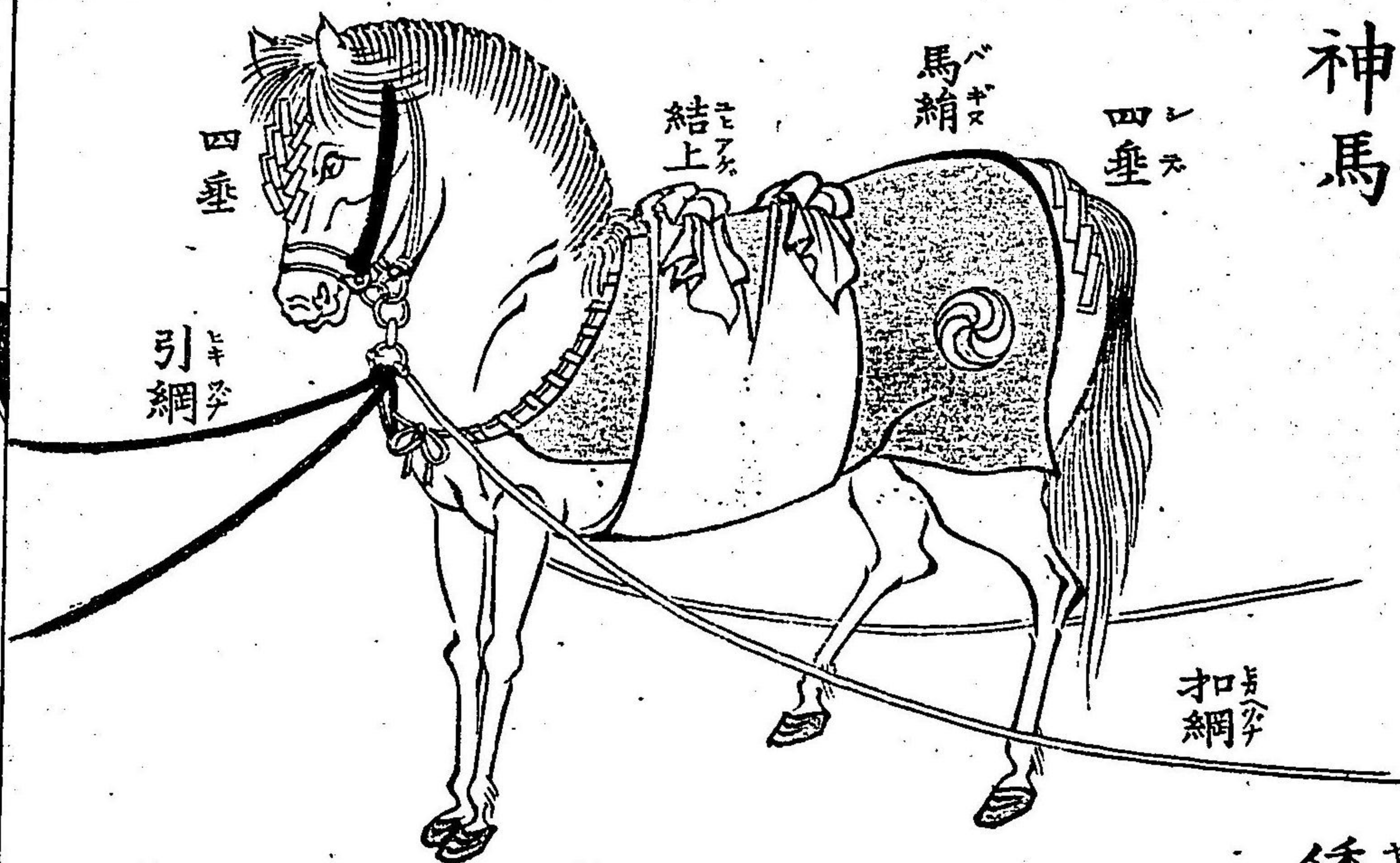
菅蓋

垂縮地錦蓋に同下
又帽額あるものあり



寫鳥銅造極緑色とす又畧し
て帽額を紫平縮垂縮を白平
縮などに為たるものあり

神馬



倭鞍 鞍具

橋筋付 四緒手 表敷 表腹帶 尻懸 大滑
立聞 壺 差繩 鞍履



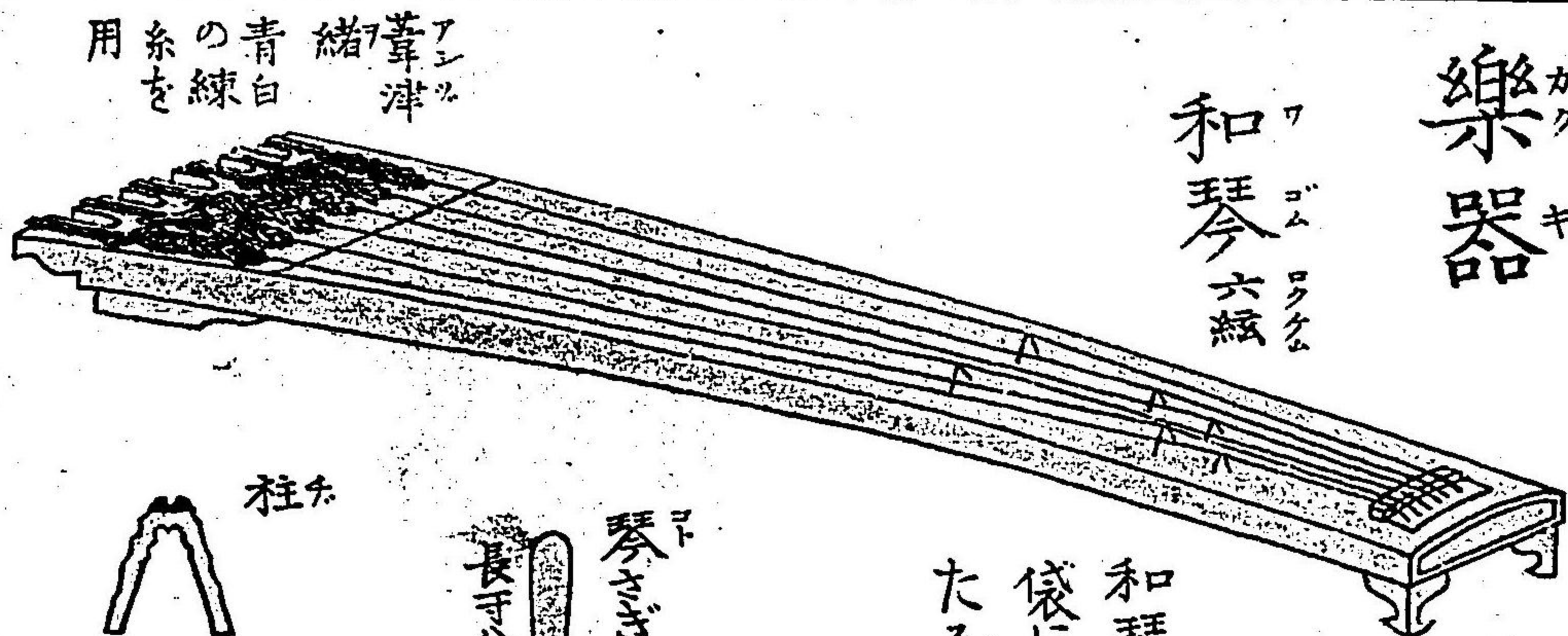
又切付 泥障

手綱 差繩 鞍履

壺 立聞 差繩 鞍履

樂器

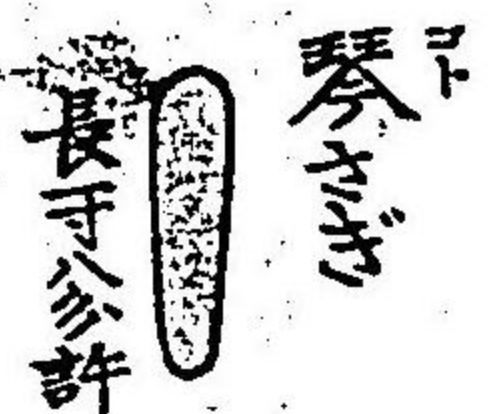
和琴 六絃



アレン 葦津 緒青の糸を用



柱



琴さき 長守公許



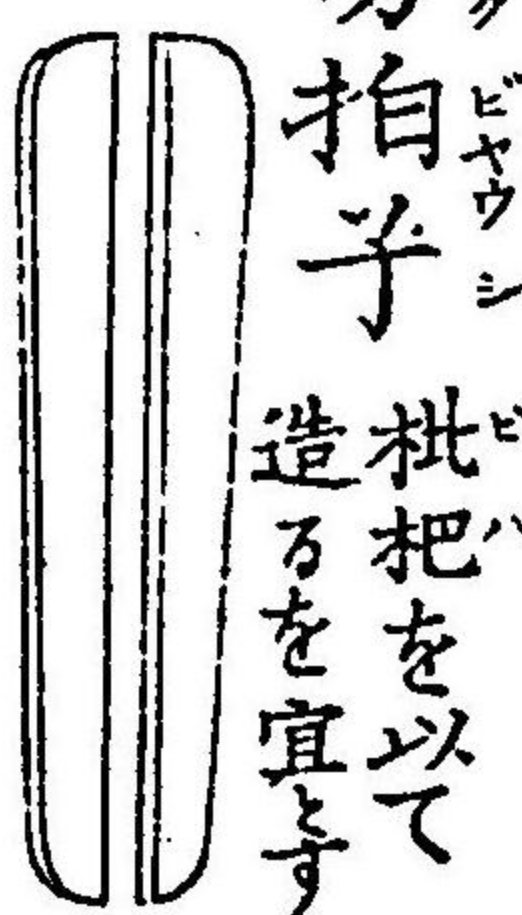
神樂笛 六穴



里神樂の具 鈴敷 十二



鈴緒



笏拍子

枇把を以て 造るを宜とす

和琴を 袋に納れたる圖



袋表大和錦裏平絹紐紅丸打蜻蛉受緒

桐又杉を以て造る柱は楓の枝の股を用ゐる 琴さきは水牛たもとにて製す笏の形の小さ記者なり

唐鞍

鞍具

表敷

表腹帯

布腹帯

力革

革鞞

胸懸

手網

面懸

杏葉

引差繩

手網

差繩

不耳堂金

八子 轡 角袋 雲珠 大滑 肌付 豹切付 革泥障

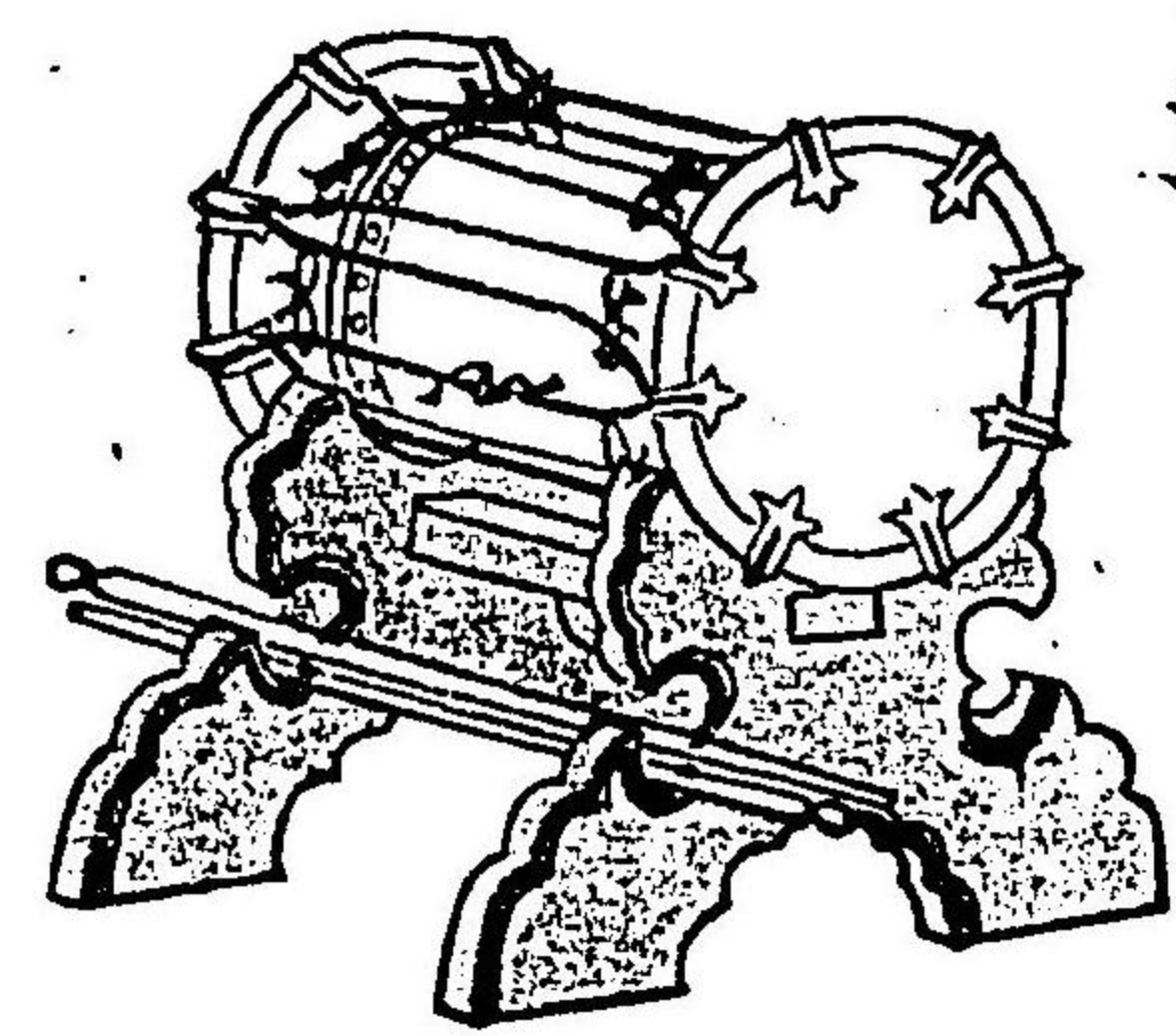


杏籠

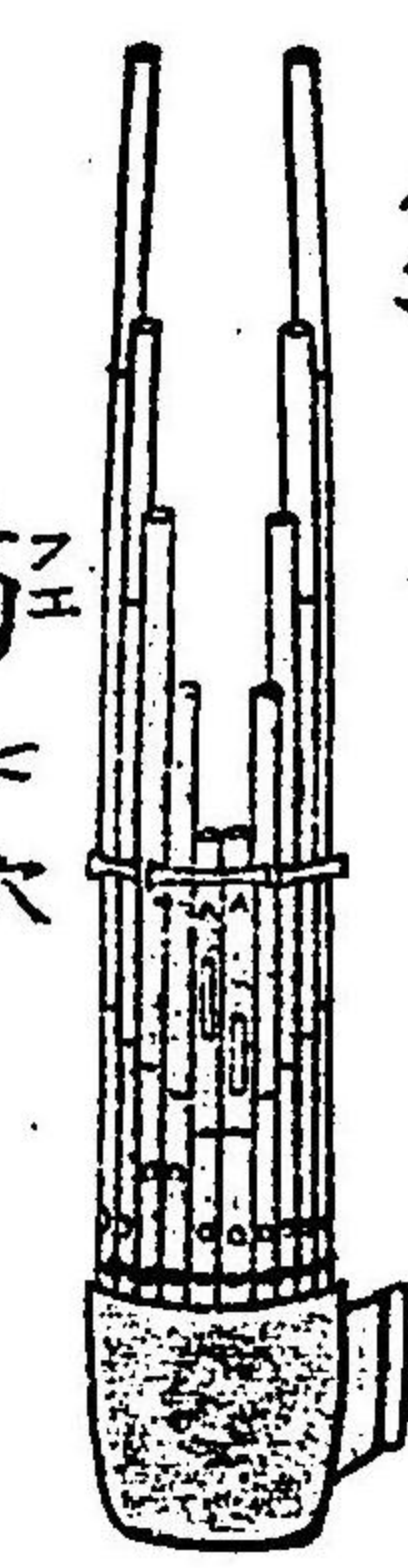
鞍履

杓

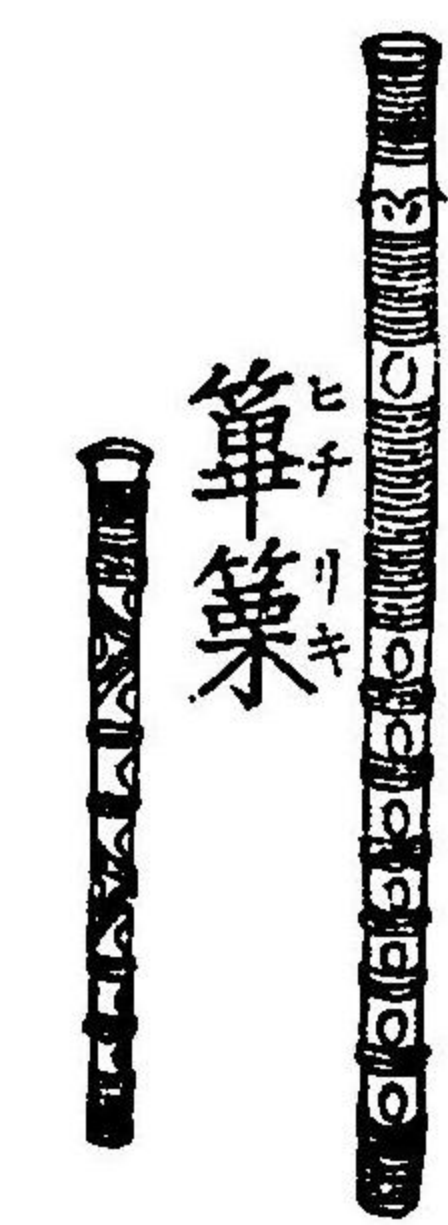
羯鼓



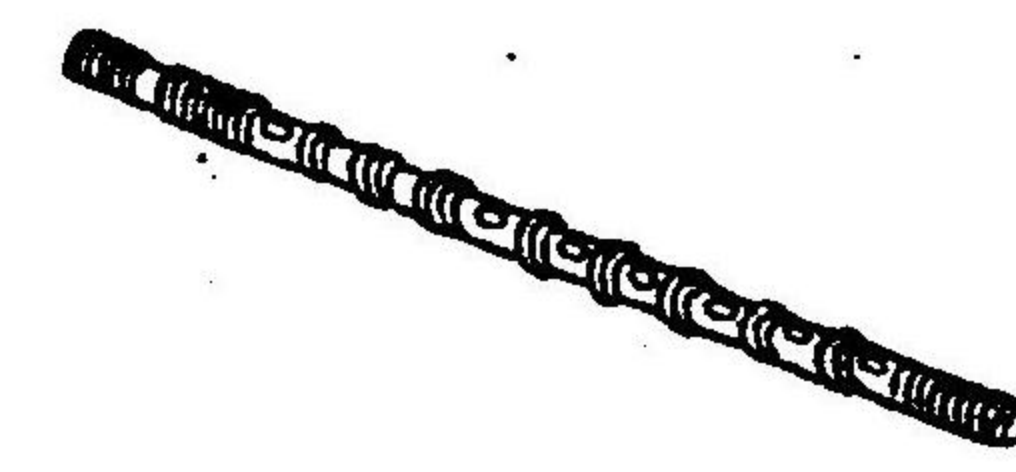
笙



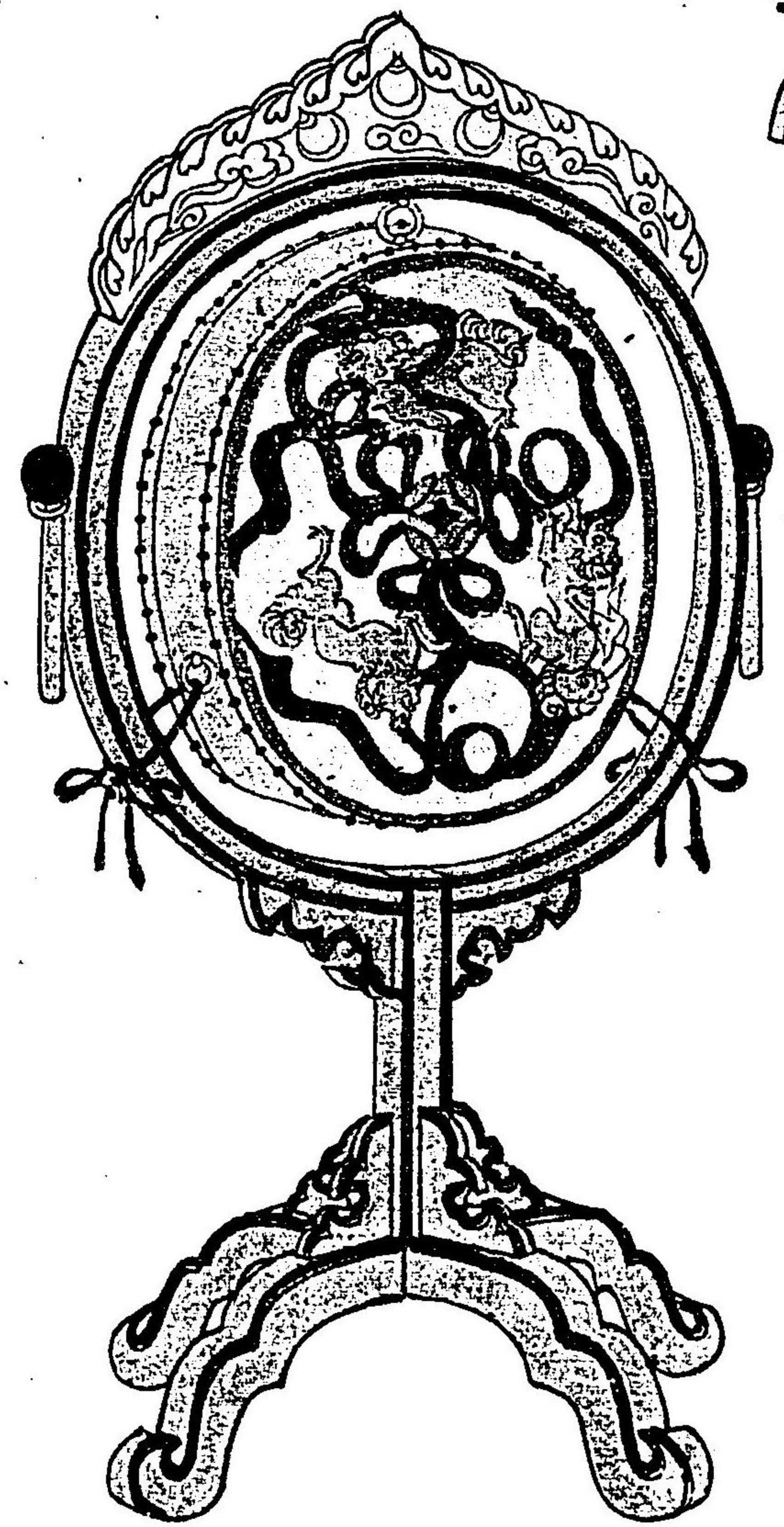
笛 七穴



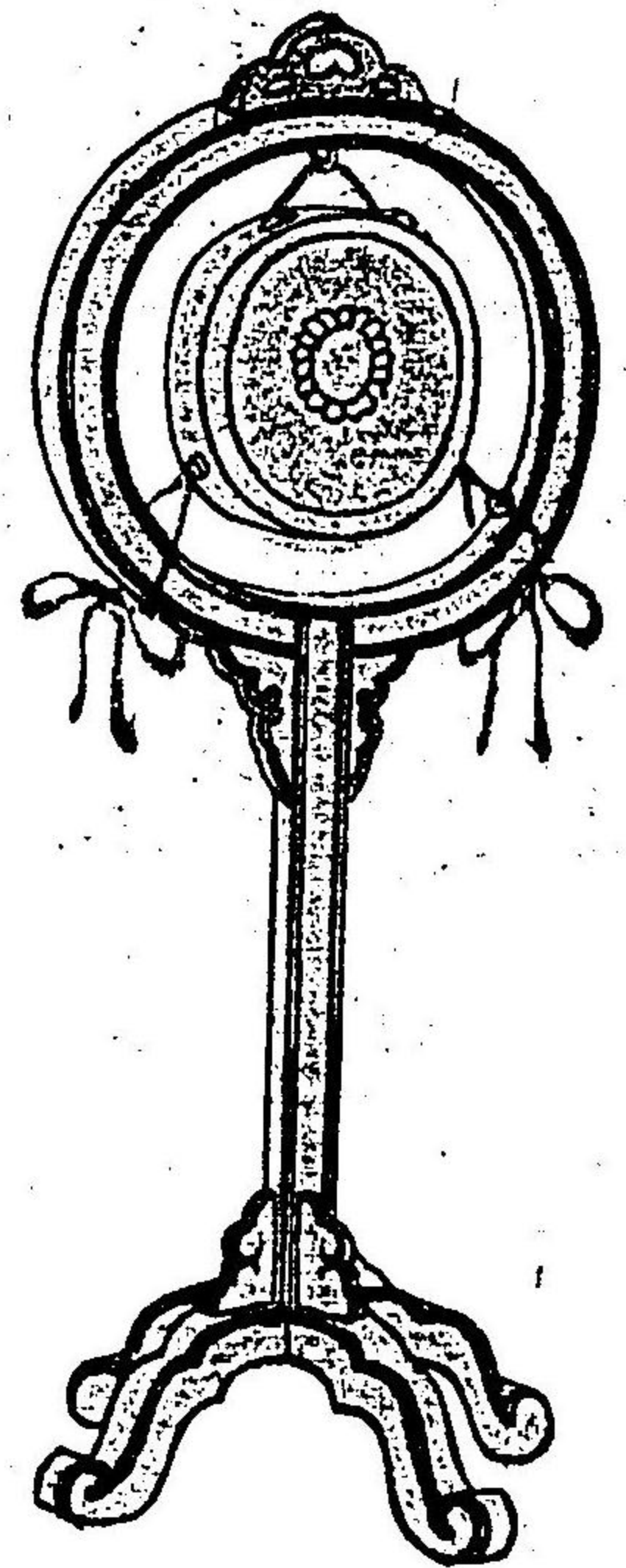
笙 六穴



太鼓

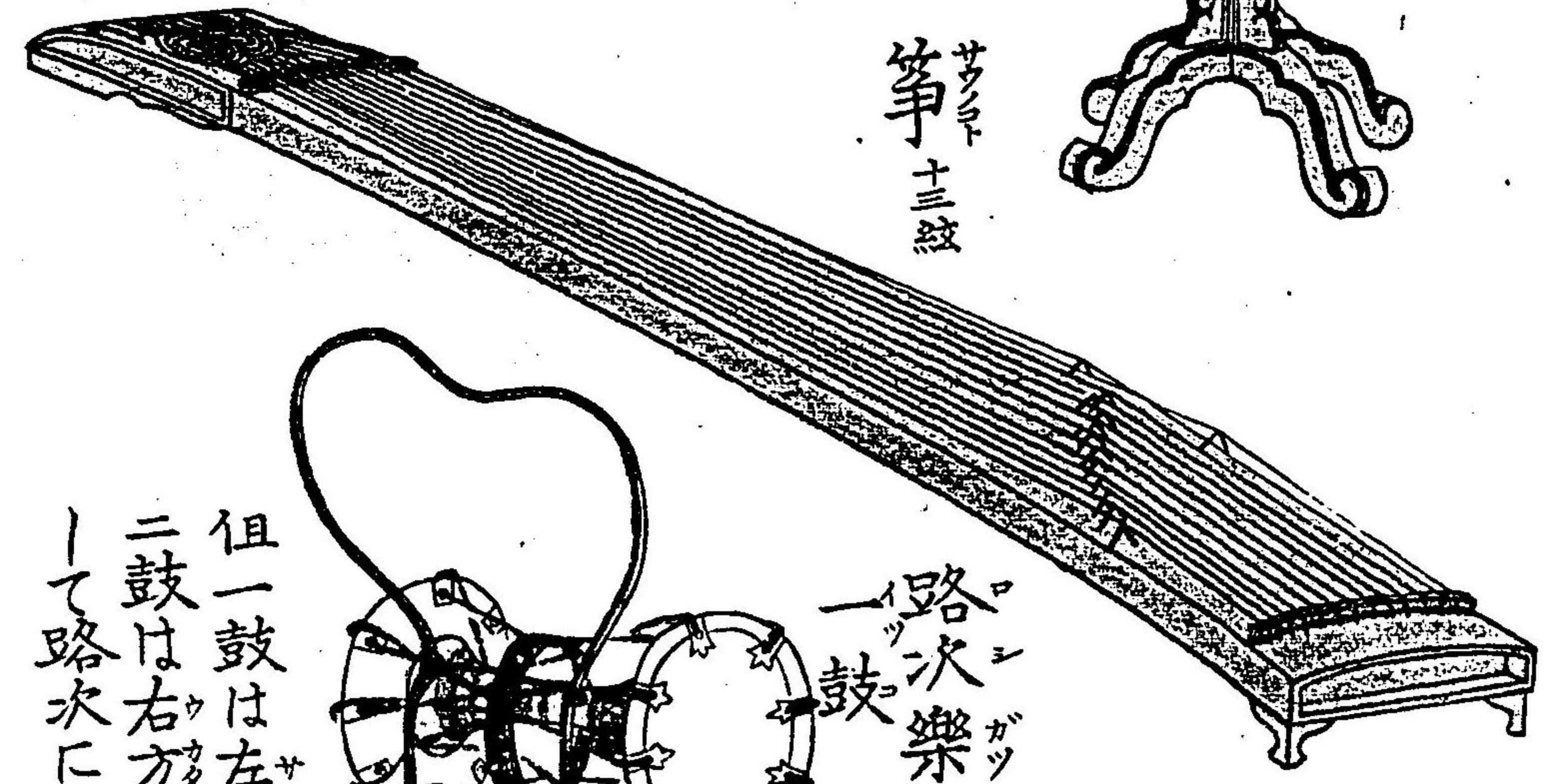


鉦鼓

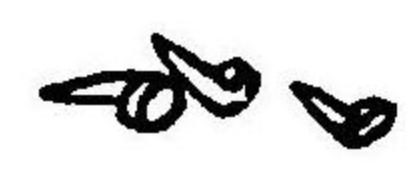


撰二本裏面に懸く

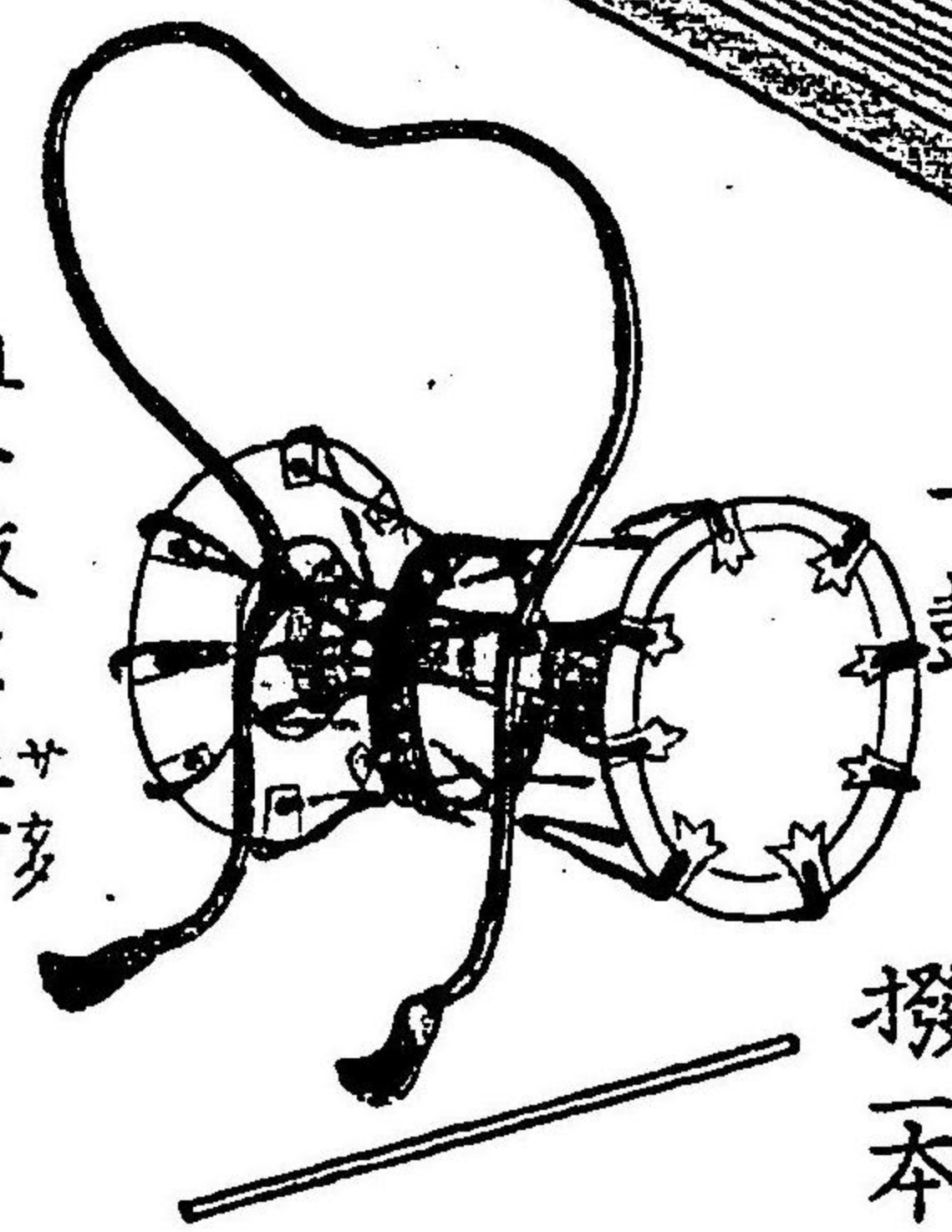
箏 十三絃



假甲

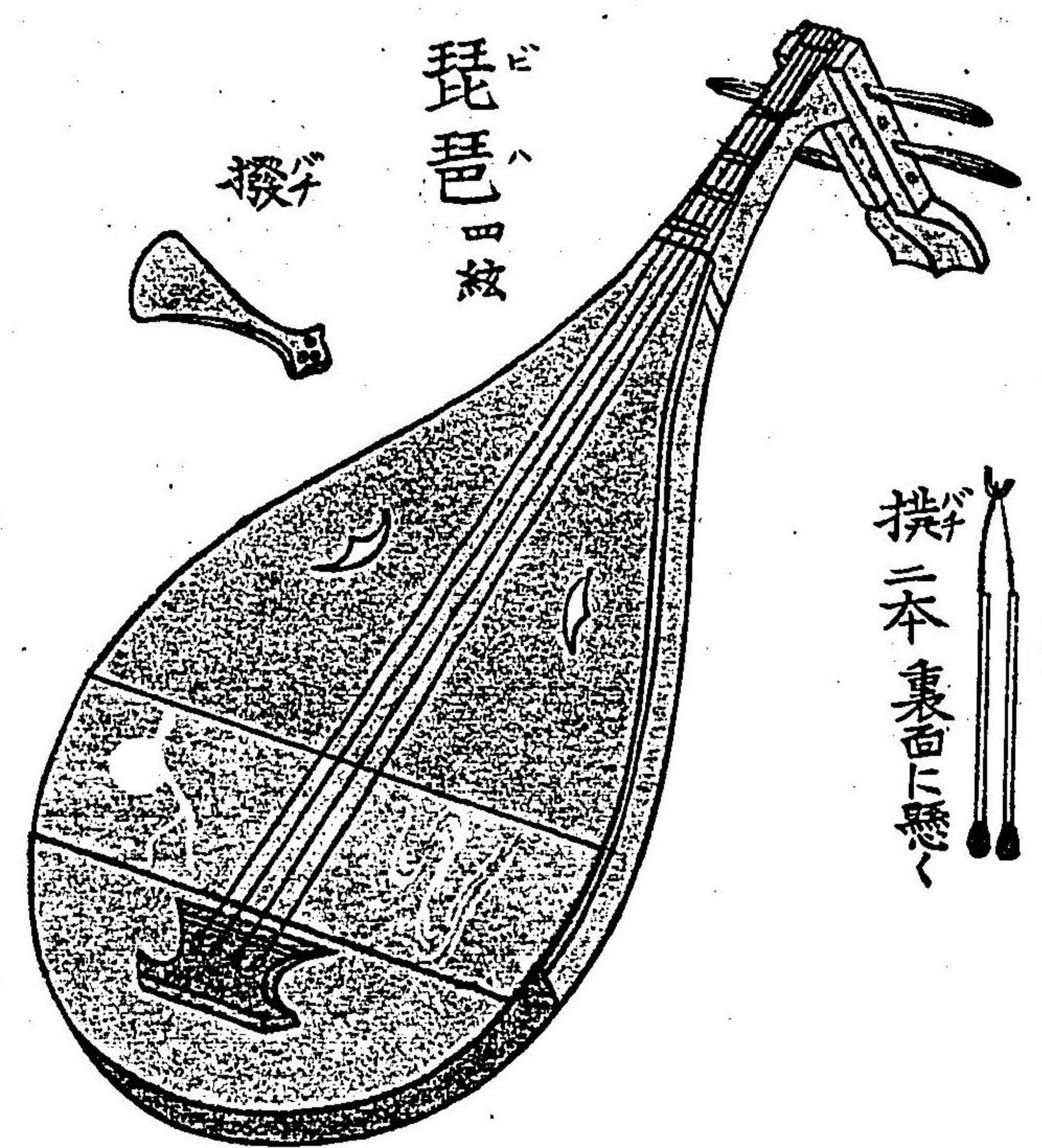


路次樂器 一鼓

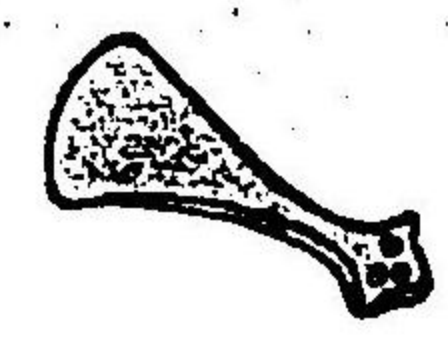


撰二本

琵琶 四絃



撥



但一鼓は左方に
二鼓は右方に
して路次に用

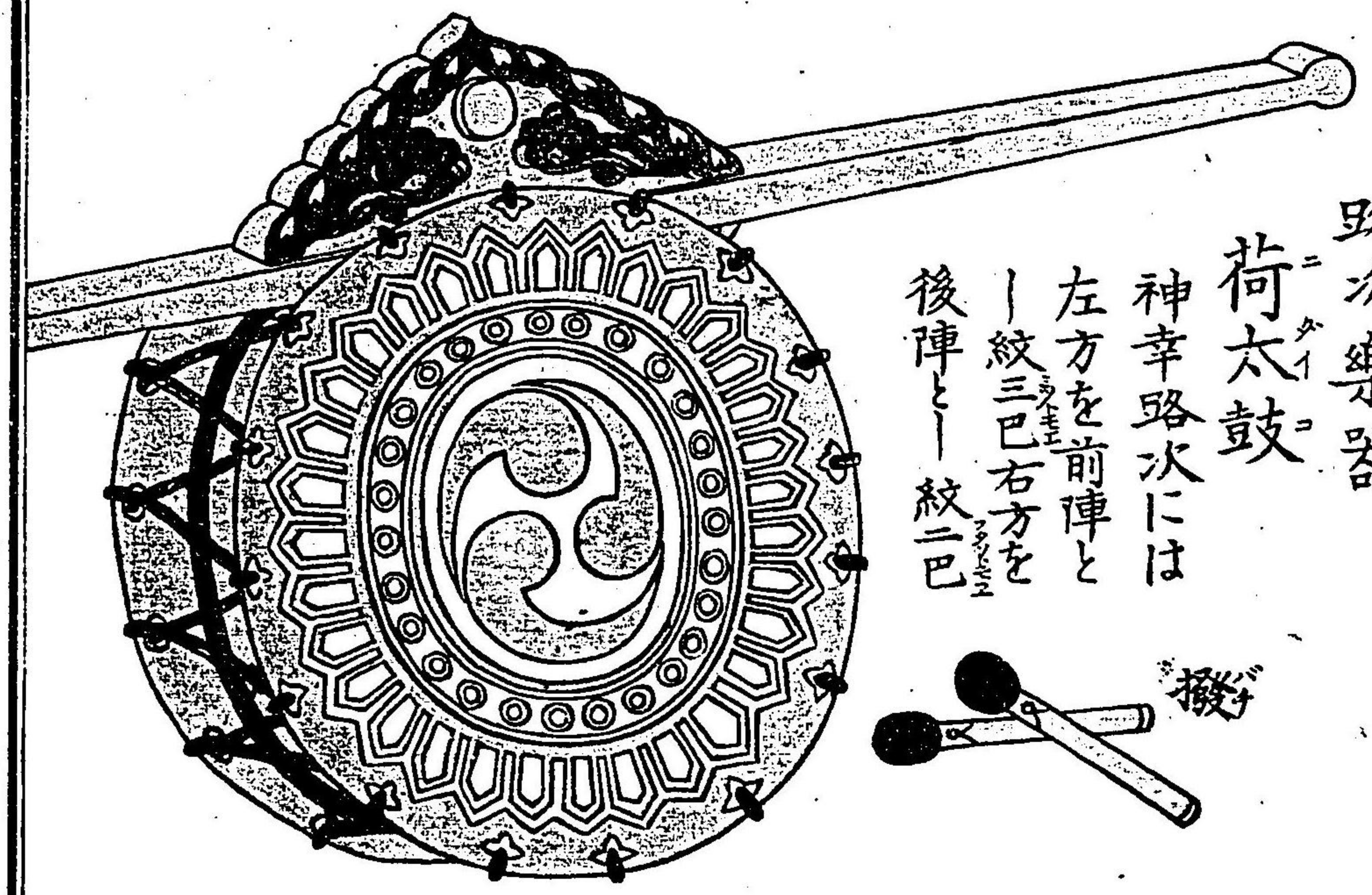
184
2
13

不耳寶金一糸

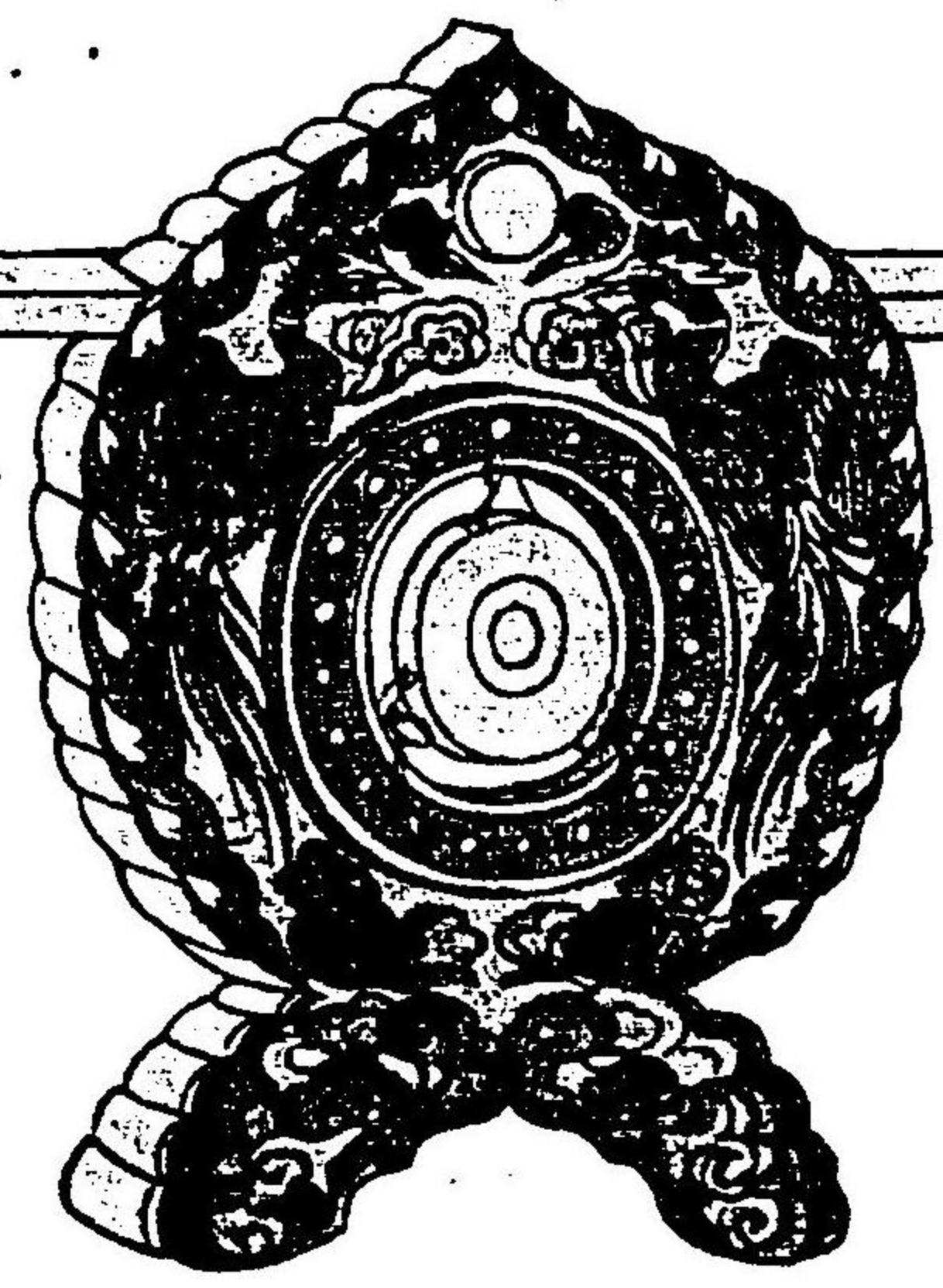
路次樂器

荷太鼓

神幸路次には
左方を前陣と
紋三巴右方を
後陣と紋二巴



同
荷鉦鼓



撥



神職寶鑑上編終

